

**川口市**  
**第7期高齢者福祉計画・介護保険事業**  
**計画策定に係る高齢者等実態調査**  
**調査結果報告書**

**平成29年 3月**



# 目次

目次	1
<b>I 調査の概要</b>	<b>5</b>
1 調査の目的	5
2 調査対象 及び 回収状況	5
3 調査方法	5
4 調査時期	5
5 表記について	6
<b>II 市民調査結果の概要</b>	<b>7</b>
【1. 基本属性】	7
1.1 年齢	7
1.2 世帯状況	8
1.3 住居形態	11
【2. 日常生活や社会活動】	13
2.1 勤務状況	13
2.2 勤労意向	14
2.3 望ましい働き方	15
2.4 自宅での平日日中の状況	16
2.5 普段の運動について	19
2.6.1 老人クラブ加入の有無	19
2.6.2 老人クラブに加入しない理由	20
2.7 現在の住まいでの居住継続意向	20
2.8.1 孤独死を身近な問題と感じる度合い	21
2.8.2 孤独死を身近だと感じる理由	22
2.9.1 参加・継続したい地域活動	23
2.9.2 グループ活動 参加者としての参加意向	24
2.9.3 グループ活動 企画・運営としての参加意向	25
2.10.1 現在の悩み事	26
2.10.2 悩み事の相談相手	27
【3. 身体や健康について】	28
3.1 病気・けがの種類	28
3.2 健康に関する行動について	30
3.3 健康診断・人間ドックの受診	33
3.4.1 通院・往診の診療状況	34
3.4.2 医療機関への通院・往診の頻度	35
3.4.3 通院で受けている診療科目	35
3.4.4 往診による治療内容	36
3.5 健康維持のために利用したいサービス	36
3.6 半年前と比較した食事量の変化	37
3.7.1 自分の歯の本数	39
3.7.2 現在の歯ぐき・口の状態	41
3.7.3 噛んで食べる時の状態	43
3.8 生活習慣について	45
3.9 平日の食事の主な調理者	46
3.10 外出に対する考え方	47
3.11 介護予防分布	49
3.12 認知機能	50
3.13.1 健康に関する情報の入手について	51
3.13.2 健康について特に知りたいこと	52
3.14 生活機能の低下予防に利用したいサービス	53
【4. 地域包括支援センター】	54
4.1 地域包括支援センター認知	54
4.2 地域包括支援センター利用有無	54

【5. 介護保険制度について】	55
5.1 要介護状態になった場合に望む介護形態	55
5.2 「介護保険制度」認知状況	56
5.3.1 年間の介護保険料	57
5.3.2 自身が納めている介護保険料額の認知状況	57
5.3.3 介護保険料の妥当性	58
5.3.4 介護保険標準保険料（年額59,400円）の妥当性	58
5.3.5 今後の介護保険料と介護サービスのあり方について	59
5.4.1 家族等の介護経験	60
5.4.2 近い将来家族の介護を行う可能性	60
5.4.3 介護について家族等との話し合い状況	60
5.4.4 介護をすることになると思われる相手	61
5.4.5 家族の介護が必要になった場合に望む介護形態	61
5.4.6 介護をすることについての不安感	62
5.4.7 介護について感じている不安（有職者への質問）	62
5.4.8 勤務先における介護についての相談相手（有職者への質問）	63
5.4.9 介護しながらの継続勤務の可能性（有職者への質問）	63
5.4.10 介護することになった場合の望ましい働き方（有職者への質問）	64
【6. 本人の要介護状態】	65
6.1 要介護度	65
6.2.1 「身体障害者手帳」に記載された障害の程度	65
6.2.2 身体障害者手帳に記載されている障害	66
6.3 現在の要介護度の判定結果について	66
【7. 本人の介護サービス利用状況】	67
7.1.1 現在の利用サービス	67
7.1.2 新規・継続希望サービス	69
7.2 介護サービス事業者の選択方法	71
7.3 介護サービスを利用するにあたって受けた内容や費用等の説明	71
7.4 介護支援専門員（ケアマネジャー）のケアプラン作成について	71
7.5 サービス事業者やケアマネジャーに対する希望・改善要望の伝えやすさ	72
7.6.1 訪問介護（ホームヘルプ）利用種類	72
7.6.2 訪問介護（ホームヘルプ）利用回数	73
7.6.3 訪問介護（ホームヘルプ）利用満足度	73
7.6.4 訪問介護（ホームヘルプ）の改善点	74
7.7.1 通所介護（デイサービス）利用回数	75
7.7.2 通所介護（デイサービス）利用満足度	75
7.7.3 通所介護（デイサービス）改善点	76
7.8 介護保険サービス利用による体や気持ちの変化について	77
7.9.1 介護保険サービスの月額利用料金	80
7.9.2 月額利用料金の妥当性	80
7.10 今後1年間の介護サービスの利用意向	80
7.11 現在の介護サービス以外に必要なサービス	81
7.12.1 介護保険施設入所の申し込み状況	81
7.12.2 特別養護老人ホーム最初の申し込み時期	82
7.12.3 申し込み時点の要介護度	82
7.12.4 入所希望場所	82
7.12.5 入所申し込みをした理由	83
7.12.6 施設入所に対する考え	83
7.12.7 施設入所の希望時期	84
7.12.8 入所希望時期の理由	84
【8. 主介護者について】	85
8.1.1 主介護者の性別	85
8.1.2 主介護者の年齢	85
8.1.3 主介護者の続柄	85

8.2	主介護者の同居状況	86
8.3	介護を始めてからの年数	86
8.4	一日あたりの介護時間	86
8.5.1	主介護者から受けている介護行為	87
8.5.2	主介護者が不安に感じる介護行為	87
8.6	在宅介護で困ったこと・負担に感じること	88
8.7.1	介護時にイライラして当たってしまった経験	91
8.7.2	当たってしまった状況	91
8.7.3	当たってしまった後の後悔や悩み	91
8.8.1	介護者の勤務形態	92
8.8.2	介護をするにあたり働き方の調整等の状況	93
8.8.3	介護による就労変更の状況	93
8.8.4	仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援	94
8.8.5	今後働きながらの介護継続状況	94
【9.	施策・取組について】	95
9.1	今後3年間に利用したい高齢者福祉サービス	95
9.2.1	川口市老人福祉センター「たたら荘」の利用状況	97
9.2.2	川口市老人福祉センター「たたら荘」を利用しない理由	97
9.3	判断能力低下時の金銭管理やサービス手続きについて	98
9.4.1	成年後見制度認知状況	99
9.4.2	成年後見人選出時期	99
9.4.3	川口市成年後見センター事業内容認知状況	100
9.5	地震・火災や風水害時に頼れる人	101
9.6	災害発生時の援助活動名簿への登録意向	102
9.7	今後市が優先して取り組むべき内容	103
Ⅲ	事業所調査結果の概要	105
【1.	事業所属性】	105
1.1	経営主体	105
1.2	従業員数	105
1.3	非常勤職員の割合	105
1.4	回答対象となる事業種別（宛名の事業種別）と実施中のサービス	106
【2.	経営状態・経営環境】	107
2.1	昨年度の事業採算	107
2.2.1	昨年度事業採算の当初見込みとの比較	107
2.2.2	昨年度事業採算の当初見込み比較が上回った理由	107
2.2.3	昨年度事業採算の当初見込み比較が下回った理由	108
2.3	円滑な事業運営を進めるうえで困難を感じる点	108
【3.	介護職員処遇加算について】	109
3.1	介護職員処遇改善加算の届出状況	109
3.2	介護職員処遇改善計画書周知の実施内容	109
3.3	介護職員処遇改善加算による賃金改善項目	110
3.4	介護職員処遇改善加算の届出をしない理由	110
【4.	職員の採用について】	111
4.1	職員の採用状況	111
4.2	職員採用が困難な原因	111
4.3	職員採用における地域区分の差による影響	112
4.4	職員採用時の賃金差	112
4.5	年間の従業員退職者数	112
【5.	事業所の状況と取り組み内容】	113
5.1.1	スタッフ研修や資格取得への事業所の取り組み状況	113
5.1.2	個人参加への支援方法	113
5.2.1	平成28年4月以降の苦情発生内容	113
5.2.2	苦情への取り組み状況	114
5.3	サービスの質向上に向けた課題や取り組み	114

【6. 情報の収集・発信について】	115
6.1 利用者を含めた市民に対しての情報提供内容	115
6.2 介護報酬や指定基準等の解釈に疑問があった場合の対応方法	115
6.3 サービス向上のために最も必要な情報や支援	116
【7. 今後の方向性】	117
7.1 川口市内の利用者に対する今後のサービス提供体制	117
7.2.1 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」実施の方向性	118
7.2.2 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の実施予定がない理由	118
7.3.1 「看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）」実施の方向性	119
7.3.2 「看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）」の実施予定がない理由	119
7.4.1 「小規模多機能型居宅介護」実施の方向性	120
7.4.2 「小規模多機能型居宅介護」の実施予定がない理由	120
7.5.1 「総合事業（訪問型）」実施の方向性	121
7.5.2 「総合事業（訪問型）」提供予定サービス	121
7.6.1 「総合事業（通所型）」実施の方向性	122
7.6.2 「総合事業（通所型）」提供予定サービス	122
7.7 「総合事業（居宅介護支援）」要支援者一部受託の実施の方向性	123
7.8 「総合事業（居宅介護支援）」総合事業対象者一部受託の実施の方向性	123
【8. 地域包括ケアシステムについて】	124
8.1 地域包括ケアシステム認知状況	124
8.2 地域包括ケアシステムを構築するために今後重要な項目	124
【9. 外部との連携について】	124
9.1 地域包括支援センター・社会福祉協議会・地域との連携状況	125
9.2 医療機関との連携状況	125
9.3 他事業所との連携状況	126
9.4 地域活動の実施状況	126
<b>IV 自由記載</b>	<b>127</b>
1 市民アンケート調査（65歳以上）	127
2 市民アンケート調査（在宅サービス利用者）	129
3 市民アンケート調査（2号被保険者）	130
4 介護サービス事業者	131
<b>V 資料編（単純回答）</b>	
1 市民アンケート調査（65歳以上）	
2 市民アンケート調査（在宅サービス利用者）	
3 市民アンケート調査（2号被保険者）	
4 介護サービス事業者	

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

現行の「第6期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の見直しにあたり、高齢者等の実態を踏まえ介護サービスの現状と需要を把握するとともに、本市における課題の整理を行い、今後目指すべきサービス基盤の方向性を検討する基礎資料を得るため、高齢者実態調査を実施した。

## 2 調査対象 及び 回収状況

調査種類	対 象	サンプル数	有効回収数 /回収率	主な調査項目 (市民向け①～③:共通基本属性 :性別・年齢・世帯構成・居住地域・居住年数・住居形式 等)
① 65歳以上(1号被保険者)調査	65歳以上(要支援・要介護認定者を除く)男女個人	2,500s	1,744s 69.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態、日常生活自立度、生きがい・社会参加、生活上の不安、今後の暮らし方(地域活動への関心・意向等)、認知症対策について</li> <li>今後の生活の場について(在宅、施設等)</li> <li>介護保険制度について(負担と給付のバランスの在り方等)</li> </ul>
② 在宅サービス利用者調査	65歳以上、要支援・要介護認定者で、在宅介護サービス利用者	2,000s	1,263s 63.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>要介護度、サービス利用状況(介護サービス、医療サービス、生活支援サービス等)、利用上の課題、給付外サービス利用状況・利用意向、認知症ケアについて</li> <li>介護者の状況(性別・年齢・職業)、介護負担感、介護離職経験等</li> <li>介護保険制度について(利用者・介護者からの意向・要望)</li> </ul>
③ 2号被保険者調査	55歳～64歳の男女個人	1,200s	708s 59.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態、生活習慣病対策(実施状況)、働き方(現在と今後)、介護経験・介護の担い手となる見込み、地域活動への参加状況・参加意向</li> <li>介護保険制度について(認知状況、制度変更への考え方等)</li> </ul>
④ 介護サービス事業者調査	市内介護サービス(介護予防サービス含む)を提供する事業者	300s	231s 77.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>提供サービスの現状、事業運営上の課題(収支見込・事業拡大等への条件)、担い手確保や研修体制の取り組み状況</li> <li>医療介護連携の課題、多職種連携について</li> <li>介護保険制度について</li> </ul>

## 3 調査方法

郵送配布・郵送回収

## 4 調査時期

平成29年1月

## 5 表記について

- ・%の数値は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。このため、各回答の数値の合計が100%にならない場合がある。
- ・多重クロス集計において、回答対象者の属性にあたる項目に回答を得られなかった場合には、集計結果から「無回答」の項を省略している。このため、各回答対象者属性の小計は、質問項目に該当する回答者数の総数（TOTAL）と一致しない場合がある。
- ・図表やコメント部分での回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。正式な回答の選択肢は、「V 資料編」の各調査票を参照のこと。



## II 市民調査結果の概要

### 【1. 基本属性】

#### 1.1 年齢

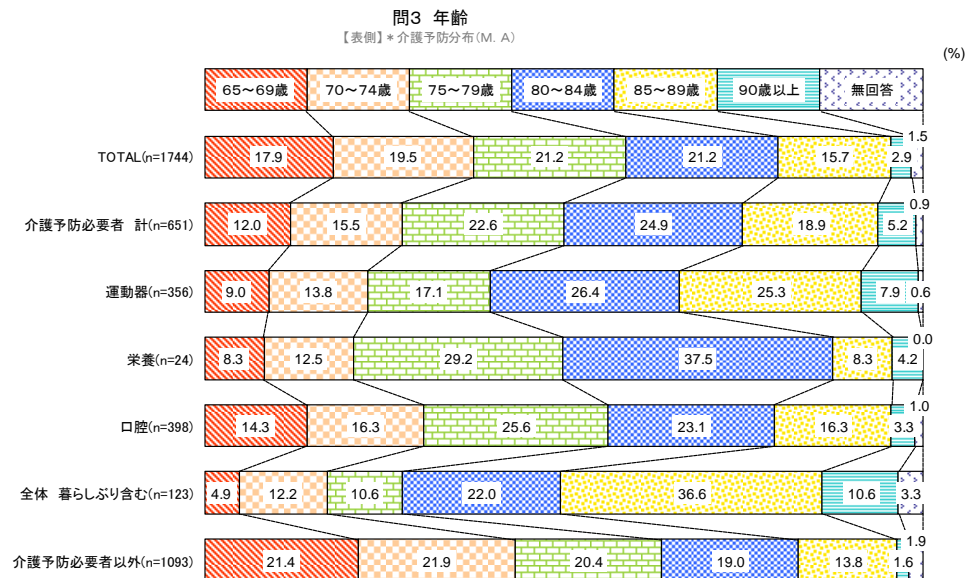
65歳以上全体における年齢は、「前期高齢者（「65～69歳（17.9%）」「70～74歳（19.5%）」の合計値）」が37.4%、「後期高齢者（「75～79歳（21.2%）」「80～84歳（21.2%）」「85～89歳（15.7%）」「90歳以上（2.9%）」の合計値）」が61.0%となっている。

介護予防必要者別では、「介護予防必要者 計」は「後期高齢者」が71.6%と、「65歳以上全体」と比べて10.6ポイント高くなっている。個別箇所別では、「運動器」は「後期高齢者」が76.7%、「口腔」は68.3%、「全体 暮らしぶり含む」が79.8%となっており、「口腔」は他の項目と比べて「前期高齢者」の割合が高くなっている。

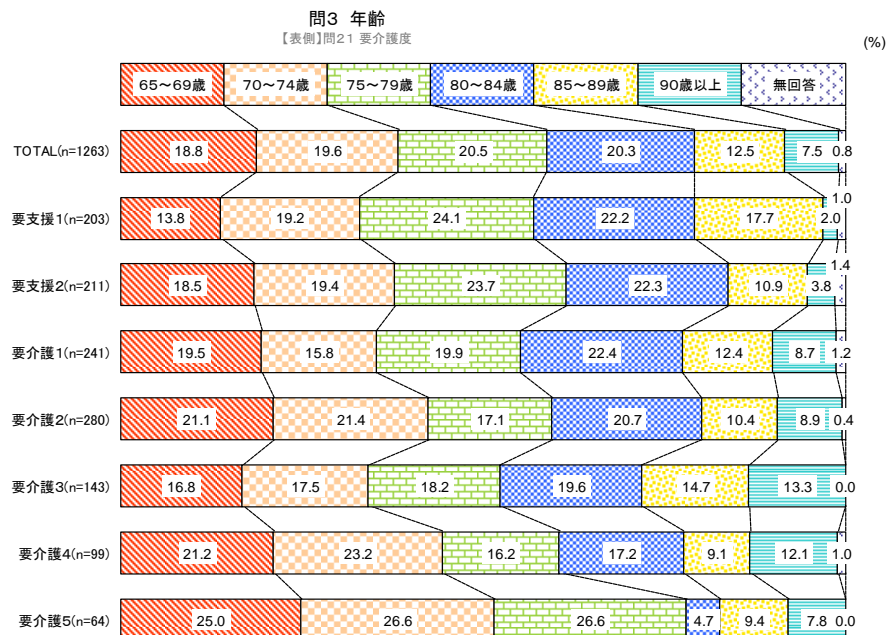
在宅サービス利用者全体における年齢は、「前期高齢者」が38.4%（65～69歳：18.8%、70～74歳：19.6%）、「後期高齢者」が60.8%（75～79歳：20.5%、80～84歳：20.3%、85～89歳：12.5%、90歳以上：7.5%）となっている。

要介護度別では、「後期高齢者」は「要支援1」は66.0%、「要支援2」は60.7%、「要介護1」は63.4%、「要介護2」は57.1%、「要介護3」は65.8%、「要介護4」は54.6%、「要介護5」は48.5%となっており、要介護3からは、介護度が高くなるにつれて「前期高齢者」の割合が高くなっている。

#### (65歳以上)



#### (在宅サービス利用者)



## 1.2 世帯状況

65歳以上全体における世帯状況は、「夫婦ふたり暮らし」が36.3%で最も高く、次いで「未婚の子どもと同居」が23.6%となっている。

年齢別では、「前期高齢者」「後期高齢者」とともに「夫婦ふたり暮らし」が最も高くなっている。次いで、「前期高齢者」は「未婚の子どもと同居（27.0%）」となっており、「後期高齢者」は「子どもの家族と同居（24.8%）」となっている。「後期高齢者」は「子どもの家族と同居」が24.8%で「前期高齢者」と比べて16.1ポイント高くなっている。

地域包括支援センターエリア別では、「中央」「横曽根」「青木」「南平みなみ」「鳩ヶ谷西部」は「ひとり暮らし」が20%以上となっている。

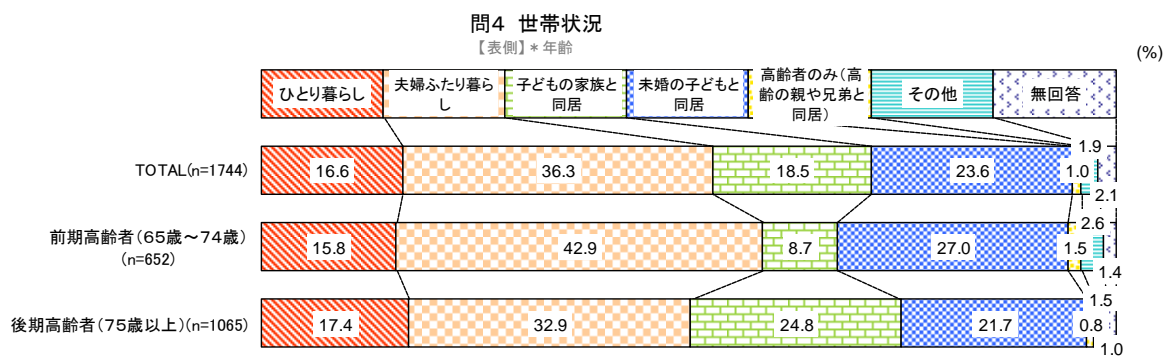
2号被保険者全体における世帯状況は、「未婚の子どもと同居」が36.0%で最も高く、「夫婦ふたり暮らし」が27.0%で続いている。

年齢別では、「60～64歳」は「夫婦ふたり暮らし」が「55～59歳」と比べて8.8ポイント高くなっている。

在宅サービス利用者全体における世帯状況は、「夫婦ふたり暮らし」が30.7%で最も高く、「未婚の子どもと同居」「ひとり暮らし」「子どもの家族と同居」が約2割で続いている。

地域包括支援センターエリア別では、「中央」「芝」「芝西」は「ひとり暮らし」が30%以上となっている。

### (65歳以上)

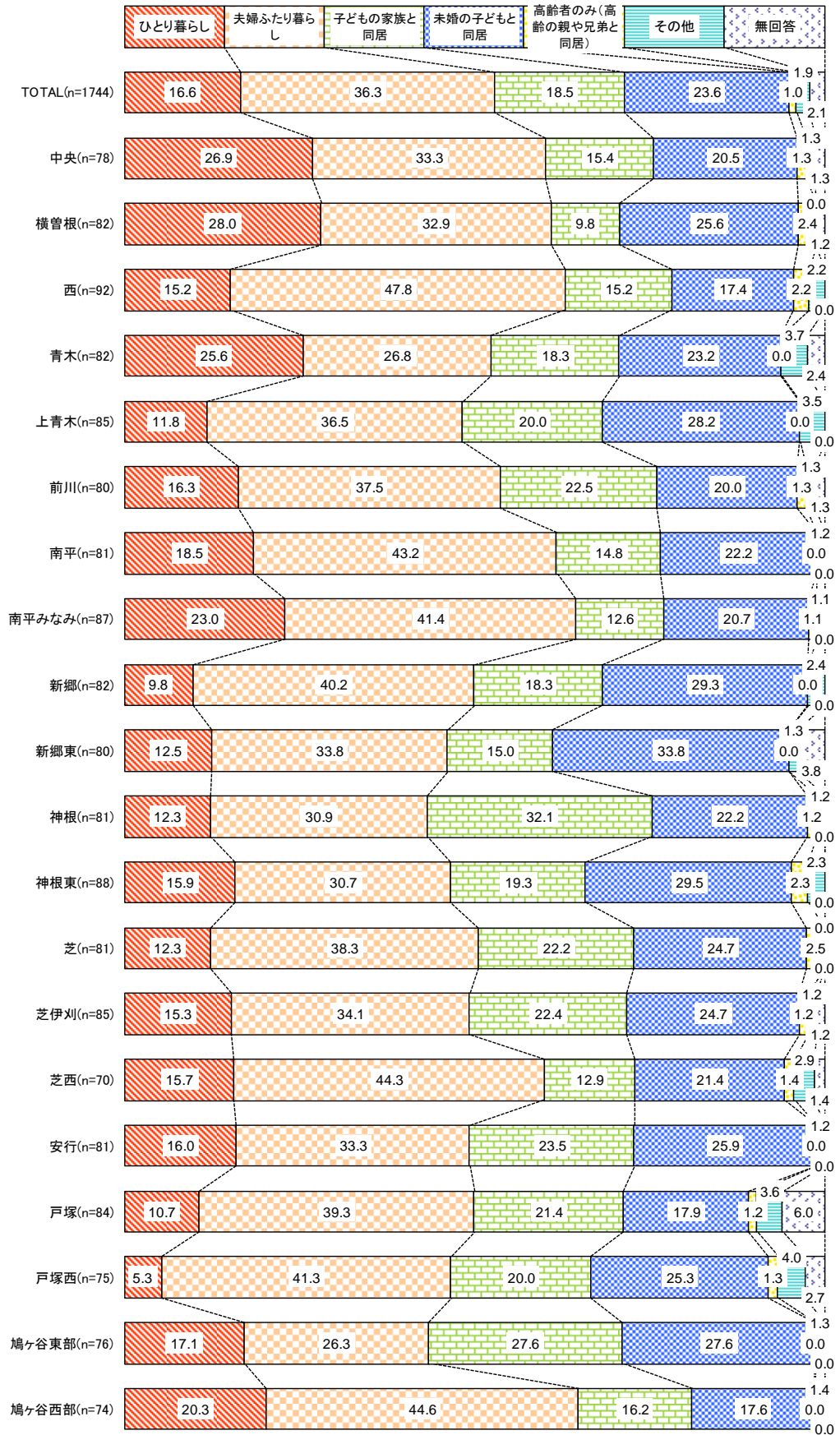


## II 市民調査結果の概要

### 問4 世帯状況

【表例】\*問1 地域包括支援センター エリア区分

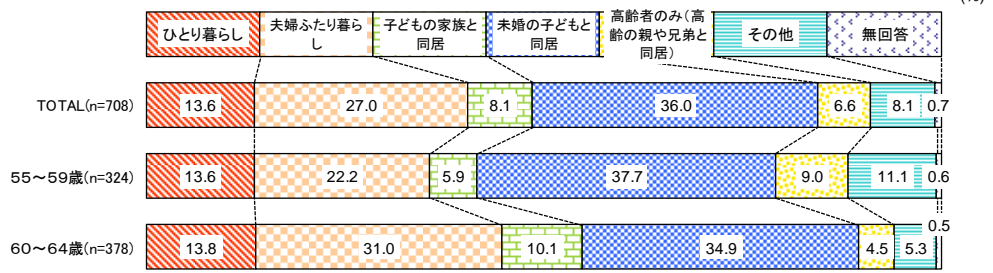
(%)



(2号被保険者:55~64歳)

問4 世帯状況

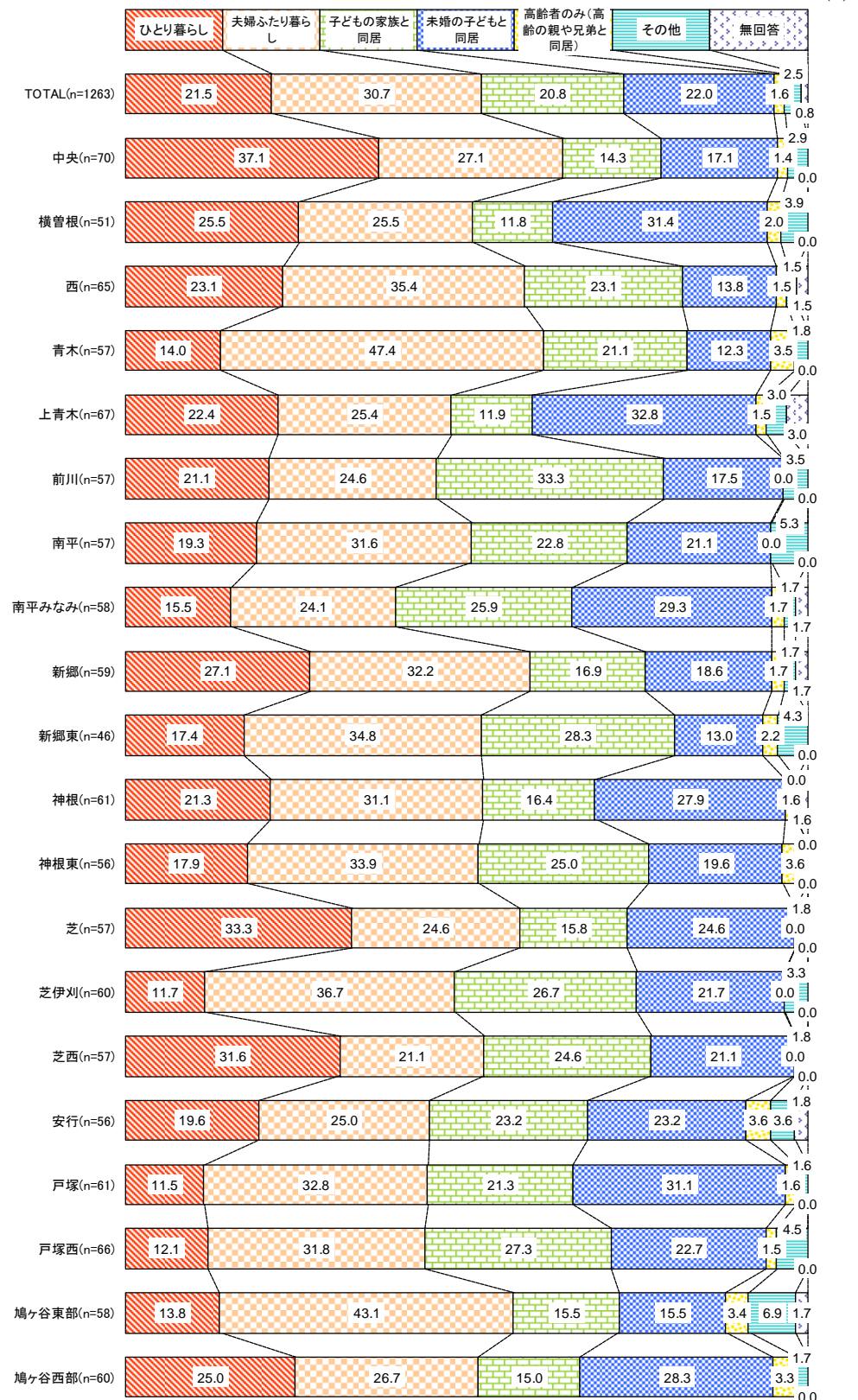
【表例】問3 年齢



(在宅サービス利用者)

問4 世帯状況

【表例】\* 問1 地域包括支援センター エリア区分



1.3 住居形態

65歳以上全体における住居形態は、「持ち家の戸建て住宅」が70.9%で最も高く、次いで「持ち家の集合住宅」が13.9%となっている。

年齢別では、「後期高齢者」は「持ち家の戸建て住宅」が76.4%と、「前期高齢者」の63.5%と比べて12.9ポイント高くなっている。「前期高齢者」は、「持ち家の集合住宅」が19.0%で「後期高齢者」と比べて8.0ポイント高く、「民間賃貸住宅」は12.7%で「後期高齢者」と比べて5.1ポイント高くなっている。

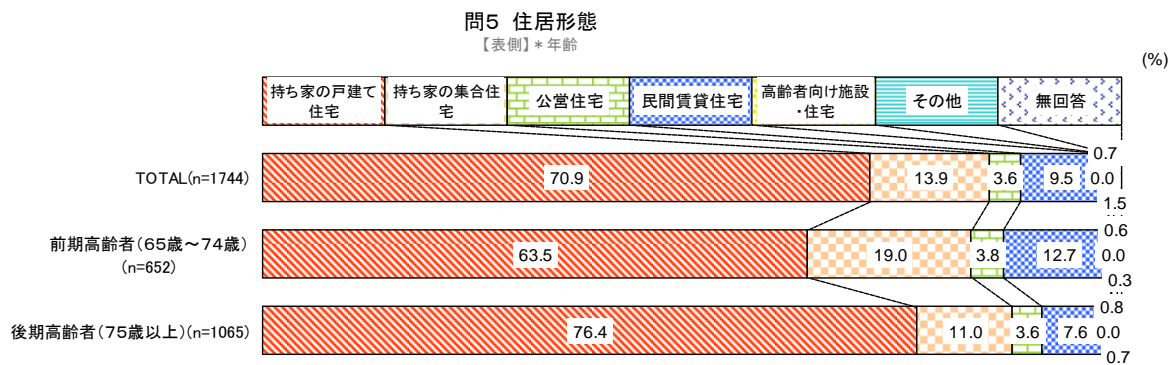
2号被保険者全体における住居形態は、「持ち家の戸建て住宅」が56.8%と最も高く、次いで「持ち家の集合住宅」が23.2%、「民間賃貸住宅」が15.3%となっている。

年齢別では、特に目立った差はみられない。

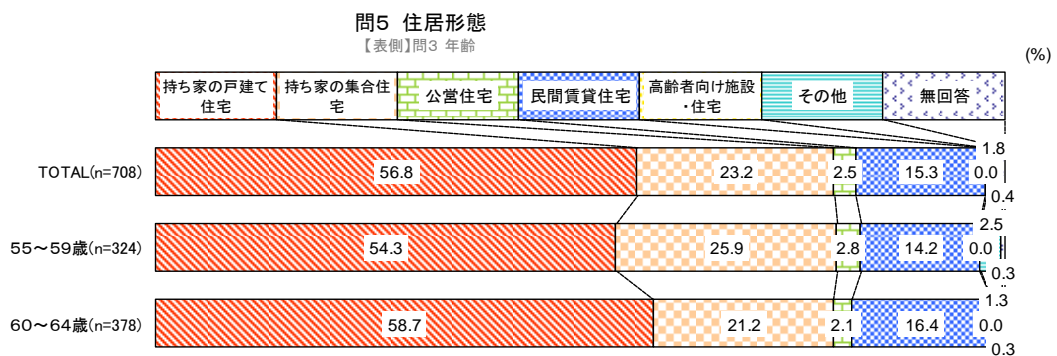
在宅サービス利用者全体における住居形態は、「持ち家の戸建て住宅」が66.1%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅」が15.5%、「持ち家の集合住宅」が13.5%となっている。

地域包括支援センターエリア別では、「持ち家の戸建て住宅」が多いのは「新郷東」と「戸塚西」で80%以上、「持ち家の集合住宅」は「中央」が40%以上、「公営住宅」は「神根」と「芝西」が10%以上、「民間賃貸住宅」は「上青木」「芝」「戸塚」で20%以上となっている。

(65歳以上)



(2号被保険者:55~64歳)

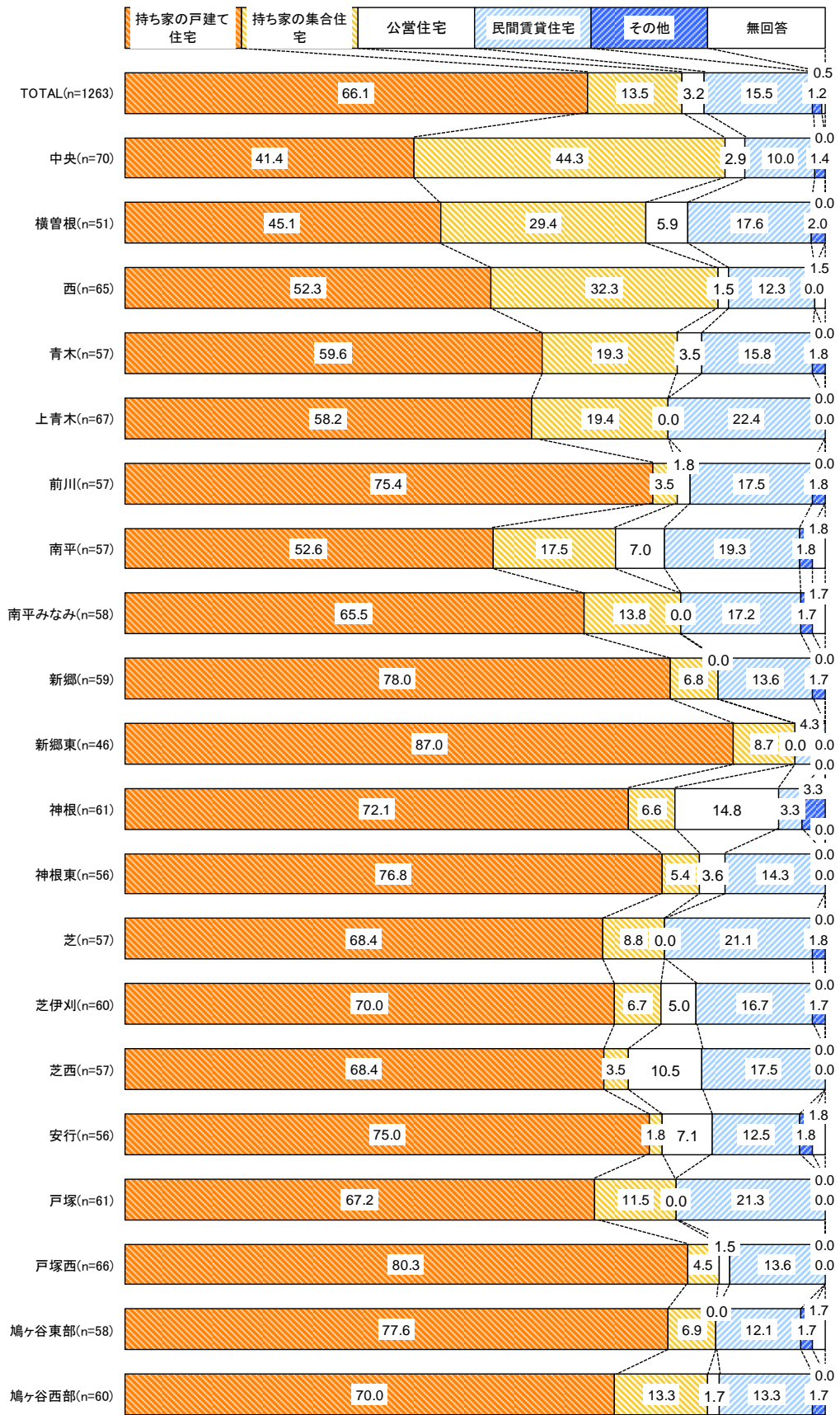


# (在宅サービス利用者)

## 問5 住居形態

【表例】\* 問1 地域包括支援センター エリア区分

(%)



## 【2. 日常生活や社会活動】

### 2.1 勤務状況

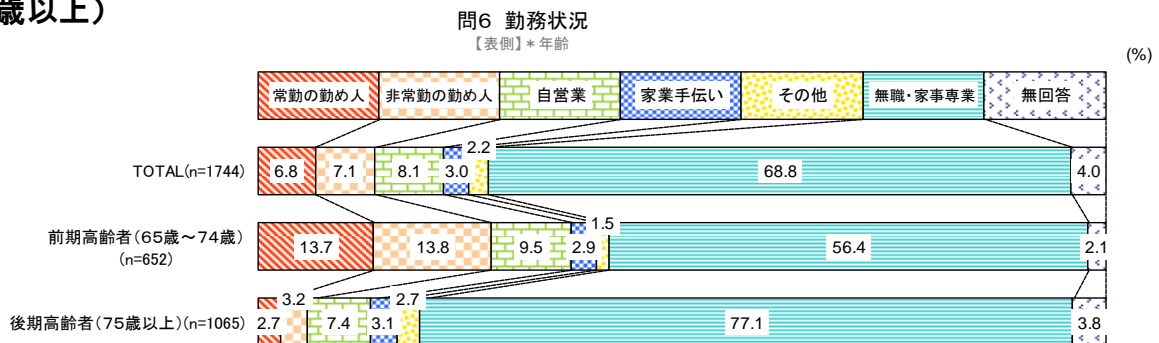
65歳以上全体における勤務状況は、「無職・家事専業」が68.8%と最も高く、次いで「自営業」が8.1%、「非常勤の勤め人」が7.1%、「常勤の勤め人」が6.8%となっている。

年齢別では、「前期高齢者」は「常勤の勤め人」が13.7%で「後期高齢者」と比べて11.0ポイント高く、「非常勤の勤め人」は13.8%で「後期高齢者」と比べて10.6ポイント高くなっている。「後期高齢者」は「無職・家事専業」が77.1%で「前期高齢者」と比べて20.7ポイント高くなっている。

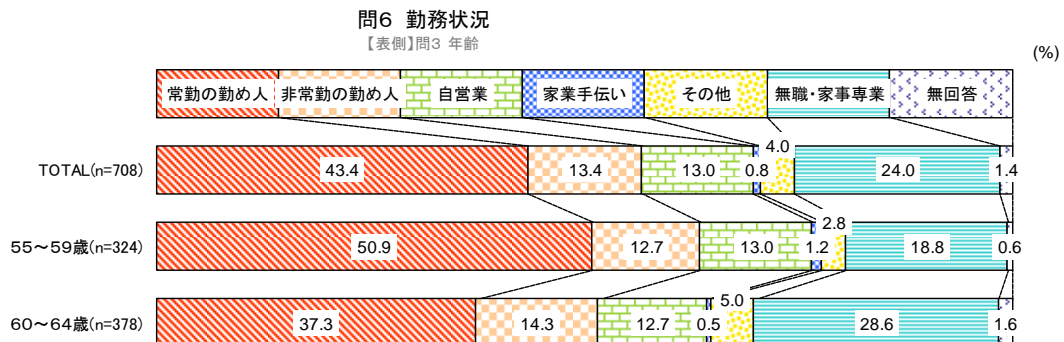
2号被保険者全体における勤務状況は、「常勤の勤め人」が43.4%で最も高く、次いで「無職・家事専業」が24.0%となっている。

年齢別では、「55～59歳」は「常勤の勤め人」が50.9%で「60～64歳」と比べて13.6ポイント高くなっている。「60～64歳」は「無職・家事専業」が28.6%で「55～59歳」と比べて9.8ポイント高くなっている。

#### (65歳以上)



#### (2号被保険者:55～64歳)



## 2.2 勤労意向

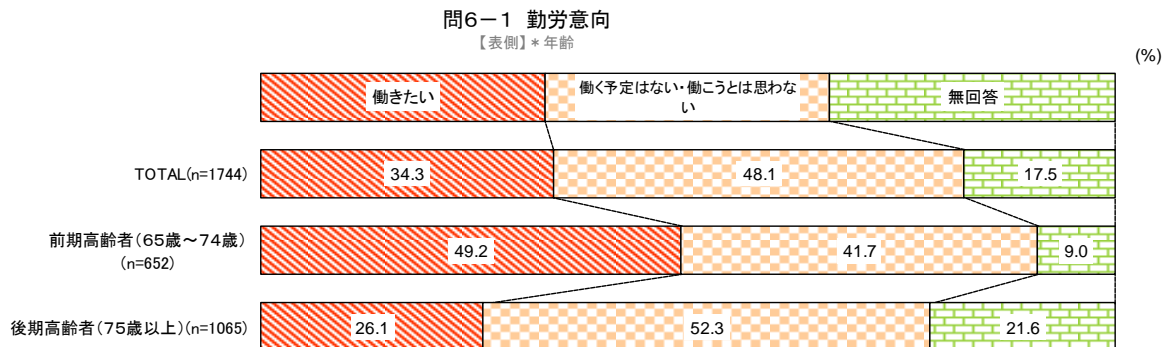
65歳以上全体における勤労意向は、「働く予定はない・働こうとは思わない」が48.1%で最も高く、次いで「働きたい」が34.3%となっている。

年齢別では、「前期高齢者」は「働きたい」が49.2%で、「後期高齢者」と比べて23.1ポイント高くなっている。「後期高齢者」は、「働く予定はない・働こうとは思わない」が52.3%で「前期高齢者」と比べて10.6ポイント高くなっている。

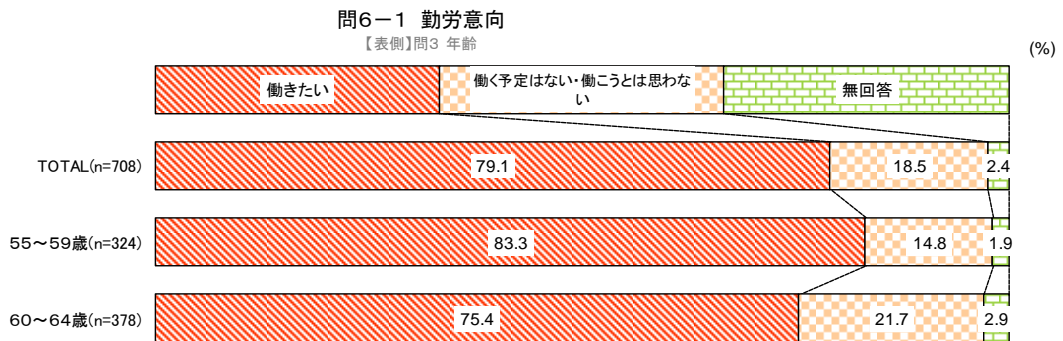
2号被保険者全体における勤労意向は、「働きたい」が79.1%で最も高く、「働く予定はない・働こうとは思わない」は18.5%となっている。

年齢別では、「55～59歳」は「働きたい」が83.3%で「60～64歳」と比べて7.9ポイント高く、「60～64歳」は「働く予定はない・働こうとは思わない」が21.7%で「55～59歳」と比べて6.9ポイント高くなっている。

### (65歳以上)



### (2号被保険者:55～64歳)





**2.3 望ましい働き方**

65歳以上の勤労予定・意向者における望ましい働き方は、「定年前と同じ職場だが、仕事の内容や時間を軽減して働く」が27.5%で最も高く、次いで「パートやアルバイトで働く」が26.4%となっている。

年齢別では、「前期高齢者」は「パートやアルバイトで働く」が34.0%で「後期高齢者」と比べて16.4ポイント高く、「定年前と同じ職場だが、仕事の内容や時間を軽減して働く」が31.5%で「後期高齢者」と比べて8.5ポイント高くなっている。「後期高齢者」は「趣味や好きなことを活かした仕事をする」が24.5%で「前期高齢者」と比べて13.9ポイント高くなっている。

2号被保険者の勤労予定・意向者における望ましい働き方は、「定年前と同じ職場だが、仕事の内容や時間を軽減して働く」が33.2%で最も高く、次いで「パートやアルバイトで働く」が24.8%、「定年前と同等の時間・内容で働く」が22.5%となっている。

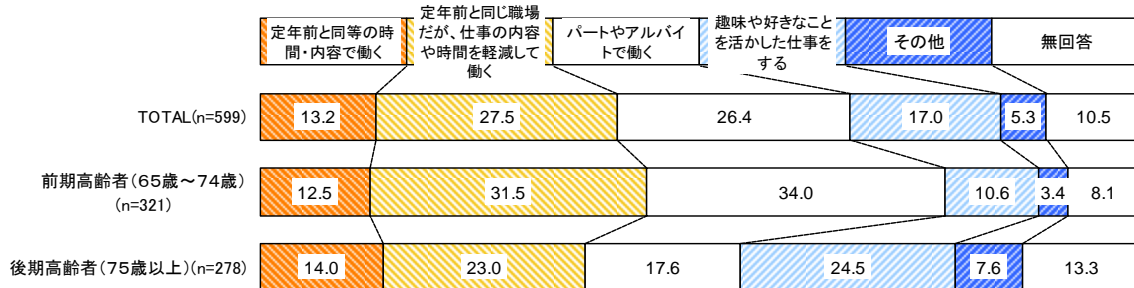
年齢別では、「55～59歳」は「趣味や好きなことを活かした仕事をする」が17.0%で「60～64歳」と比べて6.5ポイント高くなっている。「60～64歳」は「パートやアルバイトで働く」が28.8%で「55～59歳」と比べて7.7ポイント高くなっている。

**(65歳以上)**

問6-2 望ましい働き方【ベース:勤労の予定・意向あり】

【表例】\*年齢

(%)

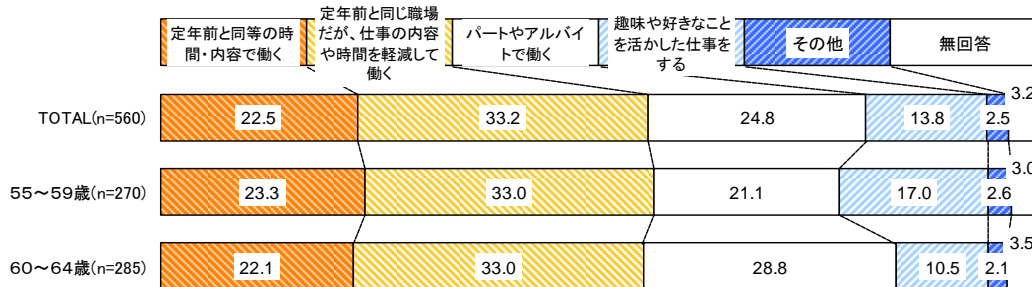


**(2号被保険者:55～64歳)**

問6-2 望ましい働き方【ベース:勤労の予定・意向あり】

【表例】問3 年齢

(%)



## 2.4 自宅での平日日中の状況

65歳以上全体における自宅での平日日中の状況は、「家族または友人などといることが多い」が40.5%で最も高く、次いで「ひとりであることが多い」が30.4%、「普段の平日は家にいないことが多い」が24.5%となっている。

年齢別では、「前期高齢者」は「普段の平日は家にいないことが多い」が35.3%で「後期高齢者」と比べて16.9ポイント高くなっている。「後期高齢者」は「家族または友人などといることが多い」が44.6%で「前期高齢者」と比べて10.7ポイント高くなっている。

世帯状況別では、「ひとり暮らし」は「ひとりであることが多い」が61.9%で最も高く、「夫婦ふたり暮らし」「子どもの家族と同居」「未婚の子供と同居」は「家族または友人などといることが多い」が最も高くなっている。次いで、「夫婦ふたり暮らし」は「普段の平日は家にいないことが多い」が高く、「子どもの家族と同居」「未婚の子供と同居」は「ひとりであることが多い」が高くなっている。

2号被保険者全体における自宅での平日日中の状況は、「普段の平日は家にいないことが多い」が66.0%で最も高く、次いで「ひとりであることが多い」が19.1%、「家族または友人などといることが多い」が14.0%となっている。

年齢別では、「55～59歳」は「普段の平日は家にいないことが多い」が70.7%で「60～64歳」と比べて8.5ポイント高く、「60～64歳」は「ひとりであることが多い」が21.4%で「55～59歳」と比べて5.0ポイント高くなっている。

在宅サービス利用者全体における自宅での平日日中の状況は、「ひとりであることが多い」が45.8%で最も高く、次いで「家族または友人などといることが多い」が40.0%となっている。

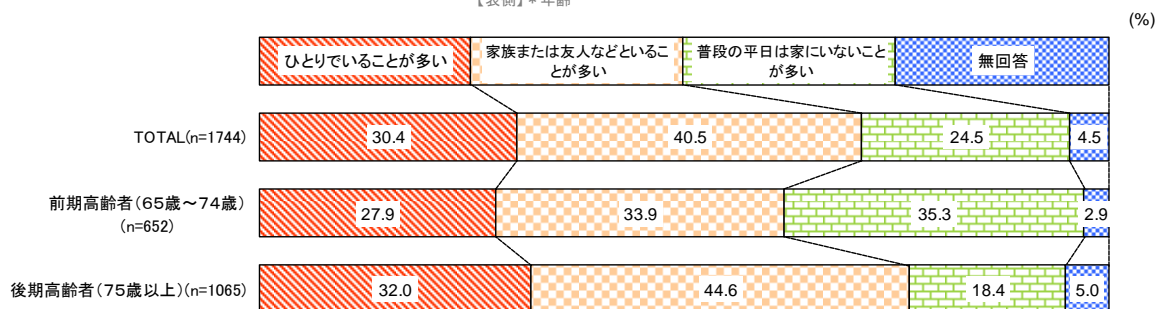
介護度別では、「要支援1」～「要介護1」までは「ひとりであることが多い」の方が「家族または友人などといることが多い」と比べて高いが、「要介護2」「要介護3」で同じくらいの割合となり、「要介護4」「要介護5」は「家族または友人などといることが多い」の方が高く、「ひとりであることが多い」の約2倍の割合となっている。

地域包括支援センターエリア別では、「芝西」は「ひとりであることが多い」が60%以上、「南平みなみ」「神根」「芝」「安行」は50%以上と相対的に高く、「家族または友人などといることが多い」は「青木」「芝伊刈」で50%以上と高くなっている。

### (65歳以上)

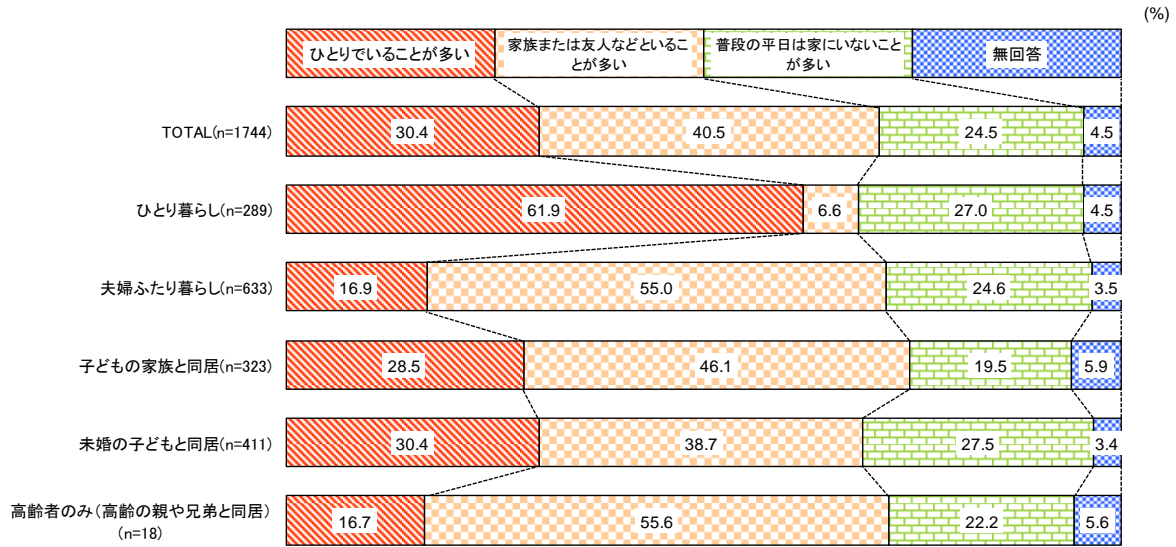
問8 自宅での平日日中の状況

【表例】\*年齢



問8 自宅での平日日中の状況

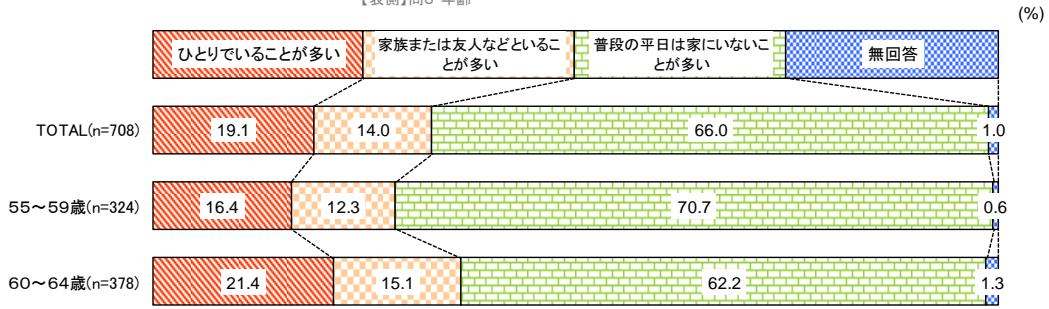
【表例】\*問4 世帯状況



(2号被保険者:55~64歳)

問8 自宅での平日日中の状況

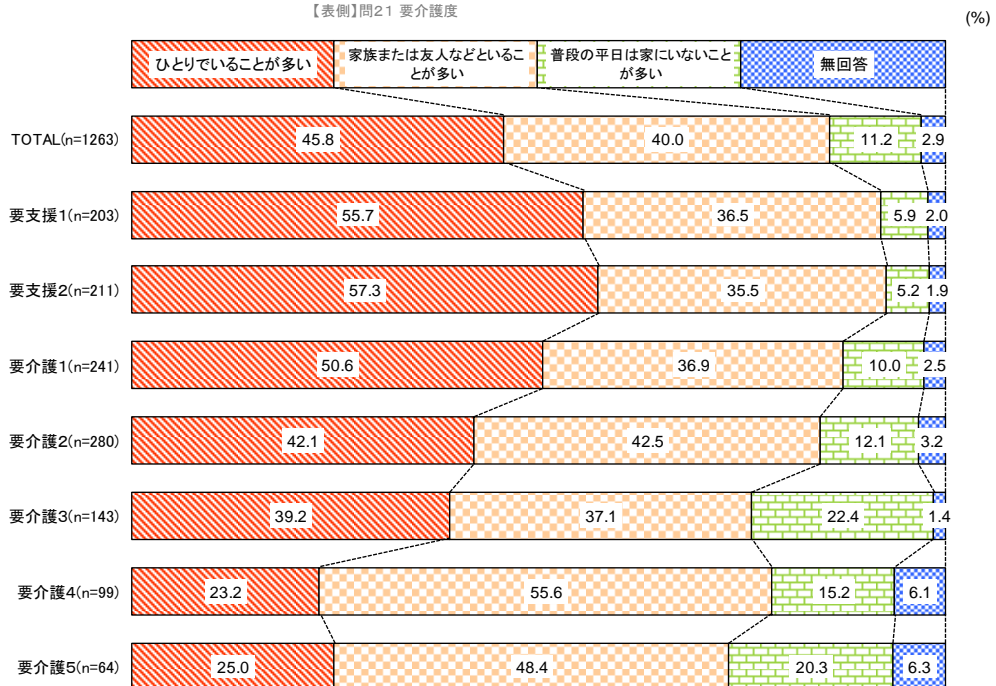
【表例】問3 年齢



(在宅サービス利用者)

問7 自宅での平日日中の状況

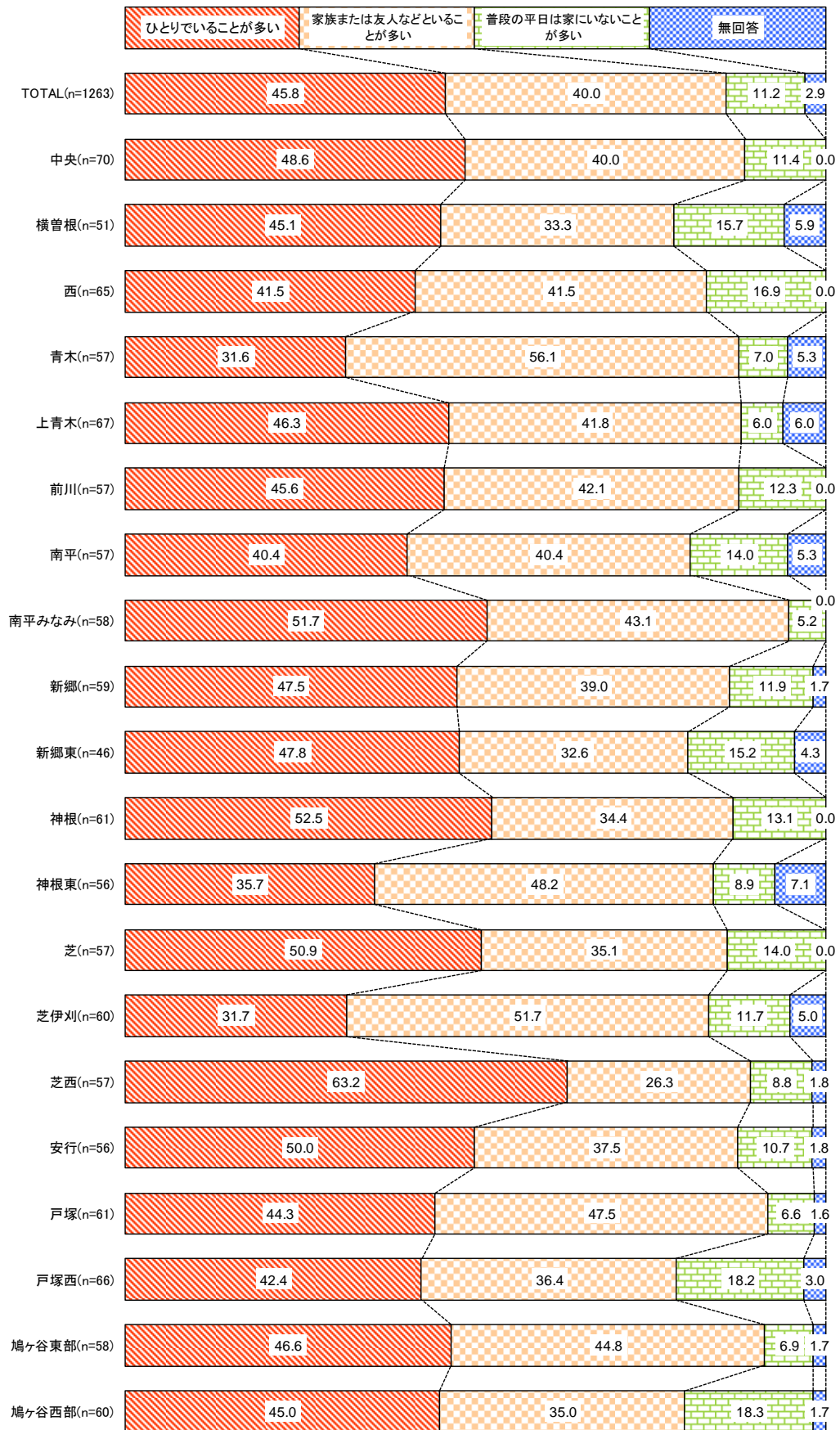
【表例】問21 要介護度



問7 自宅での平日日中の状況

【表例】\* 問1 地域包括支援センター エリア区分

(%)



2.5 普段の運動について

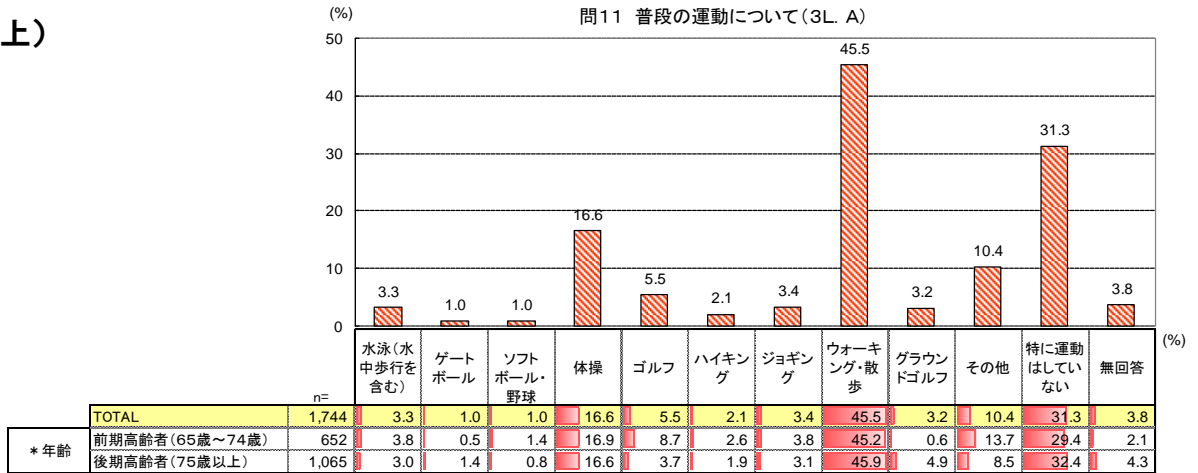
65歳以上全体における普段の運動については、「ウォーキング・散歩」が45.5%で最も高く、次いで「体操」が16.6%となっている。「特に運動はしていない」は31.3%である。

年齢別では、「前期高齢者」は「ゴルフ」が8.7%で「後期高齢者」と比べて5.0ポイント高くなっている。

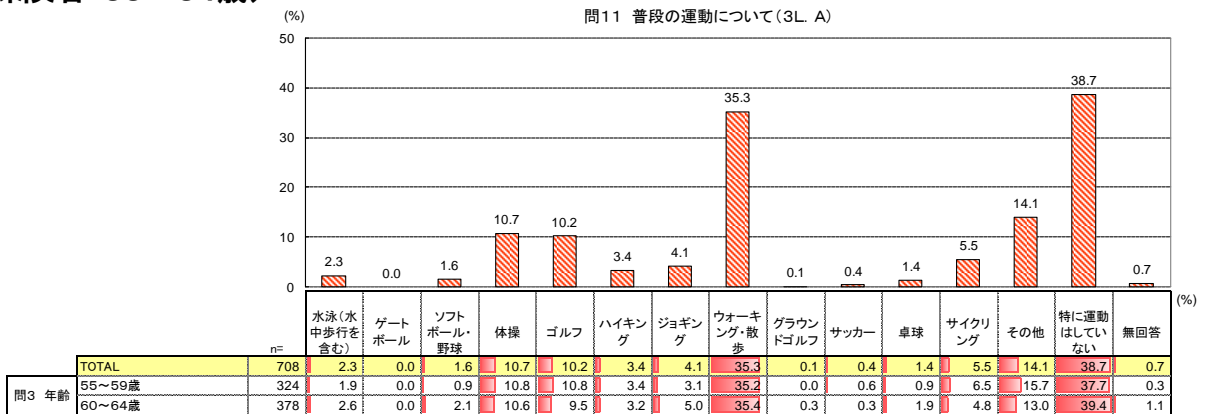
2号被保険者全体における普段の運動については、「ウォーキング・散歩」が35.3%で最も高く、次いで「体操」が10.7%、「ゴルフ」が10.2%となっている。「特に運動はしていない」は38.7%で、「ウォーキング・散歩」より高くなっている。

年齢別では、顕著な違いはみられない。

(65歳以上)



(2号被保険者:55~64歳)

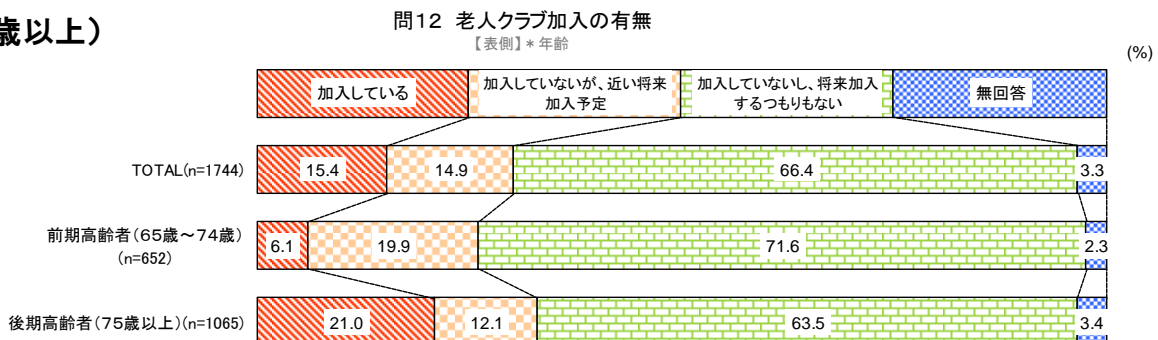


2.6.1 老人クラブ加入の有無

65歳以上全体における老人クラブ加入の有無は、「加入していないし、将来加入するつもりもない」が66.4%で最も高く、「加入している」は15.4%、「加入していないが、近い将来加入予定」は14.9%となっている。

年齢別では、「前期高齢者」は「加入していないし、将来加入するつもりもない」が71.6%で「後期高齢者」と比べて8.1ポイント高く、「加入していないが、近い将来加入予定」は19.9%で「後期高齢者」と比べて7.8ポイント高くなっている。「後期高齢者」は「加入している」が21.0%で「前期高齢者」と比べて14.9ポイント高くなっている。

(65歳以上)

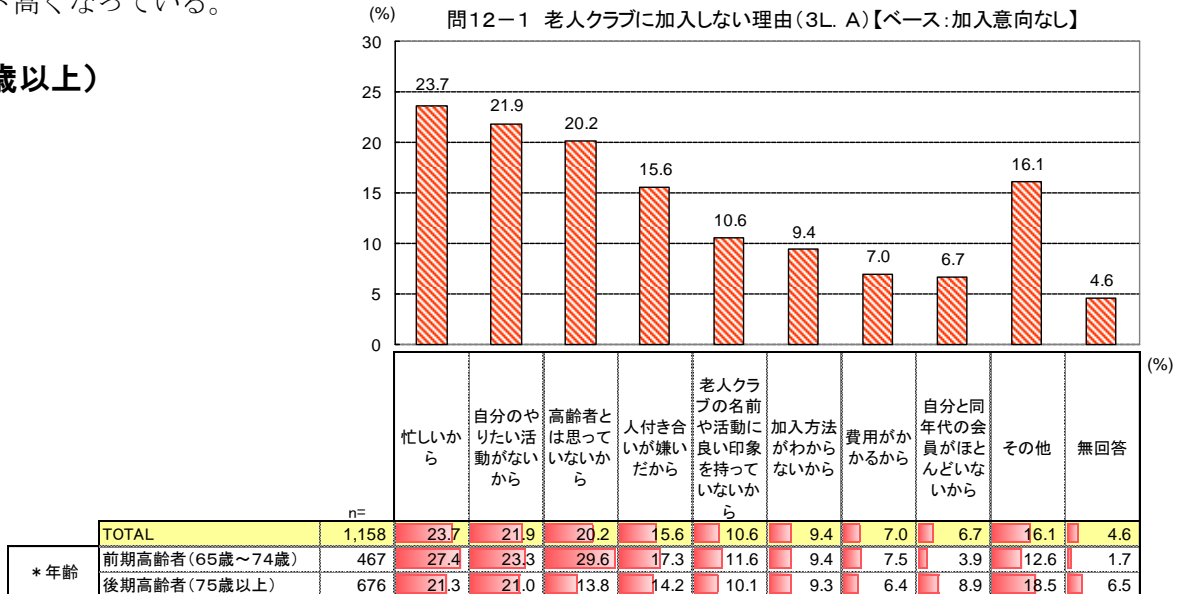


## 2.6.2 老人クラブに加入しない理由

65歳以上の加入意向がない人における老人クラブに加入しない理由は、「忙しいから」が23.7%で最も高く、次いで「自分のやりたい活動がないから」が21.9%、「高齢者とは思っていないから」が20.2%となっている。

年齢別では、「前期高齢者」は「高齢者とは思っていないから」が29.6%で「後期高齢者」と比べて15.8ポイント高く、「忙しいから」が27.4%で「後期高齢者」と比べて6.1ポイント高くなっている。「後期高齢者」は、「自分と同年代の会員がほとんどいないから」が8.9%で前期高齢者と比べて5.0ポイント高くなっている。

(65歳以上)



## 2.7 現在の住まいでの居住継続意向

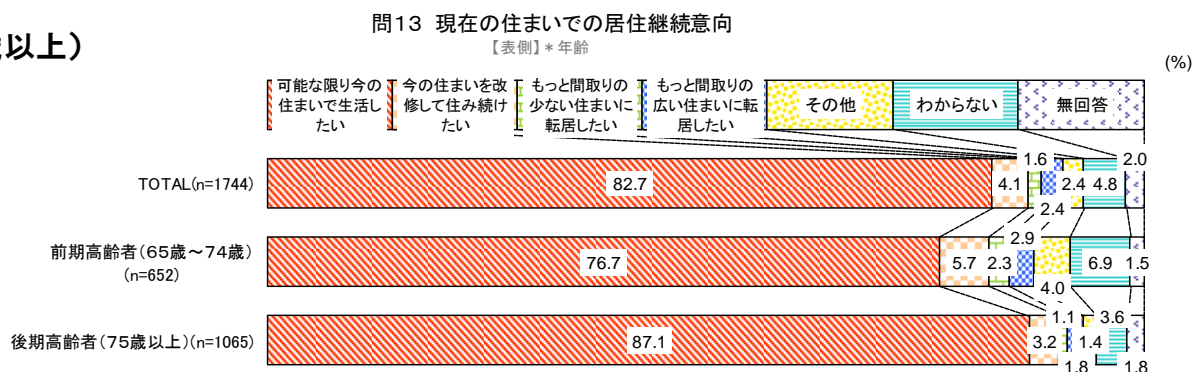
65歳以上全体における現在の住まいでの居住継続意向は、「可能な限り今の住まいで生活したい」が82.7%で最も高くなっている。

年齢別では、「後期高齢者」は「可能な限り今の住まいで生活したい」が87.1%で「前期高齢者」と比べて10.4ポイント高くなっている。

2号被保険者全体における現在の住まいでの居住継続意向は、「可能な限り今の住まいで生活したい」が65.3%で最も高く、次いで「今の住まいを改修して住み続けたい」が9.9%となっている。「わからない」は10.9%となっている。

年齢別では、「60~64歳」は「可能な限り今の住まいで生活したい」が69.0%で、「55~59歳」と比べて7.9ポイント高くなっている。

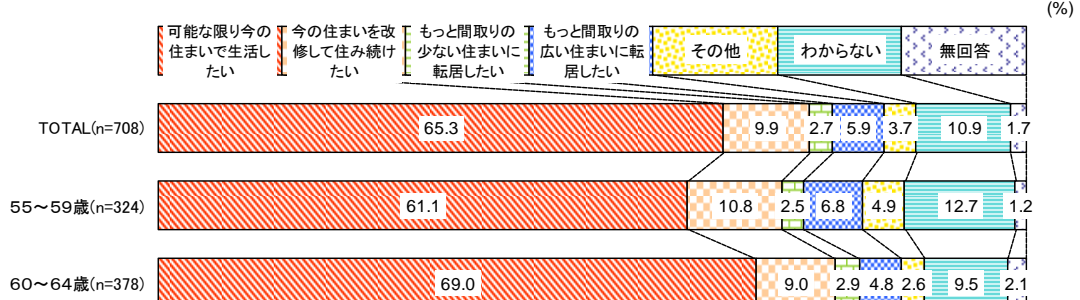
(65歳以上)



(2号被保険者:55~64歳)

問12 現在の住まいでの居住継続意向

【表例】問3 年齢



**2.8.1 孤独死を身近な問題と感ずる度合い**

65歳以上全体における孤独死を身近な問題と感ずる度合いは、「感ずない 計（「あまり感ずない」と「まったく感ずない」の合計値）」は51.6%と半数以上で、「感ずる 計（「非常に感ずる」と「まあまあ感ずる」の合計値）」は30.6%となっている。

年齢別では、「前期高齢者」は「感ずない 計」の割合が55.2%で、「後期高齢者」と比べて5.1ポイント高くなっている。

2号被保険者全体における孤独死を身近な問題と感ずる度合いは、「感ずない 計」53.6%で、「感ずる 計」の37.7%と比べて15.9ポイント高くなっている。

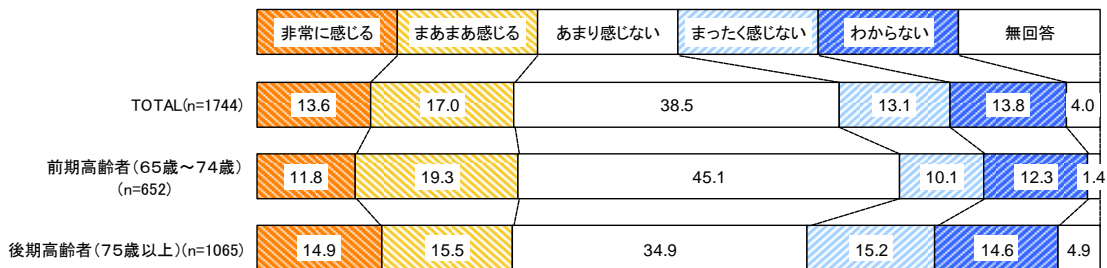
年齢別では、「55～59歳」は「感ずる 計」の割合が42.9%で「60～64歳」と比べて9.0ポイント高くなっている。

**(65歳以上)**

問14 孤独死を身近な問題と感ずる度合い

【表例】\*年齢

(%)

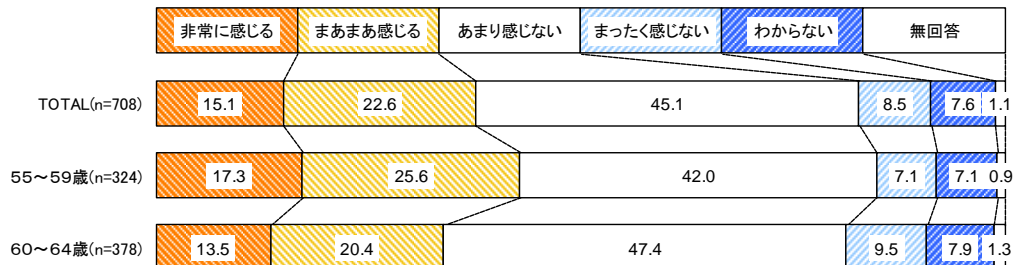


**(2号被保険者:55～64歳)**

問13 孤独死を身近な問題と感ずる度合い

【表例】問3 年齢

(%)



## 2.8.2 孤独死を身近だと感じる理由

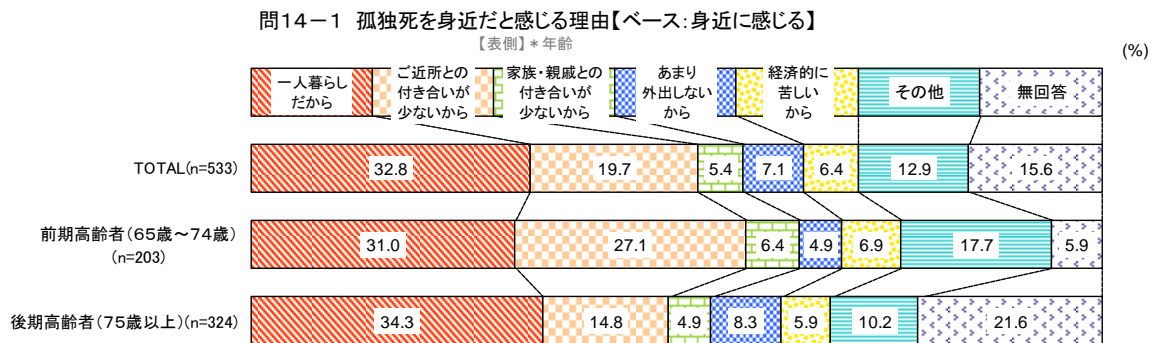
65歳以上で孤独死を身近と感じる人における孤独死を身近だと感じる理由は、「一人暮らしだから」が32.8%で最も高く、次いで「ご近所との付き合いが少ないから」が19.7%となっている。

年齢別では、「前期高齢者」は「ご近所との付き合いが少ないから」が27.1%で「後期高齢者」と比べて12.3ポイント高くなっている。

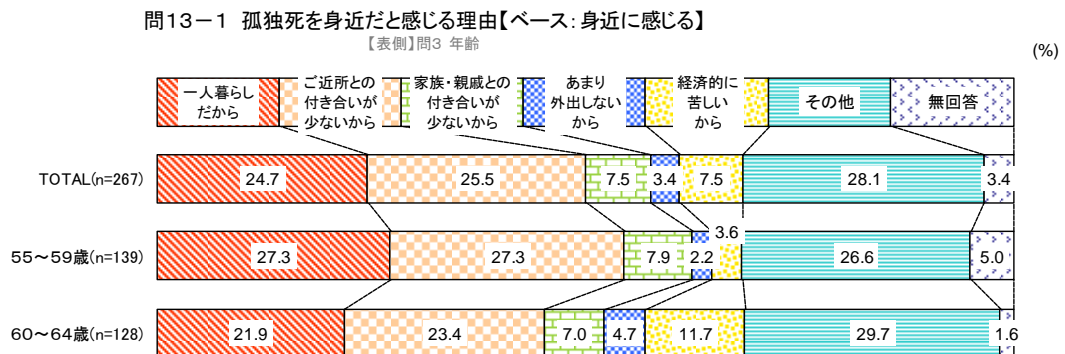
2号被保険者で孤独死を身近と感じる人における孤独死を身近だと感じる理由は、「ご近所との付き合いが少ないから」が25.5%で最も高く、次いで「一人暮らしだから」が24.7%となっている。また、「その他」を回答した人も28.1%と一定割合存在している。

年齢別では、「55～59歳」は「一人暮らしだから」が27.3%で「60～64歳」と比べて5.4ポイント高く、「60～64歳」は「経済的に苦しいから」が11.7%で「55～59歳」と比べて8.1ポイント高くなっている。

### (65歳以上)



### (2号被保険者:55~64歳)





**2.9.1 参加・継続したい地域活動**

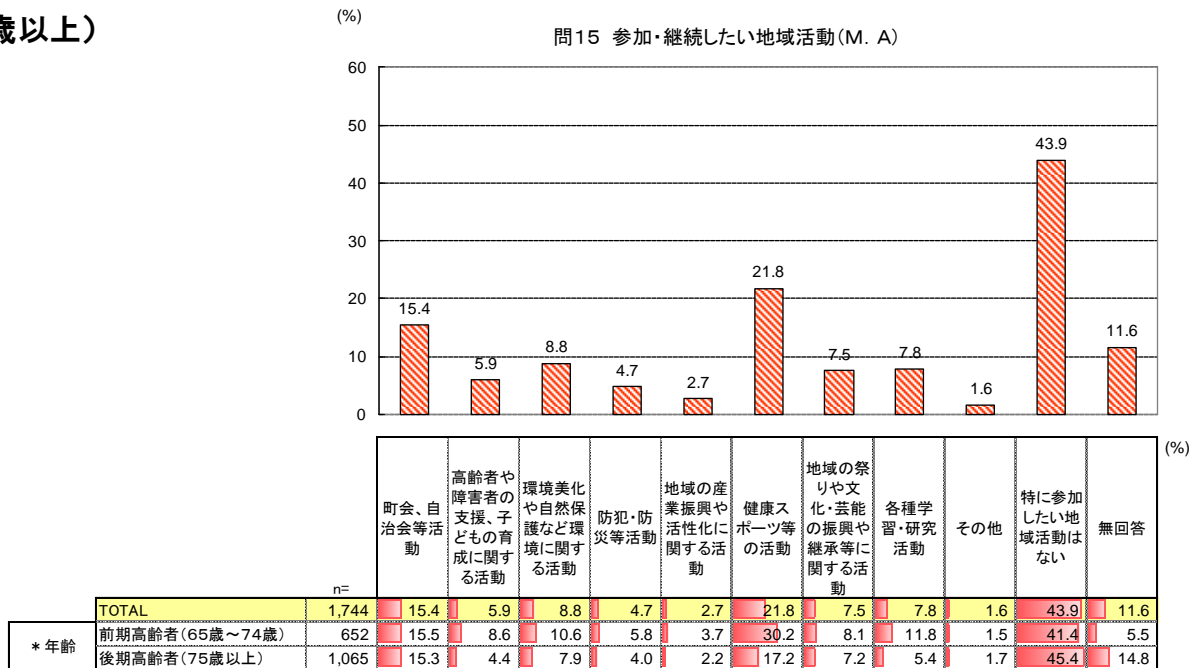
65歳以上全体における参加・継続したい地域活動は、「特に参加したい地域活動はない」が43.9%で最も高くなっている。次いで、「健康スポーツ等の活動」が21.8%、「町会、自治会等活動」が15.4%となっている。

年齢別では、「前期高齢者」は「健康スポーツ等の活動」が30.2%で「後期高齢者」と比べて13.0ポイント高く、「各種学習・研究活動」が11.8%で「後期高齢者」と比べて6.4ポイント高くなっている。

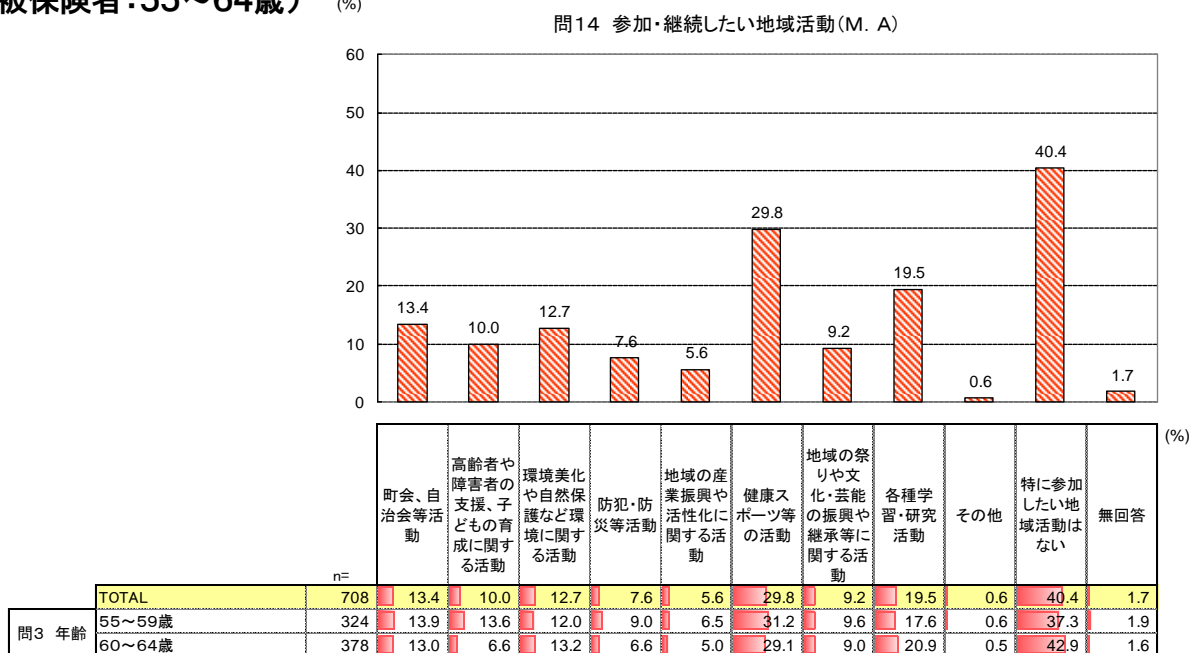
2号被保険者全体における参加・継続したい地域活動は、「特に参加したい地域活動はない」が40.4%で最も高く、次いで「健康スポーツ等の活動」が29.8%、「各種学習・研究活動」が19.5%となっている。

年齢別では、「55～59歳」は「高齢者や障害者の支援、子どもの育成に関する活動」が13.6%で「60～64歳」と比べて7.0ポイント高くなっている。「60～64歳」は「特に参加したい地域活動はない」は42.9%で「55～59歳」と比べて5.6ポイント高くなっている。

**(65歳以上)**



**(2号被保険者:55～64歳)**



## 2.9.2 グループ活動 参加者としての参加意向

65歳以上全体におけるグループ活動への参加者としての参加意向は、「参加してもよい」が48.3%で、「参加意向有り 計（「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計値）」は59.3%と6割弱となっている。「参加したくない」が33.2%である。

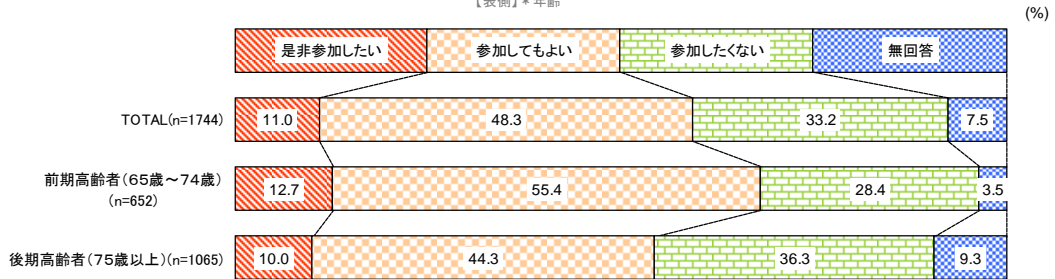
年齢別では、「前期高齢者」は「参加してもよい」が55.4%で「後期高齢者」と比べて11.1ポイント高く、「後期高齢者」は「参加したくない」が36.3%で「前期高齢者」と比べて7.9ポイント高くなっている。

地域包括支援センターエリア別では、「参加意向有り 計」は「鳩ヶ谷東部」が71.1%で最も高く、「西」「青木」「南平みなみ」「安行」も65%以上となっている。「参加したくない」は「上青木」と「前川」が40%以上と高くなっている。

### (65歳以上)

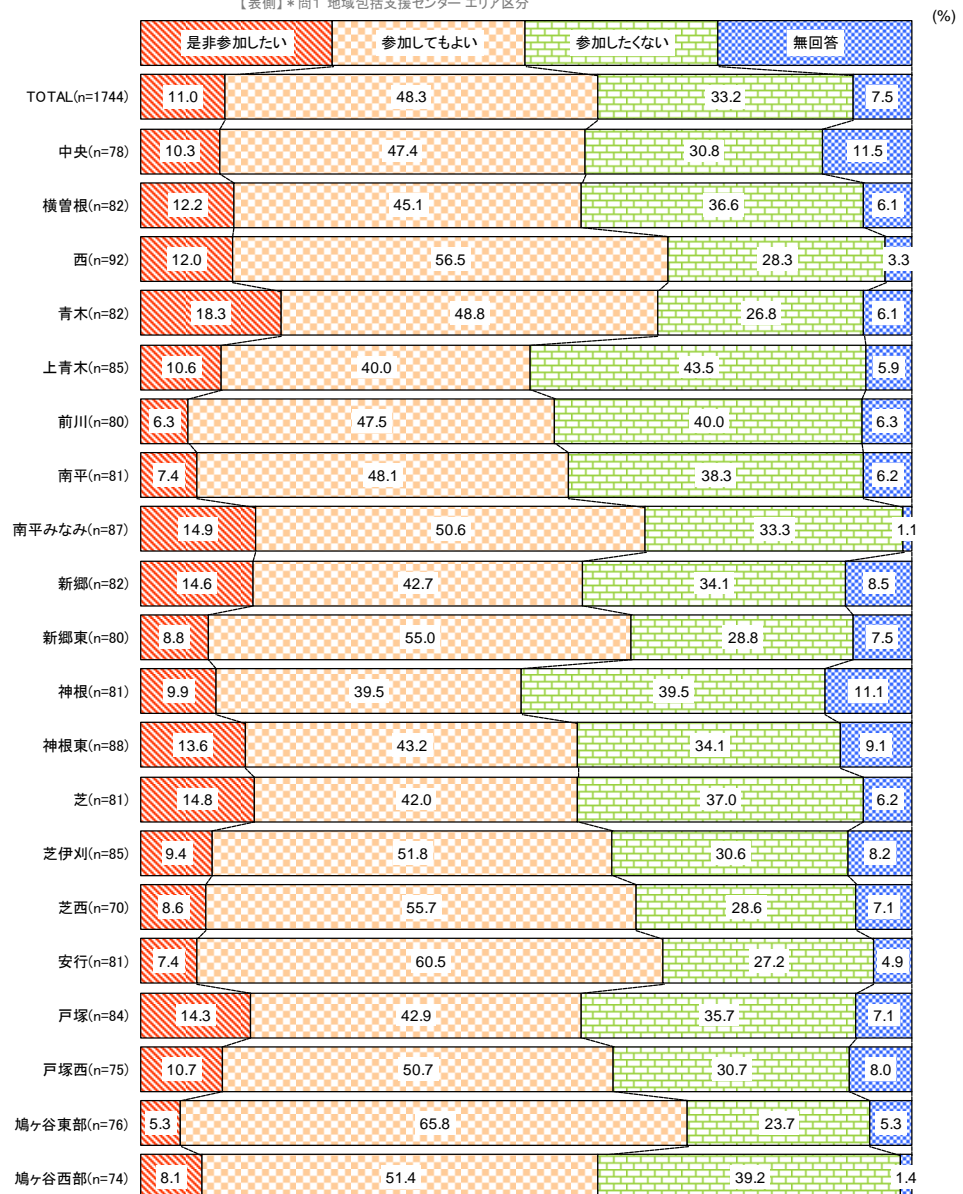
問16 グループ活動 参加者としての参加意向

【表例】\*年齢



問16 グループ活動 参加者としての参加意向

【表例】\*問1 地域包括支援センター エリア区分



**2.9.3 グループ活動 企画・運営としての参加意向**

65歳以上全体におけるグループ活動の企画・運営としての参加意向は、「参加意向有り 計（「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計値）」は 39.8%で、「参加したくない」は 50.3%と半数となっている。

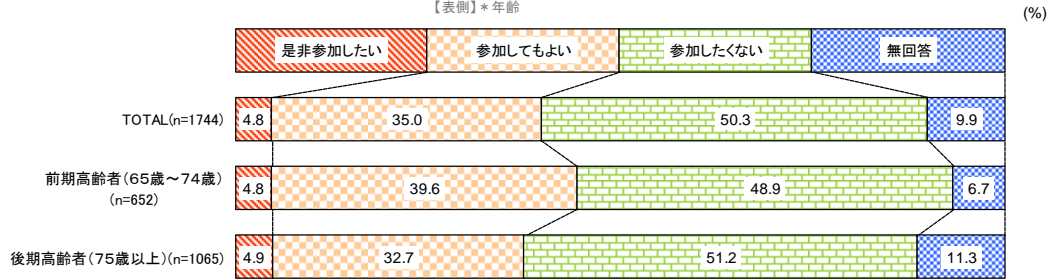
年齢別では、「前期高齢者」は「参加してもよい」は 39.6%で「後期高齢者」と比べて 6.9 ポイント高くなっている。

地域包括支援センターエリア別では、「参加意向有り 計」は「西」「安行」「戸塚西」で高く、45%以上となっている。「参加したくない」は「横曽根」「上青木」「新郷東」「鳩ヶ谷西部」で 55%以上となっている。

**(65歳以上)**

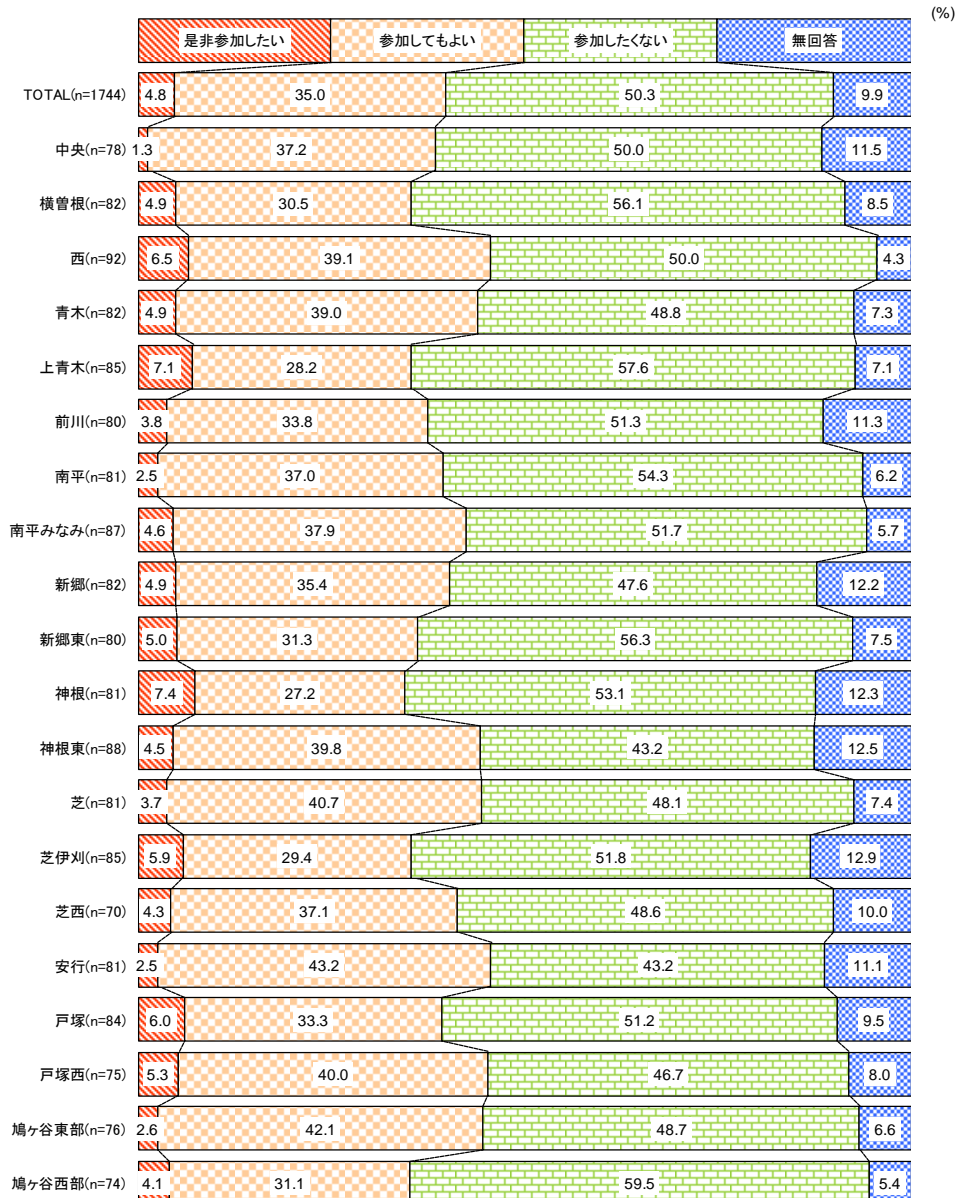
問16-1 グループ活動 企画・運営としての参加意向

【表例】\*年齢



問16-1 グループ活動 企画・運営としての参加意向

【表例】\*問1 地域包括支援センター エリア区分



## 2.10.1 現在の悩み事

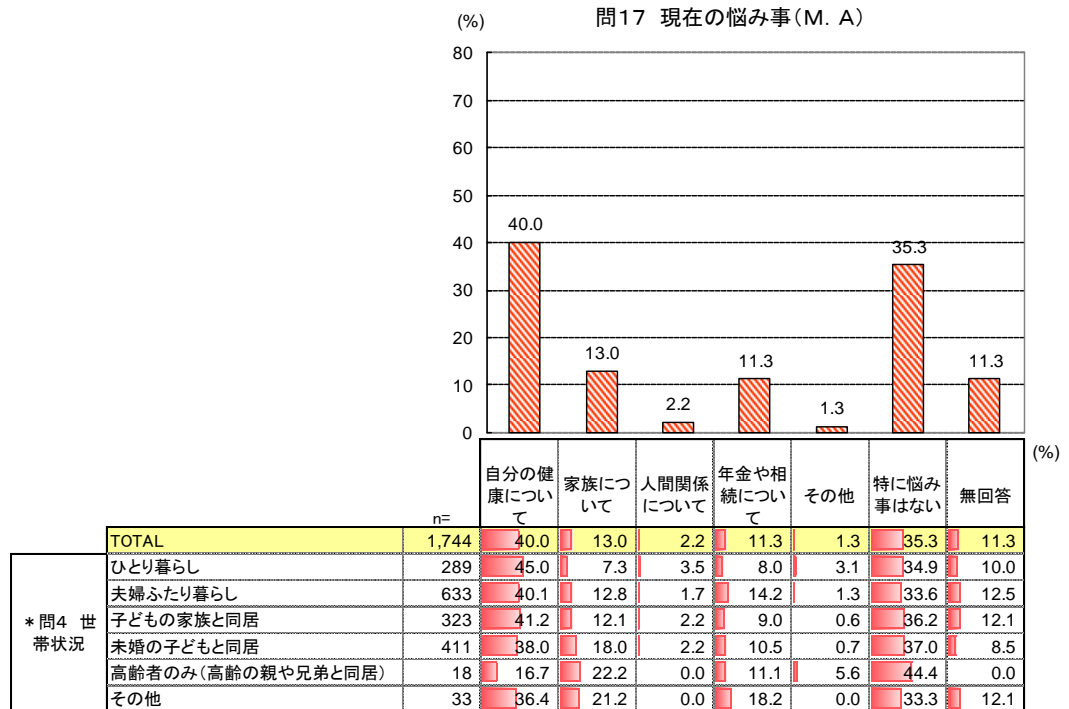
65歳以上全体における現在の悩み事は、「自分の健康について」が40.0%で最も高く、次いで「特に悩み事はない」が35.3%となっている。

世帯状況別では、「ひとり暮らし」は「自分の健康について」が45.0%で「65歳以上全体」と比べて5.0ポイント高くなっている。

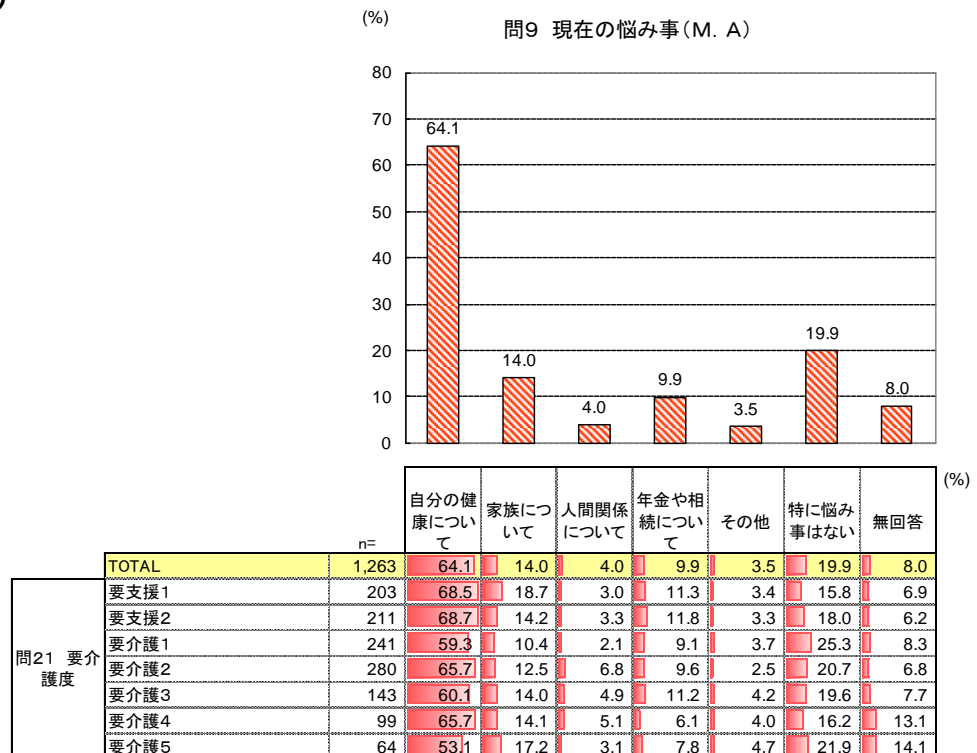
在宅サービス利用者全体における現在の悩み事は、「自分の健康について」が64.1%で最も高く、次いで「特に悩み事はない」が19.9%、「家族について」が14.0%となっている。

要介護度別では、「要支援1」「要支援2」は「自分の健康について」が「在宅サービス利用者全体」と比べてやや高くなっている（要支援1：68.5%、要支援2：68.7%）。

### (65歳以上)



### (在宅サービス利用者)



2.10.2 悩み事の相談相手

65歳以上で悩み事がある人における悩み事の相談相手は、「家族」が51.2%で最も高く、次いで「医師・看護師・保健師・薬剤師・カウンセラー」が25.9%、「誰にも相談していない」が21.0%となっている。

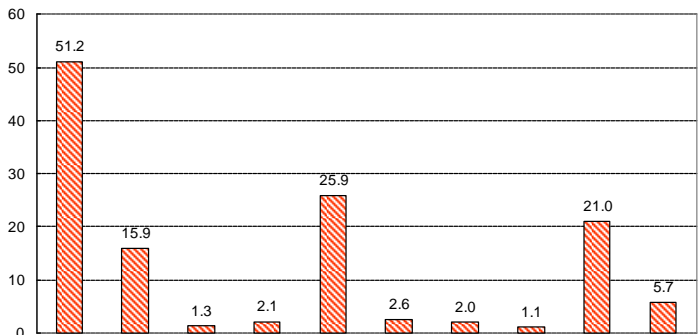
世帯状況別では、「ひとり暮らし」は「家族」が「65歳以上全体」と比べて低く、「友人」に相談する割合は25.2%と「65歳以上全体」と比べて9.3ポイント高くなっている。また、「誰にも相談していない」も27.0%と「65歳以上全体」と比べて6.0ポイント高くなっている。「夫婦ふたり暮らし」と「子どもの家族と同居」は「家族」が「65歳以上全体」と比べて5ポイント以上高くなっている。「子どもの家族と同居」は、「誰にも相談していない」が「65歳以上全体」と比べて10.8ポイント低くなっている。

在宅サービス利用者で悩み事がある人における悩み事の相談相手は、「家族」が56.0%で最も高く、次いで「ケアマネジャー・ホームヘルパー」が40.3%、「医師・看護師・保健師・薬剤師・カウンセラー」が33.8%となっている。

要介護度別では、「要支援1」から「要介護2」にかけては、介護度が上がるにつれて「ケアマネジャー・ホームヘルパー」が高くなっている。また、「要介護4」と「要介護5」は、「ケアマネジャー・ホームヘルパー」が50%以上となっている。

(65歳以上)

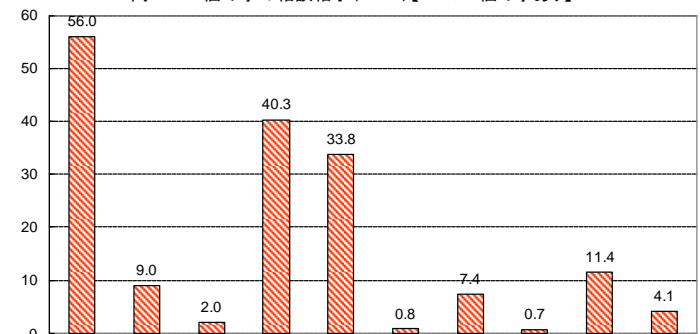
問17-1 悩み事の相談相手(M. A)【ベース:悩み事あり】



*問4 世帯状況	n=	相談相手 (%)									
		家族	友人	民生委員・町会の人	ケアマネジャー・ホームヘルパー	医師・看護師・保健師・薬剤師・カウンセラー	弁護士・公認会計士などの専門家	地域包括支援センター	その他	誰にも相談していない	無回答
TOTAL	932	51.2	15.9	1.3	2.1	25.9	2.6	2.0	1.1	21.0	5.7
ひとり暮らし	159	34.0	25.2	2.5	1.9	22.6	1.9	1.9	2.5	27.0	6.3
夫婦ふたり暮らし	341	57.5	11.7	1.2	3.2	25.2	3.8	2.6	0.3	21.4	3.5
子どもの家族と同居	167	58.1	15.6	1.8	2.4	28.1	1.8	2.4	1.2	10.2	9.6
未婚の子どもと同居	224	50.4	14.7	0.4	0.0	27.2	1.8	1.3	1.3	22.8	5.8
高齢者のみ(高齢の親や兄弟と同居)	10	20.0	30.0	0.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	50.0	10.0
その他	18	55.6	16.7	0.0	0.0	27.8	5.6	0.0	0.0	22.2	5.6

(在宅サービス利用者)

問9-1 悩み事の相談相手(M. A)【ベース:悩み事あり】



問21 要介護度	n=	相談相手 (%)									
		家族	友人	民生委員・町会の人	ケアマネジャー・ホームヘルパー	医師・看護師・保健師・薬剤師・カウンセラー	弁護士・公認会計士などの専門家	地域包括支援センター	その他	誰にも相談していない	無回答
TOTAL	911	56.0	9.0	2.0	40.3	33.8	0.8	7.4	0.7	11.4	4.1
要支援1	157	52.2	15.3	2.5	31.2	35.0	0.6	19.7	0.6	12.1	1.3
要支援2	160	49.4	12.5	5.0	38.8	33.1	1.3	9.4	0.0	10.0	4.4
要介護1	160	63.1	8.1	0.6	41.9	30.6	0.0	6.3	1.9	10.6	1.9
要介護2	203	53.7	7.9	1.0	45.3	33.5	0.0	2.5	0.0	10.8	5.9
要介護3	104	63.5	3.8	1.0	35.6	37.5	0.0	1.0	0.0	11.5	8.7
要介護4	70	57.1	2.9	0.0	54.3	37.1	2.9	0.0	1.4	14.3	1.4
要介護5	41	58.5	2.4	4.9	51.2	39.0	2.4	7.3	2.4	9.8	7.3

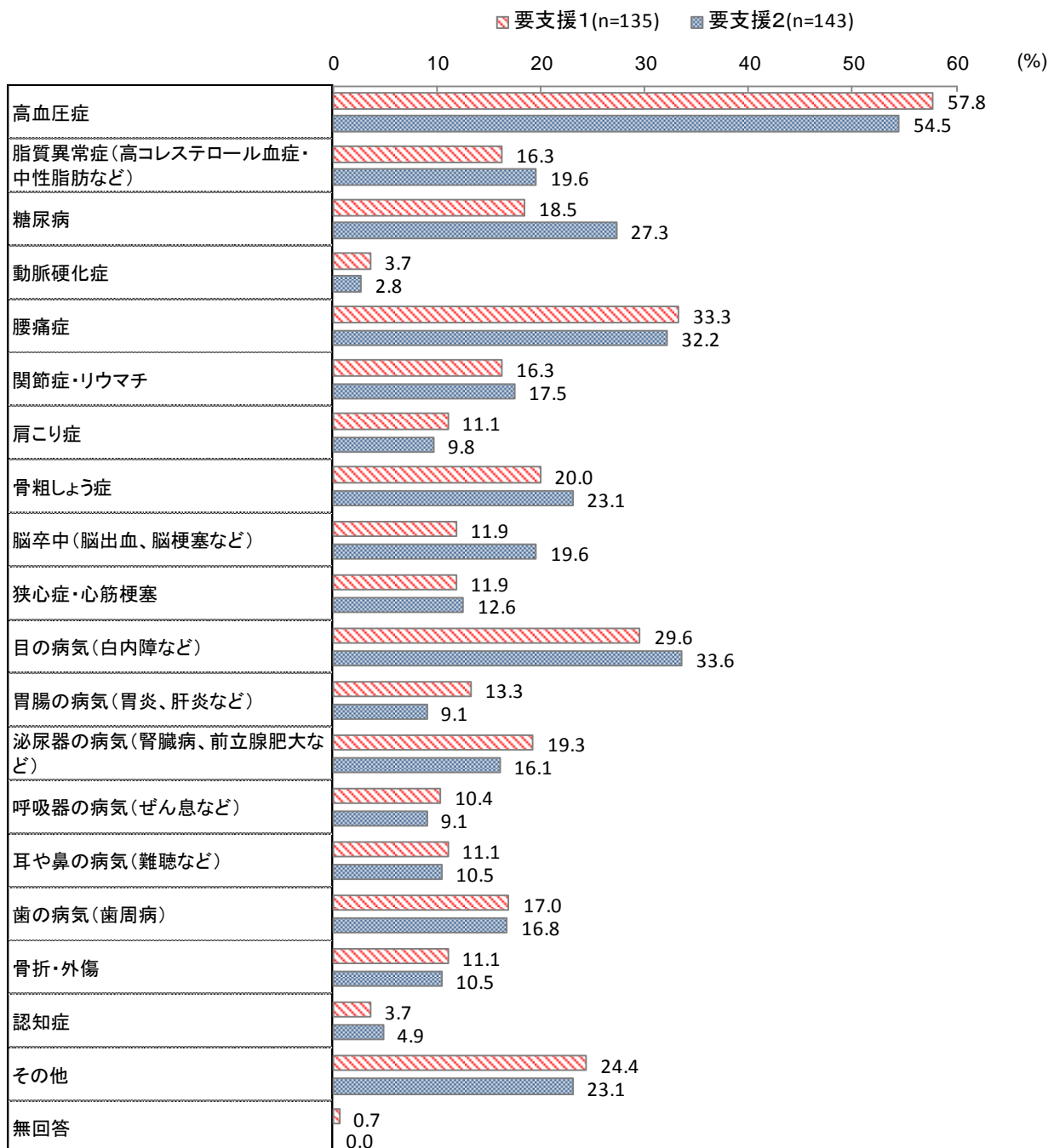
### 【3. 身体や健康について】

#### 3.1 病気・けがの種類

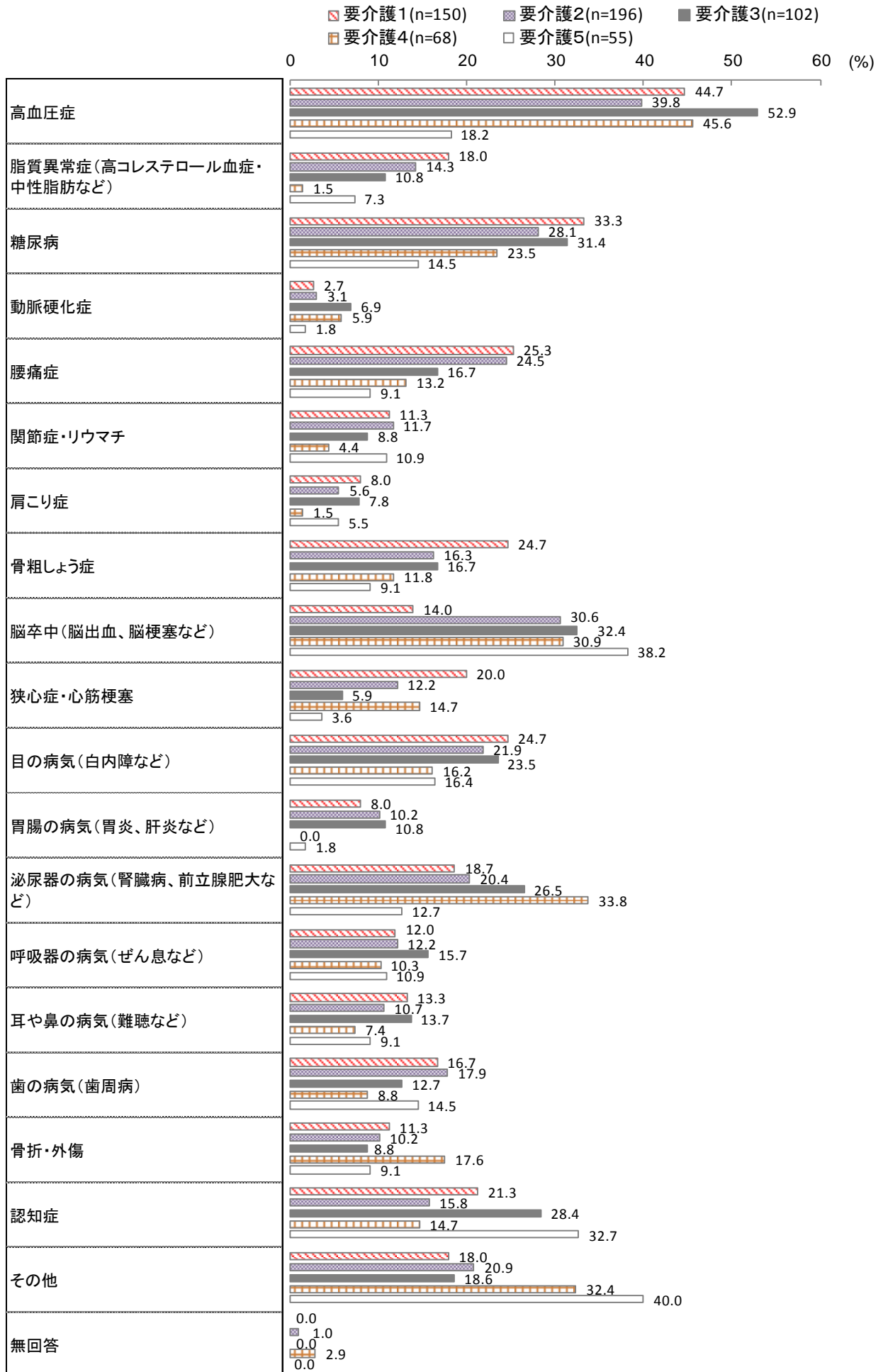
治療・服薬中の傷病がある人における要介護度別の現在治療中・服薬中の病気やけがは、「要支援1」～「要介護4」までは「高血圧症」が最も高くなっている。次いで「要支援1」は「腰痛症（33.3%）」「目の病気（29.6%）」の順となっており、「要支援2」は「目の病気（33.6%）」「腰痛症（32.2%）」の順となっている。「要介護1」は、「糖尿病（33.3%）」「腰痛症（25.3%）」、「要介護2」は「脳卒中（30.6%）」「糖尿病（28.1%）」、「要介護3」は「脳卒中（32.4%）」「糖尿病（31.4%）」、「要介護4」は「泌尿器の病気（33.8%）」「その他（32.4%）」の順で続いている。「要介護5」は「その他」が40.0%で最も高く、次いで「脳卒中（38.2%）」「認知症（32.7%）」の順となっている。「腰痛症」は「要支援1」から「要介護5」へと介護度が高くなるにつれて割合が低くなっている。「泌尿器の病気」は「要支援2」から「要介護4」へと介護度が高くなるにつれて割合が高くなっている。

#### （在宅サービス利用者）

問10-2 現在治療中・服薬中の病気やけが(M. A)【ベース:治療・服薬中の傷病あり】



問10-2 現在治療中・服薬中の病気やけが(M. A)【ベース：治療・服薬中の傷病あり】



### 3.2 健康に関する行動について

65歳以上全体における健康に関する行動は、「喫煙率（「時々、吸っている」と「吸っている」の合計値）」は11.3%、「飲酒率（「時々、飲んでいる」と「飲んでいる」の合計値）」は42.8%となっている。「規則的な食事率（「している」と「だいたいしている」の合計値）」は91.6%、「定期的な運動率（「している」と「だいたい、している」の合計値）」は57.6%、「歯の健康維持率（「している」と「だいたい、している」の合計値）」は75.4%、「普段の健康率（「気を使っている」と「まあ、気を使っている」の合計値）」は90.7%「定期的な健康診断率（「受けている」と「時々受けている」の合計値）」は83.3%、かかりつけ医が「いる」は83.8%となっている。

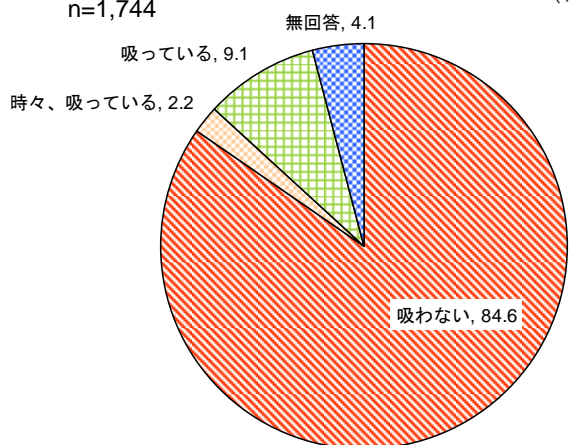
2号被保険者全体における健康に関する行動は、「喫煙率」は27.2%、「飲酒率」は66.0%となっている。「規則的な食事率」は93.8%、「定期的な運動率」は49.7%、「歯の健康維持率」は80.9%、「普段の健康率」は91.2%「定期的な健康診断率」は86.4%、かかりつけ医が「いる」は64.0%となっている。

#### (65歳以上)

問19 健康に関する行動について <<たばこ>>

n=1,744

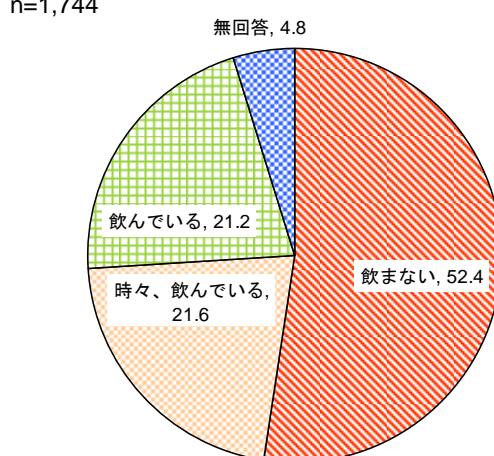
(%)



問19 健康に関する行動について <<お酒>>

n=1,744

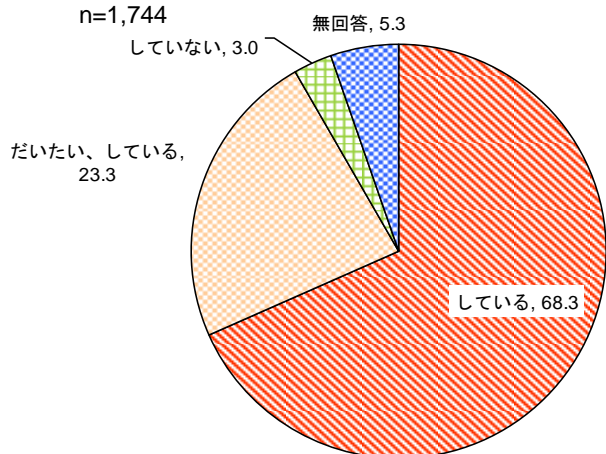
(%)



問19 健康に関する行動について <<規則的な食事>>

n=1,744

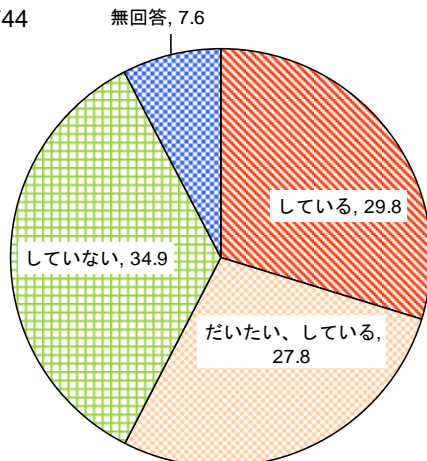
(%)



問19 健康に関する行動について <<定期的な運動>>

n=1,744

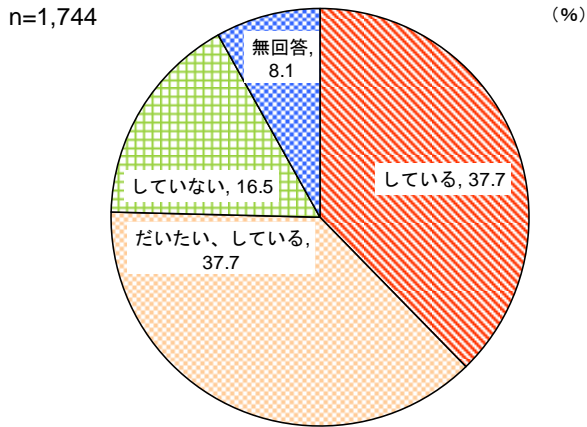
(%)



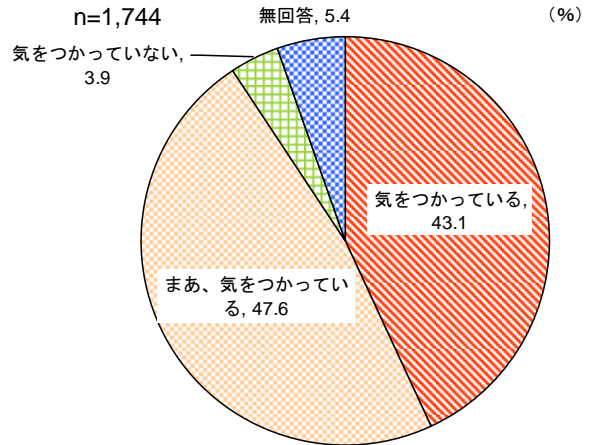


## II 市民調査結果の概要

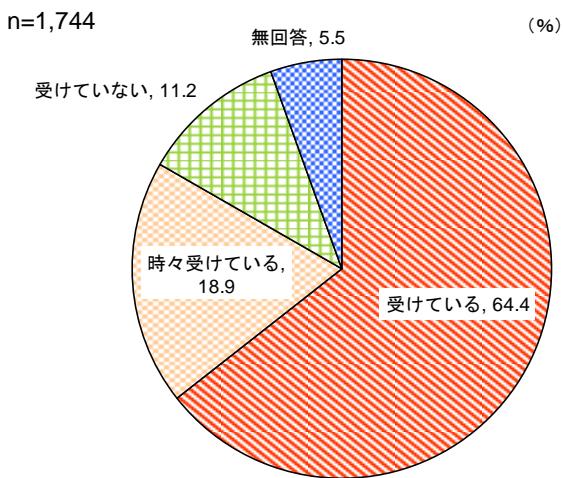
問19 健康に関する行動について <<歯の健康維持>>



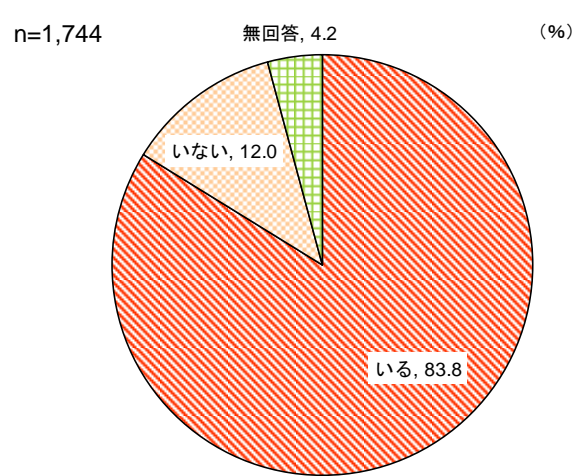
問19 健康に関する行動について <<普段の健康>>



問19 健康に関する行動について <<定期的な健康診断>>

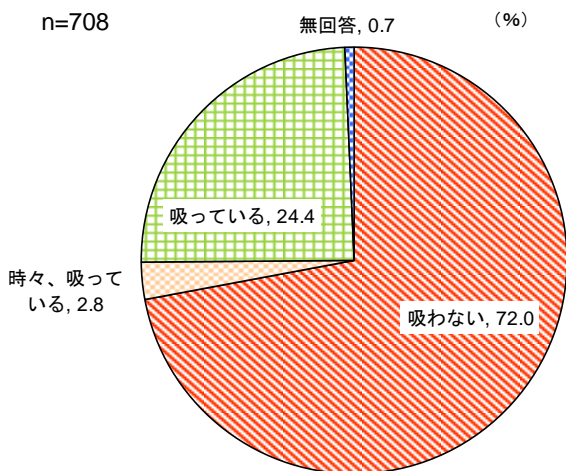


問19 健康に関する行動について <<かかりつけ医>>

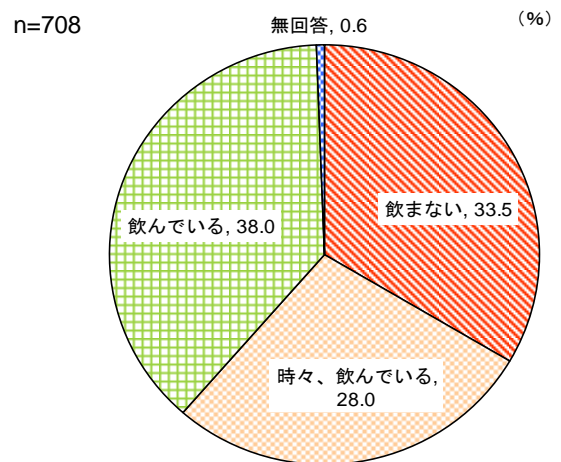


### (2号被保険者:55~64歳)

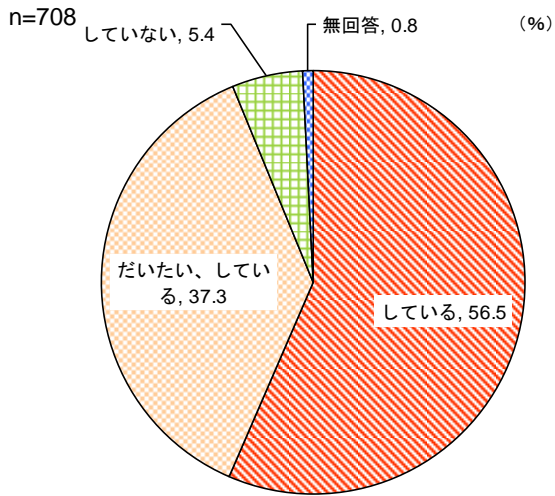
問16 健康に関する行動について <<たばこ>>



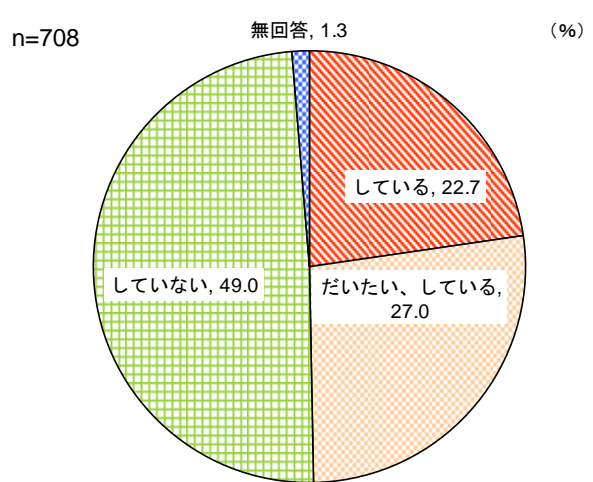
問16 健康に関する行動について <<お酒>>



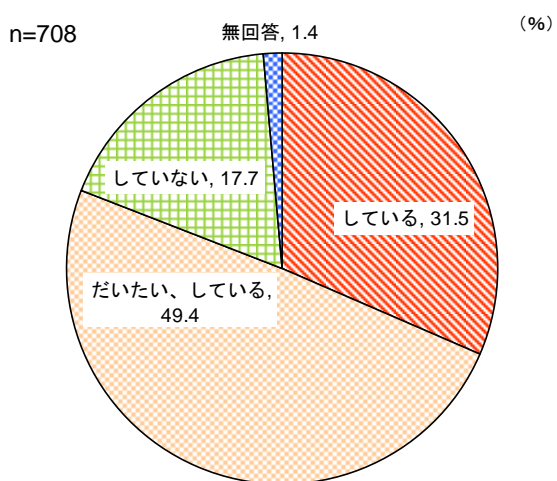
問16 健康に関する行動について 《規則的な食事》



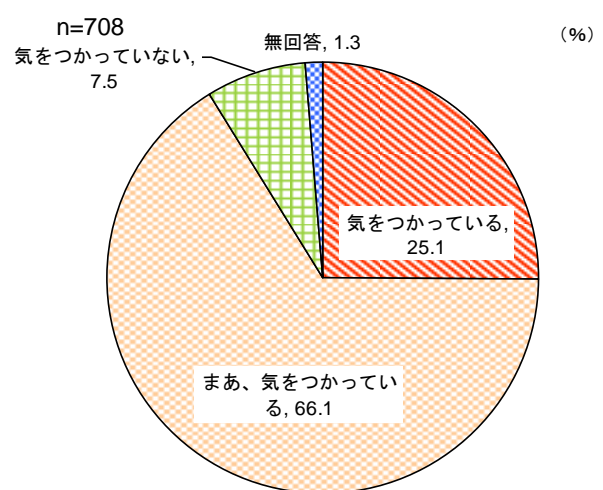
問16 健康に関する行動について 《定期的な運動》



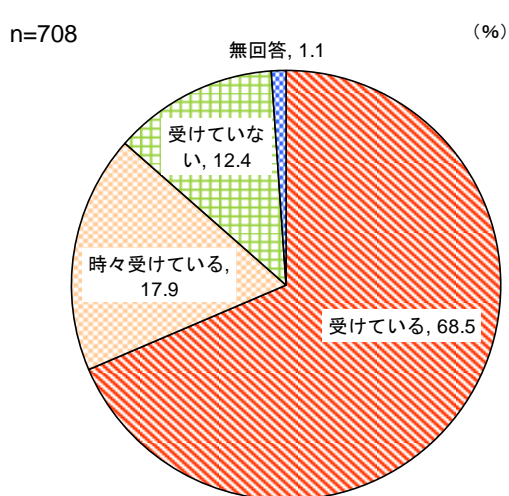
問16 健康に関する行動について 《歯の健康維持》



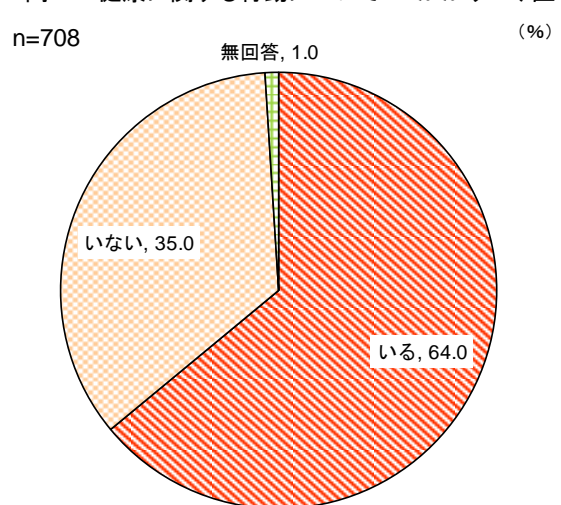
問16 健康に関する行動について 《普段の健康》



問16 健康に関する行動について 《定期的な健康診断》



問16 健康に関する行動について 《かかりつけ医》



**3.3 健康診断・人間ドックの受診**

2号被保険者全体における1年間の健康診断・日帰り人間ドック受診状況は、「職場が実施している一般健診・人間ドックを受けた」が49.2%と約半数を占めている。次いで「受けていない」が23.6%、「市が実施している健康診査を受けた」が18.1%となっている。

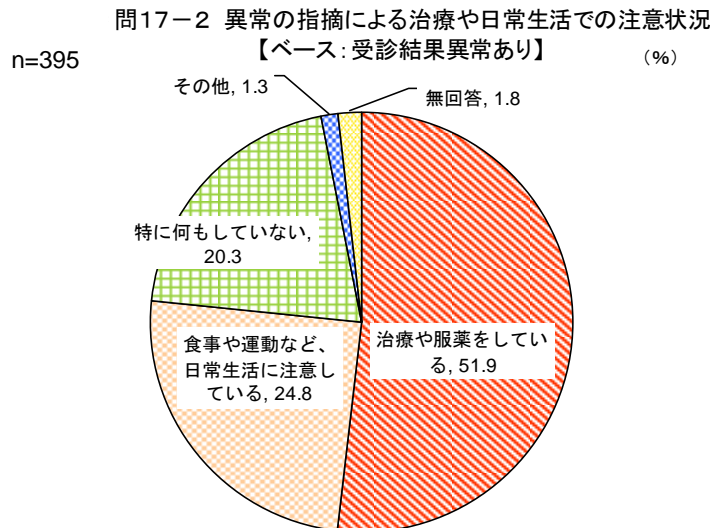
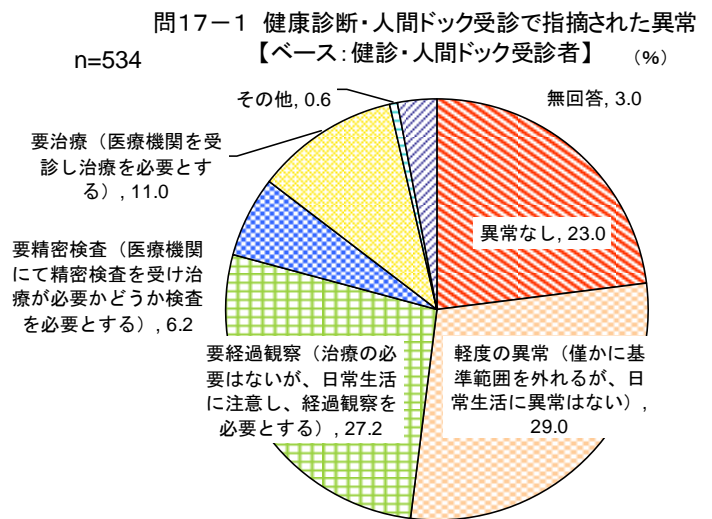
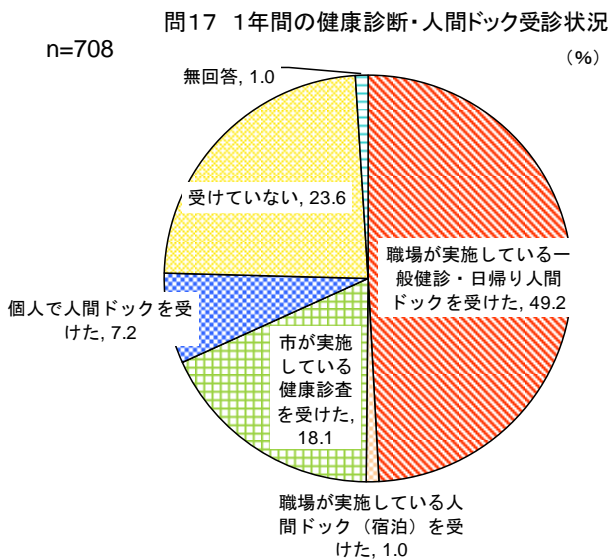
検診・人間ドックを受診者のうち健康診断・人間ドック受診で指摘された異常については、「異常なし」が23.0%となっている。異常があった人では、「軽度の異常」が29.0%で最も高く、「要経過観察」が27.2%となっている。「要治療」は11.0%である。

異常を指摘された人のうち、約半数の51.9%が「治療や服薬」をしており、次いで「食事や運動など、日常生活に注意している」が24.8%、「特に何もしていない」が20.3%となっている。

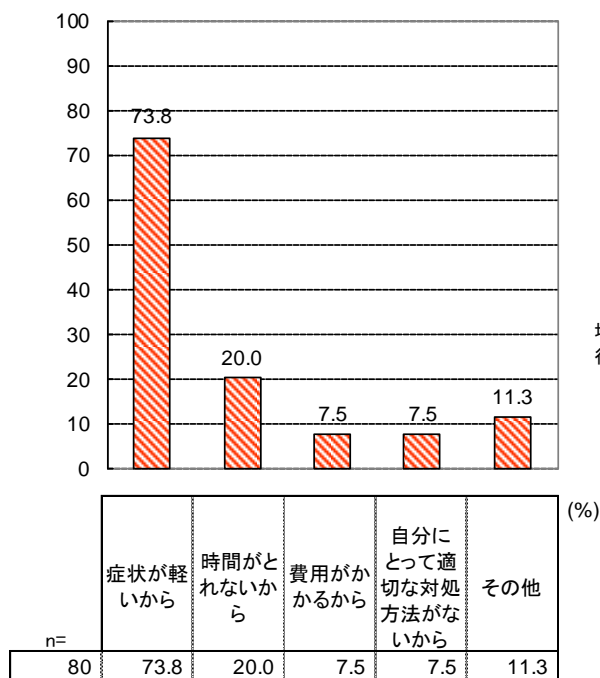
異常への注意対応をしていない理由は、「症状が軽いから」が73.8%で、「時間がとれないから」が20.0%、「費用がかかるから」と「自分にとって適切な対処方法がないから」が7.5%となっている。

健康診断・人間ドック未受診者における未受診理由は、「時間がとれない」が26.9%で最も高く、次いで「必要がない」が18.0%、「機会がない」が16.2%となっている。

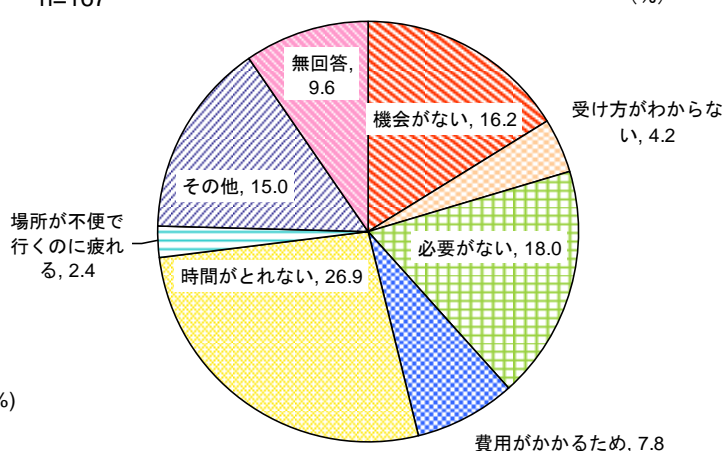
**(2号被保険者:55~64歳)**



(%) 問17-3 異常への注意対応がない理由 (M. A)  
【ベース: 異常への注意対応なし】



問17-4 健康診断・人間ドックを受診していない主な理由  
【ベース: 健診・人間ドック未受診者】 (%)



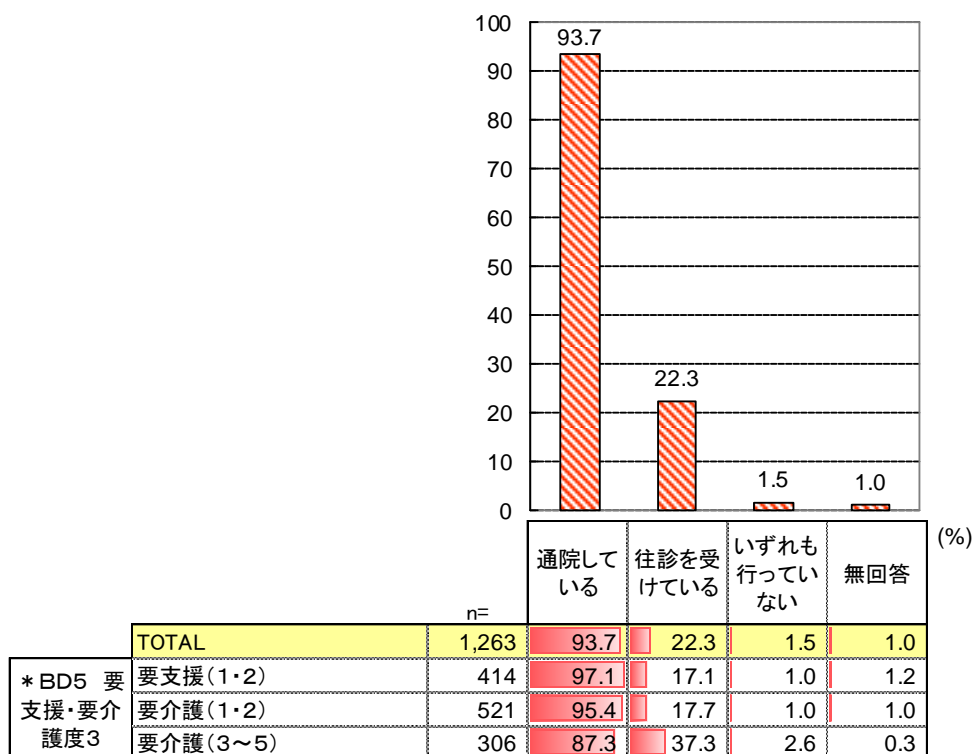
### 3.4.1 通院・往診の診療状況

在宅サービス利用者全体における通院・往診の診療状況は、「通院している」が 93.7%で、「往診を受けている」が 22.3%、「いずれも行っていない」が 1.5%となっている。

要介護度別では、「通院している」は介護度が上がるにつれて低くなり、「往診を受けている」が高くなっている。「要介護3～5」の「往診を受けている」は 37.3%である。

(在宅サービス利用者)

(%) 問11 通院・往診の診療状況 (2L. A)

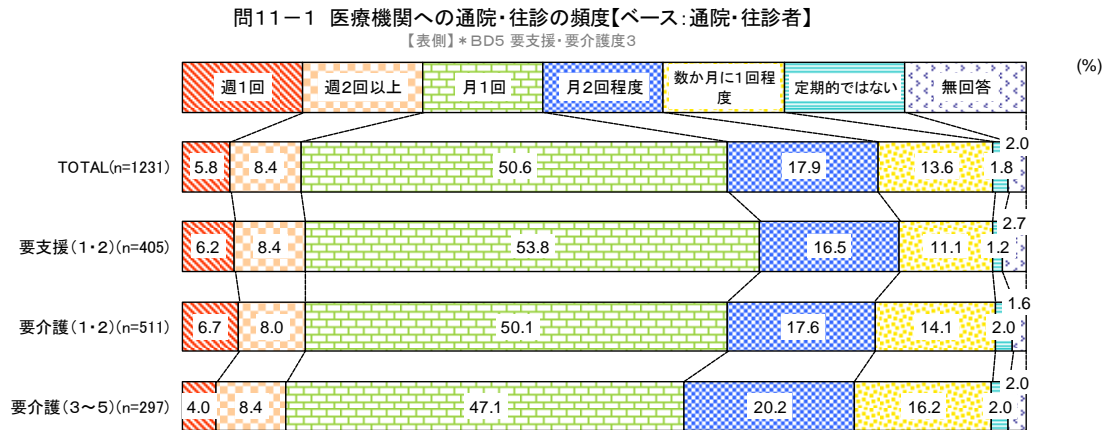


### 3.4.2 医療機関への通院・往診の頻度

在宅サービス利用者で通院・往診者における医療機関への通院・往診の頻度は、「月1回」が50.6%で最も高く、次いで「月2回程度」が17.9%、「数か月に1回程度」が13.6%となっている。

要介護度別では、要介護度が高くなるにつれて「月1回以上（「週1回」「週2回以上」「月1回」「月2回程度」の合計値）」の割合が低下している。

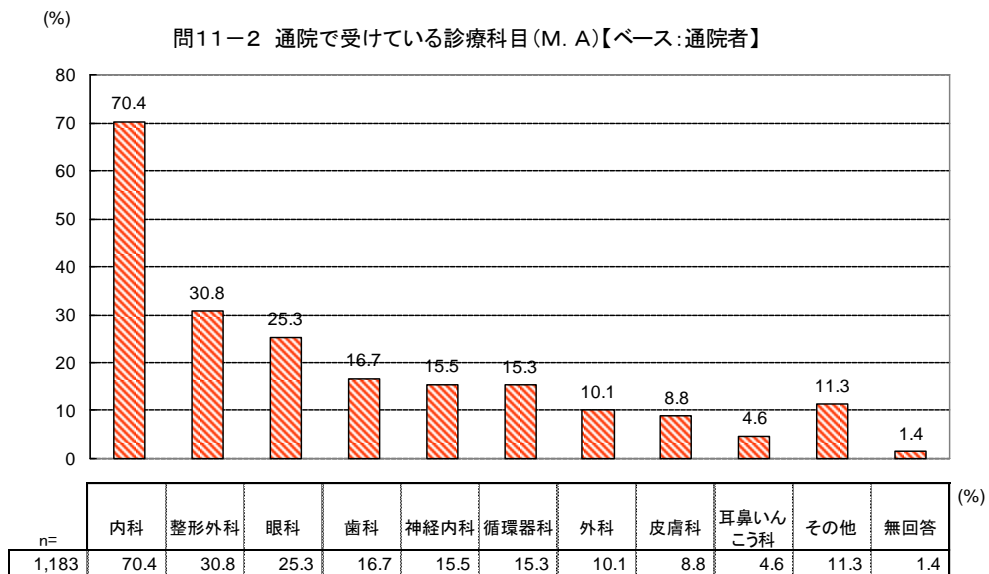
#### （在宅サービス利用者）



### 3.4.3 通院で受けている診療科目

在宅サービス利用者で通院者における通院で受けている診療科目は、「内科」が70.4%で最も高く、次いで「整形外科」が30.8%、「眼科」が25.3%となっている。

#### （在宅サービス利用者）

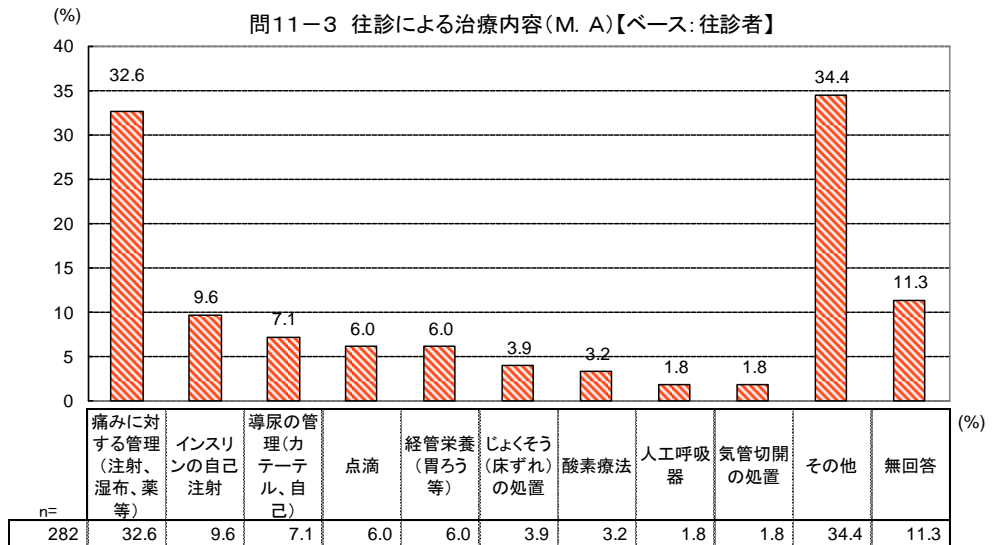


### 3.4.4 往診による治療内容

在宅サービス利用者で往診者における往診による治療内容は、「その他」が34.4%で最も高く、次いで「痛みに対する管理」が32.6%、「インスリンの自己注射」が9.6%となっている。

(在宅サービス利用者)

問11-3 往診による治療内容(M. A)【ベース: 往診者】



### 3.5 健康維持のために利用したいサービス

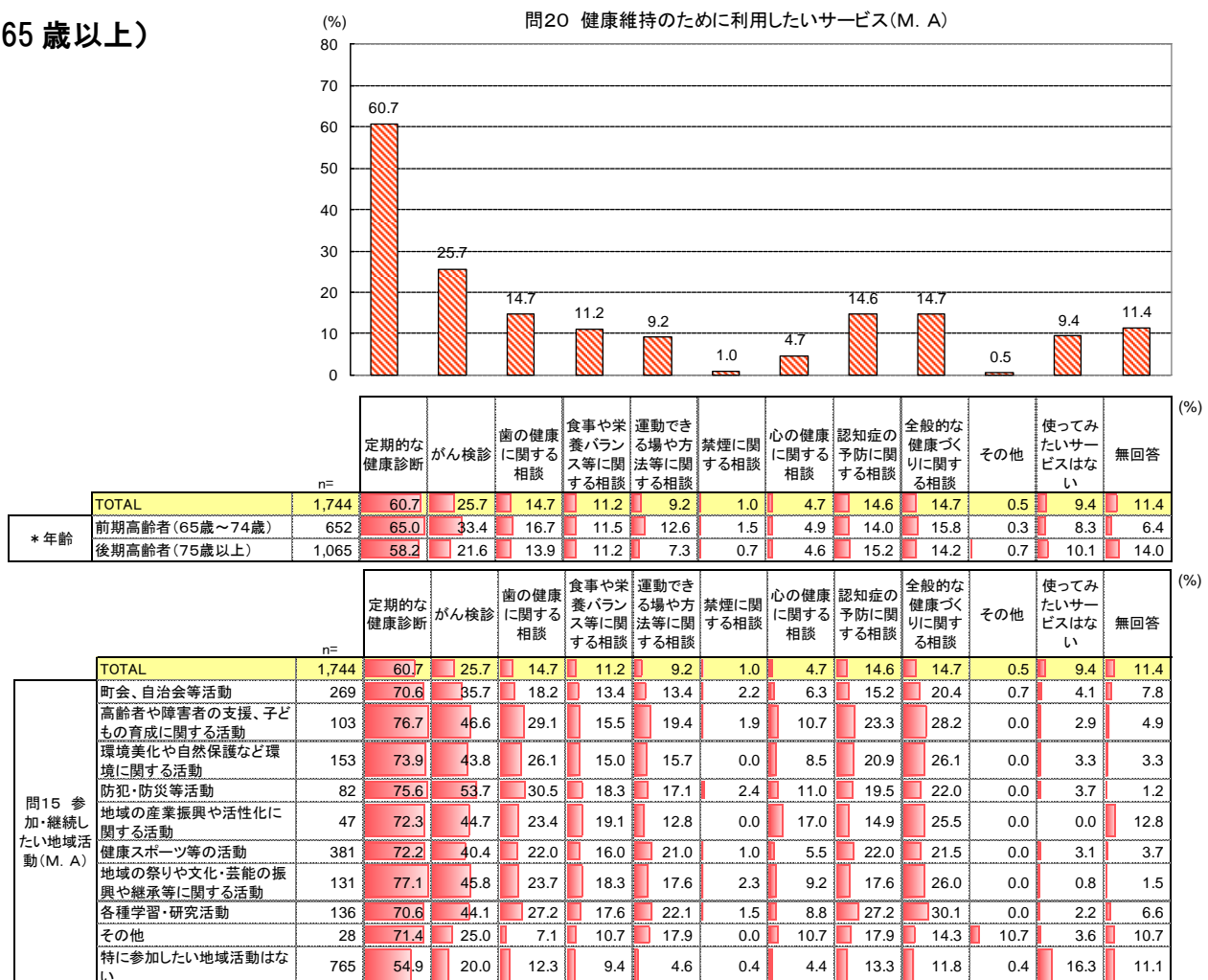
65歳以上全体における健康維持のために利用したいサービスは、「定期的な健康診断」が60.7%で最も高く、次いで「がん検診」が25.7%となっている。

年齢別では、「前期高齢者」は「定期的な健康診断」が65.0%で「後期高齢者」と比べて6.8ポイント高く、「がん検診」は33.4%で「後期高齢者」と比べて11.8ポイント高くなっている。

参加・継続したい地域活動別では、「特に参加したい地域活動はない」はいずれの項目も割合が低く、「使ってみたいサービスはない」は16.3%で、「65歳以上全体」と比べて6.9ポイント高くなっている。

(65歳以上)

問20 健康維持のために利用したいサービス(M. A)



**3.6 半年前と比較した食事量の変化**

65歳以上全体における半年前と比較した食事量の変化は、「変化なし」が70.6%で最も高く、次いで「食べる量が減った」が17.1%、「体重管理のため食べる量を減らしている」が6.5%となっている。

介護予防必要者別では、「介護予防必要者 計」は、「食べる量が減った」が27.3%で「介護予防必要者以外」と比べて16.3ポイント高く、特に「栄養 (n=24のため、参考値)」「口腔」「全体 暮らしぶり含む」は30%以上と高くなっている。

2号被保険者全体における半年前と比較した食事量の変化は、「変化なし」が74.2%で最も高く、次いで「食べる量が減った (10.5%)」と「体重管理のため食べる量を減らしている (9.3%)」が10%前後となっている。

介護予防必要者別では、「介護予防必要者 計」は「食べる量が減った」が18.0%で「介護予防必要者以外」と比べて9.1ポイント高く、「体重管理のため食べる量を減らしている」は16.4%で「介護予防必要者以外」と比べて8.6ポイント高くなっている。「体重管理のため食べる量を減らしている」は、「介護予防必要者」の中でも「運動器 (18.2%)」と「口腔 (18.4%)」で高くなっている。

在宅サービス利用者全体における半年前と比較した食事量の変化は、「変化なし」が57.8%で最も高く、次いで「食べる量が減った」が24.1%となっている。

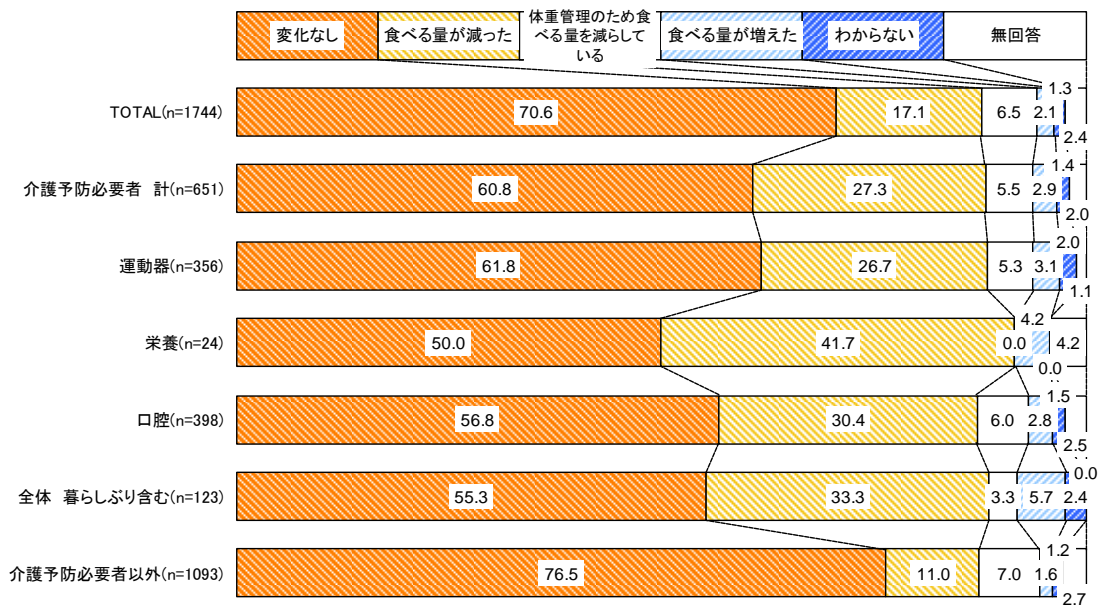
要介護度別では、介護度が高くなるほど「体重管理のため食べる量を減らしている」が低下している。

**(65歳以上)**

問21 半年前と比較した食事量の変化

【表例】\*介護予防分布(M. A)

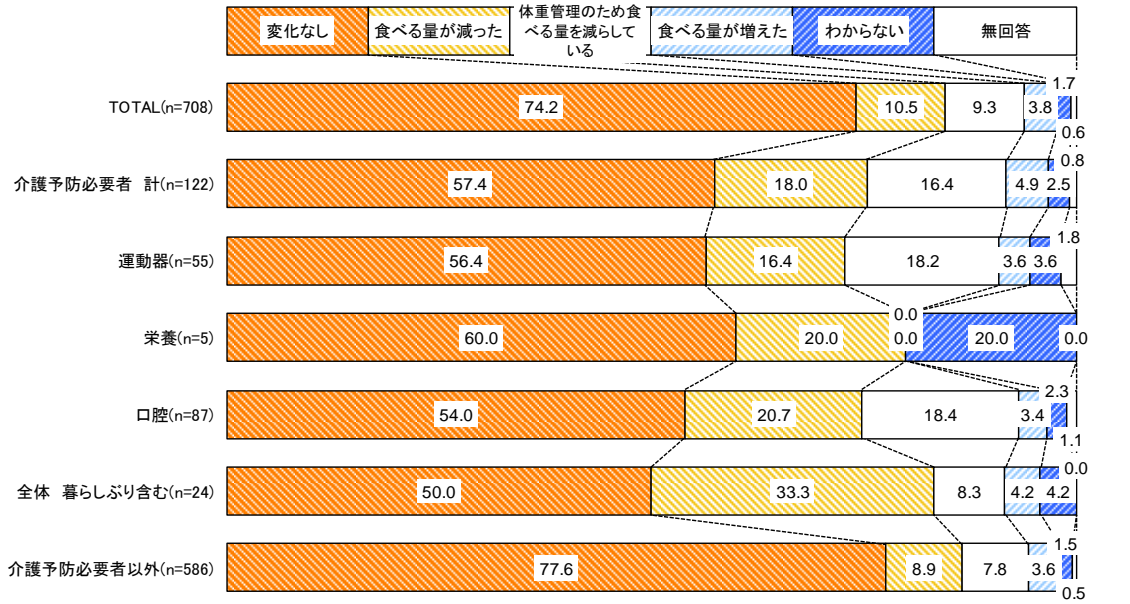
(%)



(2号被保険者:55~64歳)

問18 半年前と比較した食事量の変化

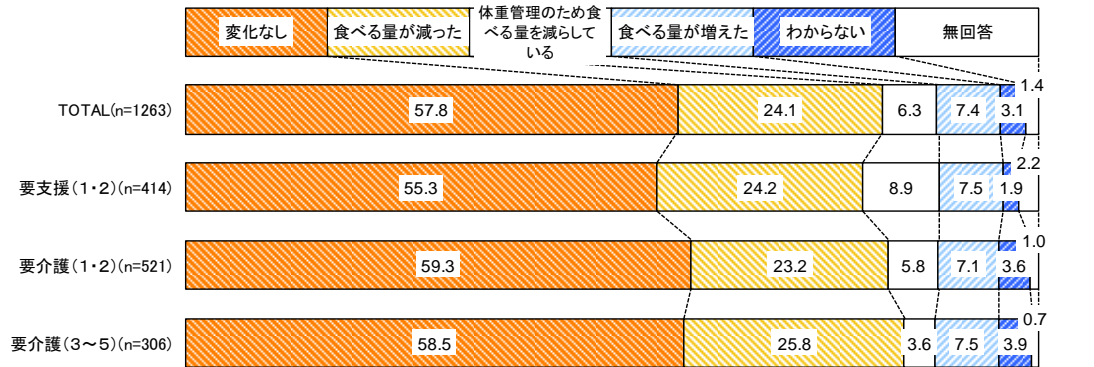
【表例】\*介護予防分布(M. A)



(在宅サービス利用者)

問12 半年前と比較した食事量の変化

【表例】\*BD5 要支援・要介護度3





**3.7.1 自分の歯の本数**

65歳以上全体における自分の歯の本数は、「10本以下（「まったくない」「1～5本」「6～10本」の合計値）」が34.3%、「11本以上20本以下（「11～15本」と「16～20本」の合計値）」が25.9%、「21本以上（「21～25本」「26～28本」「29本以上」の合計値）」が35.1%となっている。

介護予防必要者別では、「介護予防必要者 計」は「10本以下」の割合が41.0%で、「介護予防必要者以外」と比べて10.7ポイント高く、特に「全体 暮らしぶり含む」が56.9%と高くなっている。

2号被保険者全体における自分の歯の本数は、「10本以下」が9.9%、「11本以上20本以下」が21.2%、「21本以上」が67.2%となっている。

介護予防必要者別では、「介護予防必要者 計」は「10本以下」が20.5%で「介護予防必要者以外」と比べて12.7ポイント高く、特に「全体 暮らしぶり含む (n=24)」が33.3%と高くなっている。

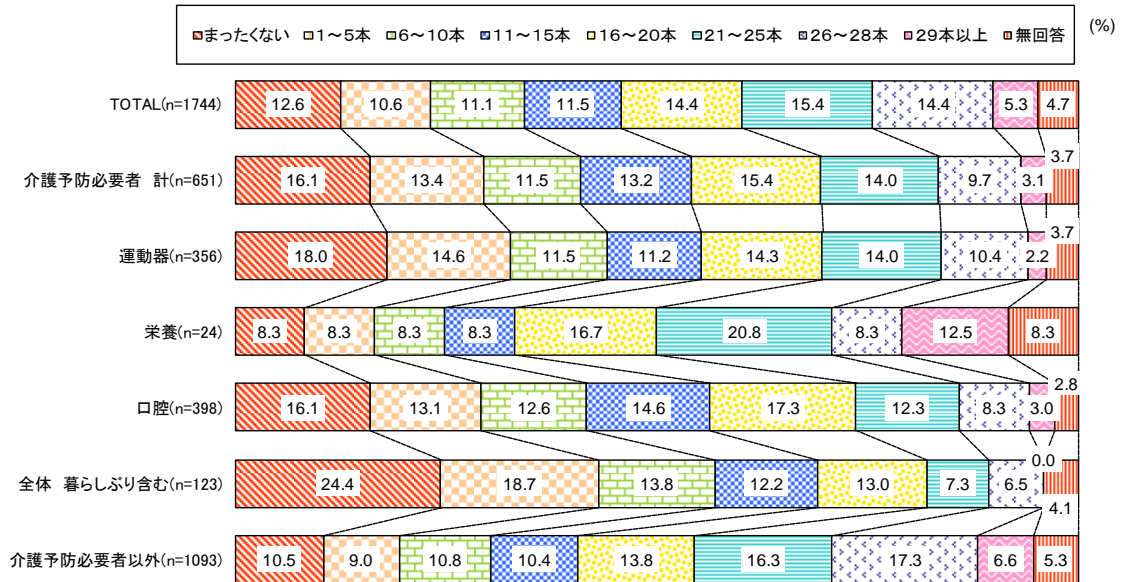
在宅サービス利用者全体における自分の歯の本数は、「10本以下」が48.2%、「11本以上20本以下」が20.6%、「21本以上」が27.3%となっている。

要介護度別では、要介護度が上がるにつれて「10本以下」の割合が増加しており、「要介護3～5」では55.6%と半数以上となっている。

**(65歳以上)**

問22 自分の歯の本数

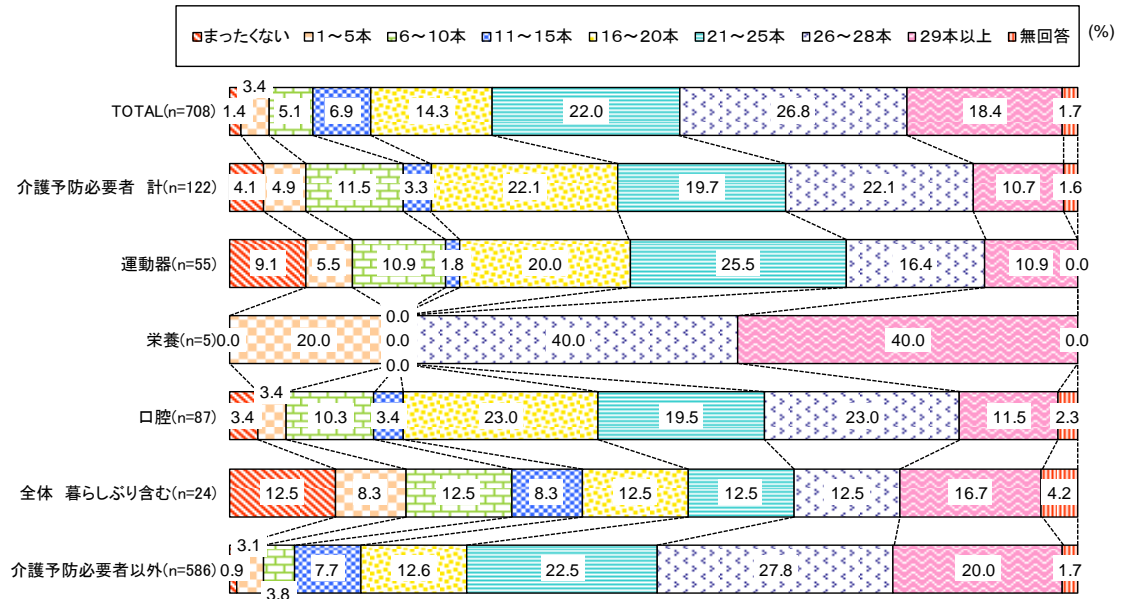
【表例】\*介護予防分布(M. A)



(2号被保険者:55~64歳)

問19 自分の歯の本数

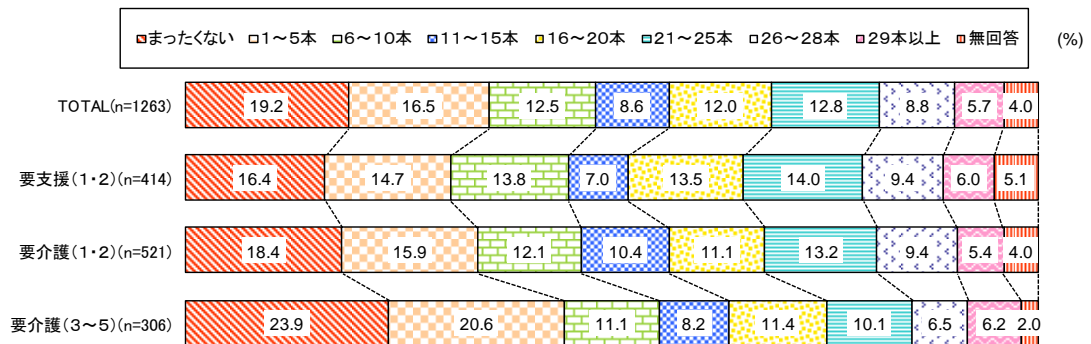
【表例】\*介護予防分布(M. A)



(在宅サービス利用者)

問13 自分の歯の本数

【表例】\*BD5 要支援・要介護度3



**3.7.2 現在の歯ぐき・口の状態**

65歳以上全体における現在の歯ぐき・口の状態は、「あてはまるものはない」が38.8%で最も高くなっている。次いで「抜けたままにしている歯がある」が15.0%、「歯ぐきが下がって歯の根が出ている」が12.4%、「入れ歯が合わない」が11.6%となっている。

介護予防必要者別では、「介護予防必要者 計」は、「入れ歯が合わない」が18.0%で「介護予防必要者以外」と比べて10.1ポイント高く、「口腔」は「歯ぐきが下がって歯の根が出ている」が16.3%、「入れ歯が合わない」が21.1%と相対的に高くなっている。また、「全体 暮らしぶり含む」も「入れ歯が合わない」が22.8%と高くなっている。

2号被保険者全体における現在の歯ぐき・口の状態は、「あてはまるものはない」が39.4%で最も高くなっている。次いで「抜けたままにしている歯がある」が18.2%、「歯ぐきが下がって歯の根が出ている」が15.8%、「むし歯がある」が14.3%となっている。

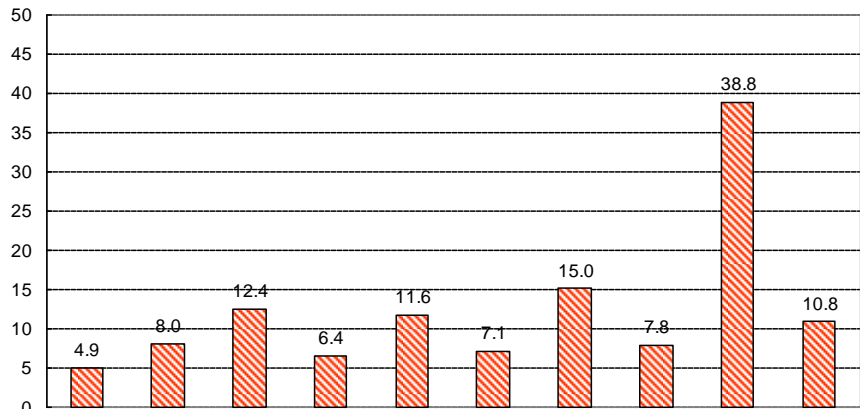
介護予防必要者別では、「介護予防必要者 計」は「歯を磨いたときに血が出る（19.7%）」が「介護予防必要者以外」と比べて6.9ポイント高く、「歯ぐきが下がって歯の根が出ている（26.2%）」が「介護予防必要者以外」と比べて12.5ポイント高く、「歯周病といわれ治療している（14.8%）」が「介護予防必要者以外」と比べて6.4ポイント高く、「抜けたままにしている歯がある（30.3%）」が「介護予防必要者以外」と比べて14.6ポイント高く、「むし歯がある（19.7%）」が「介護予防必要者以外」と比べて6.6ポイント高くなっている。

在宅サービス利用者全体における現在の歯ぐき・口の状態は、「あてはまるものはない」が35.2%で最も高く、次いで「入れ歯が合わない」が18.5%、「抜けたままにしている歯がある」が18.4%となっている。

要介護度別では、介護度が上がるにつれて「歯ぐきが下がって歯の根が出ている」が低下し、「入れ歯が合わない」と「抜けたままにしている歯がある」が高くなっている。

**(65歳以上)**

問23 現在の歯ぐき・口の状態(M. A)

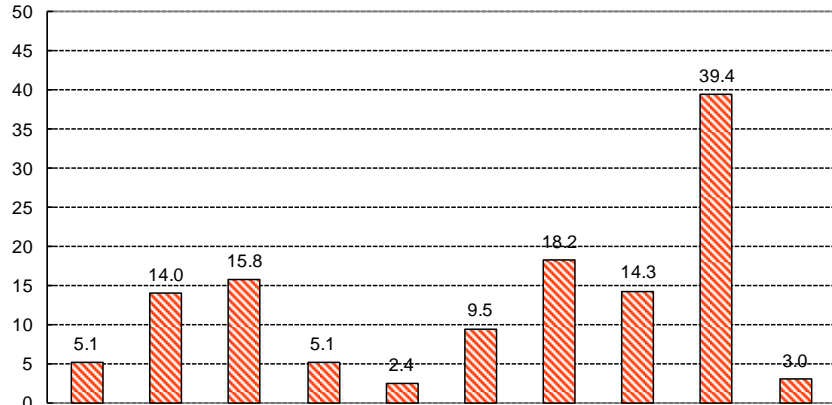


* 介護予防分布(M. A)	n=	歯ぐきが腫れている	歯を磨いたときに血が出る	歯ぐきが下がって歯の根が出ている	歯がぐらぐらする	入れ歯が合わない	歯周病といわれ治療している	抜けたままにしている歯がある	むし歯がある	あてはまるものはない	無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
TOTAL	1,744	4.9	8.0	12.4	6.4	11.6	7.1	15.0	7.8	38.8	10.8
介護予防必要者 計	651	7.5	9.4	13.5	8.1	18.0	7.1	17.5	8.6	34.3	8.6
運動器	356	5.6	7.3	9.8	7.3	17.1	5.1	16.6	8.1	41.0	8.1
栄養	24	12.5	20.8	12.5	0.0	12.5	4.2	4.2	8.3	37.5	12.5
口腔	398	9.8	10.6	16.3	9.5	21.1	9.0	18.8	9.3	28.1	7.5
全体 暮らしぶり含む	123	4.1	6.5	9.8	5.7	22.8	3.3	15.4	10.6	40.7	7.3
介護予防必要者以外	1,093	3.4	7.2	11.8	5.3	7.9	7.0	13.5	7.3	41.4	12.2

(2号被保険者:55~64歳)

(%)

問20 現在の歯ぐき・口の状態(M. A)

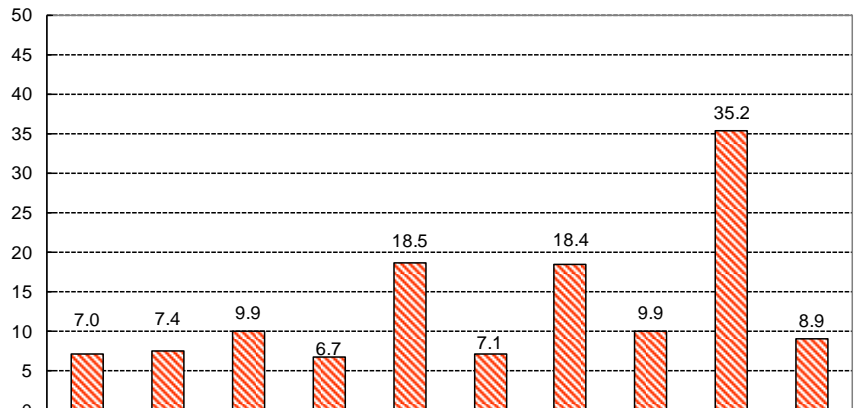


		n=	歯ぐきが腫れている	歯を磨いたときに血が出る	歯ぐきが下がって歯の根が出ている	歯がぐらぐらする	入れ歯が合わない	歯周病といわれ治療している	抜けたままにしている歯がある	むし歯がある	あてはまるものはない	無回答
TOTAL		708	5.1	14.0	15.8	5.1	2.4	9.5	18.2	14.3	39.4	3.0
* 介護予防分布(M. A)	介護予防必要者 計	122	6.6	19.7	26.2	6.6	4.9	14.8	30.3	19.7	20.5	1.6
	運動器	55	7.3	20.0	23.6	5.5	3.6	10.9	32.7	16.4	25.5	3.6
	栄養	5	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	口腔	87	6.9	19.5	29.9	6.9	5.7	18.4	35.6	20.7	14.9	1.1
	全体 暮らしぶり含む	24	12.5	16.7	25.0	20.8	12.5	12.5	20.8	16.7	12.5	4.2
	介護予防必要者以外	586	4.8	12.8	13.7	4.8	1.9	8.4	15.7	13.1	43.3	3.2

(在宅サービス利用者)

(%)

問14 現在の歯ぐき・口の状態(M. A)



		n=	歯ぐきが腫れている	歯を磨いたときに血が出る	歯ぐきが下がって歯の根が出ている	歯がぐらぐらする	入れ歯が合わない	歯周病といわれ治療している	抜けたままにしている歯がある	むし歯がある	あてはまるものはない	無回答
TOTAL		1,263	7.0	7.4	9.9	6.7	18.5	7.1	18.4	9.9	35.2	8.9
* BD5 要支援・要介護度3	要支援(1・2)	414	6.8	7.0	11.8	7.0	17.1	4.3	15.2	10.6	35.3	10.1
	要介護(1・2)	521	7.3	7.7	10.9	7.3	19.0	9.2	19.6	10.0	35.5	7.9
	要介護(3~5)	306	7.5	8.2	5.6	5.6	20.3	7.8	20.9	9.5	35.0	6.9

3.7.3 噛んで食べる時の状態

65 歳以上全体における噛んで食べる時の状態は、「何でも、噛んで食べることができる」と「噛みにくいものもあるが、たいていのものは食べられる」がそれぞれ 45.0%となっている。

介護予防必要者別では、「介護予防必要者 計」は「噛みにくいものもあるが、たいていのものは食べられる」が 54.4%で、「介護予防必要者以外」と比べて 15.0 ポイント高く、「あまり噛めないので、食べものが限られている」が 10.3%で「介護予防必要者以外」と比べて 7.3 ポイント高くなっている。「口腔」と「全体 暮らしぶり含む」は「噛みにくいものもあるが、たいていのものは食べられる」がそれぞれ 59.8%、63.4%と特に高くなっている。

2号被保険者全体における噛んで食べる時の状態は、「何でも、噛んで食べることができる」が 62.9%で最も高く、次いで「噛みにくいものもあるが、たいていのものは食べられる」が 34.2%となっている。

介護予防必要者別では、「噛みにくいものもあるが、たいていのものは食べられる」が 54.1%で「介護予防必要者以外」と比べて 24.1 ポイント高く、特に「口腔」で 56.3%と高くなっている。

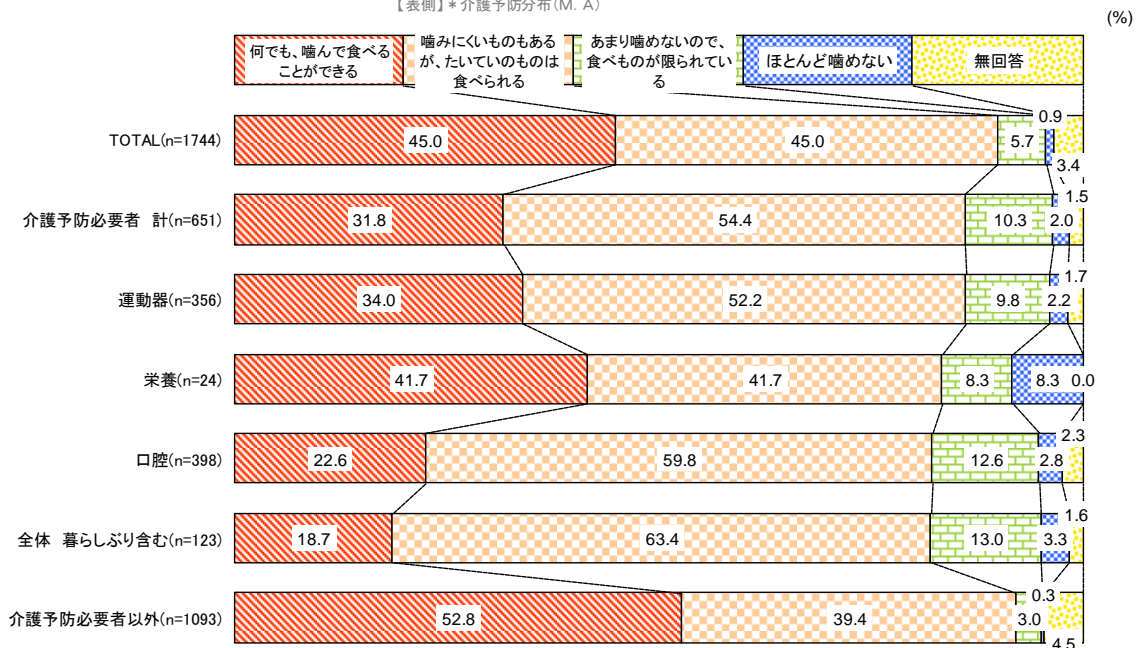
在宅サービス利用者全体における噛んで食べる時の状態は、「噛みにくいものもあるが、たいていのものは食べられる」が 50.8%、「何でも噛んで食べることができる」が 29.5%、「あまり噛めないので、食べものが限られている」が 15.0%となっている。

要介護度別では、介護度が上がるにつれて「何でも、噛んで食べることができる」が低下し、「要介護 3～5」では 20.9%となっている。「噛みにくいものもあるが、たいていのものは食べられる」は「要介護 1・2」が 54.5%で最も高く、「あまり噛めないので、食べものが限られている」と「ほとんど噛めない」は「要介護 3～5」でそれぞれ 20.3%、7.8%で最も高くなっている。

(65 歳以上)

問24 噛んで食べる時の状態

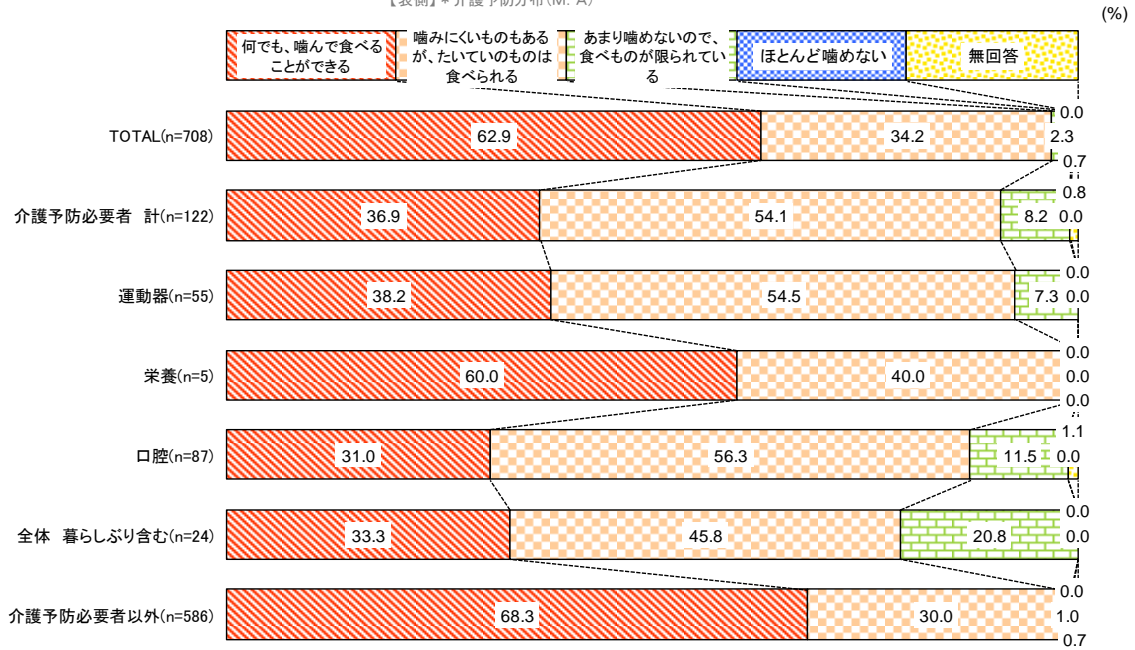
【表例】\*介護予防分布(M.A)



(2号被保険者:55~64歳)

問21 噛んで食べる時の状態

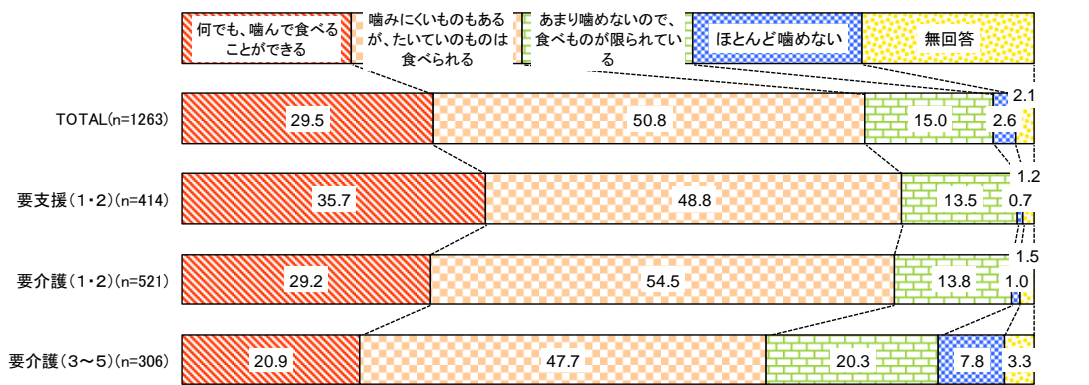
【表例】\*介護予防分布(M, A)



(在宅サービス利用者)

問15 噛んで食べる時の状態

【表例】\*BD5 要支援・要介護度3



3.8 生活習慣について

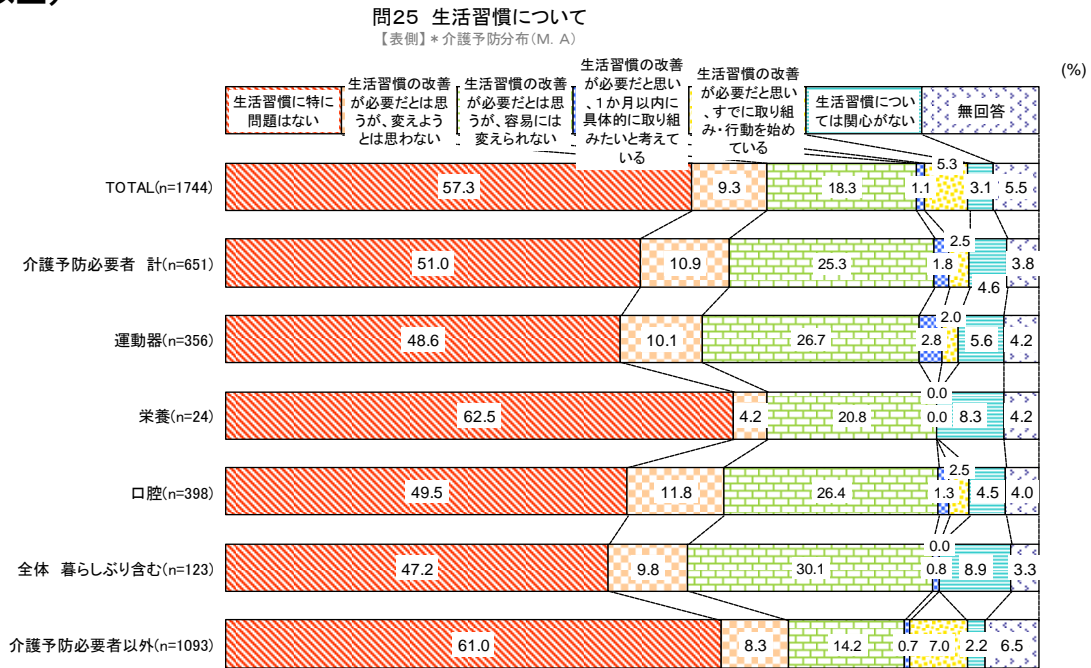
65歳以上全体における生活習慣については、「生活習慣に特に問題はない」が57.3%で最も高く、次いで「生活習慣の改善が必要だとは思うが、容易には変えられない」が18.3%となっている。

介護予防必要者別では、「介護予防必要者 計」は「生活習慣の改善が必要だとは思うが、容易には変えられない」が25.3%で「介護予防必要者以外」と比べて11.1ポイント高く、特に「全体 暮らしぶり含む」は30.1%と高くなっている。

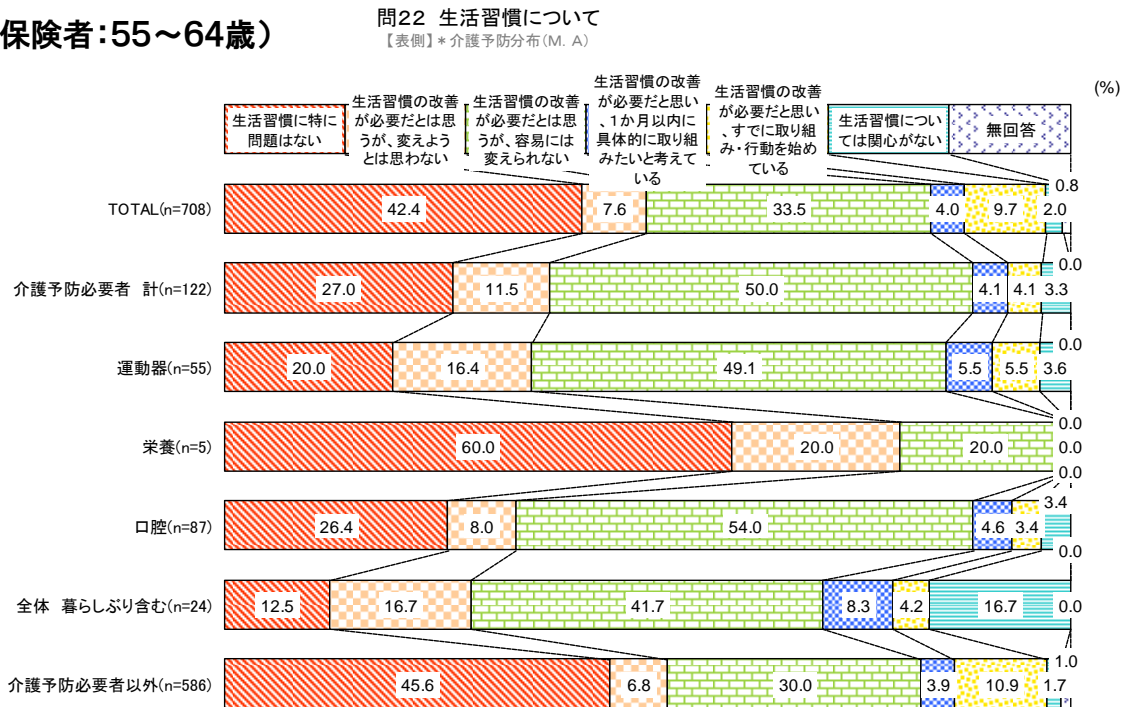
2号被保険者全体における生活習慣については、「生活習慣に特に問題はない」が42.4%で最も高く、次いで「生活習慣の改善が必要だとは思うが、容易には変えられない」が33.5%となっている。

介護予防必要者別では、「介護予防必要者 計」は「生活習慣の改善が必要だとは思うが、容易には変えられない」が50.0%で「介護予防必要者以外」と比べて20.0ポイント高く、特に「口腔」が54.0%と高くなっている。

(65歳以上)



(2号被保険者:55~64歳)

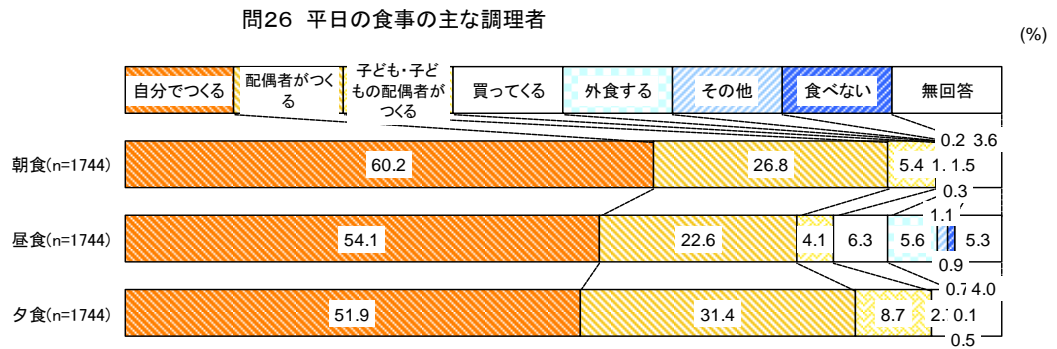


### 3.9 平日の食事の主な調理者

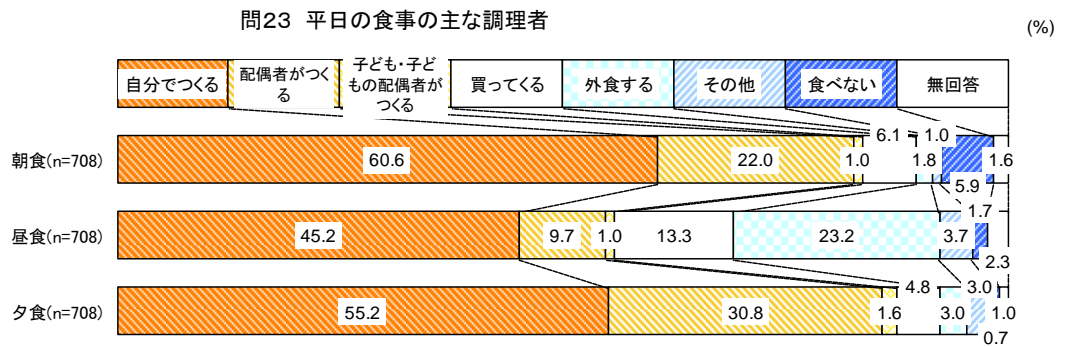
65歳以上全体における平日の食事の主な調理者は、朝食、昼食、夜食ともに、「自分でつくる」が5割～6割で最も高く、次いで「配偶者がつくる」が2～3割となっている。

2号被保険者全体における平日の食事の主な調理者は、「自分でつくる」が最も高くなっている。「朝食」が60.6%で最も高く、「昼食」は45.2%となっている。「朝食」と「夕食」は「自分でつくる」に次いで「配偶者がつくる」が高くなっている。「昼食」は「自分でつくる」に次いで「外食する」が23.2%で高くなっている。

#### (65歳以上)



#### (2号被保険者:55～64歳)





3.10 外出に対する考え方

65歳以上全体における外出に対する考え方は、「特に負担には感じない」が65.7%で最も高く、次いで「外出するより、家にいて過ごす方が好き」が11.1%、「外出は、なんとなくおっくうである・好きではない」が10.2%となっている。

介護予防必要者別では、「介護予防必要者 計」は「外出はなんとなくおっくうである・好きではない」「行く場所や用事もないので外出したいとは思わない」「外出するより、家にいて過ごす方が好き」「身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくてもできない」が「介護予防必要者以外」と比べて8ポイント以上高くなっている。「全体 暮らしぶり含む」は殆どの項目で割合が相対的に高くなっている。

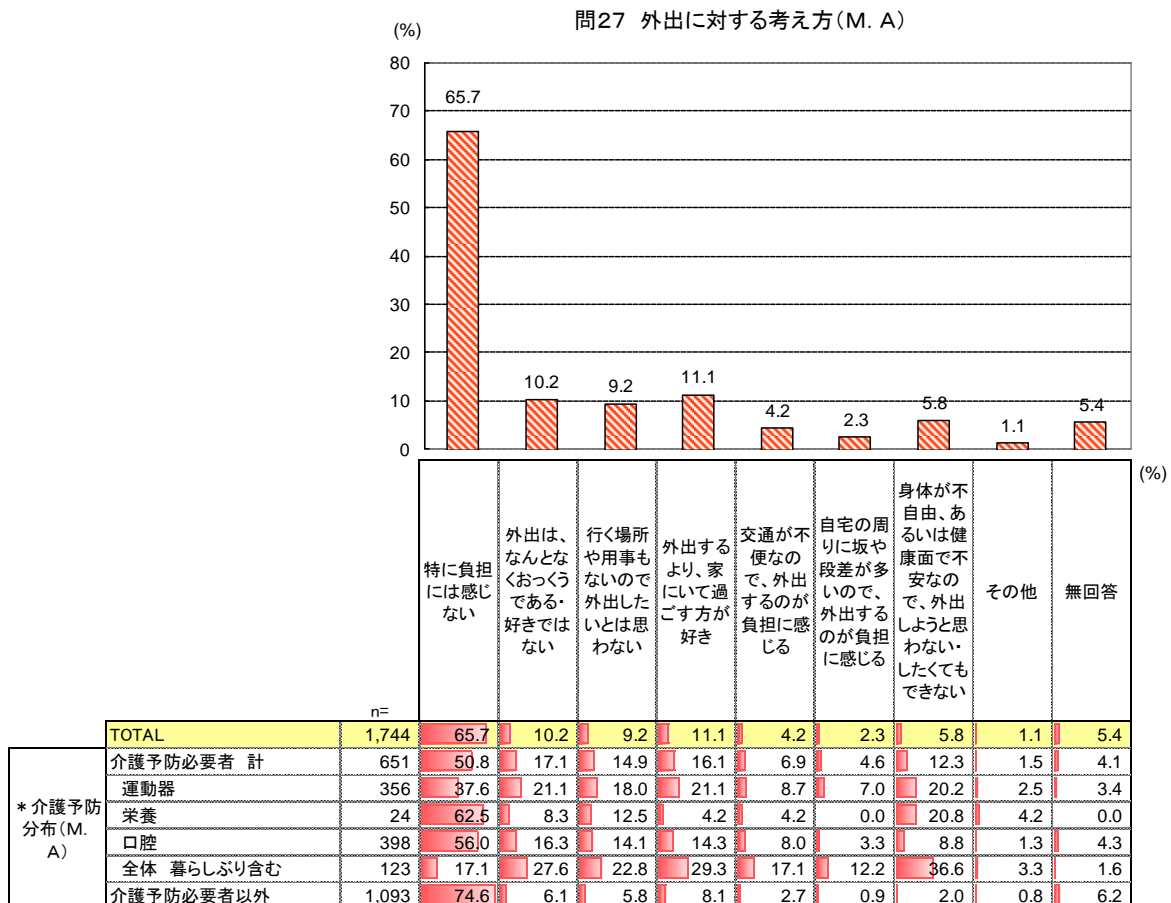
2号被保険者全体における外出に対する考え方は、「特に負担には感じない」が67.8%で最も高く、次いで「外出するより、家にいて過ごす方が好き」が17.9%、「行く場所や用事もないので外出したいとは思わない」が14.8%となっている。

介護予防必要者別では、「運動器」は「行く場所や用事もないので外出したいとは思わない」が36.4%で「介護予防必要者 計」と比べて9.4ポイント高く、「身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくてもできない」が14.5%で「介護予防必要者 計」と比べて7.9ポイント高くなっている。

在宅サービス利用者全体における外出に対する考え方は、「身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくてもできない」が41.6%で最も高く、次いで「外出は、なんとなくおっくうである・好きではない」が22.9%、「外出するより、家にいて過ごす方が好き」が21.7%となっている。

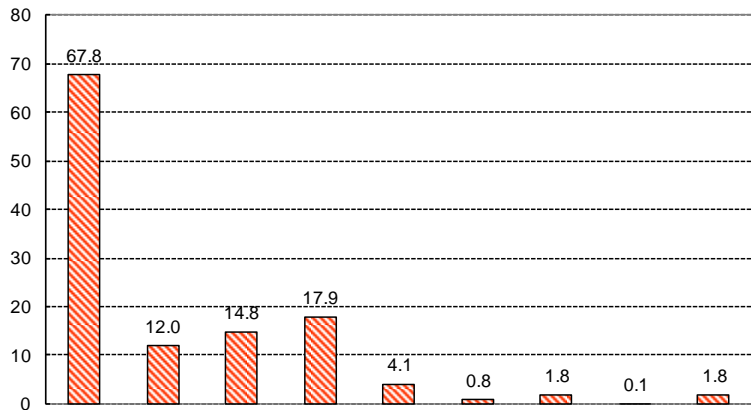
要介護度別では、介護度が高くなるにつれて「特に負担には感じない」「外出は、なんとなくおっくうである・好きではない」「交通が不便なので、外出するのが負担に感じる」が低下し、「身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくてもできない」が高くなり、「要介護3～5」では58.2%となっている。

(65歳以上)



(2号被保険者:55~64歳)

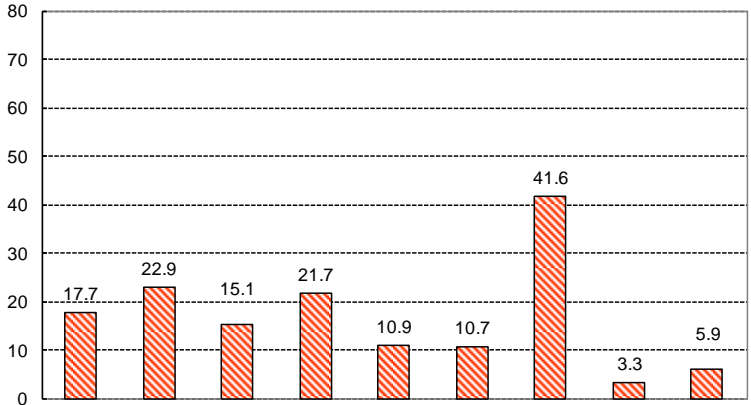
(%) 問25 外出に対する考え方(M. A)



		n=	特に負担には感じない	外出は、なんとなくおっくうである・好きではない	行く場所や用事も外出したいとは思わない	外出するより、家において過ごす方が好き	交通が不便なので、外出するのが負担に感じる	自宅の周りに坂や段差が多いので、外出するのが負担に感じる	身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくてもできない	その他	無回答
TOTAL		708	67.8	12.0	14.8	17.9	4.1	0.8	1.8	0.1	1.8
*介護予防分布(M. A)	介護予防必要者 計	122	51.6	27.0	27.0	27.9	7.4	3.3	6.6	0.8	1.6
	運動器	55	43.6	30.9	36.4	27.3	12.7	3.6	14.5	0.0	1.8
	栄養	5	40.0	20.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	口腔	87	51.7	26.4	26.4	29.9	5.7	3.4	3.4	1.1	2.3
	全体 暮らしぶり含む	24	25.0	50.0	45.8	41.7	12.5	8.3	16.7	0.0	0.0
	介護予防必要者以外	586	71.2	8.9	12.3	15.9	3.4	0.3	0.9	0.0	1.9

(在宅サービス利用者)

(%) 問20 外出に対する考え方(M. A)



		n=	特に負担には感じない	外出は、なんとなくおっくうである・好きではない	行く場所や用事も外出したいとは思わない	外出するより、家において過ごす方が好き	交通が不便なので、外出するのが負担に感じる	自宅の周りに坂や段差が多いので、外出するのが負担に感じる	身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくてもできない	その他	無回答
TOTAL		1,263	17.7	22.9	15.1	21.7	10.9	10.7	41.6	3.3	5.9
*BD5 要支援・要介護3	要支援(1・2)	414	24.9	26.3	15.0	21.3	14.5	12.6	28.7	3.6	4.1
	要介護(1・2)	521	15.9	23.0	19.0	21.5	12.1	12.7	43.4	2.9	5.6
	要介護(3~5)	306	10.1	19.6	8.8	22.5	4.6	5.6	58.2	3.6	7.5

**3.11 介護予防分布**

65歳以上全体における介護予防分布は、「介護予防必要者 計」は37.3%となっている。「介護予防必要者 計」の中では、「口腔」が22.8%で最も高く、次いで「運動器」が20.4%となっている。

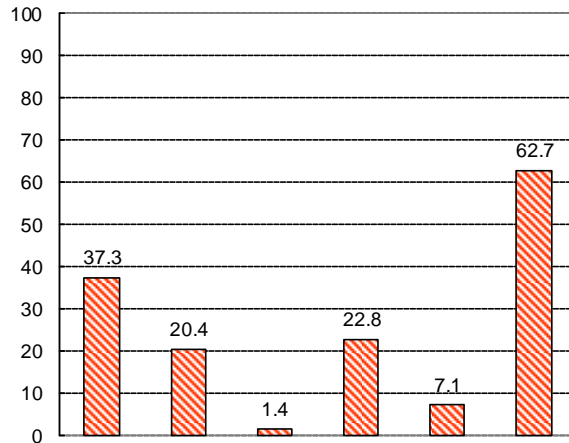
年齢別では、「介護予防必要者 計」は「前期高齢者」が27.5%、「後期高齢者」が43.8%となっている。「前期高齢者」は「口腔」が18.7%で最も高く、次いで「運動器」が12.4%となっているが、「後期高齢者」は「口腔」と「運動器」がともに25%前後となっている。

2号被保険者全体における介護予防分布は、「介護予防必要者 計」は17.2%となっており、「口腔」が12.3%、「運動器」が7.8%となっている。

年齢別では、特に目立った差はみられない。

**(65歳以上)**

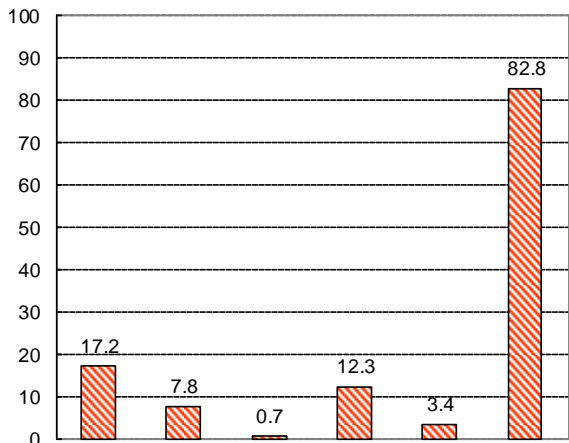
(%) 介護予防分布(M. A)



* 年齢	n=	介護予防分布(M. A) (%)					
		介護予防必要者計	運動器	栄養	口腔	全体暮らしぶり含む	介護予防必要者以外
TOTAL	1,744	37.3	20.4	1.4	22.8	7.1	62.7
前期高齢者(65歳~74歳)	652	27.5	12.4	0.8	18.7	3.2	72.5
後期高齢者(75歳以上)	1,065	43.8	25.6	1.8	25.5	9.2	56.2

**(2号被保険者:55~64歳)**

(%) 介護予防分布(M. A)



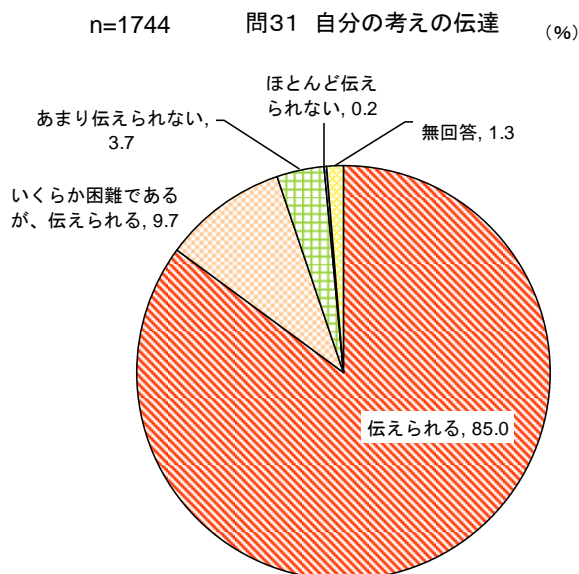
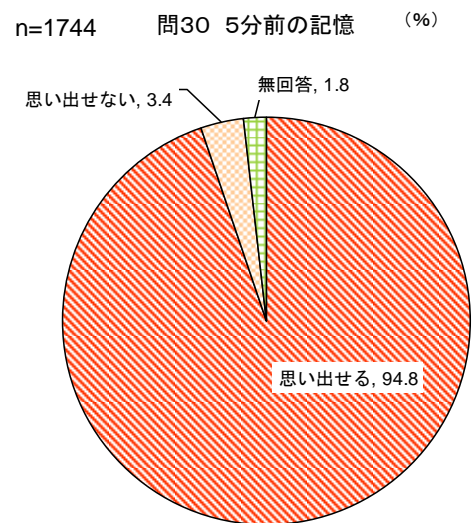
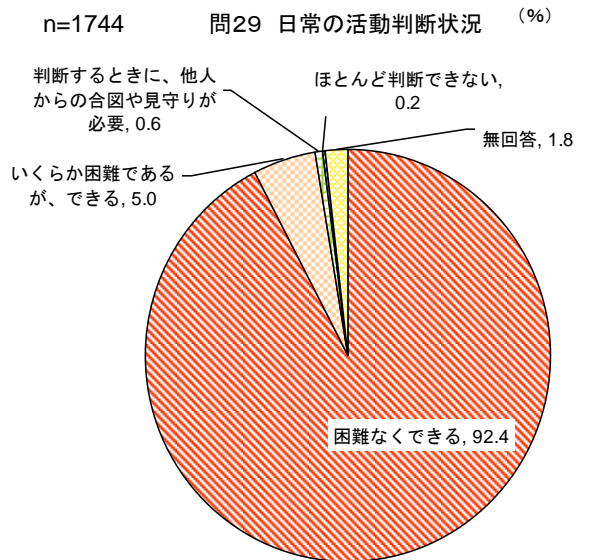
問3 年齢	n=	介護予防分布(M. A) (%)					
		介護予防必要者計	運動器	栄養	口腔	全体暮らしぶり含む	介護予防必要者以外
TOTAL	708	17.2	7.8	0.7	12.3	3.4	82.8
55~59歳	324	16.7	7.7	0.9	11.7	3.1	83.3
60~64歳	378	17.7	7.7	0.5	13.0	3.7	82.3

### 3.12 認知機能

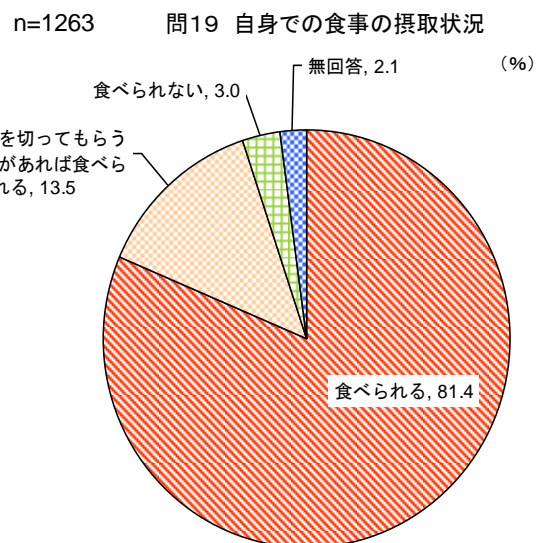
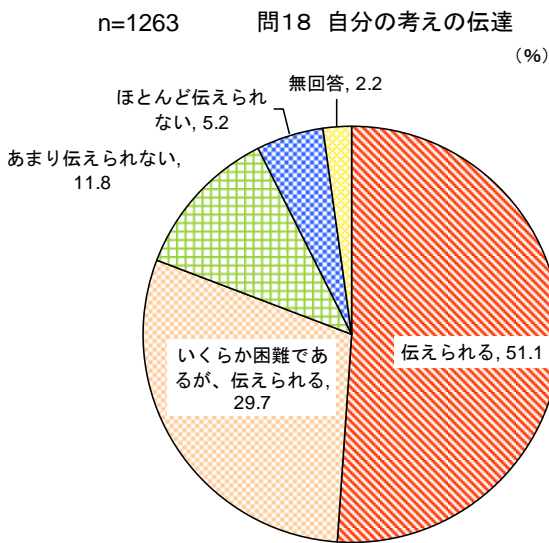
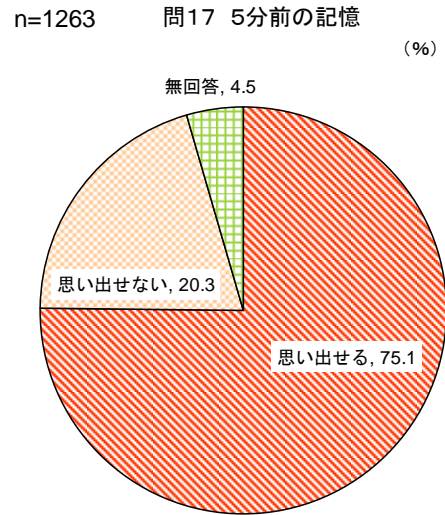
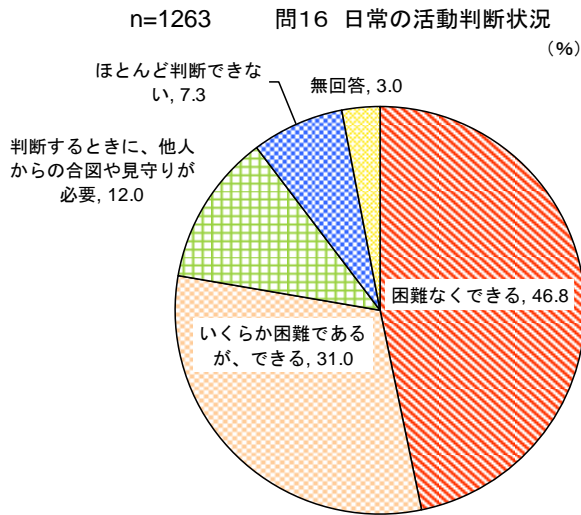
65歳以上全体における認知機能は、日常の活動判断状況は「困難なくできる」が92.4%、5分前の記憶は「思い出せる」が94.8%、自分の考えの伝達は「伝えられる」が85.0%となっている。

在宅サービス利用者全体における認知機能は、日常の活動判断状況は「困難なくできる」が46.8%で、「いくらか困難であるが、できる」が31.0%となっている。5分前の記憶は、「思い出せる」が75.1%で、「思い出せない」が24.9%となっている。自身での食事の摂取状況は「食べられる」が81.4%となっており、「おかずを切ってもら等介助があれば食べられる」が13.5%となっている。

#### (65歳以上)



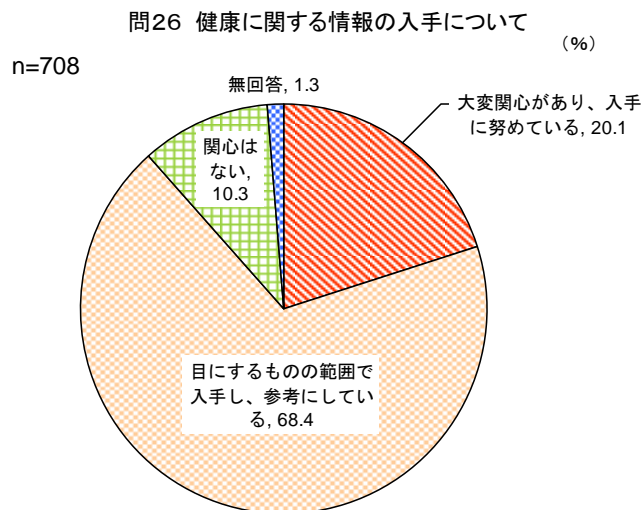
(在宅サービス利用者)



3.13.1 健康に関する情報の入手について

2号被保険者全体における健康に関する情報の入手については、「目にするものの範囲で入手し、参考にしている」が68.4%で、「大変関心があり、入手に努めている」が20.1%、「関心はない」が10.3%となっている。

(2号被保険者:55~64歳)



### 3.13.2 健康について特に知りたいこと

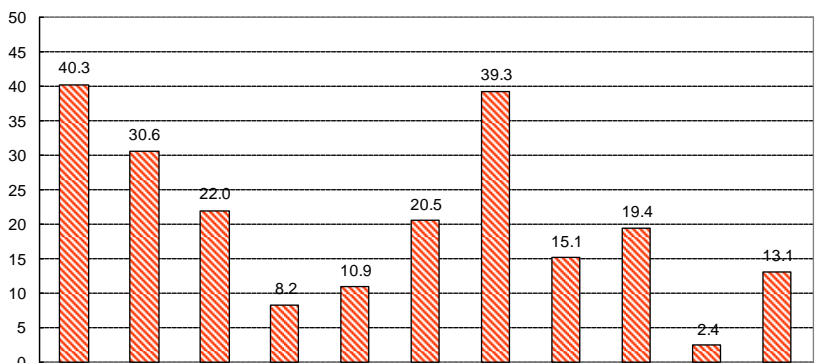
2号被保険者全体における健康について特に知りたいことは、「がんや高血圧などの病気の予防について」が40.3%で最も高く、「認知症の予防について」が39.3%、「望ましい食生活について」が30.6%となっている。

年齢別では、「55～59歳」は「がんや高血圧などの病気の予防について」は43.5%で「60～64歳」と比べて6.2ポイント高く、「骨粗しょう症の予防について」は17.9%で「60～64歳」と比べて5.2ポイント高く、「心の健康について」は24.7%で「60～64歳」と比べて9.6ポイント高くなっている。

参加・継続したい地域活動別では、「地域の祭りや文化・芸能の振興や継承等に関する活動」以外の活動は「がんや高血圧などの病気の予防について」と「認知症の予防について」が上位2項目となっており、「地域の祭りや文化・芸能の振興や継承等に関する活動」は「がんや高血圧などの病気の予防について」と「望ましい食生活について」が上位2項目となっている。また、「高齢者や障害者の支援、子どもの育成に関する活動」と「各種学習・研究活動」は「望ましい食生活について」を選択する割合も高くなっている。「特に参加したい地域活動はない」回答者は、殆どの項目で回答割合が低くなっている。

#### (2号被保険者:55～64歳)

問27 健康について特に知りたいこと(M. A)



問3 年齢	n=	問27 健康について特に知りたいこと(M. A)										
		がんや高血圧などの病気の予防について	望ましい食生活について	運動の方法について	健康診査の内容や受け方などについて	寝たきりの予防について	歯の健康について	認知症の予防について	骨粗しょう症の予防について	心の健康について	その他	無回答
TOTAL	708	40.3	30.6	22.0	8.2	10.9	20.5	39.3	15.1	19.4	2.4	13.1
55～59歳	324	43.5	32.1	21.0	6.5	9.6	19.4	39.8	17.9	24.7	2.8	13.0
60～64歳	378	37.3	29.6	23.3	9.8	12.2	21.7	38.6	12.7	15.1	2.1	13.2

問14 参加・継続したい地域活動(M. A)	n=	問27 健康について特に知りたいこと(M. A)										
		がんや高血圧などの病気の予防について	望ましい食生活について	運動の方法について	健康診査の内容や受け方などについて	寝たきりの予防について	歯の健康について	認知症の予防について	骨粗しょう症の予防について	心の健康について	その他	無回答
TOTAL	708	40.3	30.6	22.0	8.2	10.9	20.5	39.3	15.1	19.4	2.4	13.1
町会、自治会等活動	95	49.5	31.6	26.3	12.6	11.6	22.1	52.6	20.0	23.2	0.0	9.5
高齢者や障害者の支援、子どもの育成に関する活動	71	42.3	42.3	28.2	14.1	11.3	19.7	45.1	25.4	28.2	0.0	12.7
環境美化や自然保護など環境に関する活動	90	51.1	38.9	28.9	16.7	17.8	31.1	46.7	17.8	25.6	0.0	4.4
防犯・防災等活動	54	48.1	31.5	25.9	16.7	7.4	33.3	48.1	20.4	25.9	0.0	7.4
地域の産業振興や活性化に関する活動	40	45.0	35.0	32.5	20.0	15.0	20.0	45.0	15.0	22.5	0.0	7.5
健康スポーツ等の活動	211	43.1	36.5	35.1	10.9	10.9	28.4	43.6	17.5	24.6	0.5	7.6
地域の祭りや文化・芸能の振興や継承等に関する活動	65	49.2	41.5	27.7	18.5	7.7	13.8	40.0	18.5	18.5	1.5	9.2
各種学習・研究活動	138	43.5	37.0	33.3	10.9	7.2	19.6	37.0	20.3	23.2	2.2	8.7
その他	4	0.0	50.0	75.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	25.0	25.0
特に参加したい地域活動はない	286	35.3	25.5	11.5	5.6	11.2	15.7	33.2	11.2	16.1	3.8	17.8

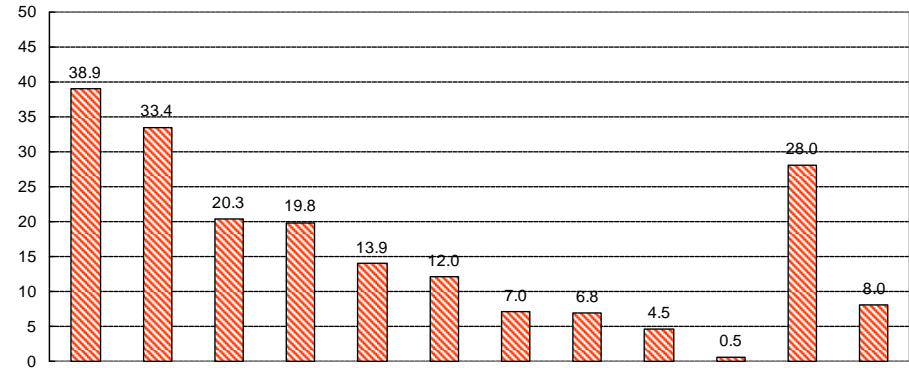
**3.14 生活機能の低下予防に利用したいサービス**

65歳以上全体における生活機能の低下予防に利用したいサービスは、「健康体操教室」が38.9%で最も高く、次いで「筋力トレーニング、転倒骨折予防」が33.4%となっている。また、「特に利用したいと思うものはない」は28.0%である。

介護予防必要者別では、「介護予防必要者 計」と「介護予防必要者以外」で特に目立った差はみられず、「介護予防必要者以外」は「ウォーキング教室」が22.0%で、「介護予防必要者 計」と比べて4.5ポイントとやや高くなっている。

**(65歳以上)**

問32 生活機能の低下予防に利用したいサービス(M. A)



		n=	健康体操教室(健康のための軽い運動などを実施)	筋力トレーニング、転倒骨折予防	ウォーキング教室	認知症予防のための教室	プール教室(プールの中で歩行や軽いストレッチ運動を行う)	食事改善、低栄養予防指導	義歯調節や歯磨き指導、口腔ケア	買物の同行や家事をいっしょにする家事援助	閉じこもり予防	その他	特に利用したいと思うものはない	無回答
TOTAL		1,744	38.9	33.4	20.3	19.8	13.9	12.0	7.0	6.8	4.5	0.5	28.0	8.0
*介護予防分布(M. A)	介護予防必要者 計	651	36.9	31.6	17.5	20.7	12.6	12.0	9.7	5.8	5.4	0.6	27.6	7.8
	運動器	356	32.6	31.5	11.5	19.4	9.3	12.1	8.7	7.9	4.8	0.8	31.5	8.7
	栄養	24	37.5	16.7	12.5	16.7	8.3	16.7	12.5	8.3	12.5	4.2	25.0	12.5
	口腔	398	37.4	31.9	21.4	21.6	13.6	12.3	11.3	4.8	5.5	0.5	24.9	8.5
	全体 暮らしぶり含む	123	22.0	24.4	8.1	14.6	1.6	6.5	8.9	4.9	6.5	1.6	37.4	11.4
介護予防必要者以外		1,093	40.1	34.4	22.0	19.3	14.6	12.1	5.4	7.3	4.0	0.5	28.2	8.1

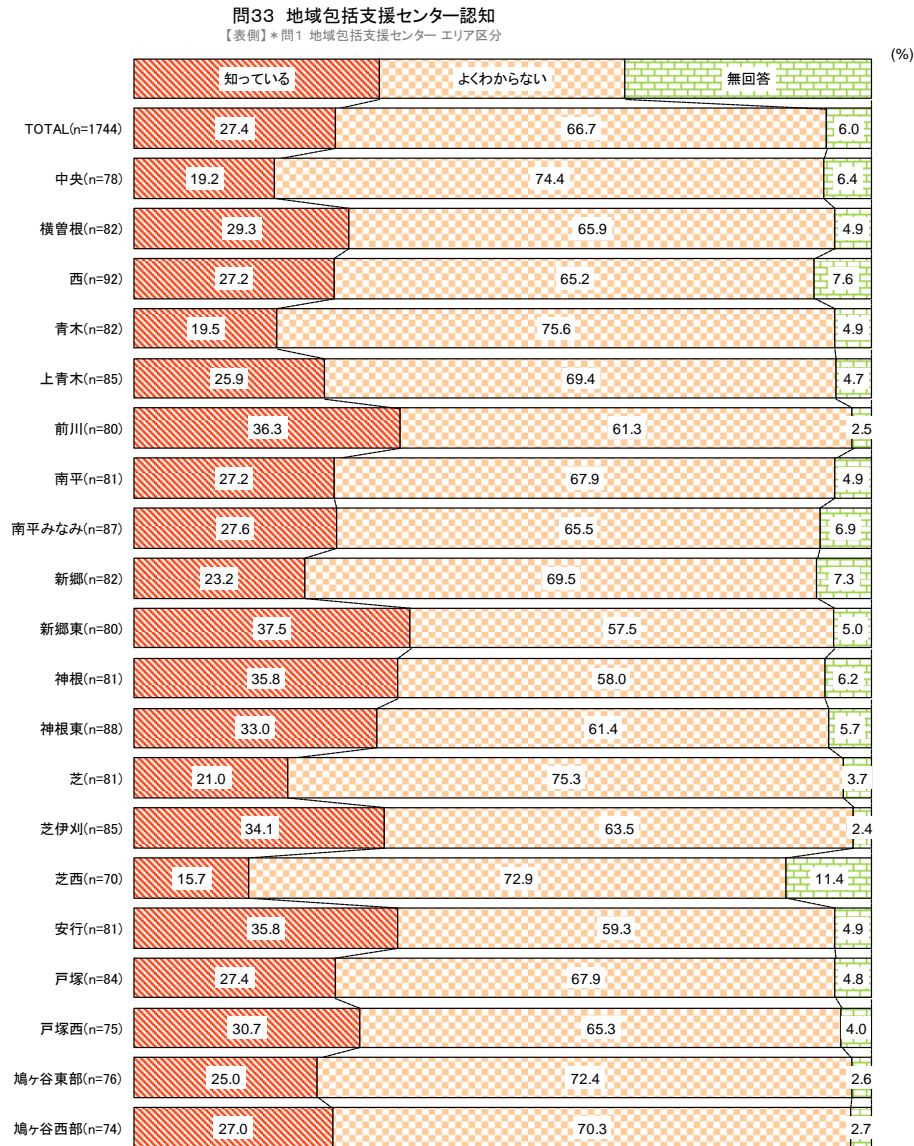
## 【4. 地域包括支援センター】

### 4.1 地域包括支援センター認知

65歳以上全体における地域包括ケアセンターの認知率は27.4%で、「よくわからない」の方が66.7%と高くなっている。

地域包括支援センターエリア別では、認知率が高いのは「前川」「新郷東」「神根」「安行」で認知率が35%以上となっており、「中央」「青木」「芝西」が20%以下と低くなっている。

(65歳以上)

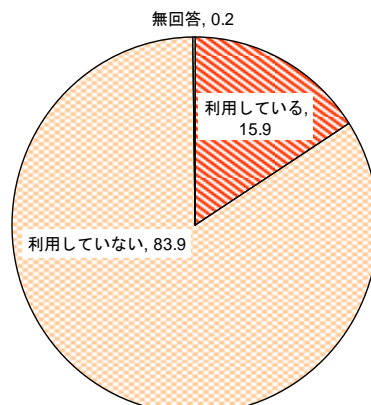


### 4.2 地域包括支援センター利用有無

65歳以上で地域包括支援センターを認知している人の利用率は15.9%となっている。

(65歳以上)

問33-1 地域包括支援センター利用有無【ベース:地域包括支援センター認知者】  
n=477 (%)





## 【5. 介護保険制度について】

### 5.1 要介護状態になった場合に望む介護形態

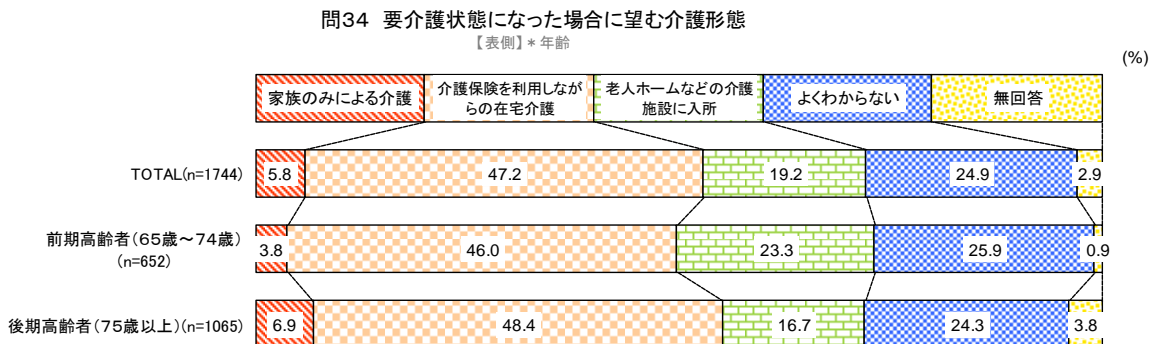
65歳以上全体における要介護状態になった場合に望む介護形態は、「介護保険を利用しながらの在宅介護」が47.2%で最も高く、次いで「よくわからない」が24.9%、「老人ホームなどの介護施設に入所」が19.2%となっている。

年齢別では、「前期高齢者」は「老人ホームなどの介護施設に入所」が23.3%で「後期高齢者」と比べて6.6ポイント高くなっている。

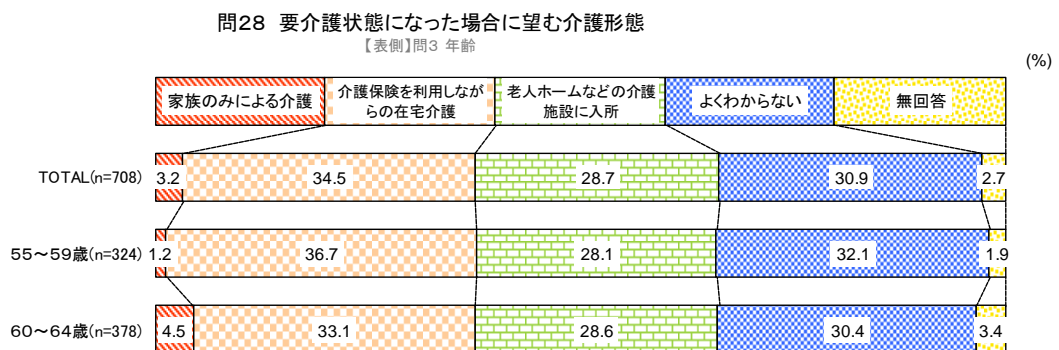
2号被保険者全体における要介護状態になった場合に望む介護形態は、「介護保険を利用しながらの在宅介護」が34.5%で最も高く、次いで「よくわからない」が30.9%、「老人ホームなどの介護施設に入所」が28.7%となっている。

年齢別では、特に目立った差はみられない。

#### (65歳以上)



#### (2号被保険者:55~64歳)

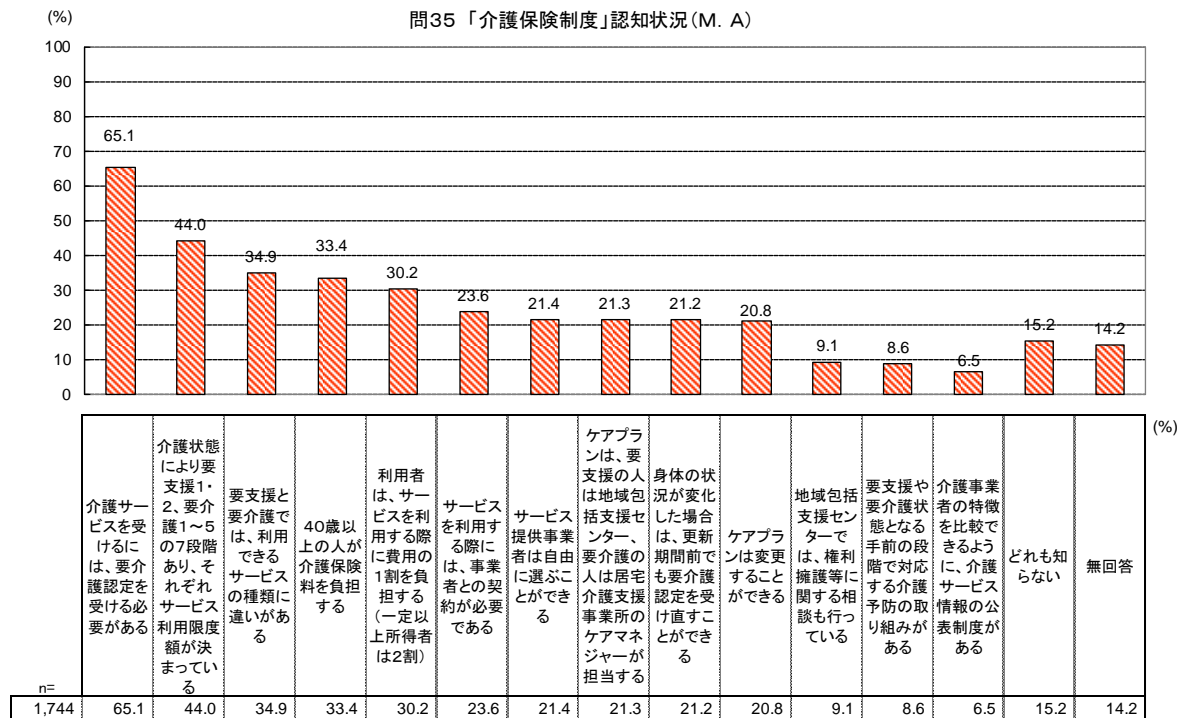


## 5.2 「介護保険制度」認知状況

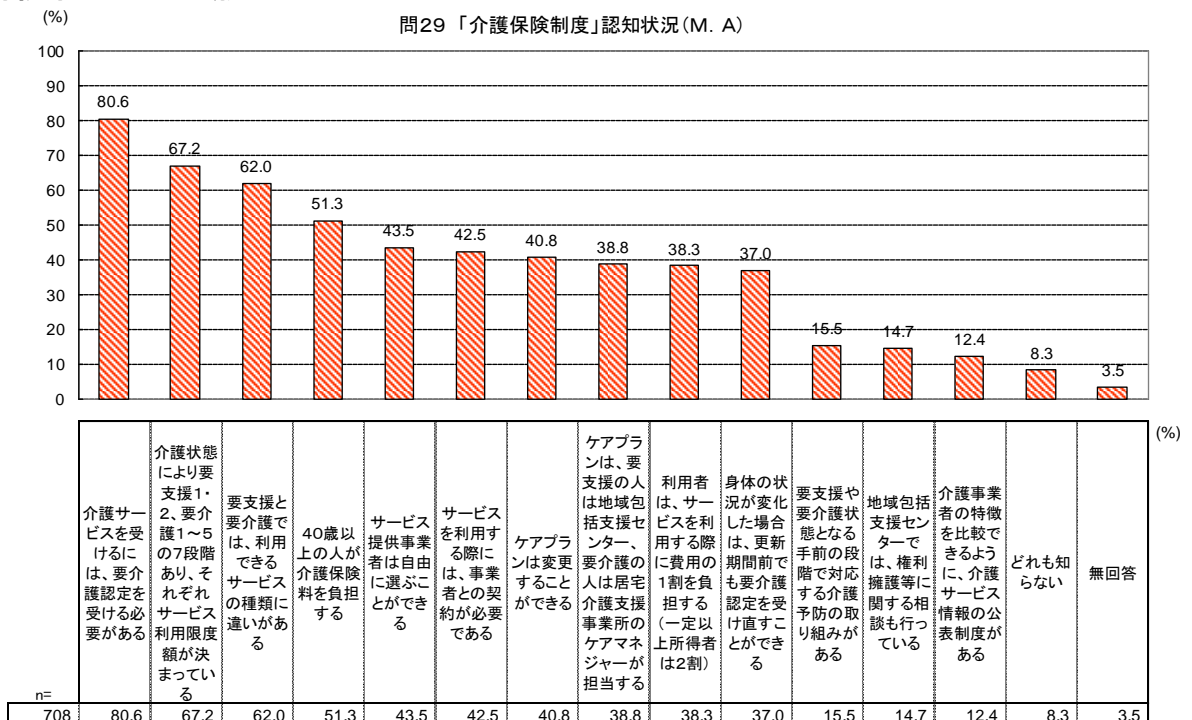
65歳以上全体における「介護保険制度」認知状況は、「介護サービスを受けるには、要介護認定を受ける必要がある」が65.1%で最も高く、次いで「介護状態により要支援1・2、要介護1～5の7段階あり、それぞれサービス利用限度額が決まっている」が44.0%、「要支援と要介護では、利用できるサービスの種類に違いがある（34.9%）」「40歳以上の方が介護保険料を負担する（33.4%）」「利用者は、サービスを利用する際に費用の1割を負担する（30.2%）」が30%台となっている。

2号被保険者全体における「介護保険制度」認知状況は、「介護サービスを受けるには、要介護認定を受ける必要がある」が80.6%で最も高く、次いで「介護状態により要支援1・2、要介護1～5の7段階あり、それぞれサービス利用限度額が決まっている」が67.2%、「要支援と要介護では、利用できるサービスの種類に違いがある」が62.0%、「40歳以上の方が介護保険料を負担する」が51.3%となっており、いずれも、「65歳以上全体」と比べて認知率が高くなっている。

### (65歳以上)



### (2号被保険者:55～64歳)



**5.3.1 年間の介護保険料**

65歳以上全体における年間の介護保険料は、「第5段階（基準額）」は8.6%で、「第4段階以下（第1～第4段階の合計値）」と「第6段階以上（第6～第17段階の合計値）」はともに30.9%となっている。

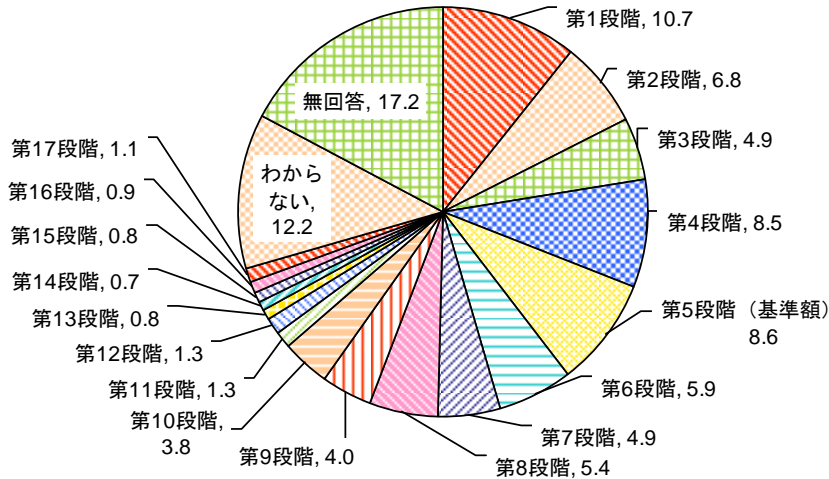
在宅サービス利用者全体における年間の介護保険料は、「第5段階（基準額）」は8.6%で、「第4段階以下（第1～第4段階の合計値）」は42.4%、「第6段階以上（第6～第17段階の合計値）」は17.8%となっている。

(65歳以上)

n=1744

問36 年間の介護保険料

(%)

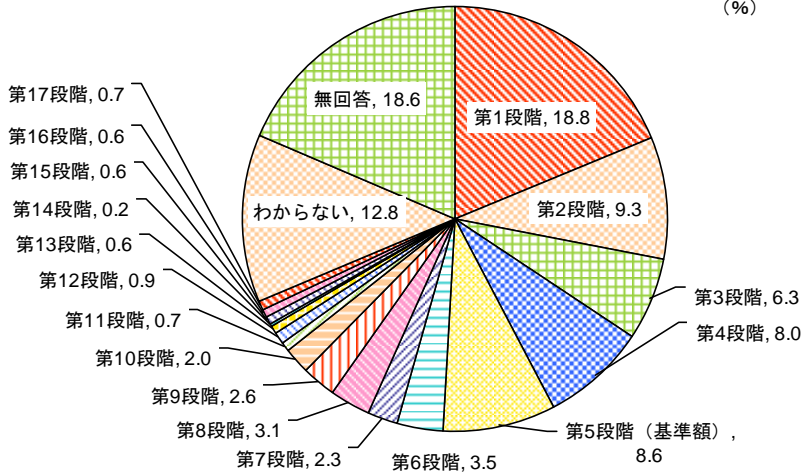


(在宅サービス利用者)

n=1263

問42 年間の介護保険料

(%)



**5.3.2 自身が納めている介護保険料額の認知状況**

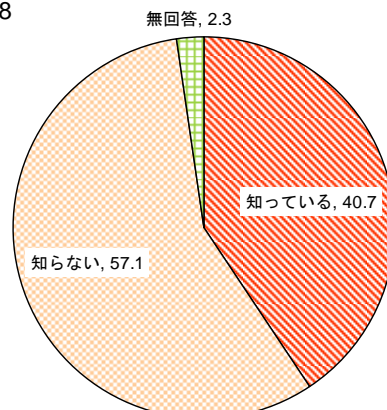
2号被保険者全体における自身が納めている介護保険料額の認知率は40.7%である。

(2号被保険者:55～64歳)

問30 自身が納めている介護保険料額の認知状況

(%)

n=708



### 5.3.3 介護保険料の妥当性

65歳以上全体における介護保険料の妥当性は、「おおむね妥当だと思う」が15.7%で、「どちらかという高い金額だと思う」が39.0%、「どちらかという安い金額だと思う」が1.5%となっている。「わからない」回答者も30.8%と一定割合を占めている。

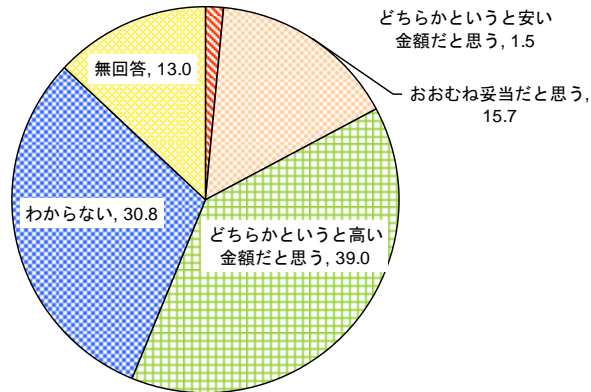
在宅サービス利用者全体における介護保険料の妥当性は、「おおむね妥当だと思う」が23.3%で、「どちらかという高い金額だと思う」が28.3%、「どちらかという安い金額だと思う」が2.2%となっている。「65歳以上全体」同様、「わからない」回答者が29.5%と一定割合を占めている。

#### (65歳以上)

n=1744

問37 介護保険料の妥当性

(%)

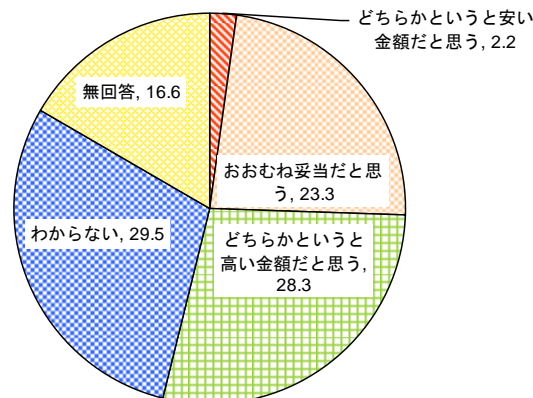


#### (在宅サービス利用者)

n=1263

問43 介護保険料の妥当性

(%)



### 5.3.4 介護保険標準保険料（年額59,400円）の妥当性

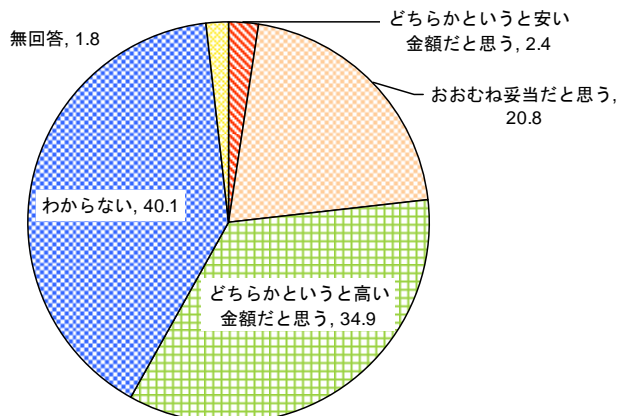
2号被保険者全体における介護保険標準保険料（年額59,400円）の妥当性は、「わからない」が40.1%で最も多い。次いで「どちらかという高い金額だと思う」が34.9%、「おおむね妥当だと思う」が20.8%となっている。

#### (2号被保険者:55~64歳)

問32 介護保険標準保険料（年額59,400円）の妥当性

(%)

n=708



**5.3.5 今後の介護保険料と介護サービスのあり方について**

65歳以上全体における今後の介護保険料と介護サービスのあり方については、「わからない」が42.1%で最も高くなっている。次いで「現状の保険料水準を維持し、サービス量も現状のままでよい」が21.3%、「介護サービスの量が多少減っても保険料を引き下げろべき」が14.1%、「保険料が多少高くなっても、サービスの量や内容を充実させるべき」が10.1%となっている。

年齢別では、「前期高齢者」は「わからない」が45.7%で「後期高齢者」と比べて5.3ポイント高くなっている。

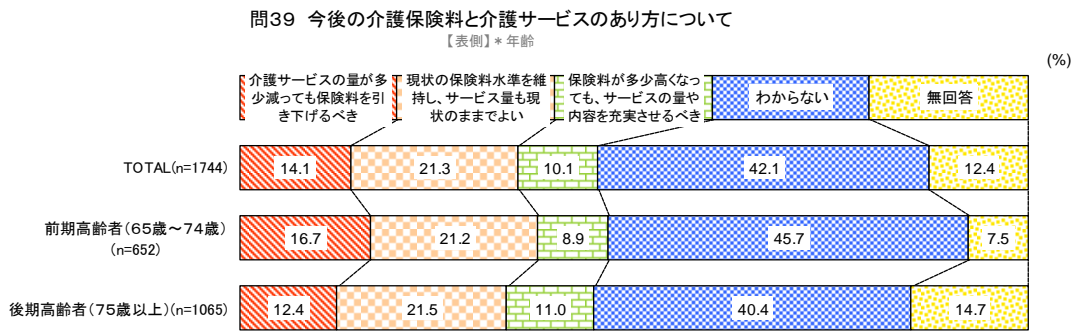
2号被保険者全体における今後の介護保険料と介護サービスのあり方については、「わからない」が42.5%で最も高くなっている。次いで「現状の保険料水準を維持し、サービス量も現状のままでよい」が23.0%、「保険料が多少高くなっても、サービスの量や内容を充実させるべき」が16.9%、「介護サービスの量が多少減っても保険料を引き下げろべき」が13.1%となっている。

年齢別では、特に目立った差はみられない。

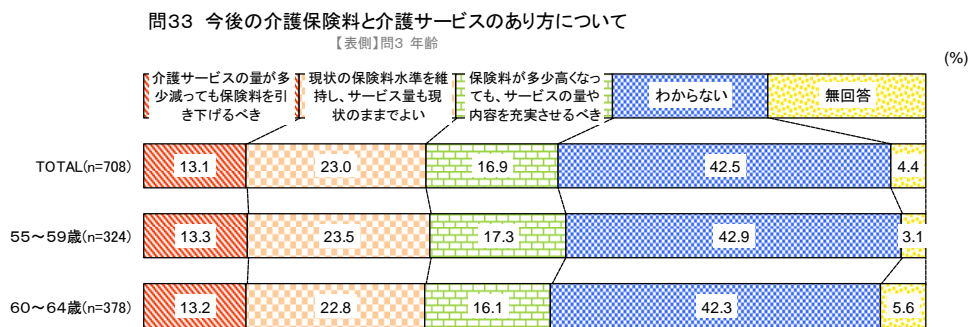
在宅サービス利用者全体における今後の介護保険料と介護サービスのあり方については、「現状の保険料水準を維持し、サービス量も現状のままでよい」が39.8%で最も高く、次いで「わからない」が27.8%となっている。

要介護度別では、特に目立った差はみられない。

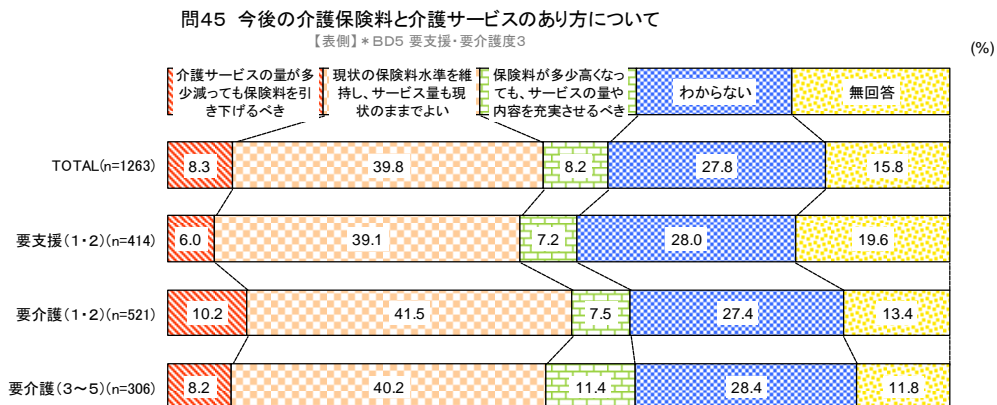
**(65歳以上)**



**(2号被保険者:55～64歳)**



**(在宅サービス利用者)**

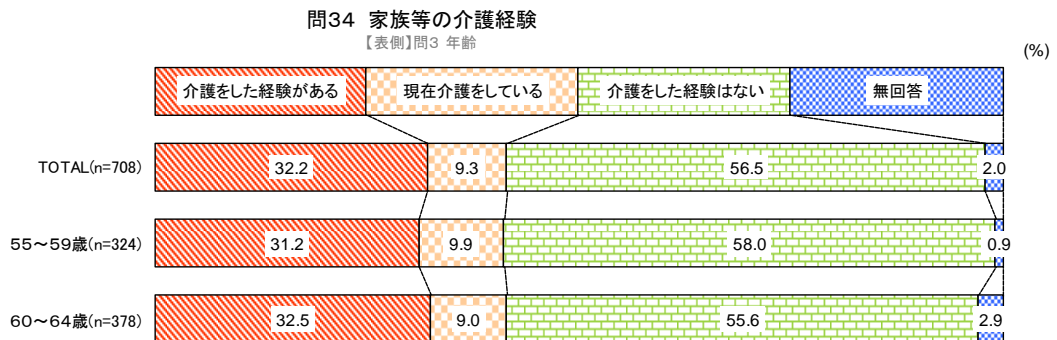


### 5.4.1 家族等の介護経験

2号被保険者全体における家族等の介護経験は、「介護をした経験はない」が56.5%で最も高く、次いで「介護をした経験がある」が32.2%、「現在介護をしている」は9.3%である。

年齢別では、特に目立った差はみられない。

(2号被保険者:55～64歳)

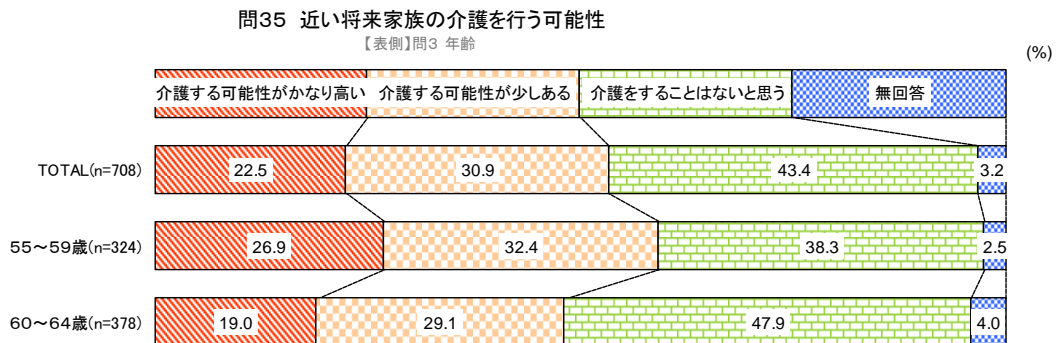


### 5.4.2 近い将来家族の介護を行う可能性

2号被保険者全体における近い将来家族の介護を行う可能性は、「介護をすることはないと思う」が43.4%で最も高く、次いで「介護する可能性が少しある」が30.9%、「介護する可能性がかなり高い」が22.5%となっている。

年齢別では、「55～59歳」は「介護する可能性がかなり高い」が26.9%で「60～64歳」と比べて7.9ポイント高くなっている。

(2号被保険者:55～64歳)

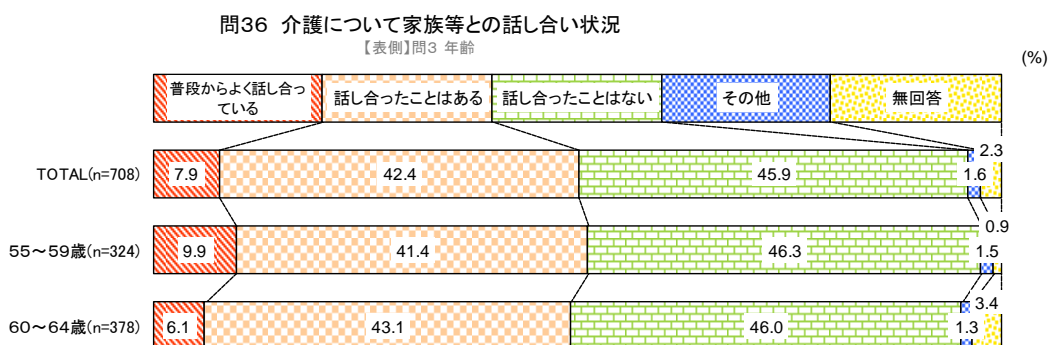


### 5.4.3 介護について家族等との話し合い状況

2号被保険者全体における介護について家族等との話し合い状況は、「話し合ったことはない」が45.9%で最も高く、次いで「話し合ったことはある」が42.4%、「普段からよく話し合っている」は7.9%である。

年齢別では、特に目立った差はみられない。

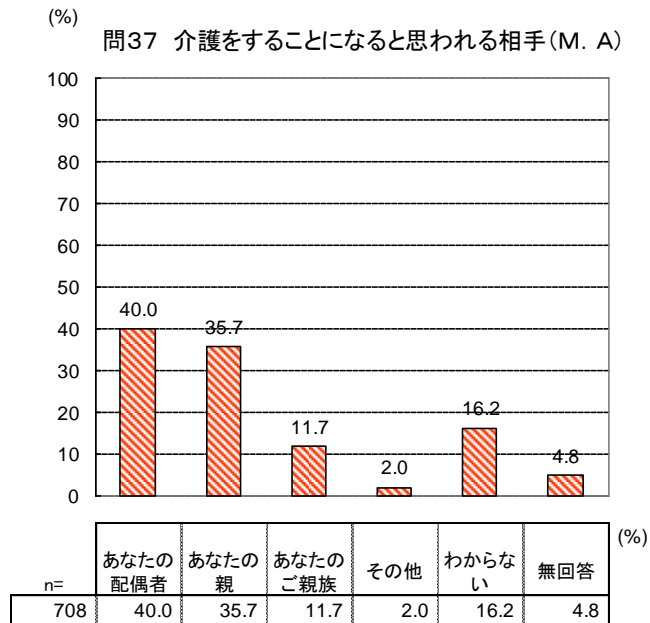
(2号被保険者:55～64歳)



**5.4.4 介護をすることになると思われる相手**

2号被保険者全体における介護をすることになると思われる相手は、「配偶者」が40.0%で最も高く、次いで「親」が35.7%となっている。

(2号被保険者:55~64歳)

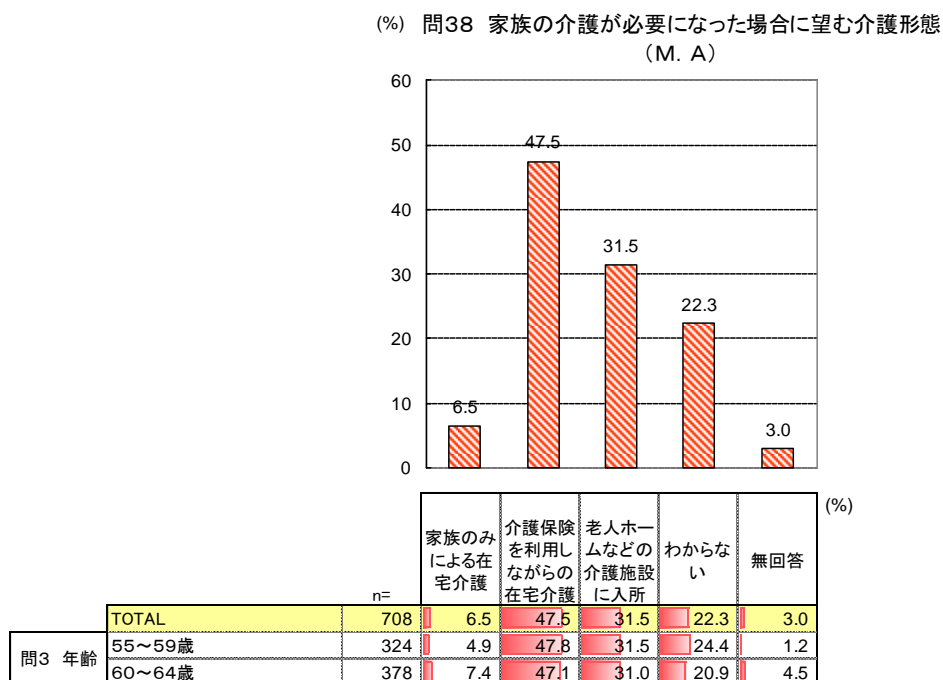


**5.4.5 家族の介護が必要になった場合に望む介護形態**

2号被保険者全体における家族の介護が必要になった場合に望む介護形態は、「介護保険を利用しながらの在宅介護」が47.5%で最も高く、次いで「老人ホームなどの介護施設に入所」が31.5%、「わからない」が22.3%となっている。

年齢別では、「55~59歳」は「わからない」が24.4%と「60~64歳」と比べて3.5ポイントとやや高くなっている。

(2号被保険者:55~64歳)



## 5.4.6 介護をすることについての不安感

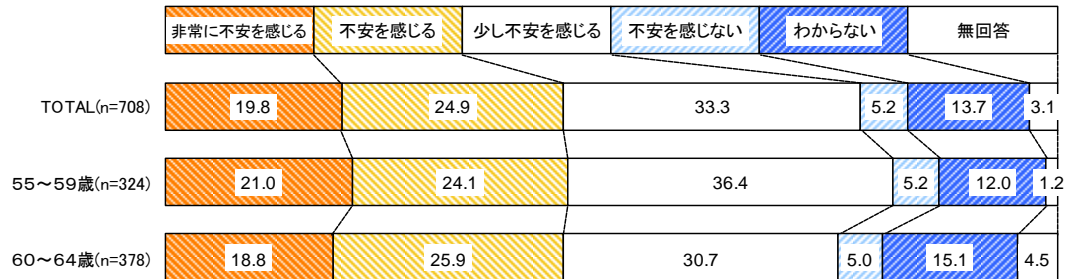
2号被保険者全体における介護をすることについての不安感は、「不安を感じる 計（「非常に不安を感じる」「不安を感じる」「少し不安を感じる」の合計値）」が78.0%で、不安の程度としては、「少し不安を感じる」が33.3%、「不安を感じる」が24.9%、「非常に不安を感じる」が19.8%となっている。

年齢別では、「55～59歳」は「少し不安を感じる」が36.4%と「60～64歳」と比べて5.7ポイント高くなっている。

### (2号被保険者:55～64歳) 問39 介護をすることについての不安感

【表例】問3 年齢

(%)

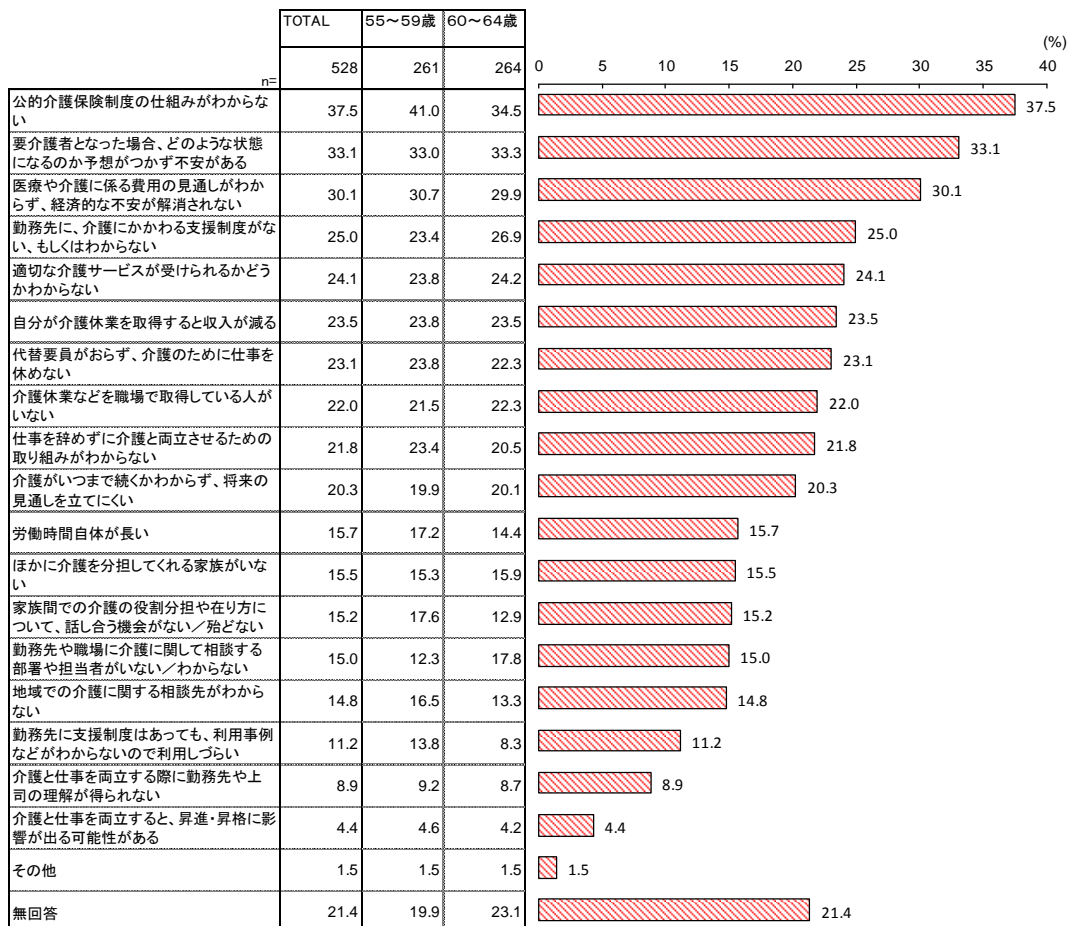


## 5.4.7 介護について感じている不安（有職者への質問）

2号被保険者の有職者における介護について感じている不安は、「公的介護保険制度の仕組みがわからない」が37.5%で最も高く、次いで「要介護者となった場合、どのような状態になるのか予想がつかず不安がある」が33.1%、「医療や介護に係る費用の見通しがわからず、経済的な不安が解消されない」が30.1%となっている。

年齢別では、「55～59歳」は「公的介護保険制度の仕組みがわからない」が41.0%で「60～64歳」と比べて6.5ポイント高く、「勤務先に支援制度はあっても、利用事例などがわからないので利用しづらい」が13.8%で「60～64歳」と比べて5.5ポイント高くなっている。「60～64歳」は「勤務先や職場に介護に関して相談する部署や担当者がいない/わからない」が17.8%で「55～59歳」と比べて5.5ポイント高くなっている。

### (2号被保険者:55～64歳) 問40 介護について感じている不安(M. A)【ベース:有職者】



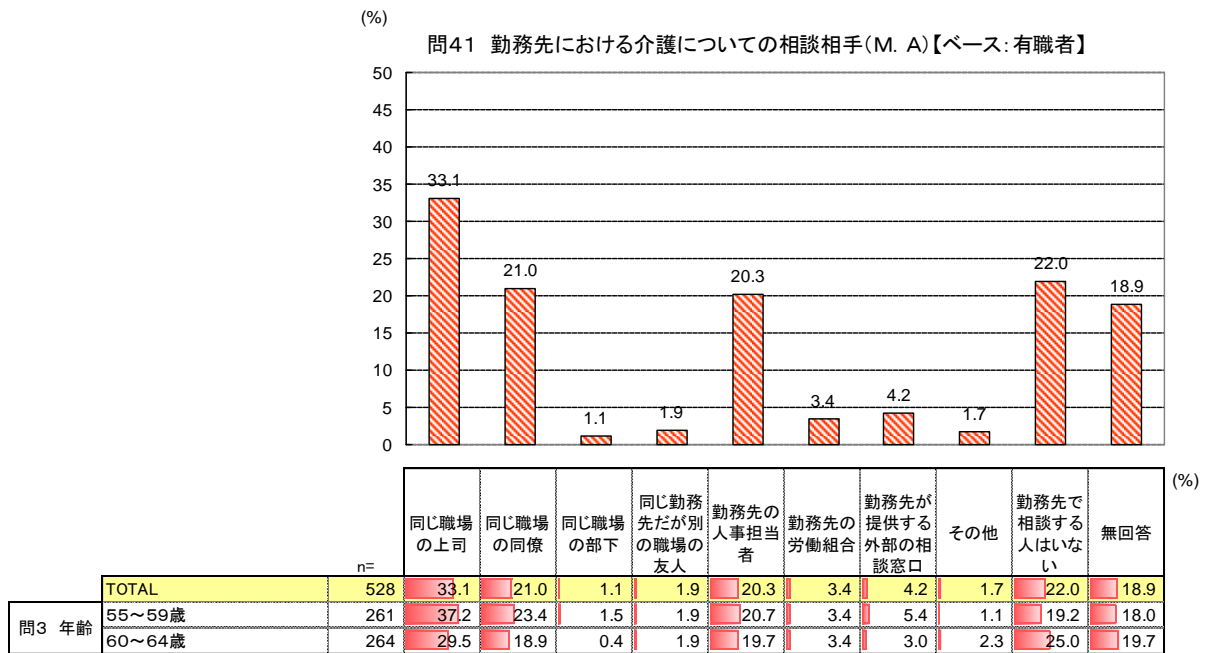


**5.4.8 勤務先における介護についての相談相手（有職者への質問）**

2号被保険者の有職者における勤務先における介護についての相談相手は、「同じ職場の上司」が33.1%で最も高く、次いで「勤務先で相談する人はいない」が22.0%、「同じ職場の同僚」が21.0%、「勤務先の人事担当者」が20.3%となっている。

年齢別では、「55～59歳」は「同じ職場の上司」が37.2%で「60～64歳」と比べて7.7ポイント高く、「60～64歳」は「勤務先で相談する人はいない」が25.0%で「55～59歳」と比べて5.8ポイント高くなっている。

**（2号被保険者：55～64歳）**

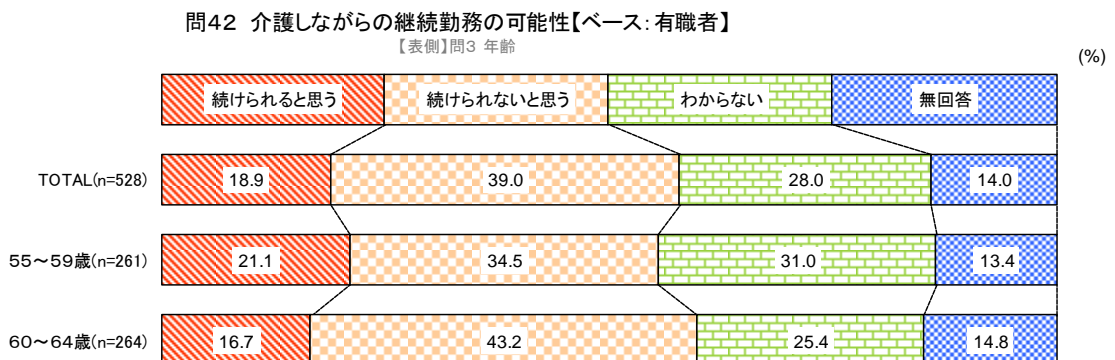


**5.4.9 介護しながらの継続勤務の可能性（有職者への質問）**

2号被保険者の有職者における介護しながらの継続勤務の可能性は、「続けられないと思う」が39.0%で最も高く、次いで「わからない」が28.0%、「続けられると思う」が18.9%となっている。

年齢別では、「55～59歳」は「わからない」が31.0%で「60～64歳」と比べて5.6ポイント高く、「60～64歳」は「続けられないと思う」が43.2%で「55～59歳」と比べて8.7ポイント高くなっている。

**（2号被保険者：55～64歳）**



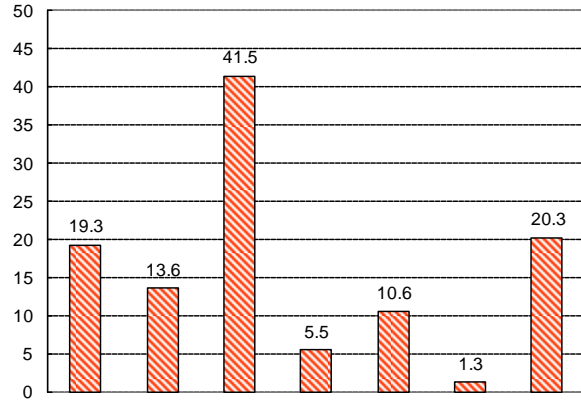
### 5.4.10 介護することになった場合の望ましい働き方（有職者への質問）

2号被保険者の有職者における介護することになった場合の望ましい働き方は、「介護が必要な時期は勤務先の短時間勤務などの支援制度を利用しながら働き続け、仕事と介護を両立する」が41.5%で最も高く、次いで「今の仕事を辞めて介護に専念する」が19.3%となっている。

年齢別では、「60～64歳」は「今の仕事を辞めて介護に専念する」が23.9%で「55～59歳」と比べて9.0ポイント高くなっている。

#### （2号被保険者：55～64歳）

(%) 問43 介護することになった場合の望ましい働き方(M. A)  
【ベース：有職者】



		n=	今の仕事を辞めて介護に専念する	介護が必要な時期は勤務先の休業制度を利用して自分が介護をし、その後、勤務先に復帰する	介護が必要な時期は勤務先の短時間勤務などの支援制度を利用しながら働き続け、仕事と介護を両立する	介護のための支援制度を利用せずに、年次有給休暇などで対処する	働き方は特に変えない	その他	無回答
	TOTAL	528	19.3	13.6	41.5	5.5	10.6	1.3	20.3
問3	年齢								
	55～59歳	261	14.9	14.9	41.4	7.3	8.8	2.3	23.0
	60～64歳	264	23.9	12.5	40.9	3.4	12.5	0.4	17.8

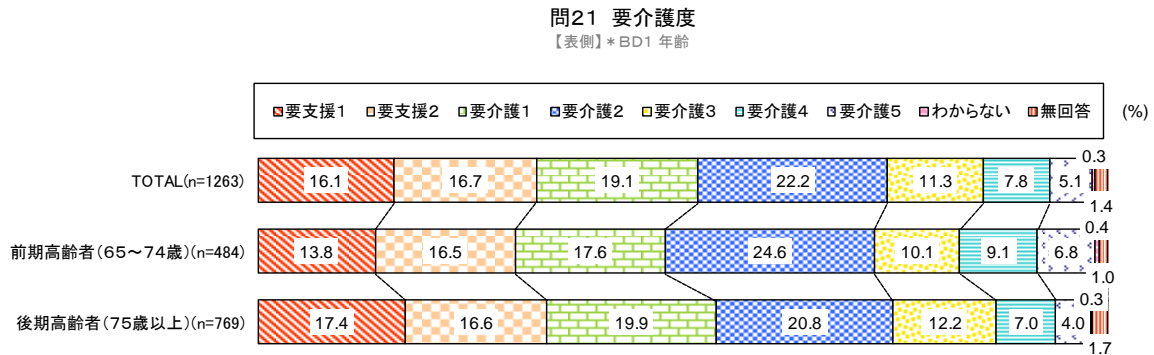
## 【6. 本人の要介護状態】

### 6.1 要介護度

在宅サービス利用者全体における要介護度は、「要支援1」が16.1%、「要支援2」が16.7%、「要介護1」が19.1%、「要介護2」が22.2%、「要介護3」が11.3%、「要介護4」が7.8%、「要介護5」が5.1%となっている。

年齢別では、「後期高齢者」の方が「要支援1～2」の割合が34.0%で「前期高齢者」と比べて3.7ポイントとやや高くなっている。

#### (在宅サービス利用者)

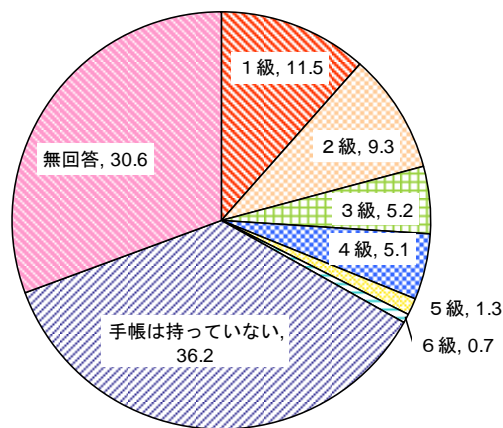


### 6.2.1 「身体障害者手帳」に記載された障害の程度

在宅サービス利用者全体における「身体障害者手帳」に記載された障害の程度は、「手帳は持っていない」が36.2%で、手帳を持っている人のうち「1級」が11.5%、「2級」が9.3%、「3級」が5.2%、「4級」が5.1%、「5級」が1.3%、「6級」が0.7%となっている。

#### (在宅サービス利用者)

n=1263 問22 「身体障害者手帳」に記載された障害の程度 (%)

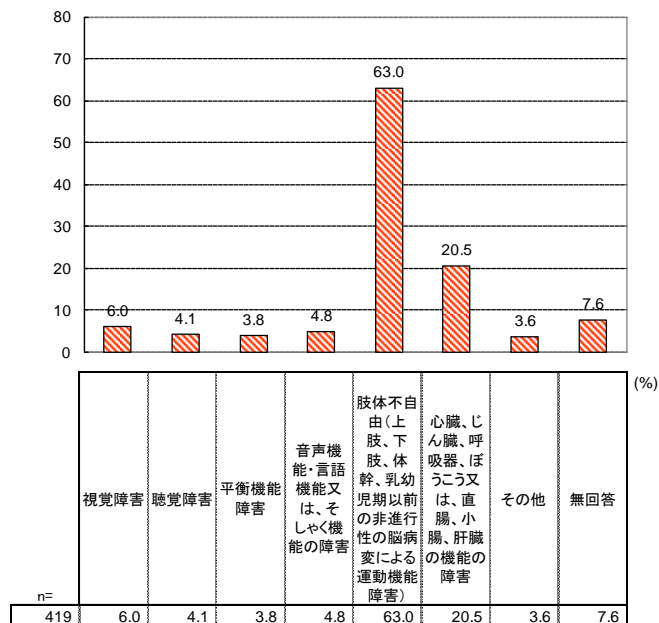


## 6.2.2 身体障害者手帳に記載されている障害

在宅サービス利用者で身体障害者手帳保有者における身体障害者手帳に記載されている障害は、「肢体不自由」が63.0%で最も高い。次いで「心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう又は、直腸、小腸、肝臓の機能の障害」が20.5%となっている。

### (在宅サービス利用者)

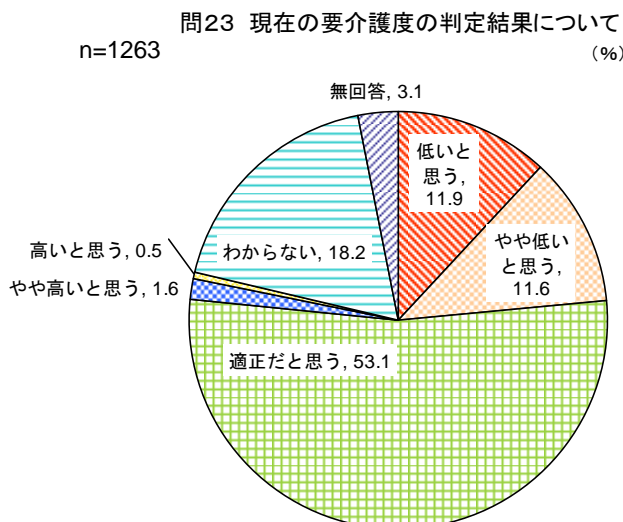
問22-1 身体障害者手帳に記載されている障害 (M. A)  
【ベース: 身体障害者手帳あり】



## 6.3 現在の要介護度の判定結果について

在宅サービス利用者全体における現在の要介護度の判定結果については、「適正だと思う」が53.1%で最も高く、「低いと思う 計(「低いと思う」と「やや低いと思う」の合計値)」は23.5%、「高いと思う 計(「やや高いと思う」と「高いと思う」の合計値)」は2.1%となっている。

### (在宅サービス利用者)



## 【7. 本人の介護サービス利用状況】

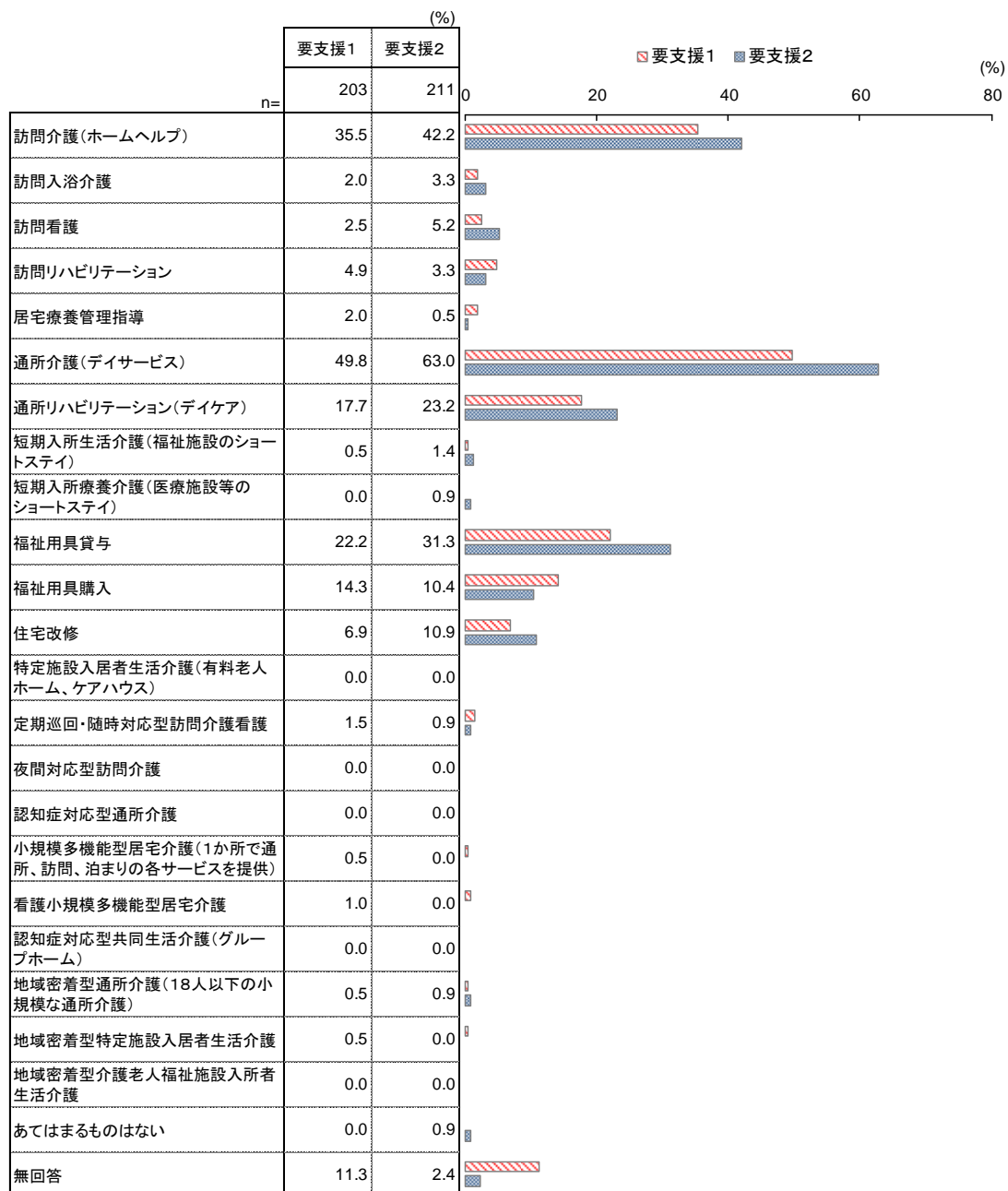
### 7.1.1 現在の利用サービス

在宅サービス利用者における介護保険サービスの現在の利用状況は、要支援別では、要支援1、要支援2ともに「通所介護（要支援1：49.8%、要支援2：63.0%）」が最も高く、次いで「訪問介護（要支援1：35.5%、要支援2：42.2%）」「福祉用具貸与（要支援1：22.2%、要支援2：31.3%）」「通所リハビリテーション（要支援1：17.7%、要支援2：23.2%）」の順となっている。これら4項目は、いずれも「要支援2」の方が「要支援1」と比べて5ポイント以上高く、「通所介護」は「要支援1」と比べて10ポイント以上の差となっている。

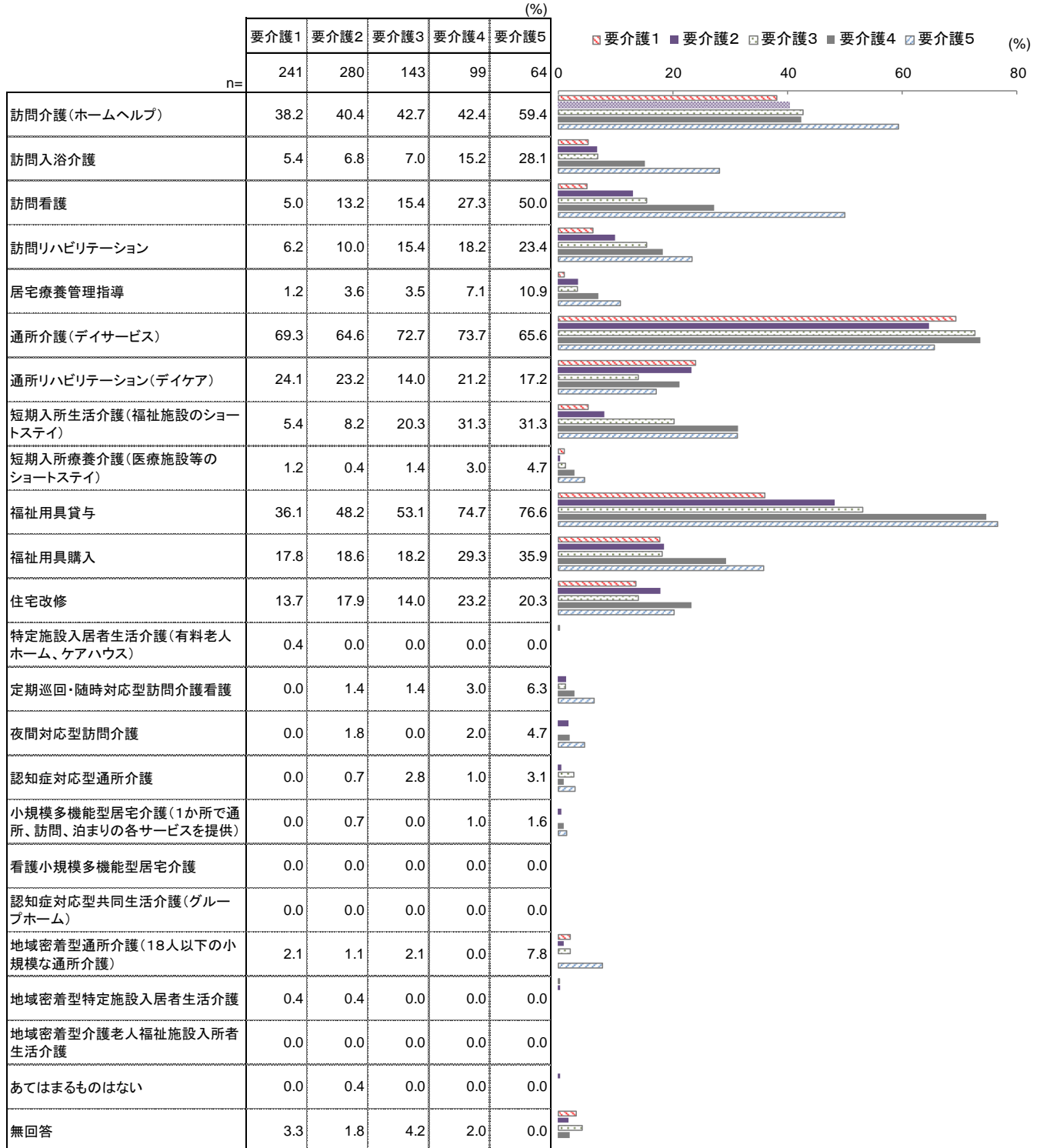
要介護度別では、「要介護1～3」は「通所介護」が最も高いが、「要介護4・5」は「福祉用具貸与」が最も高くなっている。また、「訪問入浴介護」「訪問介護」「訪問リハビリテーション」「福祉用具貸与」は介護度が高くなるにつれて割合が高くなっている。

### （在宅サービス利用者）

問24 介護保険サービス利用状況(M. A)：現在利用



問24 介護保険サービス利用状況(M. A) : 現在利用

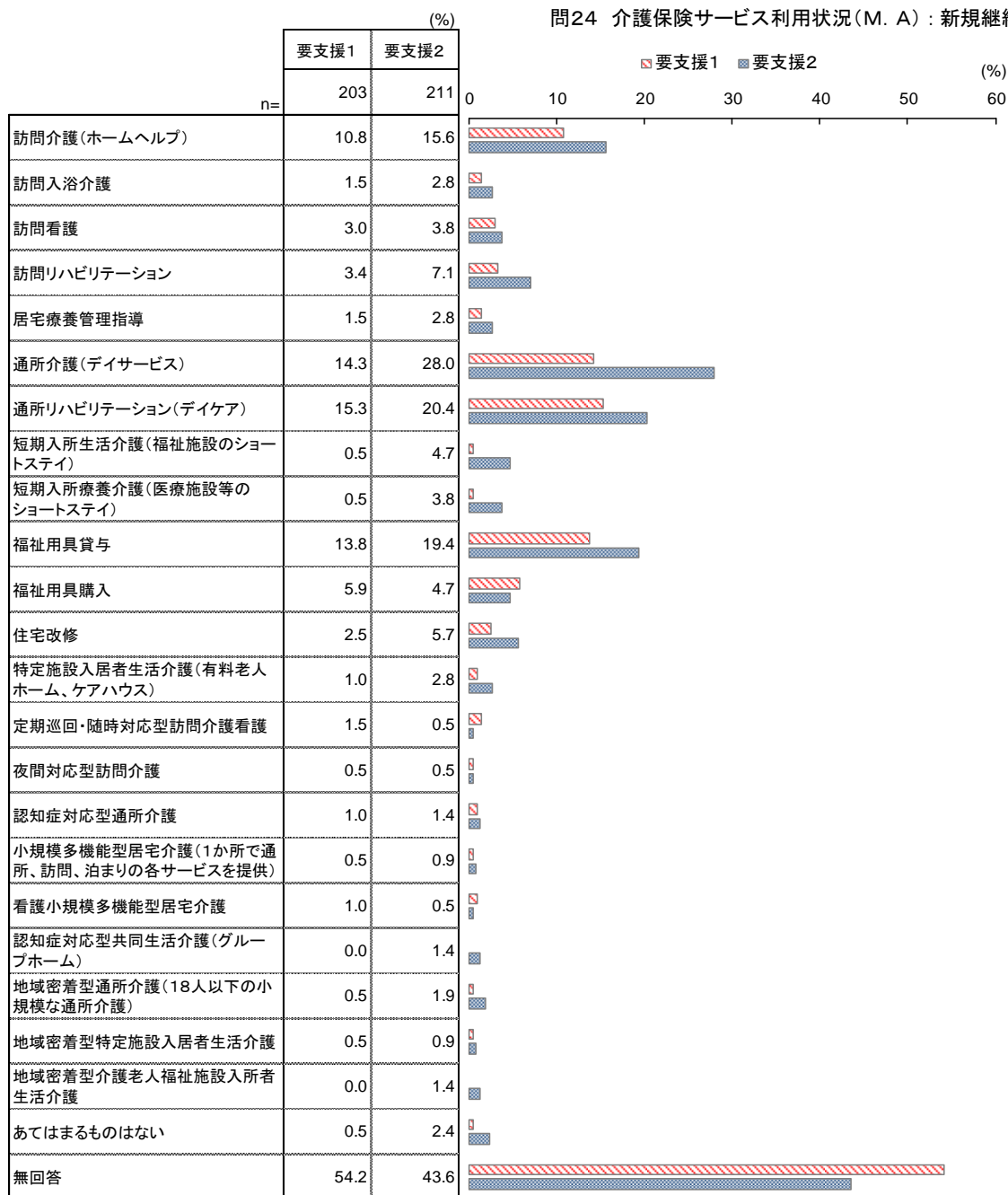


**7.1.2 新規・継続希望サービス**

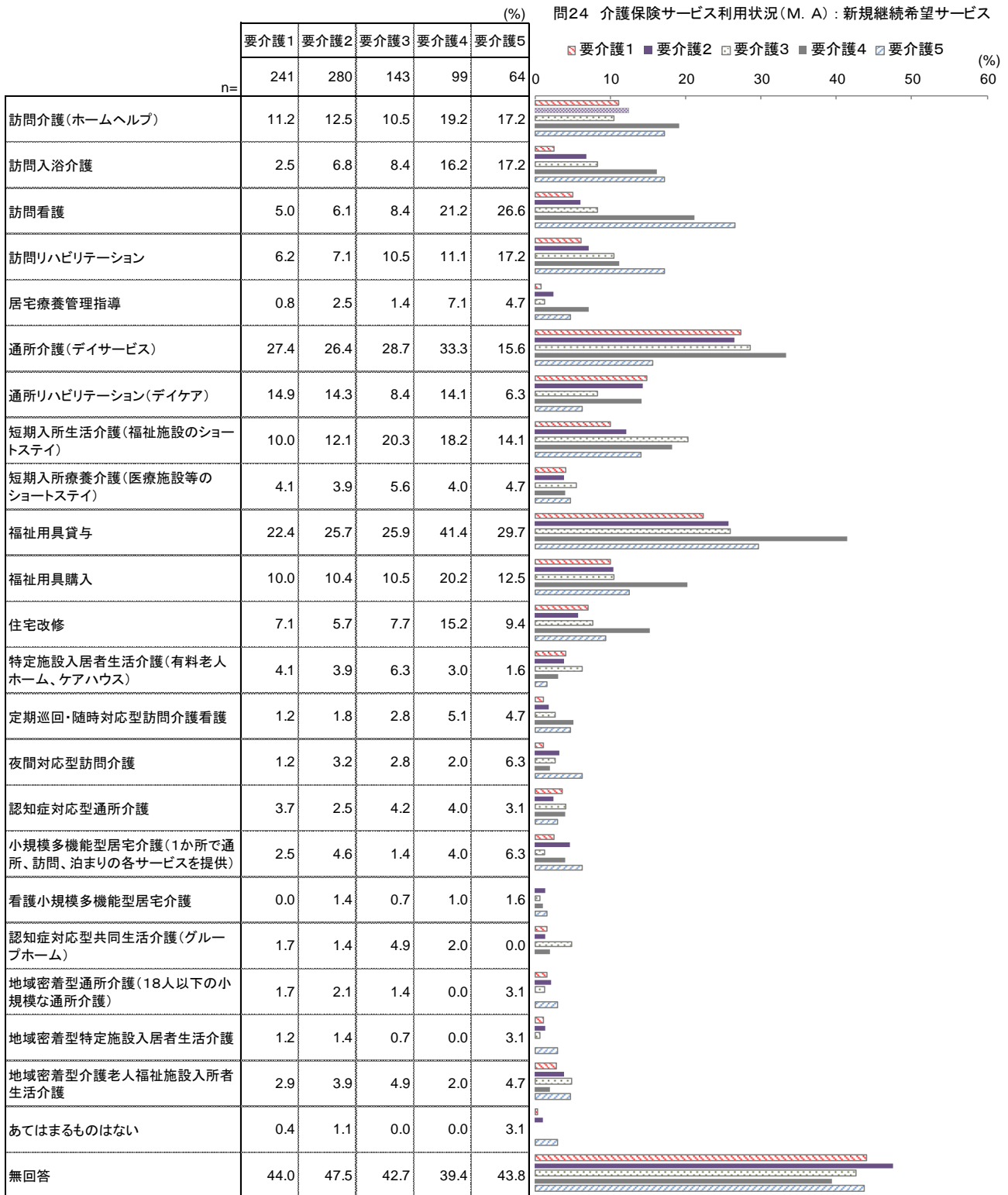
在宅サービス利用者における介護保険サービスの新規・継続希望サービスは、要支援別では、「要支援1」は「通所リハビリテーション」が15.3%で最も高く、次いで「通所介護」が14.3%、「福祉用具貸与」が13.8%、「訪問介護」が10.8%となっている。「要支援2」は「通所介護」が28.0%で最も高く、次いで「通所リハビリテーション(20.4%)」「福祉用具貸与(19.4%)」「訪問介護(15.6%)」の順となっている。これら上位4項目は支援度が高くなるにつれて割合も高くなっており、特に「通所介護」は「要支援1」から「要支援2」の間で13.7ポイントと高くなっている。

要介護度別では、「要介護1～3」は「通所介護」が最も高いが、「要介護4・5」では「福祉用具貸与」が最も高くなっている。また、「訪問入浴介護」「訪問看護」「訪問リハビリテーション」は介護度が上がるにつれて割合が高くなっており、「福祉用具貸与」は「要介護1～4」までは介護度が高くなるにつれて割合が高くなっているが、「要介護5」では割合が低下している。

**(在宅サービス利用者)**



問24 介護保険サービス利用状況(M. A)：新規継続希望サービス

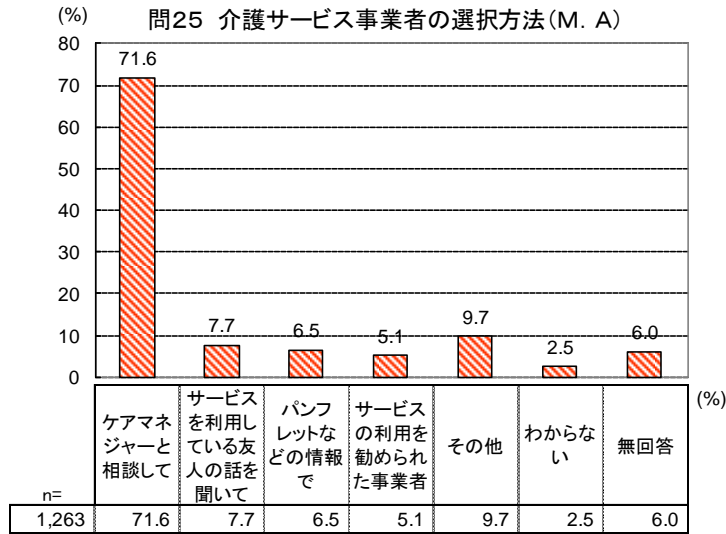




### 7.2 介護サービス事業者の選択方法

在宅サービス利用者全体における介護サービス事業者の選択方法は、「ケアマネジャーと相談して」が71.6%で最も高く、次いで「その他」が9.7%、「サービスを利用している友人の話聞いて」が7.7%となっている。

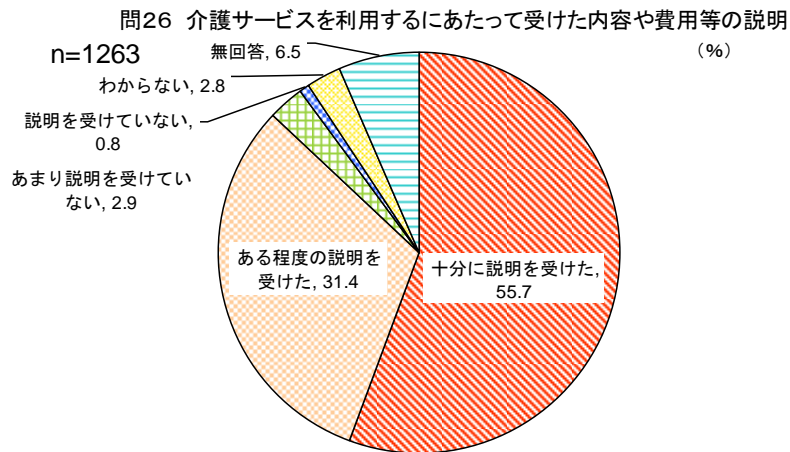
(在宅サービス利用者)



### 7.3 介護サービスを利用するにあたって受けた内容や費用等の説明

在宅サービス利用者全体における介護サービスを利用するにあたって受けた内容や費用等の説明は、「十分に説明を受けた」が55.7%で最も高く、「ある程度の説明を受けた」が31.4%、「あまり説明を受けていない」が2.9%、「説明を受けていない」が0.8%、「わからない」が2.8%、「無回答」が6.5%となっている。

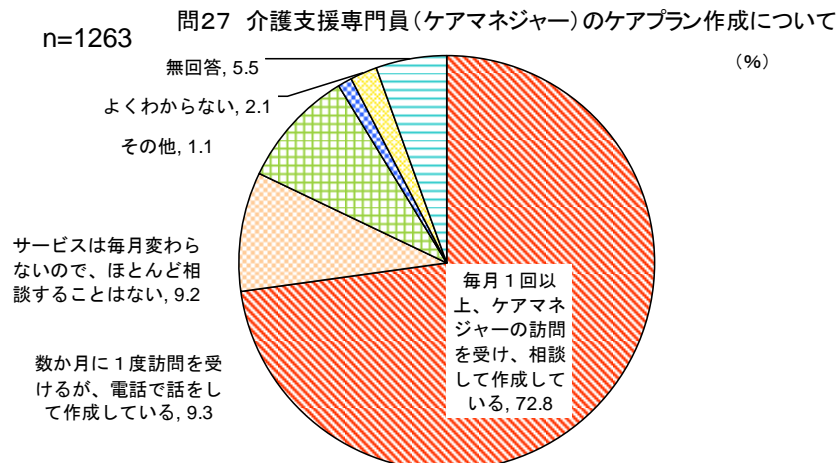
(在宅サービス利用者)



### 7.4 介護支援専門員（ケアマネジャー）のケアプラン作成について

在宅サービス利用者全体における介護支援専門員（ケアマネジャー）のケアプラン作成については、「毎月1回以上、ケアマネジャーの訪問を受け、相談して作成している」が72.8%で最も高く、「数か月に1度訪問を受けるが、電話で話をして作成している」が9.3%、「サービスは毎月変わらないので、ほとんど相談することはない」が9.2%、「その他」が1.1%、「よくわからない」が2.1%、「無回答」が5.5%となっている。

(在宅サービス利用者)



## 7.5 サービス事業者やケアマネジャーに対する希望・改善要望の伝えやすさ

在宅サービス利用者全体におけるサービス事業者やケアマネジャーに対する希望・改善要望の伝えやすさは、「誰にでも何でも言いやすい」が62.4%で最も高く、「責任者やスタッフのいずれかの人には言える」が19.3%となっている。

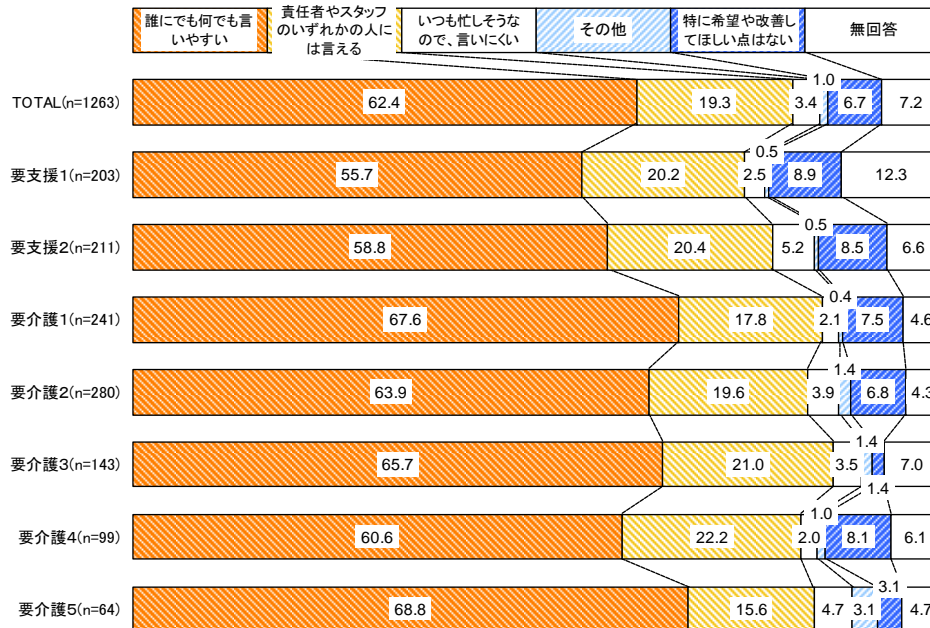
要介護度別では、「誰にでも何でも言いやすい」は「要支援1」が55.7%で最も低く、「要介護5」は68.8%で最も高くなっている。

### (在宅サービス利用者)

問28 サービス事業者やケアマネジャーに対する希望・改善要望の伝えやすさ

【表例】問21 要介護度

(%)



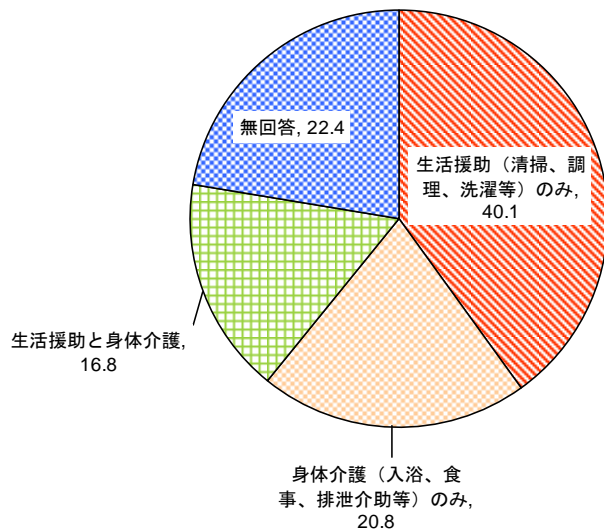
## 7.6.1 訪問介護（ホームヘルプ）利用種類

在宅サービス利用者の訪問介護利用者における訪問介護（ホームヘルプ）利用種類は、「生活援助」が40.1%で最も高く、「身体介護」は20.8%、「生活援助と身体介護」は16.8%となっている。

### (在宅サービス利用者)

n=519 問29 訪問介護（ホームヘルプ）利用種類【ベース：訪問介護利用者】

(%)

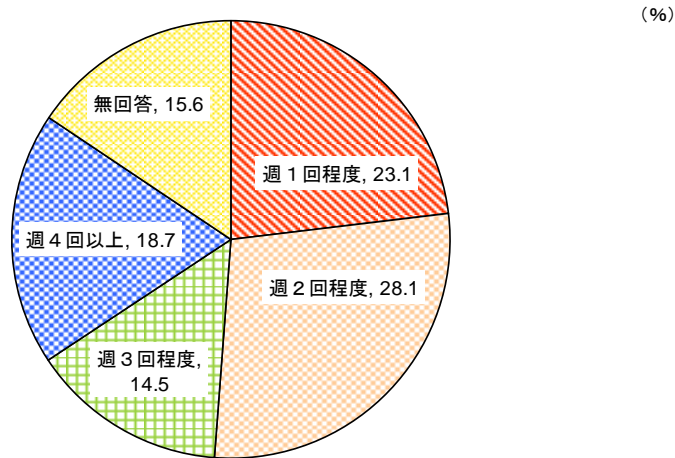


**7.6.2 訪問介護（ホームヘルプ）利用回数**

在宅サービス利用者の訪問介護利用者における訪問介護（ホームヘルプ）利用回数は、「週に2回程度」が28.1%で最も高く、次いで「週1回程度」は23.1%、「週4回以上」が18.7%、「週3回程度」は14.5%となっている。

**（在宅サービス利用者）**

n=519 問29-1 訪問介護(ホームヘルプ)利用回数【ベース:訪問介護利用者】



**7.6.3 訪問介護（ホームヘルプ）利用満足度**

在宅サービス利用者の訪問介護利用者における訪問介護（ホームヘルプ）利用満足度は、「満足」が41.8%で最も高く、次いで「普通」が38.5%で、「不満」が2.1%となっている。

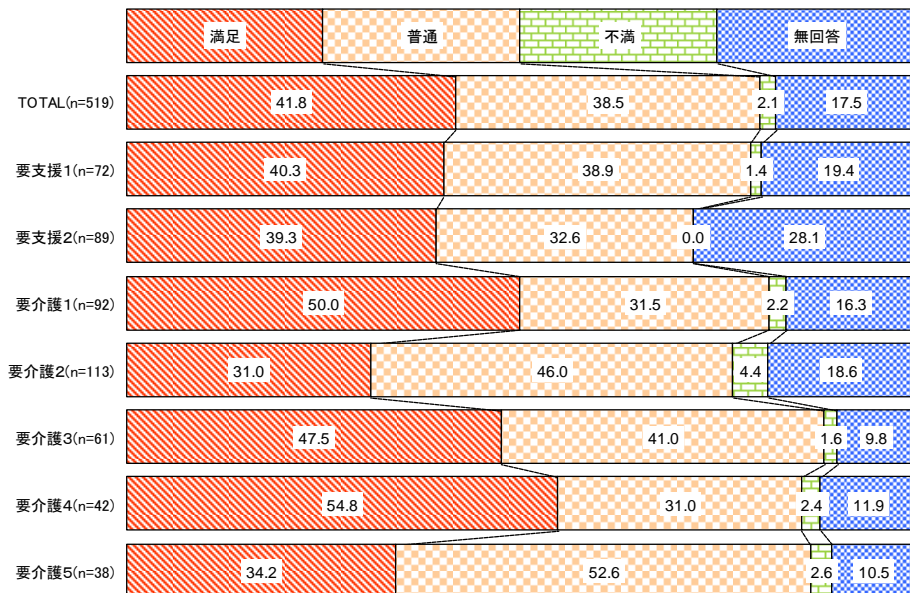
要介護度別では、「不満」は特に目立った差がみられず、いずれも5%未満である。「満足」は「要介護4」で54.8%と高くなっている。「要介護2」と「要介護5」は「満足」が低く（要介護2：31.0%、要介護5：34.2%）、「普通」が「要介護2」で46.0%、「要介護5」で52.6%と高くなっている。

**（在宅サービス利用者）**

問30 訪問介護(ホームヘルプ)利用満足度【ベース:訪問介護利用者】

【表例】問21 要介護度

(%)

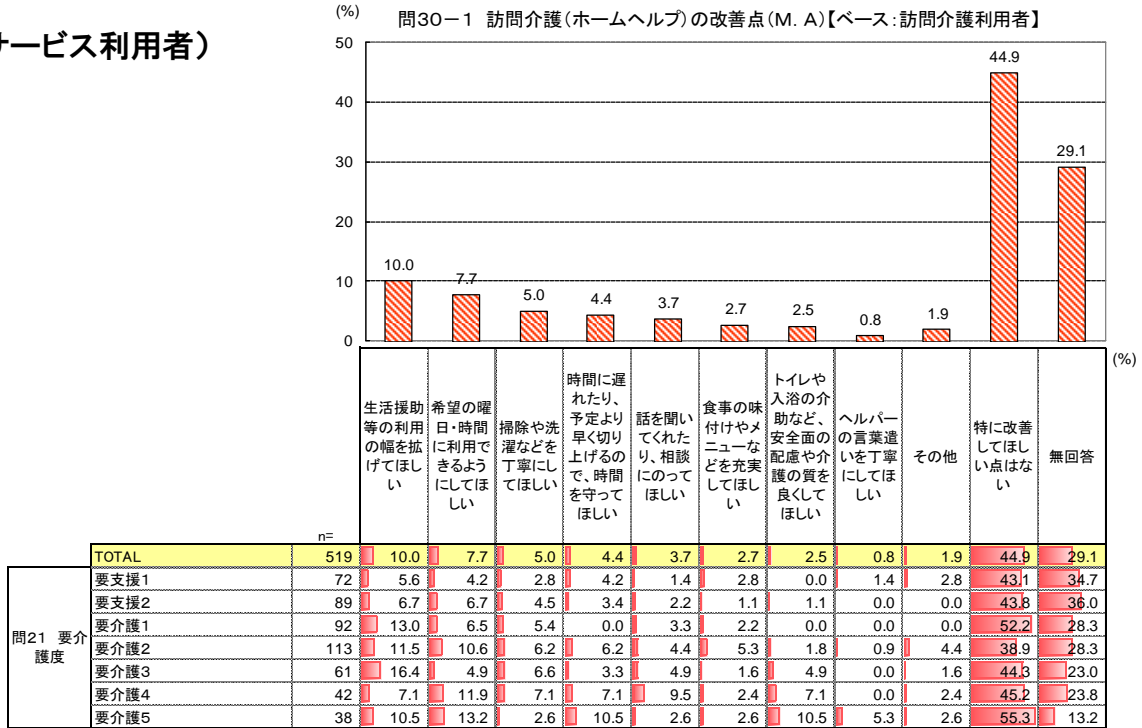


## 7.6.4 訪問介護（ホームヘルプ）の改善点

在宅サービス利用者の訪問介護利用者における訪問介護（ホームヘルプ）の改善点は、「特に改善してほしい点はない」が44.9%で最も高く、次いで「生活援助等の利用の幅を拡げてほしい」が10.0%、「希望の曜日・時間に利用できるようにしてほしい」が7.7%、「掃除や洗濯などを丁寧にしてほしい」が5.0%となっている。

要介護度別では、「生活援助等の利用の幅を拡げてほしい」は「要支援1～要介護1」にかけて介護度が上がるにつれて高くなっている。また、「希望の曜日・時間に利用できるようにしてほしい」と「時間に遅れたり、予定より早く切り上げるので、時間を守ってほしい」は「要介護3～5」で介護度が上がるにつれて高くなっている。「トイレや入浴の介助など、安全面の配慮や介護の質を良くしてほしい」は「要介護1～5」で介護度が上がるにつれて高くなっている。

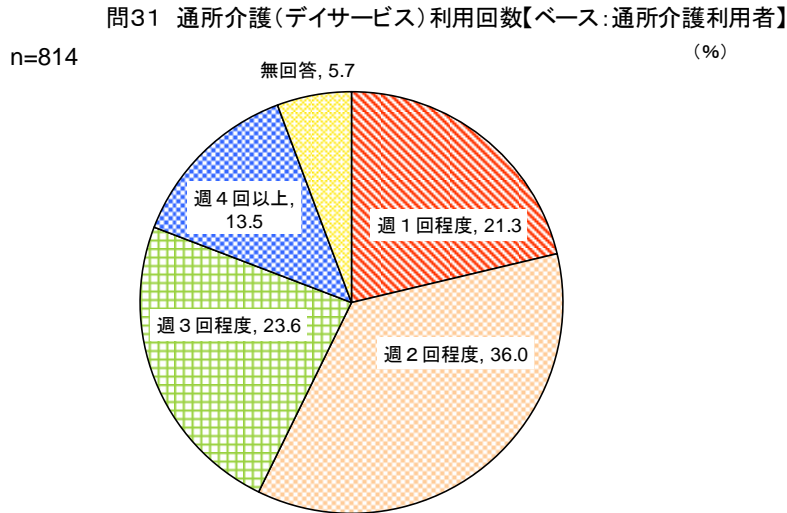
### （在宅サービス利用者）



### 7.7.1 通所介護（デイサービス）利用回数

在宅サービス利用者の通所介護利用者における通所介護（デイサービス）利用回数は、「週2回程度」が36.0%で最も高く、次いで「週3回程度」が23.6%、「週1回程度」が21.3%、「週4回以上」が13.5%となっている。

（在宅サービス利用者）



### 7.7.2 通所介護（デイサービス）利用満足度

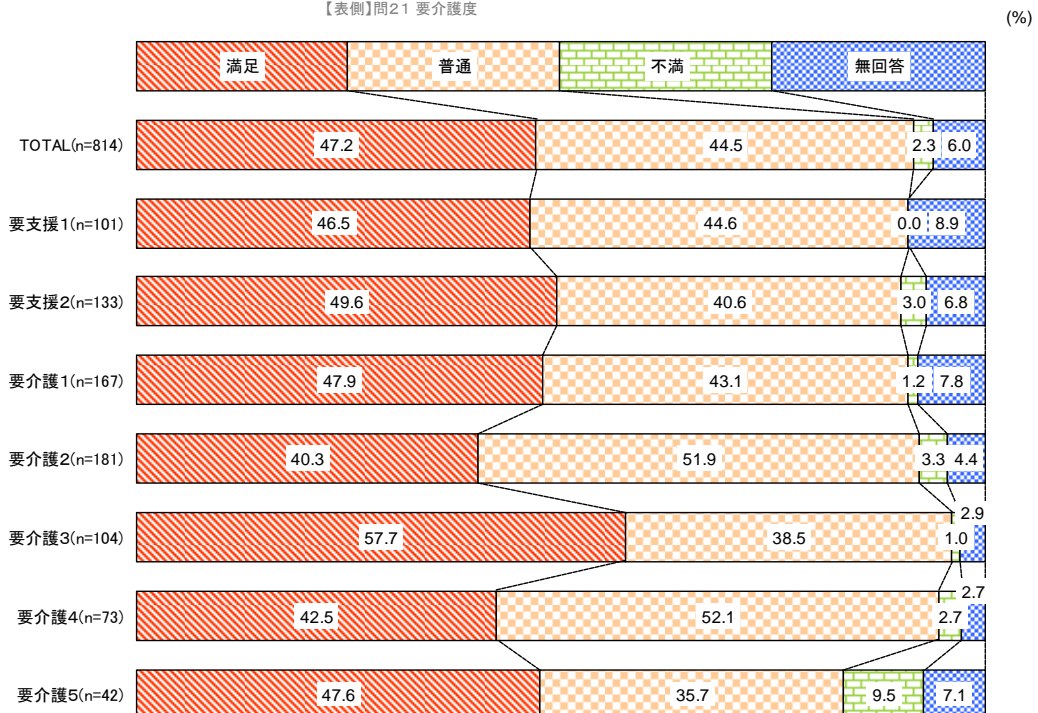
在宅サービス利用者の通所介護利用者における通所介護（デイサービス）利用満足度は、「満足」が47.2%で最も高く、次いで「普通」が44.5%、「不満」は2.3%となっている。

要介護度別では、「満足」は「要介護3」で57.7%と最も高く、「要介護2」は40.3%で最も低くなっている。

（在宅サービス利用者）

問32 通所介護（デイサービス）利用満足度【ベース：通所介護利用者】

【表例】問21 要介護度



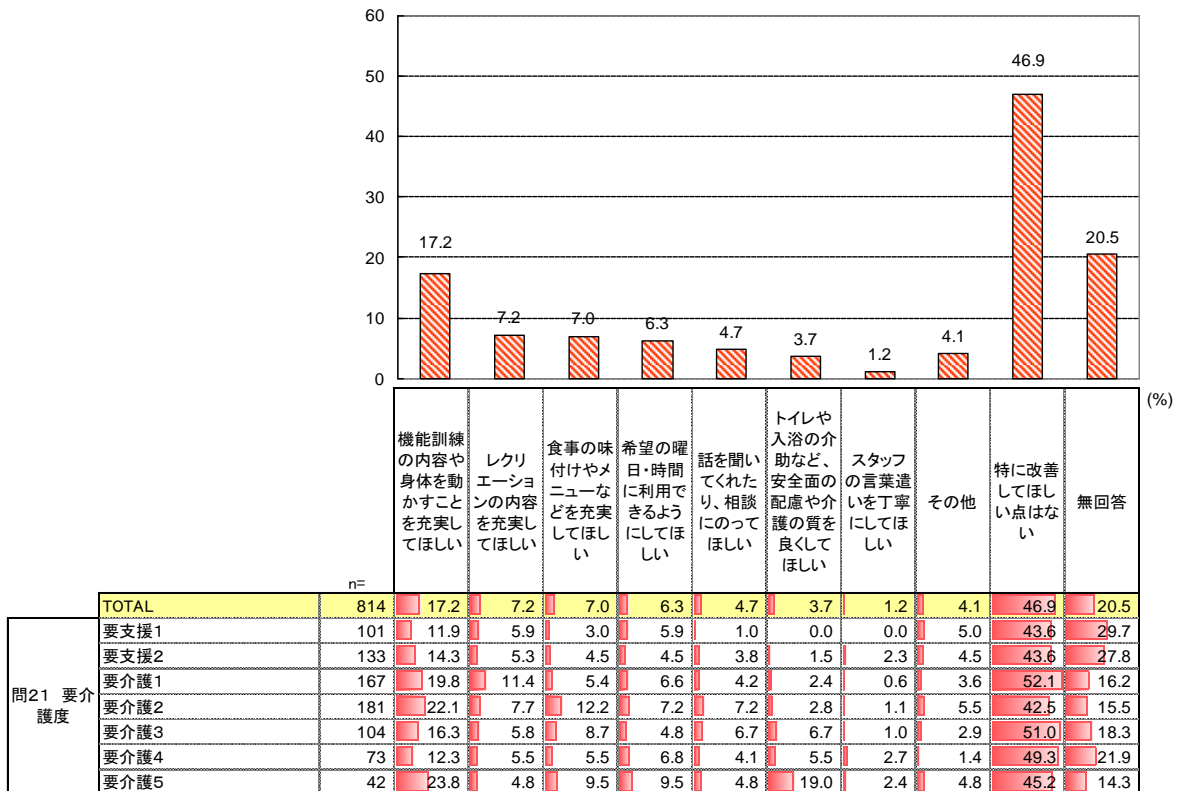
### 7.7.3 通所介護（デイサービス）改善点

在宅サービス利用者の通所介護利用者における通所介護（デイサービス）改善点は、「特に改善してほしい点はない」が46.9%で最も高く、次いで「機能訓練の内容や身体を動かすことを充実してほしい」が17.2%、「レクリエーションの内容を充実してほしい」が7.2%となっている。

要介護度別では、「要介護2」は「食事の味付けやメニューなどを充実してほしい」が12.2%で「在宅サービス利用者全体」と比べて5.2ポイント高くなっている。「要介護5」は「機能訓練の内容や身体を動かすことを充実してほしい」が23.8%で「在宅サービス利用者全体」と比べて6.6ポイント高く、「トイレや入浴の介助など、安全面の配慮や介護の質を良くしてほしい」は19.0%で「在宅サービス利用者全体」と比べて15.3ポイント高くなっている。

#### (在宅サービス利用者)

(%) 問32-1 通所介護(デイサービス)改善点(M. A)【ベース:通所介護利用者】



**7.8 介護保険サービス利用による体や気持ちの変化について**

在宅サービス利用者全体における介護保険サービス利用による体や気持ちの変化について、身体の機能が向上した割合は、「はい」が32.9%で、「いいえ」は12.7%、「どちらともいえない」は34.3%となっている。

要介護度別では、「要介護2～5」で介護度が上がるにつれて「はい」の割合が低くなっている。

調理・掃除など、自分でできることが増えた割合は、「はい」が11.2%で、「いいえ」は27.9%、「どちらともいえない」は32.1%となっている。

要介護度別では、「要支援1～2」は介護度が上がるにつれて「はい」が高まっているが、「要支援2～要介護5」にかけては「はい」が低下し、「いいえ」が高まっている。「要介護5」では「はい」は3.1%で、「いいえ」は50.0%となっている。

出かけるなど、生活の楽しみが増えた割合は、「はい」が27.9%で、「いいえ」は17.1%、「どちらともいえない」は28.5%となっている。

要介護度別では、「要介護1～5」にかけては「はい」が低下し、「要介護5」では18.8%となっている。

家族や他人と話をすることが多くなった割合は、「はい」が38.5%で、「いいえ」は9.8%、「どちらともいえない」は26.3%となっている。

要介護度別では、「要支援1～要介護1」は、介護度が上がるにつれて「はい」が高まっているが、「要介護2～4」は40%前後で推移し、「要介護5」で28.1%へと低下している。

家族や身内の介護負担が減り、ゆとりができた割合は、「はい」が31.0%で、「いいえ」は11.6%、「どちらともいえない」は31.0%となっている。

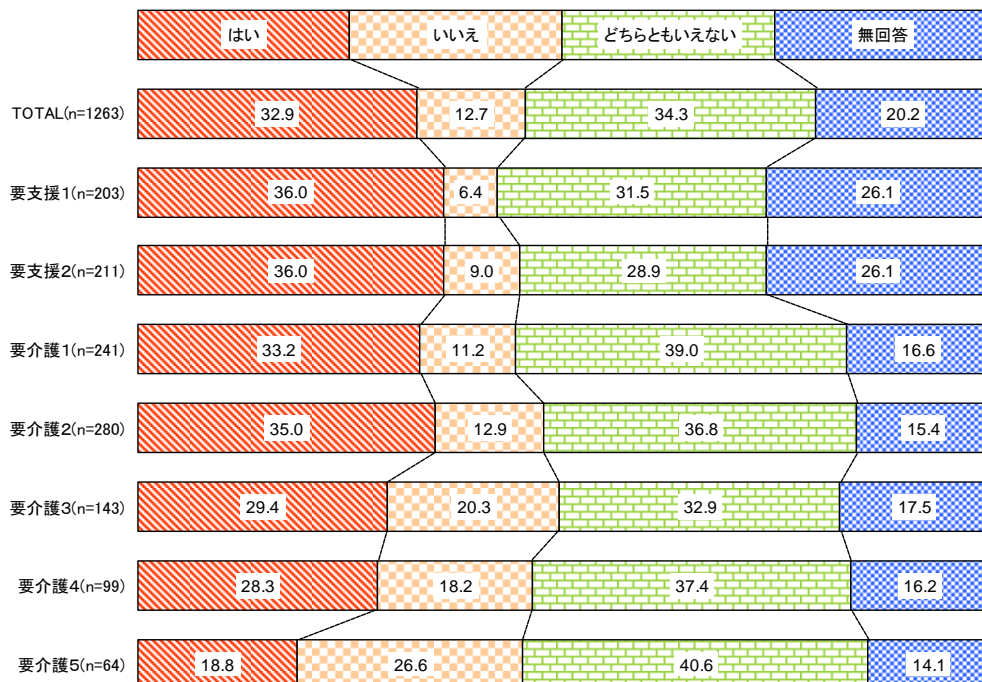
要介護度別では、「要支援1・2」では「はい」が約20%と低くなっているが、「要介護1・2」は3割台となっている。「要介護3～5」にかけては「はい」が44.1%から34.4%へと低下し、「いいえ」が8.4%から18.8%へと高くなっている。

**(在宅サービス利用者)**

問33 介護保険サービス利用による体や気持ちの変化について 身体の機能が向上した

【表例】問21 要介護度

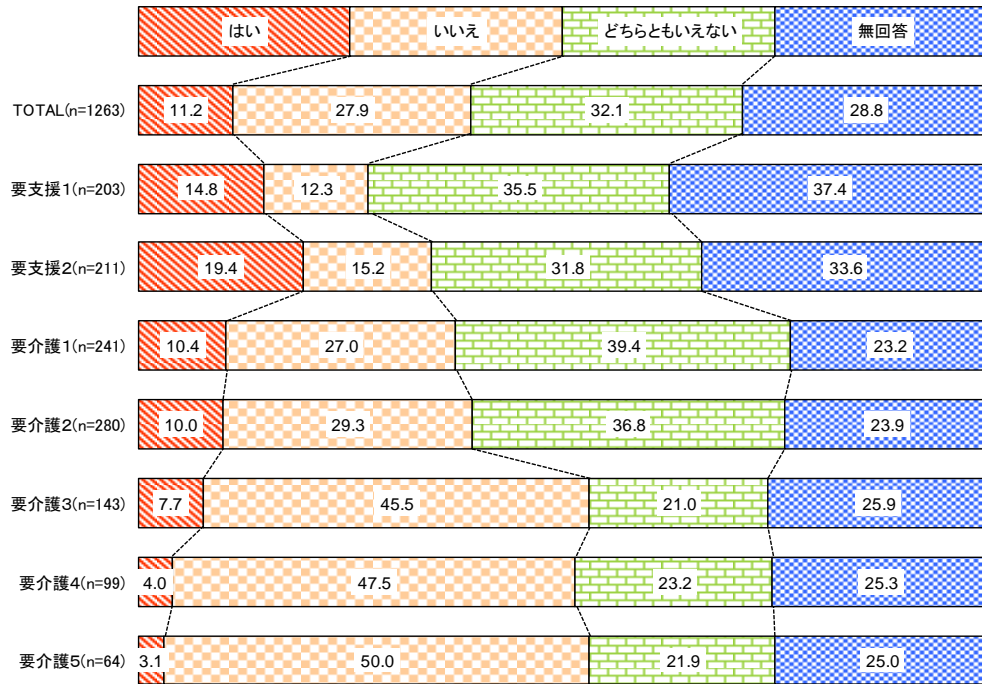
(%)



問33 介護保険サービス利用による体や気持ちの変化について 調理・掃除など、自分でできることが増えた

【表例】問21 要介護度

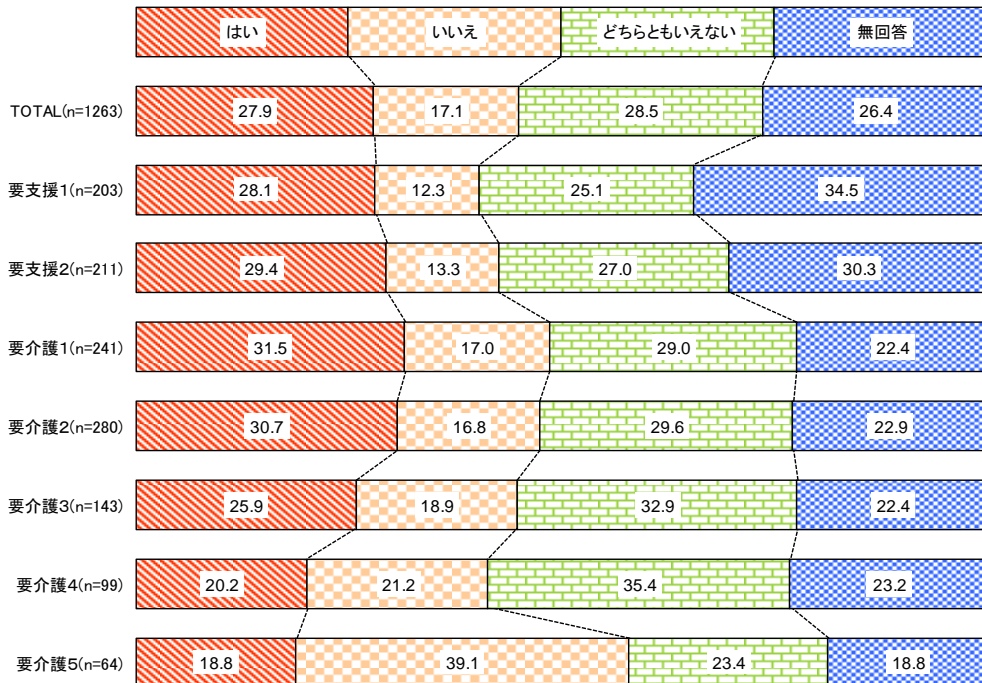
(%)



問33 介護保険サービス利用による体や気持ちの変化について 出かけるなど、生活の楽しみが増えた

【表例】問21 要介護度

(%)

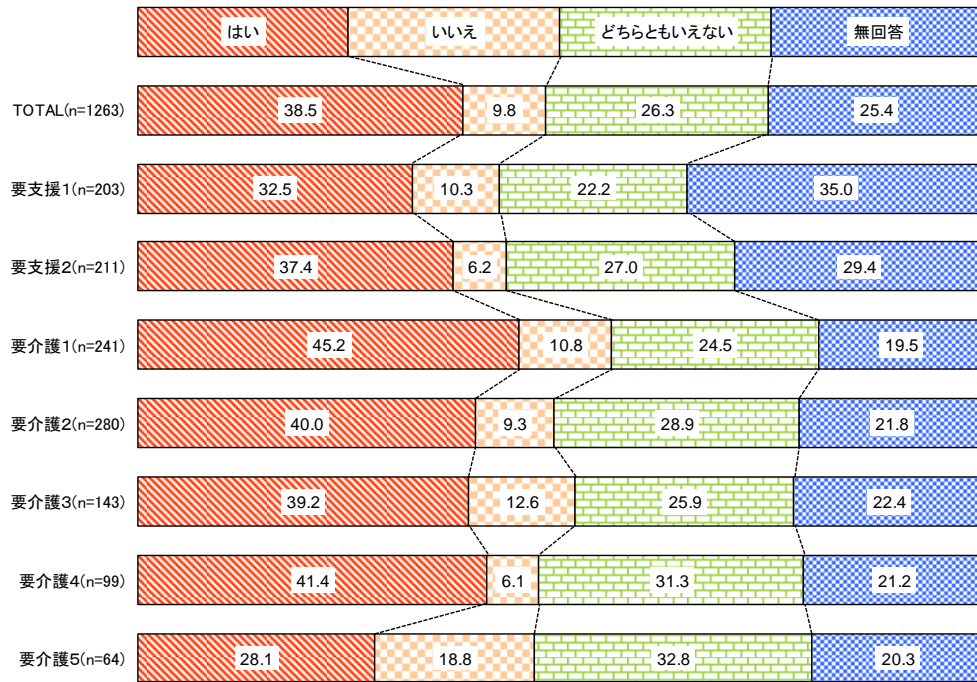




問33 介護保険サービス利用による体や気持ちの変化について 家族や他人と話をすることが多くなった

【表例】問21 要介護度

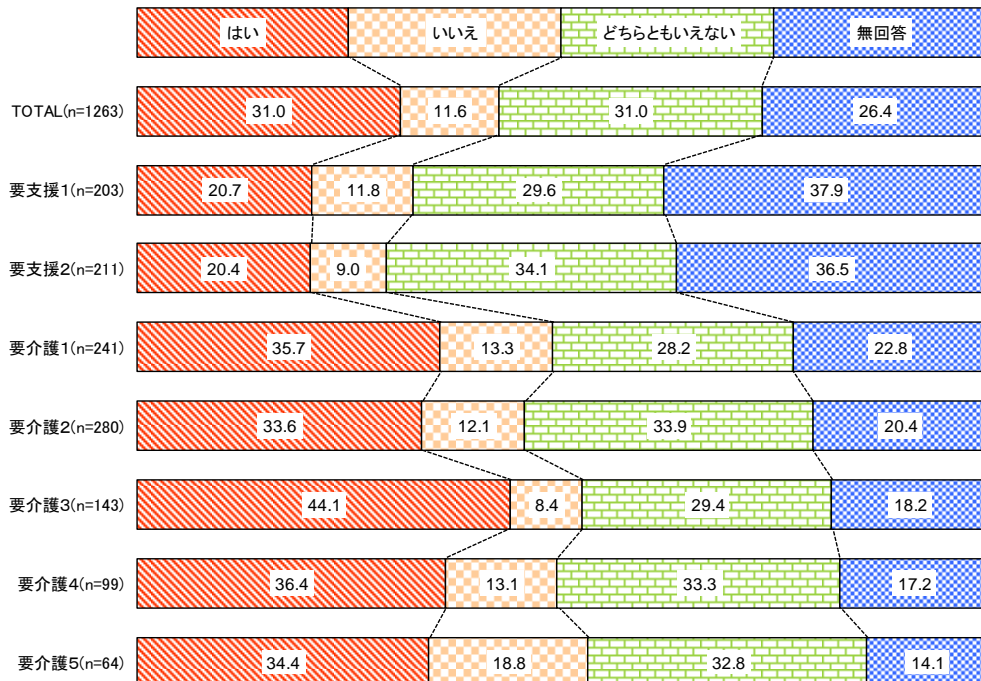
(%)



問33 介護保険サービス利用による体や気持ちの変化について 家族や身内の介護負担が減り、ゆとりができた

【表例】問21 要介護度

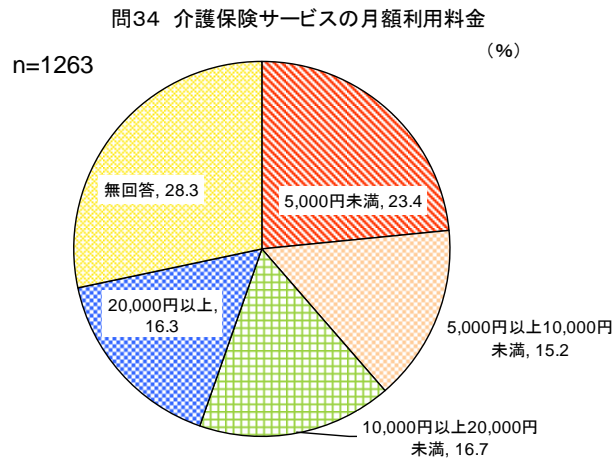
(%)



### 7.9.1 介護保険サービスの月額利用料金

在宅サービス利用者全体における介護保険サービスの月額利用料金は、「5,000円未満」が23.4%で最も高く、次いで「10,000円以上20,000万円未満」が16.7%、「20,000円以上」が16.3%、「5,000円以上10,000円未満」が15.2%となっている。

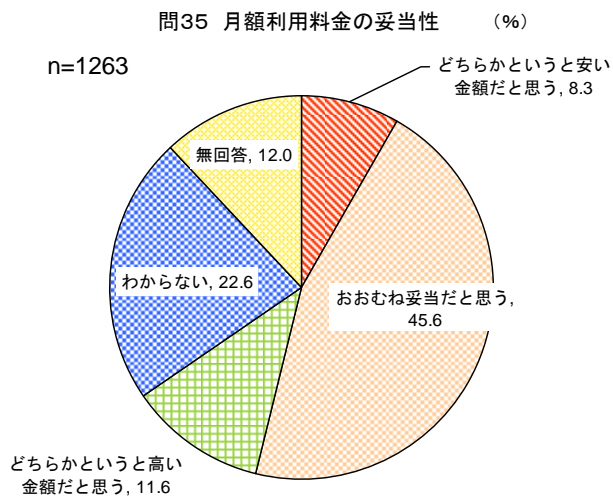
(在宅サービス利用者)



### 7.9.2 月額利用料金の妥当性

在宅サービス利用者全体における月額利用料金の妥当性は、「おおむね妥当だと思う」が45.6%で、「どちらかという高い金額だと思う」は11.6%、「どちらかという安い金額だと思う」は8.3%、「わからない」は22.6%となっている。

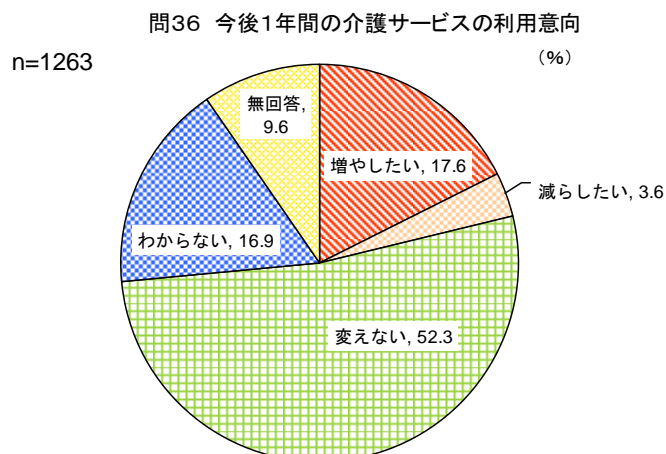
(在宅サービス利用者)



### 7.10 今後1年間の介護サービスの利用意向

在宅サービス利用者全体における今後1年間の介護サービスの利用意向は、「変えない」が52.3%で最も高く、「増やしたい」は17.6%、「減らしたい」は3.6%、「わからない」は16.9%となっている。

(在宅サービス利用者)

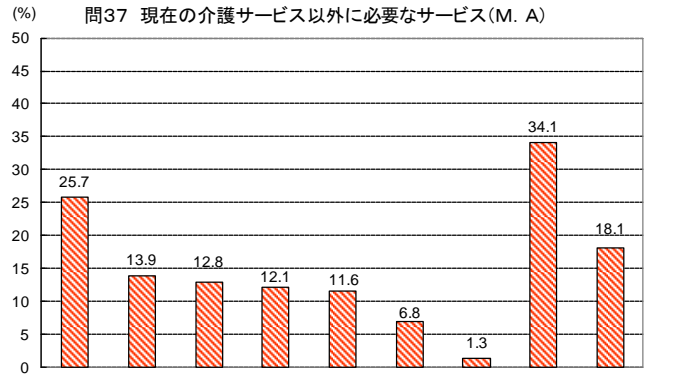


**7.11 現在の介護サービス以外に必要なサービス**

在宅サービス利用者全体における現在の介護サービス以外に必要なサービスは、「現在のサービスでよい」が34.1%で最も高くなっている。次いで「介護者の入院など緊急時に入所可能なショートステイが利用できること」が25.7%、「自分の希望に応じて外出支援のサービスを受けられること」が13.9%、「入浴のみ、食事のみ、リハビリのみなど、短時間の通所サービスを受けられること」が12.8%となっている。

要介護度別では、「介護者の入院など緊急時に入所可能なショートステイが利用できること」は「要支援1～要介護5」で介護度が上がるにつれて高くなり、「要介護5」では45.3%となっている。「自分の希望に応じて外出支援のサービスを受けられること」は「要支援1～要介護2」にかけて介護度が上がるにつれて高くなっている。

**(在宅サービス利用者)**



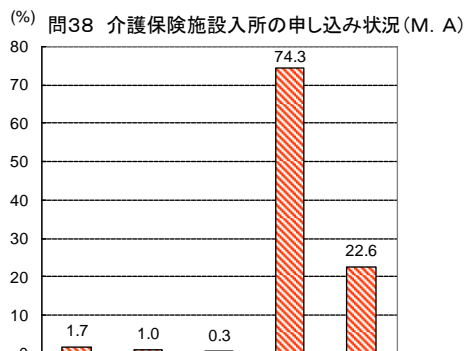
問21 要介護度	n=	問37 現在の介護サービス以外に必要なサービス(M. A)									
		介護者の入院など緊急時に入所可能なショートステイが利用できること	自分の希望に応じて外出支援のサービスを受けられること	入浴のみ、食事のみ、リハビリのみなど、短時間の通所サービスを受けられること	通所介護などで、希望すれば泊まれること	自宅に医師が訪問して診療してくれること	夜間にも自宅ヘルプや看護が受けられること	その他	現在のサービスでよい	無回答	
TOTAL	1,263	25.7	13.9	12.8	12.1	11.6	6.8	1.3	34.1	18.1	
要支援1	203	9.9	8.4	10.8	2.0	5.4	2.0	2.0	40.9	31.5	
要支援2	211	13.7	13.7	9.5	6.6	7.6	4.7	0.9	42.7	21.3	
要介護1	241	26.6	14.5	11.2	9.1	9.5	4.6	0.4	40.7	14.9	
要介護2	280	32.9	18.9	16.8	17.5	12.9	6.1	1.1	26.8	14.3	
要介護3	143	33.6	14.0	17.5	21.0	20.3	13.3	2.1	25.9	10.5	
要介護4	99	39.4	11.1	10.1	20.2	17.2	13.1	2.0	30.3	12.1	
要介護5	64	45.3	15.6	15.6	21.9	20.3	15.6	3.1	20.3	9.4	

**7.12.1 介護保険施設入所の申し込み状況**

在宅サービス利用者全体における介護保険施設入所の申し込み状況は、「特に申し込みはしていない」が74.3%で最も高くなっている。

要介護度別では、「要介護3」と「要介護5」は、「特別養護老人ホームに申し込みをしている」がそれぞれ7.7%、7.8%で「在宅サービス利用者全体」と比べて5ポイント以上高くなっている。

**(在宅サービス利用者)**

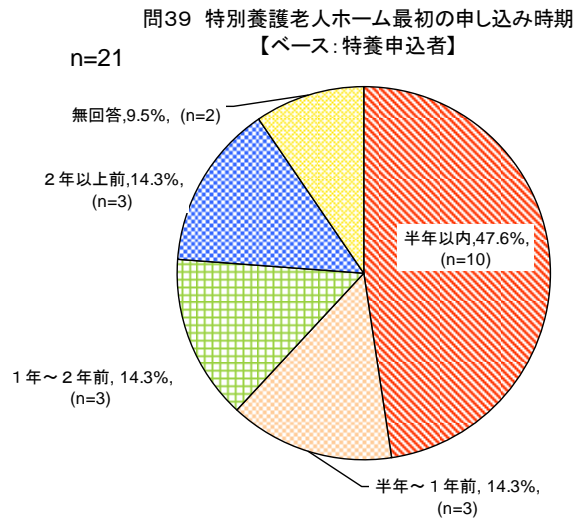


問21 要介護度	n=	問38 介護保険施設入所の申し込み状況(M. A)				
		特別養護老人ホームに申し込みをしている	老人保健施設に申し込みをしている	療養型医療施設に申し込みをしている	特に申し込みはしていない	無回答
TOTAL	1,263	1.7	1.0	0.3	74.3	22.6
要支援1	203	0.0	0.5	0.0	65.0	34.5
要支援2	211	0.0	0.5	0.0	68.7	30.8
要介護1	241	0.0	0.0	0.4	85.5	14.1
要介護2	280	0.4	1.1	0.7	78.2	19.6
要介護3	143	7.7	1.4	0.0	72.0	18.9
要介護4	99	4.0	4.0	1.0	77.8	13.1
要介護5	64	7.8	3.1	0.0	73.4	15.6

### 7.12.2 特別養護老人ホーム最初の申し込み時期

在宅サービス利用者の特養申込者における特別養護老人ホームへの最初の申し込み時期は、21名のうち「半年以内」が10名で最も多くなっている。

(在宅サービス利用者)

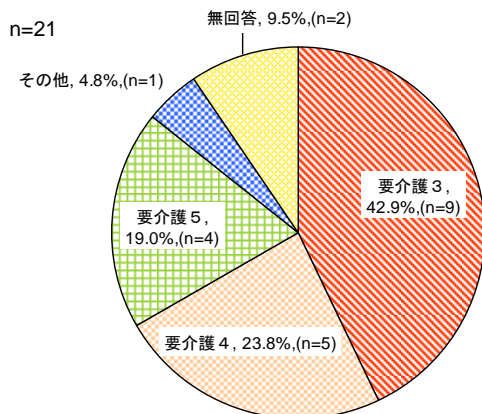


### 7.12.3 申し込み時点の要介護度

在宅サービス利用者の特養申込者における申し込み時点の要介護度は、21名のうち「要介護3」が9名、「要介護4」が5名、「要介護5」が4名となっている。

(在宅サービス利用者)

問39-1 申し込み時点の要介護度【ベース:特養申込者】



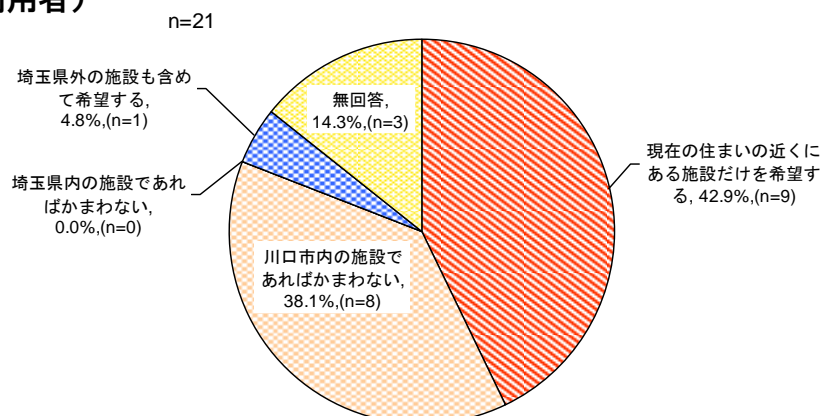
	n=	要介護度					無回答	上段:度数 下段:%
		要介護3	要介護4	要介護5	その他	無回答		
TOTAL	21	9	5	4	1	2		
	100	42.9	23.8	19.0	4.8	9.5		
問21 要介護度	要介護2	1	1	0	0	0	0	0
		100	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護3	11	8	0	0	1	2	
		100	72.7	0.0	0.0	9.1	18.2	
	要介護4	4	0	4	0	0	0	
	100	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0		
要介護5	5	0	1	4	0	0		
	100	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0		

### 7.12.4 入所希望場所

在宅サービス利用者の特養申込者における入所希望場所は、21名のうち「現在の住まいの近くにある施設だけを希望する」が9名、「川口市内の施設であればかまわない」は8名となっている。

(在宅サービス利用者)

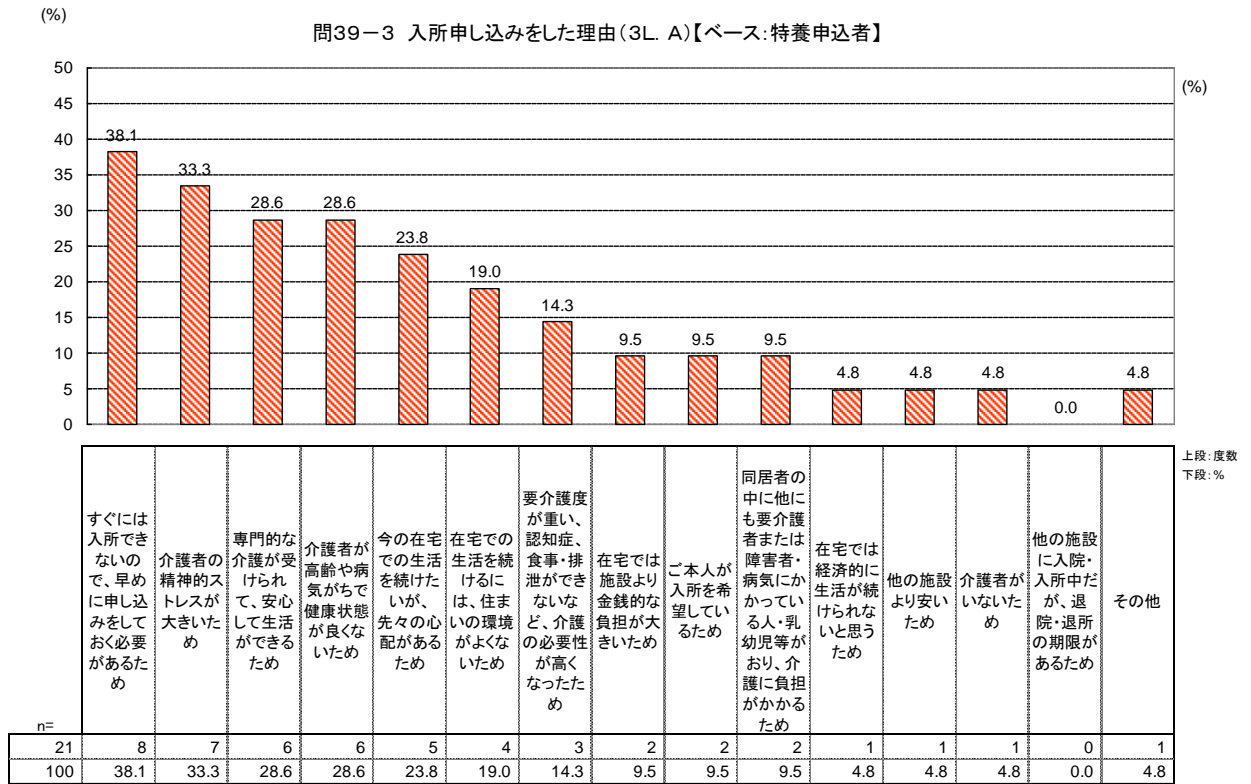
問39-2 入所希望場所【ベース:特養申込者】



### 7.12.5 入所申し込みをした理由

在宅サービス利用者の特養申込者における入所申し込みをした理由は、21名のうち、「すぐには入所できないので、早めに申し込みをしておく必要があるため」が8名、「介護者の精神的ストレスが大きいため」が7名、「専門的な介護が受けられ、安心して生活ができるため」と「介護者が高齢や病気がちで健康状態が良くないため」がそれぞれ6名となっている。

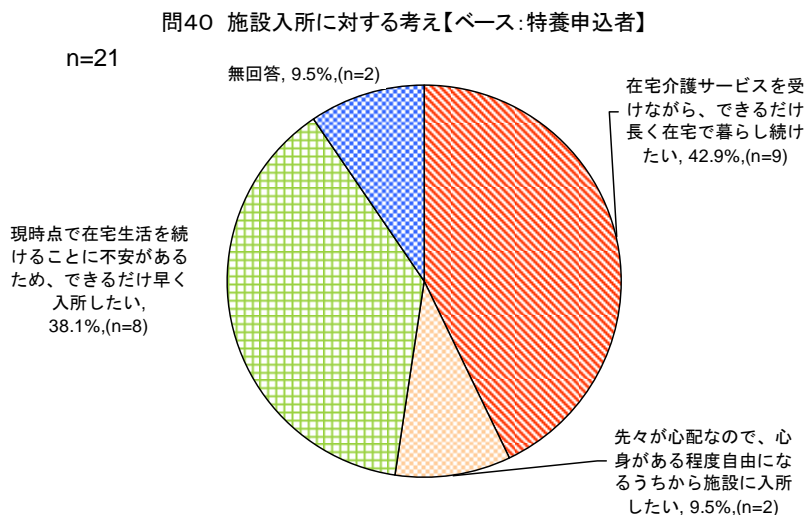
#### (在宅サービス利用者)



### 7.12.6 施設入所に対する考え

在宅サービス利用者の特養申込者における施設入所に対する考えは、21名のうち「在宅介護サービスを受けながら、できるだけ長く在宅で暮らし続けたい」が9名で、「現時点で在宅生活を続けることに不安があるため、できるだけ早く入所したい」が8名となっている。

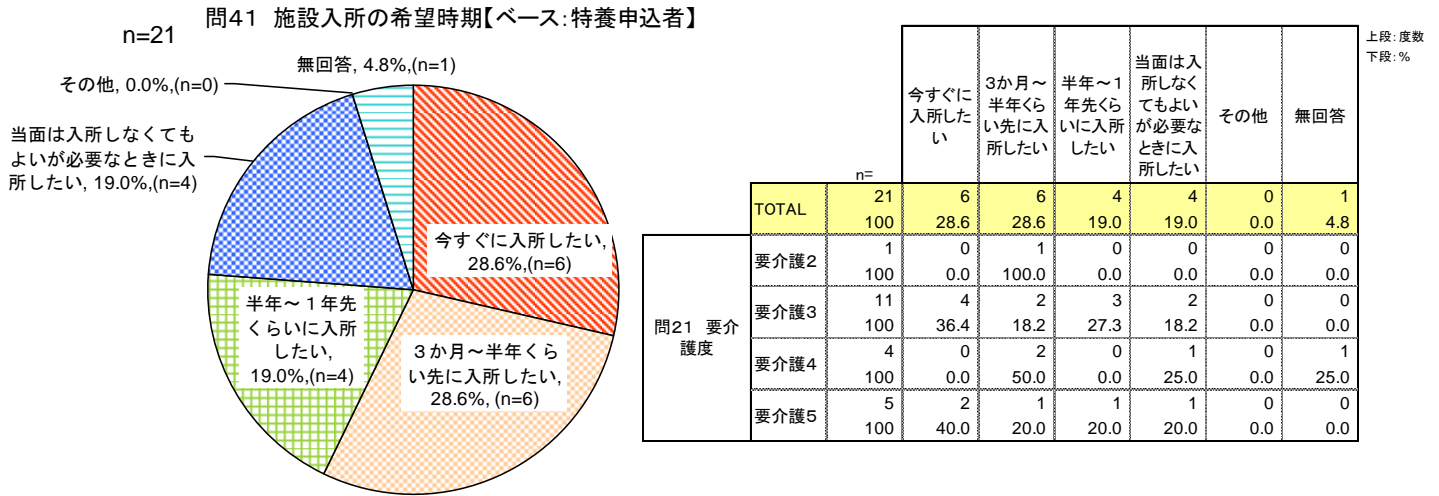
#### (在宅サービス利用者)



## 7.12.7 施設入所の希望時期

在宅サービス利用者の特養申込者における施設入所の希望時期は、21名のうち、「今すぐに入所したい」と「3か月～半年くらい先に入所したい」がそれぞれ6名、「半年～1年先くらいに入所したい」と「当面は入所しなくてもよいが必要なときに入所したい」がそれぞれ4名となっている。

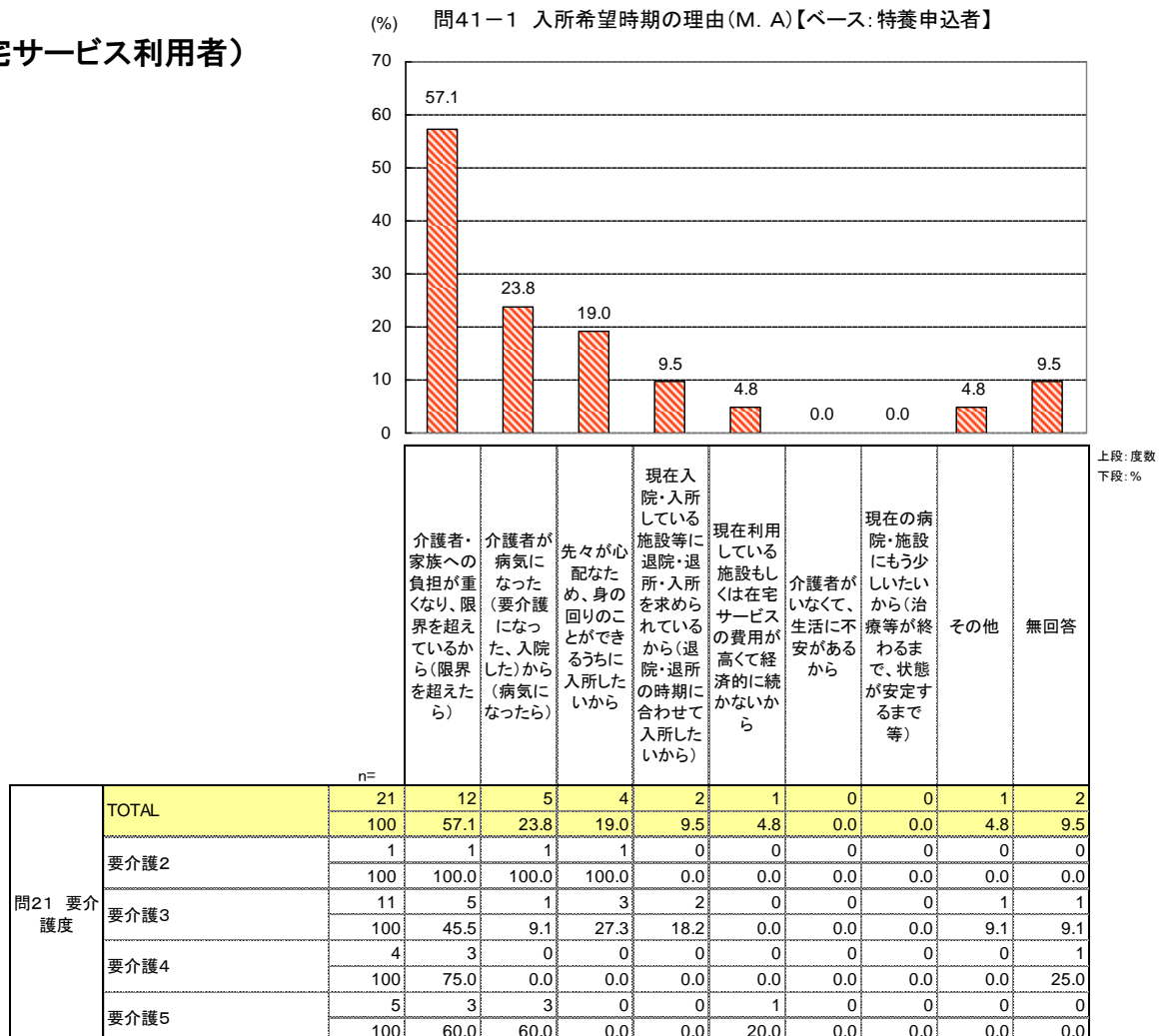
### (在宅サービス利用者)



## 7.12.8 入所希望時期の理由

在宅サービス利用者の特養申込者における入所希望時期の理由は、21名のうち、「介護者・家族への負担が重くなり、限界を超えているから」が12名で最も多くなっている。次いで「介護者が病気になった」が5名、「先々が心配なため、身の回りのことができるうちに入所したいから」が4名となっている。

### (在宅サービス利用者)



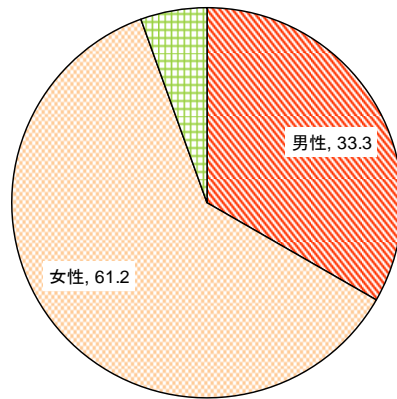
## 【8. 主介護者について】

### 8.1.1 主介護者の性別

在宅サービス利用者主介護者の性別は、「男性」が33.3%で、「女性」が61.2%となっている。

(在宅サービス利用者)

問46-1 主介護者の性別【ベース:介護者】  
n=963 無回答, 5.5 (%)



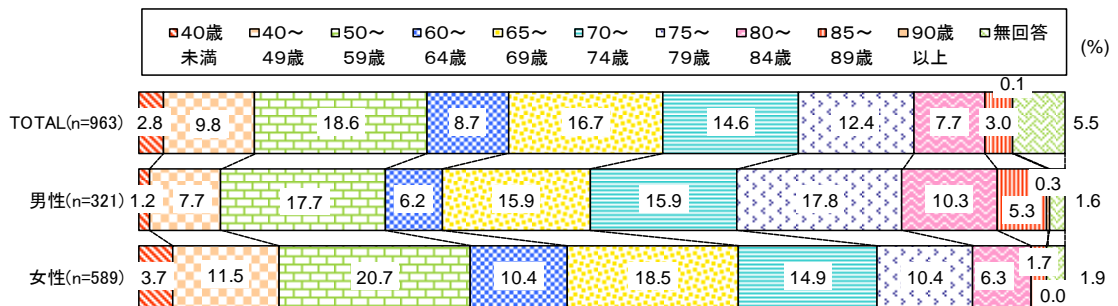
### 8.1.2 主介護者の年齢

在宅サービス利用者主介護者の年齢は、「50～59歳」が18.6%、「60～69歳（「60～64歳」と「65～69歳」の合計値）」は25.4%、「70～79歳（「70～74歳」と「75～79歳」の合計値）」は27.0%となっている。

男女別では、男性は「70～79歳」が33.7%で「女性」と比べて8.4ポイント高く、「80～89歳（「80～84歳」と「85～89歳」の合計値）」が15.6%で「女性」と比べて7.6ポイント高くなっている。「女性」は「60～69歳」が28.9%で「男性」と比べて6.8ポイント高くなっている。

(在宅サービス利用者)

問46-1 主介護者の年齢【ベース:介護者】  
【表側】問46-1 主介護者の性別【ベース:介護者】

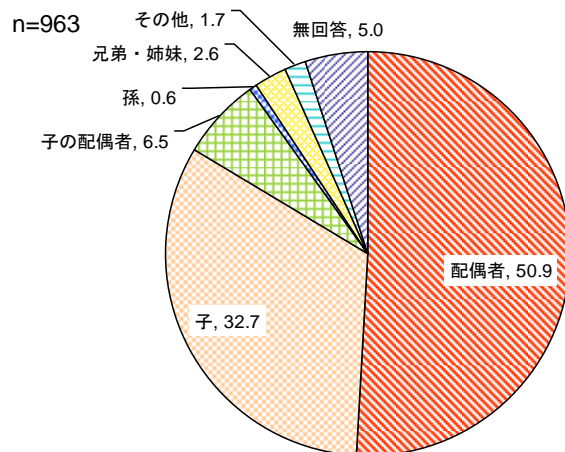


### 8.1.3 主介護者の続柄

在宅サービス利用者主介護者の続柄は、「配偶者」が50.9%で最も高く、次いで「子」が32.7%となっている。

(在宅サービス利用者)

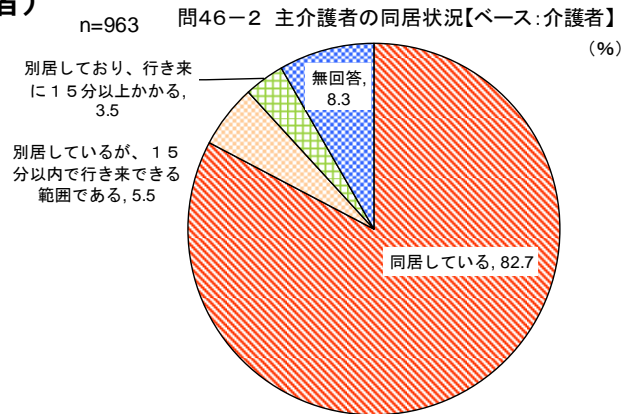
問46-1 主介護者の続柄【ベース:介護者】  
n=963 無回答, 5.0 (%)



## 8.2 主介護者の同居状況

在宅サービス利用者主介護者の同居状況は、「同居している」が 82.7%で最も高く、次いで「別居しているが、15分以内に行き来できる範囲である」が 5.5%となっている。

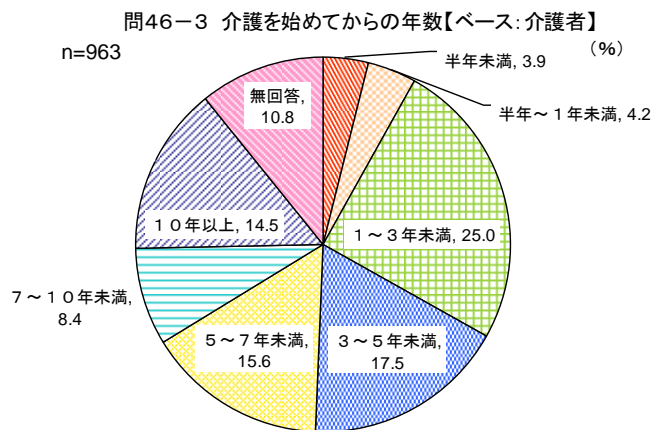
(在宅サービス利用者)



## 8.3 介護を始めてからの年数

在宅サービス利用者主介護者が介護を始めてからの年数は、「1～3年未満」が 25.0%で最も高く、次いで「3～5年未満」が 17.5%、「5～7年未満」が 15.6%、「10年以上」が 14.5%、「7～10年未満」が 8.4%となっている。

(在宅サービス利用者)



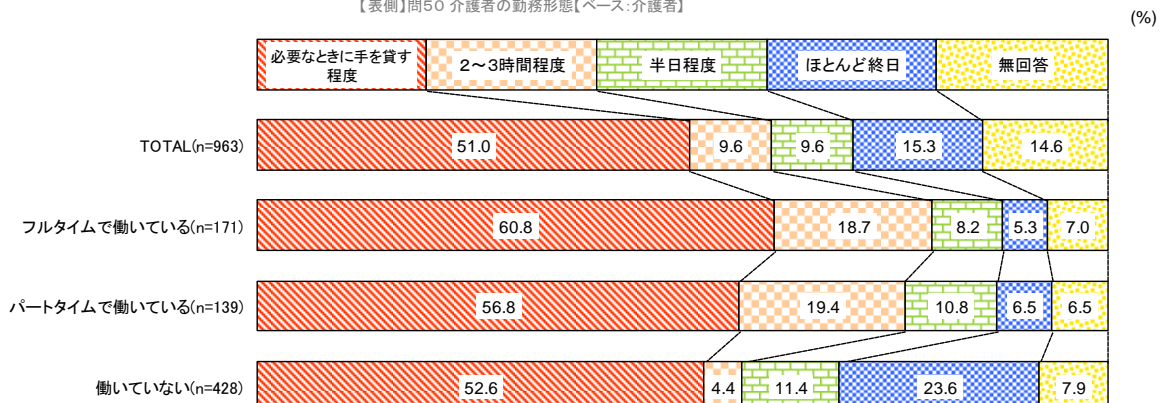
## 8.4 一日あたりの介護時間

在宅サービス利用者主介護者の一日あたりの介護時間は、「必要なときに手を貸す程度」が 51.0%で最も高く、次いで「ほとんど終日」が 15.3%、「2～3時間程度」と「半日程度」がそれぞれ 9.6%となっている。

勤務形態別では、「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」は「2～3時間程度」がそれぞれ 18.7%、19.4%で「働いていない」と比べて14ポイント以上高くなっている。また、「フルタイムで働いている」は「必要なときに手を貸す程度」が 60.8%で「働いていない」と比べて8.2ポイント高く、「働いていない」は「ほとんど終日」が 23.6%で「在宅サービス利用者全体」と比べて8.3ポイント高くなっている。

(在宅サービス利用者)

問46-4 一日あたりの介護時間【ベース:介護者】  
【表例】問50 介護者の勤務形態【ベース:介護者】



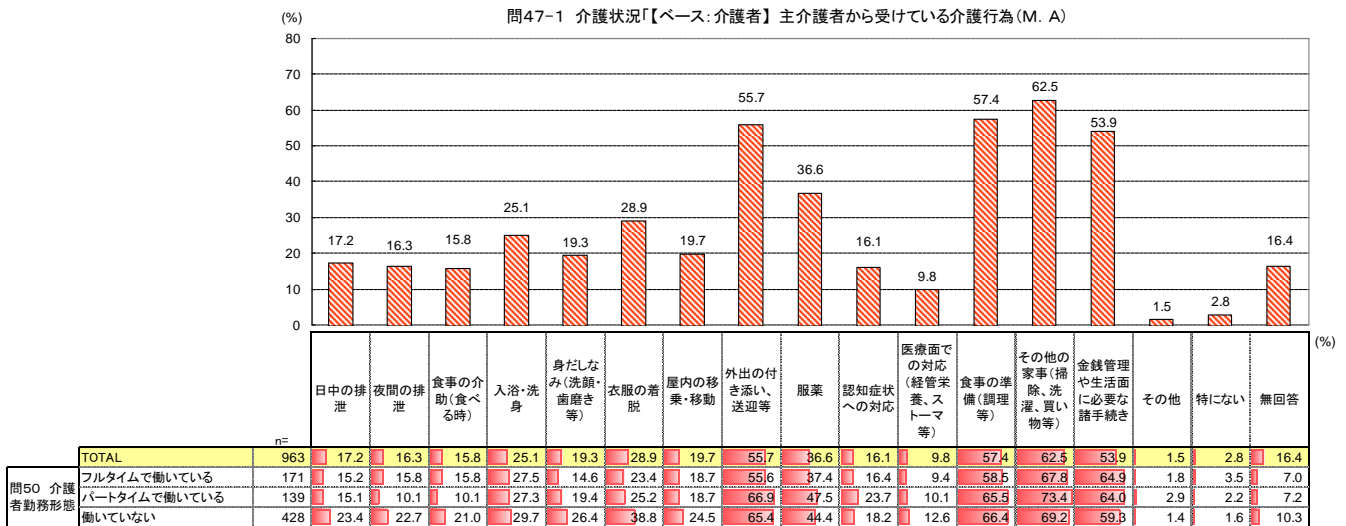


### 8.5.1 主介護者から受けている介護行為

在宅サービス利用者が主介護者から受けている介護行為は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が62.5%で最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」が57.4%、「外出の付き添い、送迎等」が55.7%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が53.9%となっている。

勤務形態別では、「働いていない」は、ほとんどの項目で「在宅サービス利用者全体」と比べて割合が高くなっている。特に「衣類の着脱」「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備（調理等）」は「在宅サービス利用者全体」と比べて9ポイント以上高くなっている。また、「フルタイムで働いている」は「夜間の排泄」と「食事の介助（食べる時）」が「パートタイムで働いている」と比べて5ポイント以上高くなっている。

#### (在宅サービス利用者)

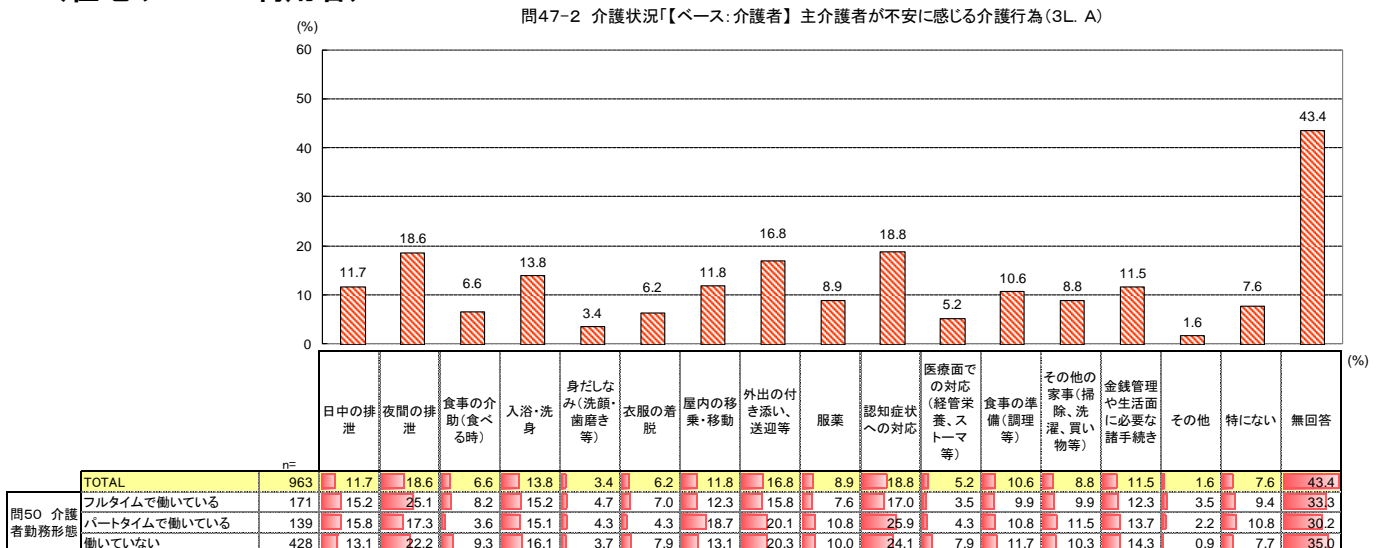


### 8.5.2 主介護者が不安に感じる介護行為

在宅サービス利用者主介護者が不安に感じる介護行為は、「認知症状への対応」が18.8%で最も高く、次いで「夜間の排泄」が18.6%、「外出の付き添い、送迎等」が16.8%となっている。

勤務形態別では、いずれの勤務形態も上位3項目は「夜間の排泄」「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」で同じだが、順番が異なっており、「フルタイムで働いている」は「夜間の排泄(25.1%)」、次いで「認知症状への対応(17.0%)」「外出の付き添い、送迎等(15.8%)」となっている。「パートタイムで働いている」は「認知症状への対応(25.9%)」「外出の付き添い、送迎等(20.1%)」「夜間の排泄(17.3%)」、の順、「働いていない」は「認知症状への対応(24.1%)」「夜間の排泄(22.2%)」「外出の付き添い、送迎等(20.3%)」の順となっている。

#### (在宅サービス利用者)



## 8.6 在宅介護で困ったこと・負担に感じること

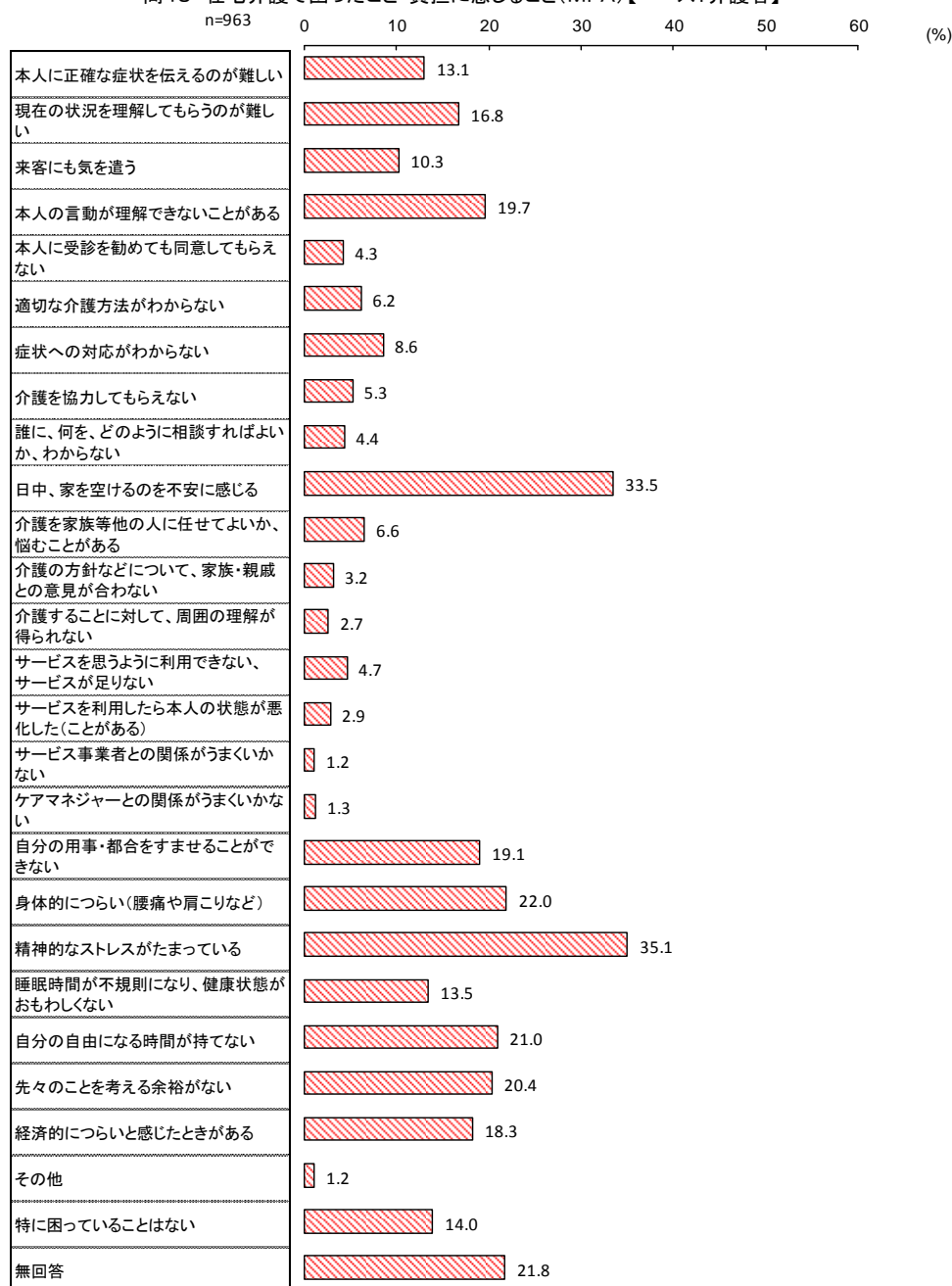
在宅サービス利用者主介護者が在宅介護で困ったこと・負担に感じることは、「精神的なストレスがたまっている」が35.1%で最も高く、次いで「日中、家を空けるのを不安に感じる」が33.5%、「身体的につらい（腰痛や肩こりなど）」が22.0%となっている。

要支援別では、「特に困っていることはない」は「要支援1」は26.9%で、「要支援2」は20.2%となっている。介護の内容では「要支援1」は「日中、家を空けるのを不安に感じる」が13.4%で最も高く、次いで「精神的なストレスがたまっている」が11.8%、「先々のことを考える余裕がない」と「経済的につらいと感じたときがある」がそれぞれ9.2%となっている。「要支援2」は「精神的なストレスがたまっている」が20.2%で最も高く、次いで「日中、家を空けるのを不安に感じる」が19.4%、「身体的につらい（腰痛や肩こり）」が17.1%となっている。

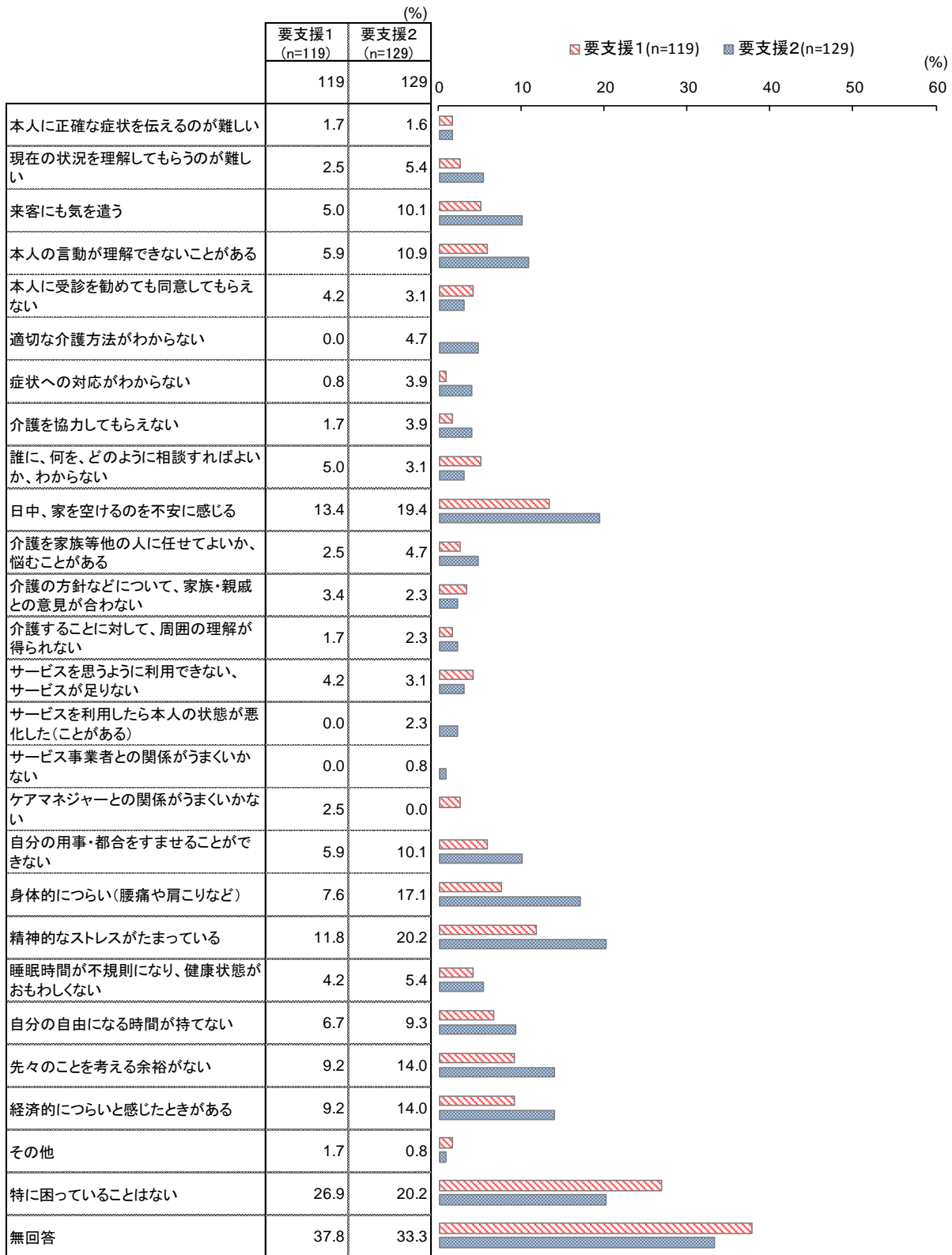
要介護度別では、「精神的なストレスがたまっている」は、いずれの介護度においても、1位、もしくは2位と高くなっており、「要介護3」と「要介護5」では50%以上となっている。「身体的につらい（腰痛や肩こりなど）」は、介護度が上がるにつれて高くなってきている。「要介護5」は「自分の自由になる時間が持てない」が57.4%で最も高くなってきている。

### (在宅サービス利用者)

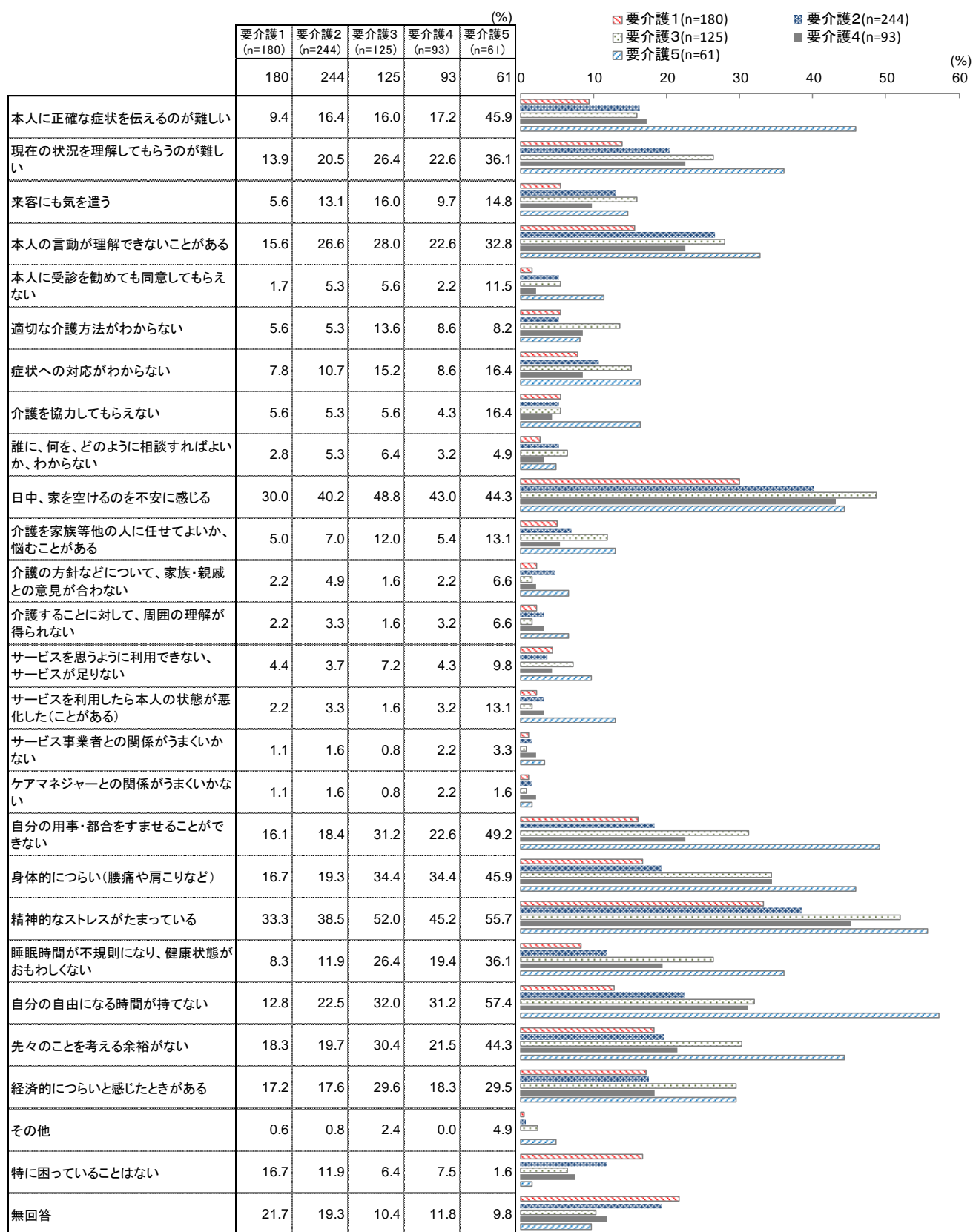
問48 在宅介護で困ったこと・負担に感じること(M. A)【ベース:介護者】



問48 在宅介護で困ったこと・負担に感じること(M. A)【ベース:介護者】



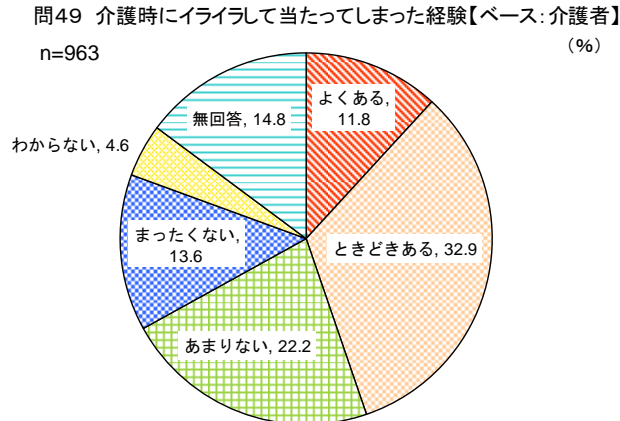
問48 在宅介護で困ったこと・負担に感じること(M. A)【ベース:介護者】



### 8.7.1 介護時にイライラして当たってしまった経験

在宅サービス利用者主介護者が介護時にイライラして当たってしまった経験は、「ときどきある」が32.9%で最も高くなっている。「ある 計（「よくある」と「ときどきある」の合計値）」は44.7%、「ない 計（「あまりない」と「まったくない」の合計値）」は35.8%で、「ある 計」の方が8.9ポイント高くなっている。

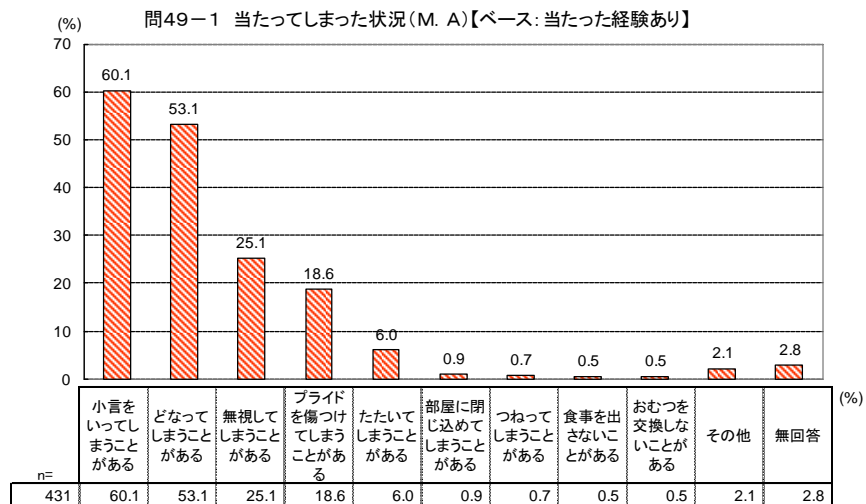
(在宅サービス利用者)



### 8.7.2 当たってしまった状況

在宅サービス利用者主介護者で当たった経験がある人の当たってしまった状況は、「小言をいってしまうことがある」が60.1%で最も高く、次いで「どなってしまふことがある」が53.1%、「無視してしまふことがある」が25.1%となっている。

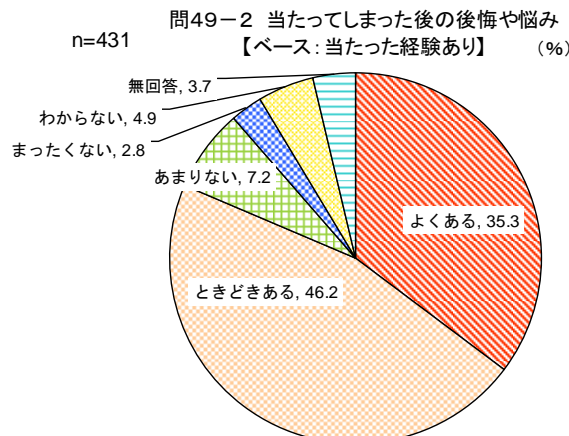
(在宅サービス利用者)



### 8.7.3 当たってしまった後の後悔や悩み

在宅サービス利用者主介護者で当たった経験がある人のうち、当たってしまった後の後悔や悩みは、「ときどきある」が46.2%で最も高くなっている。「ある 計（「よくある」と「ときどきある」の合計値）」は81.5%、「ない 計（「あまりない」と「まったくない」の合計値）」は10.0%で、「ある 計」の方が71.5ポイント高くなっている。

(在宅サービス利用者)

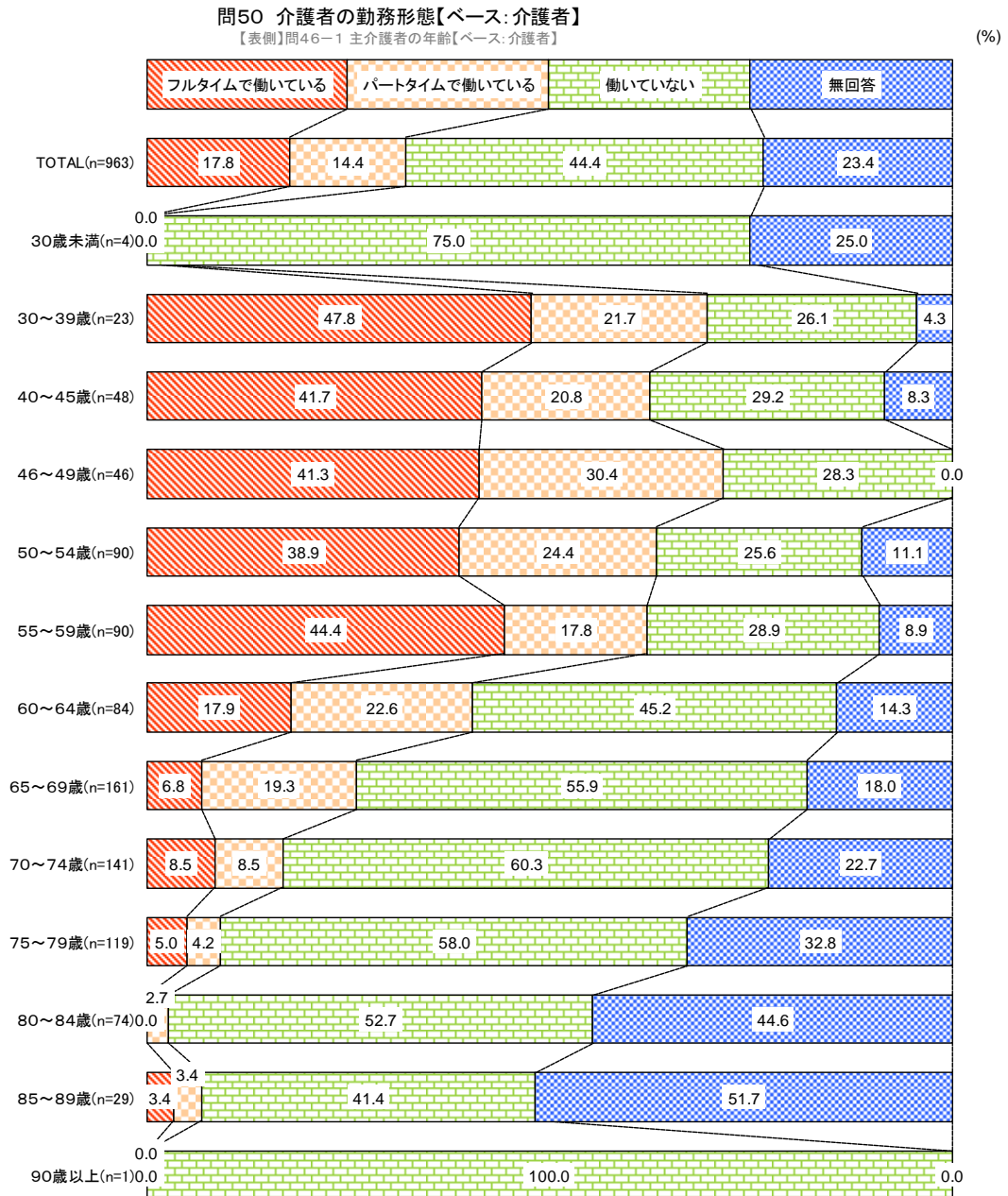


## 8.8.1 介護者の勤務形態

在宅サービス利用者主介護者の勤務形態は、「働いていない」が44.4%で最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が17.8%、「パートタイムで働いている」が14.4%となっている。

年齢別では、「30～39歳 (n=23)」「40～45歳」「46～49歳」「50～54歳」「55～59歳」は「フルタイムで働いている」が3割後半から4割台となっている。「65～69歳」「70～74歳」「75～79歳」「80～84歳」は「働いていない」が50%以上となっている。

### (在宅サービス利用者)



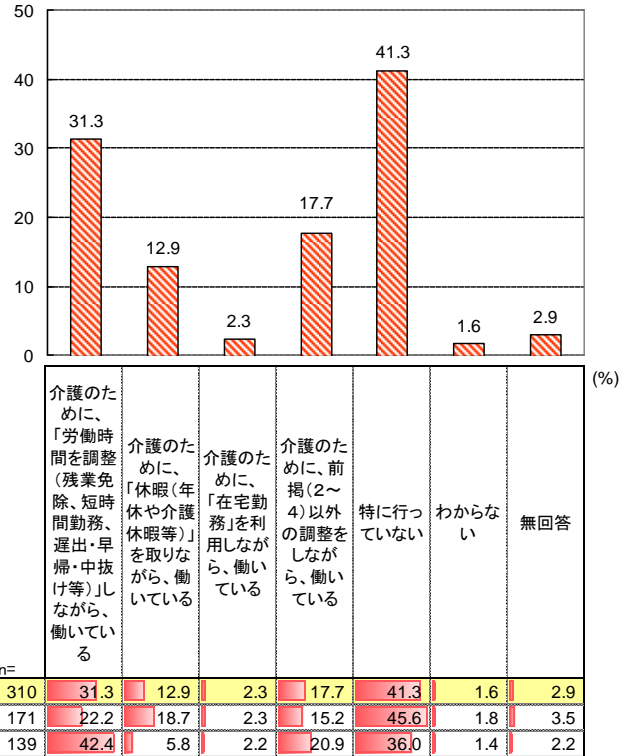
**8.8.2 介護をするにあたり働き方の調整等の状況**

在宅サービス利用者有職主介護者における介護をするにあたり働き方の調整等の状況は、「特に行っていない」が41.3%で最も高く、次いで「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」が31.3%となっている。

勤務形態別では、「フルタイムで働いている」は「特に行っていない」が45.6%で、「パートタイムで働いている」と比べて9.6ポイント高く、「介護のために『休暇』を取りながら、働いている」が18.7%で「パートタイムで働いている」と比べて12.9ポイント高くなっている。「パートタイムで働いている」は「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」が42.4%で「フルタイムで働いている」と比べて20.2ポイント高くなっている。

(在宅サービス利用者)

問50-1 介護をするにあたり働き方の調整等の状況 (M. A)【ベース:有職者】



		n=	31.3	12.9	2.3	17.7	41.3	1.6	2.9
TOTAL		310							
問50 介護者勤務形態	フルタイムで働いている	171	22.2	18.7	2.3	15.2	45.6	1.8	3.5
	パートタイムで働いている	139	42.4	5.8	2.2	20.9	36.0	1.4	2.2

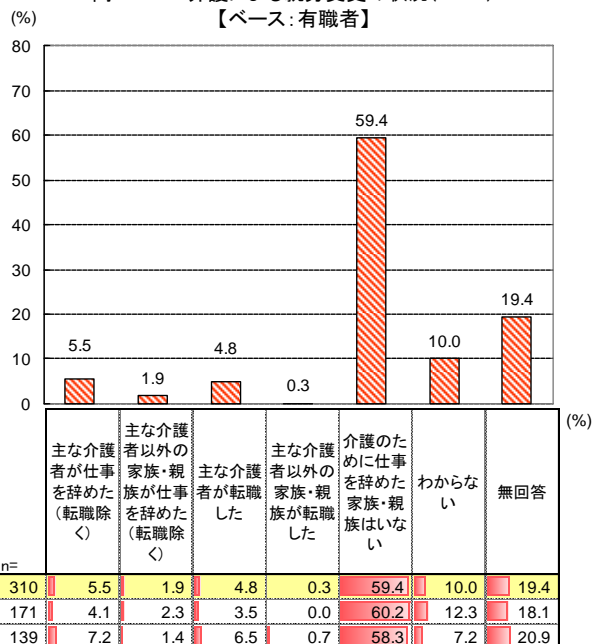
**8.8.3 介護による就労変更の状況**

在宅サービス利用者有職主介護者における介護による就労変更の状況は、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が59.4%で最も高く、次いで「わからない」が10.0%となっている。

勤務形態別では、特に目立った差はみられない。

(在宅サービス利用者)

問50-2 介護による就労変更の状況(M. A)【ベース:有職者】



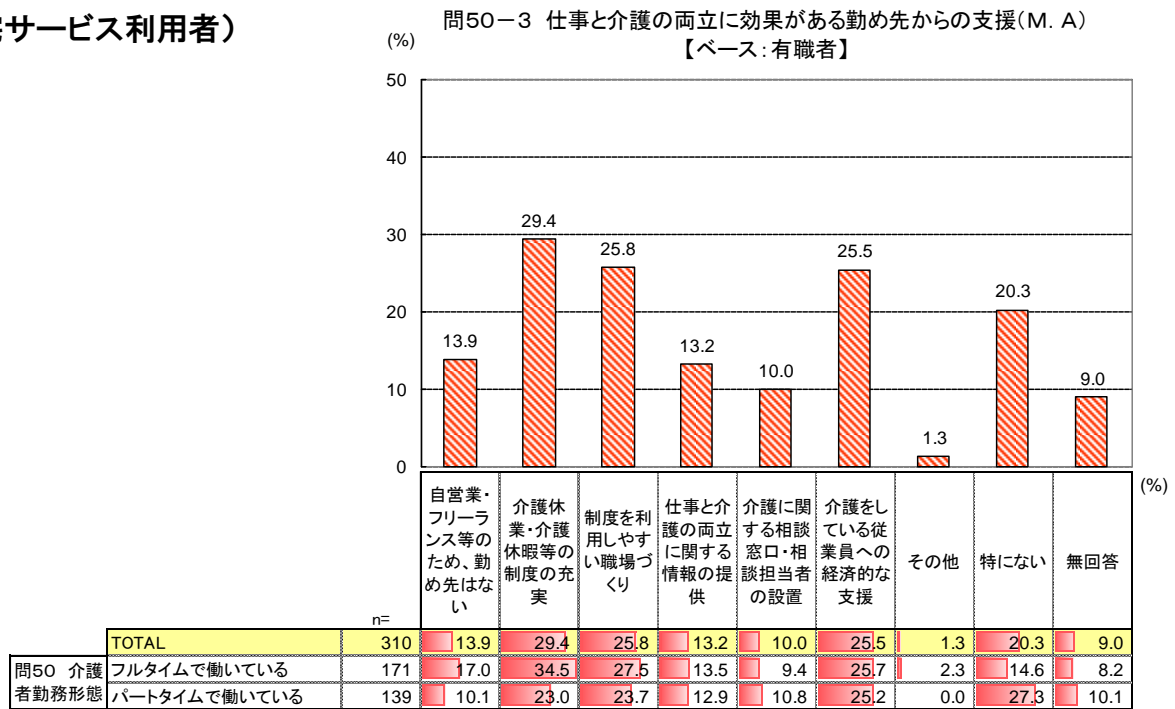
		n=	5.5	1.9	4.8	0.3	59.4	10.0	19.4
TOTAL		310							
問50 介護者勤務形態	フルタイムで働いている	171	4.1	2.3	3.5	0.0	60.2	12.3	18.1
	パートタイムで働いている	139	7.2	1.4	6.5	0.7	58.3	7.2	20.9

### 8.8.4 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援

在宅サービス利用者有職主介護者における仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が29.4%で最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が25.8%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が25.5%となっている。

勤務形態別では、「フルタイムで働いている」は「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が34.5%で「パートタイムで働いている」と比べて11.5ポイント高く、「パートタイムで働いている」は「特にない」が27.3%で「フルタイムで働いている」と比べて12.7ポイント高くなっている。

#### (在宅サービス利用者)

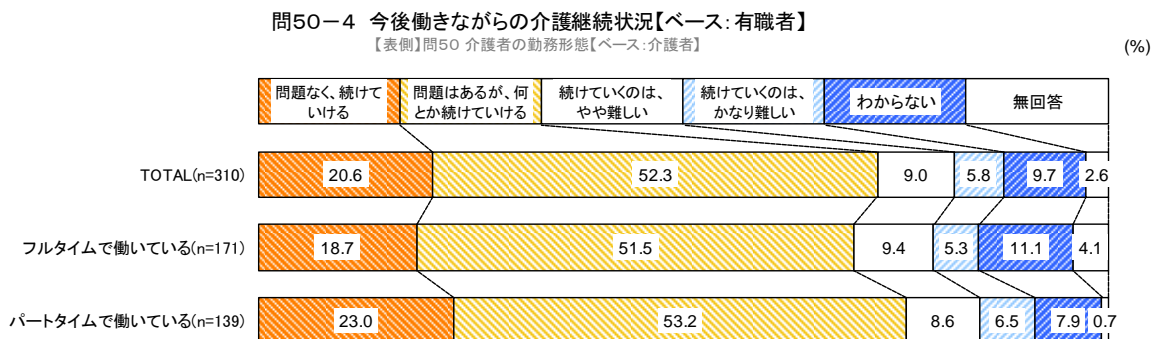


### 8.8.5 今後働きながらの介護継続状況

在宅サービス利用者有職主介護者における今後働きながらの介護継続状況は、「問題はあるが、何とか続けていける」が52.3%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が20.6%となっている。

勤務形態別では、「パートタイムで働いている」は「問題なく、続けていける」が23.0%で「フルタイムで働いている」と比べて4.3ポイントとやや高くなっている。

#### (在宅サービス利用者)





## 【9. 施策・取組について】

### 9.1 今後3年間に利用したい高齢者福祉サービス

65歳以上全体における今後3年間に利用したい高齢者福祉サービスは、「利用したいものはない」が39.7%で最も高く、次いで「配食サービス」が11.7%、「緊急通報システム」が11.3%となっている。  
 年齢別では、「後期高齢者」は「自立支援（ヘルパー派遣）（12.9%）」「自立支援（福祉用具貸与）（9.4%）」「配食サービス（14.4%）」が「前期高齢者」と比べて5ポイント以上高くなっている。

2号被保険者全体における将来利用したい高齢者福祉サービスは、「自立支援（ヘルパー派遣）」が50.0%で最も高く、次いで「配食サービス」が45.1%、「自立支援（福祉用具貸与）」が38.3%、「緊急通報システム」が32.8%となっている。

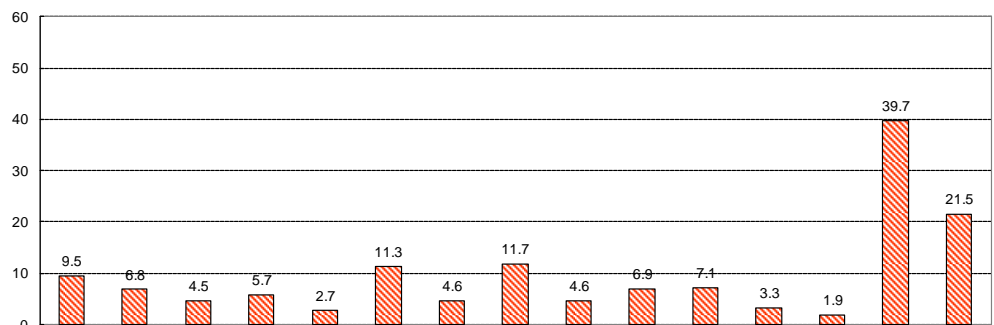
年齢別では、「55～59歳」は「自立支援（ヘルパー派遣）」が53.1%で「60～64歳」と比べて5.7ポイント高く、「ねたきり高齢者等紙おむつ支給」が32.1%で「60～64歳」と比べて9.6ポイント高くなっている。

在宅サービス利用者全体における今後3年間に利用したい高齢者福祉サービスは、「利用したいものはない」が16.5%で最も高く、次いで「緊急通報システム」が15.4%、「配食サービス」が14.3%、「日常生活用具の給付」が13.7%となっている。

要介護度別では、介護度が高くなるにつれて「ねたきり高齢者等紙おむつ支給」「認知症高齢者相談」「世帯住替家賃助成」が高くなっており、「軽度生活支援」は介護度が高くなるにつれて低下している。

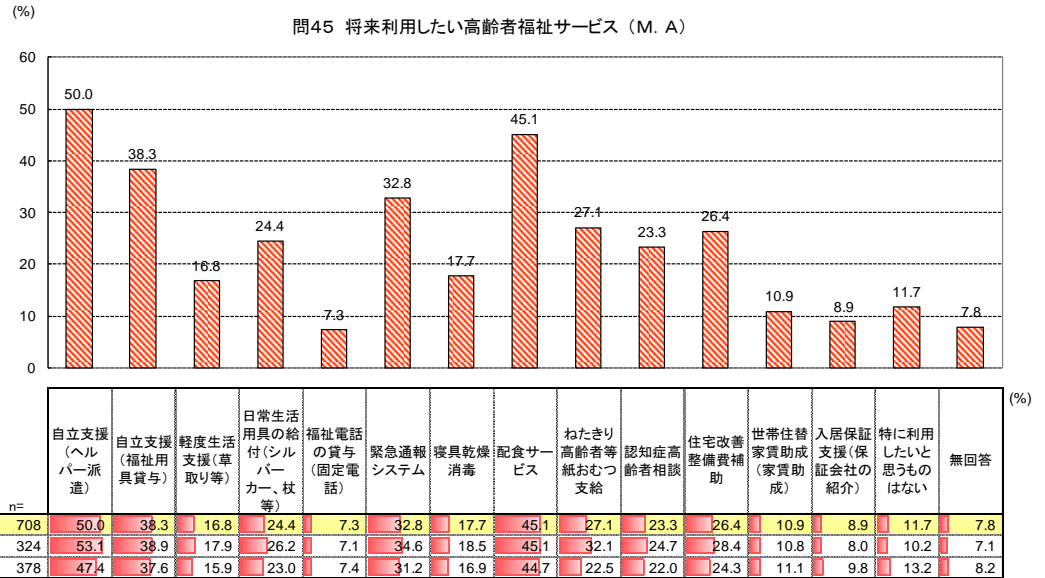
### (65歳以上)

問41 今後3年間に利用したい高齢者福祉サービス(M. A)

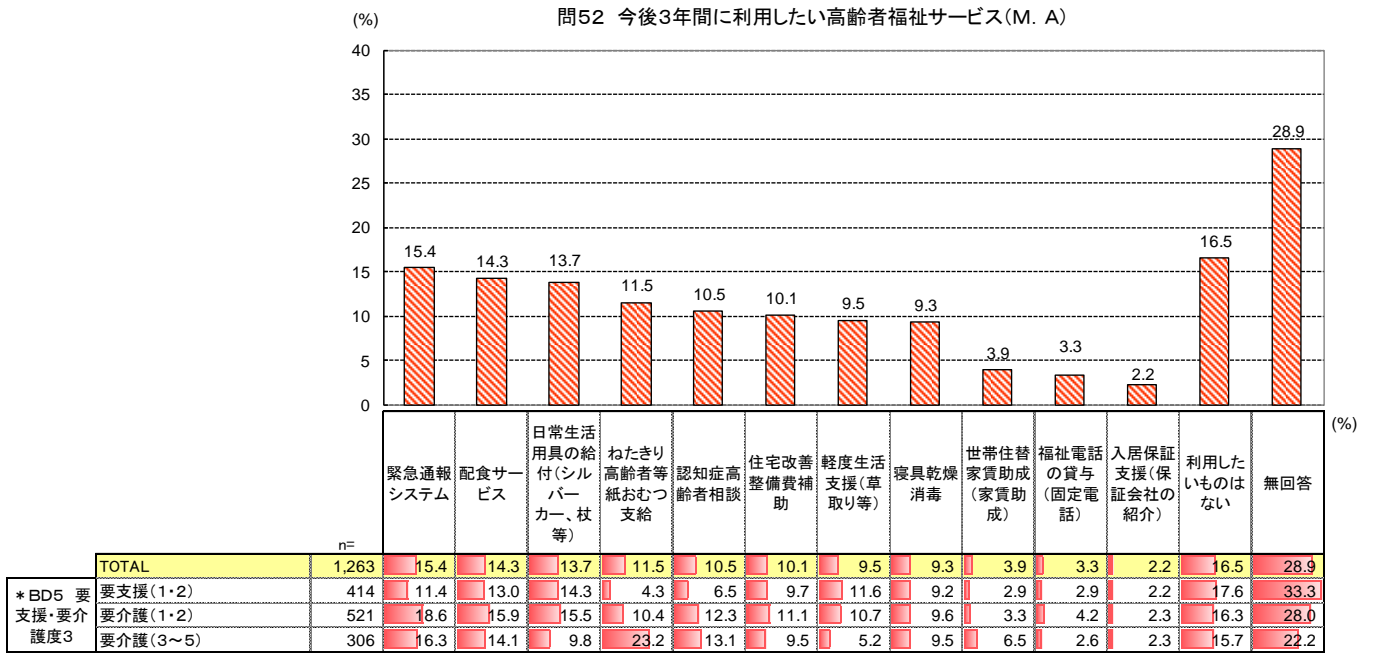


* 年齢	n=	自立支援（ヘルパー派遣）	自立支援（福祉用具貸与）	軽度生活支援（車取り等）	日常生活用具の給付（シルバーカー、杖等）	福祉電話の貸与（固定電話）	緊急通報システム	寝具乾燥消毒	配食サービス	ねたきり高齢者等紙おむつ支給	認知症高齢者相談	住宅改善整備費補助	世帯住替家賃助成（家賃助成）	入居保証支援（保証会社の紹介）	利用したいものはない	無回答
		TOTAL	1,744	9.5	6.8	4.5	5.7	2.7	11.3	4.6	11.7	4.6	6.9	7.1	3.3	1.9
前期高齢者(65歳～74歳)	652	3.8	2.9	2.6	2.6	1.2	8.7	2.9	7.4	1.7	4.6	6.0	3.7	1.8	54.9	16.6
後期高齢者(75歳以上)	1,065	12.9	9.4	5.5	7.5	3.7	13.1	5.8	14.4	6.5	8.5	7.8	3.1	1.9	30.5	24.3

(2号被保険者:55~64歳)



(在宅サービス利用者)

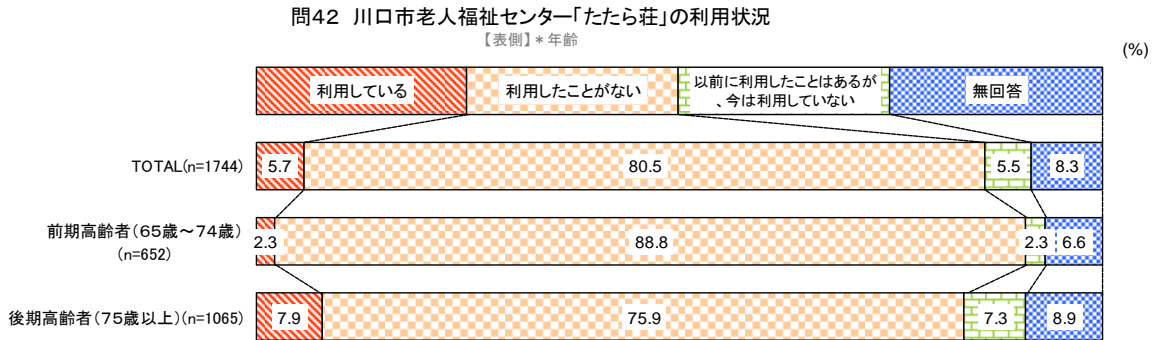


**9.2.1 川口市老人福祉センター「たたら荘」の利用状況**

65歳以上全体における川口市老人福祉センター「たたら荘」の利用率（「利用している」の割合）は5.7%、「利用経験率（「利用している」と「以前に利用したことはあるが、今は利用していない」の合計値）」は11.2%となっている。

年齢別では、「後期高齢者」の利用率は7.9%で「前期高齢者」と比べて5.6ポイント高く、利用経験率は15.2%で「前期高齢者」と比べて10.6ポイント高くなっている。

(65歳以上)

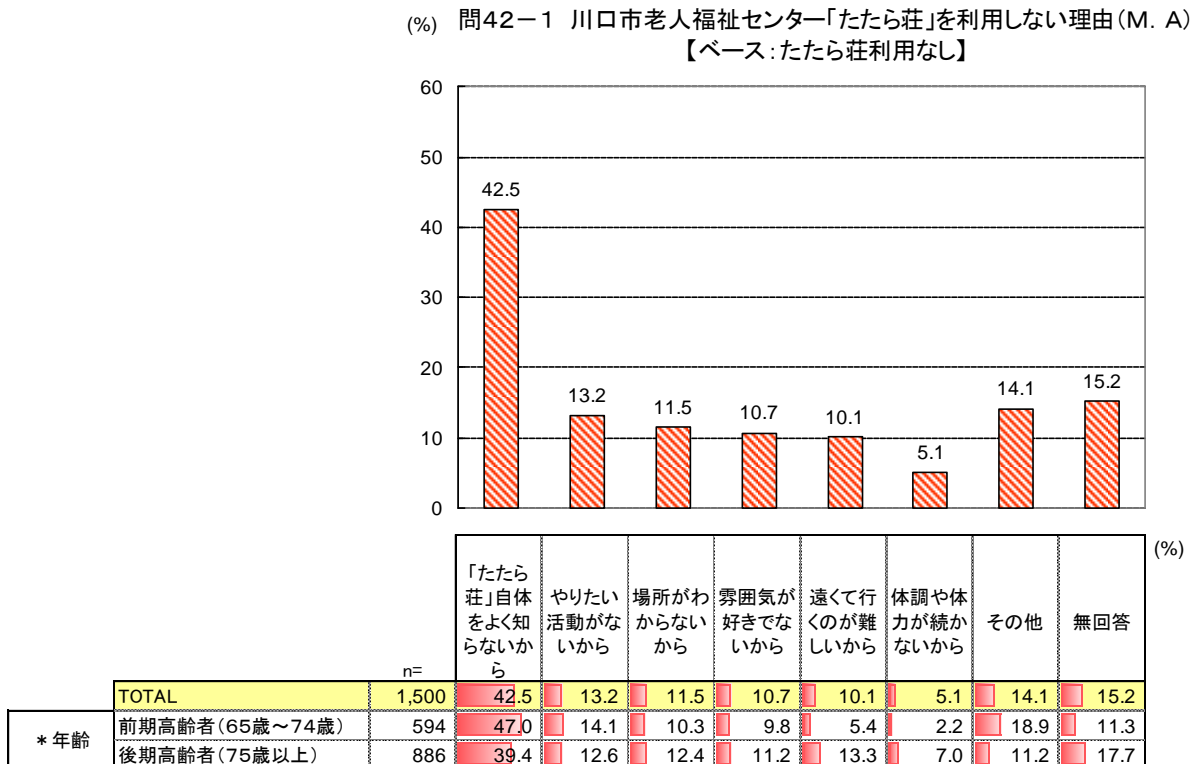


**9.2.2 川口市老人福祉センター「たたら荘」を利用しない理由**

65歳以上でたたら荘の利用がない人における川口市老人福祉センター『たたら荘』を利用しない理由は、「『たたら荘』自体をよく知らないから」が42.5%で最も高く、次いで「その他」が14.1%、「やりたい活動がないから」が13.2%となっている。

年齢別では、「前期高齢者」は「『たたら荘』自体をよく知らないから」が47.0%で「後期高齢者」と比べて7.6ポイント高く、「後期高齢者」は「遠くて行くのが難しいから」が13.3%で「前期高齢者」と比べて7.9ポイント高くなっている。

(65歳以上)



### 9.3 判断能力低下時の金銭管理やサービス手続きについて

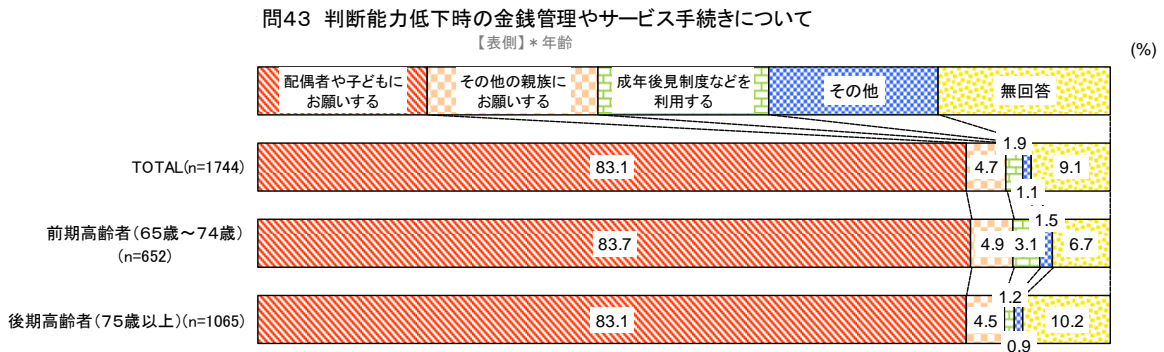
65歳以上全体における判断能力低下時の金銭管理やサービス手続きについては、「配偶者や子どもにお願いする」が83.1%で最も高く、次いで「その他の親族にお願いする」が4.7%となっている。

年齢別では、特に目立った差はみられない。

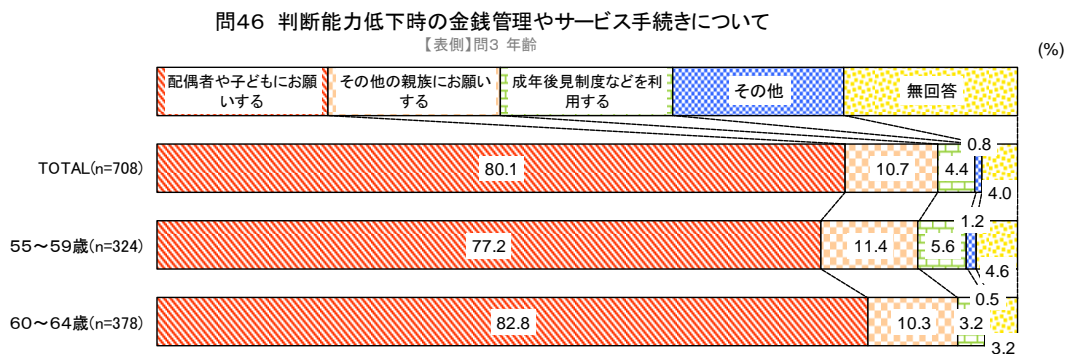
2号被保険者全体における判断能力低下時の金銭管理やサービスの手続きについては、「配偶者や子どもにお願いする」が80.1%で最も高く、次いで「その他の親族にお願いする」が10.7%となっている。

年齢別では、「60～64歳」は「配偶者や子どもにお願いする」が82.8%で「55～59歳」と比べて5.6ポイント高くなっている。

#### (65歳以上)



#### (2号被保険者:55～64歳)



9.4.1 成年後見制度認知状況

65歳以上全体における成年後見制度認知状況は、「少し知っている」が41.0%で最も高く、「知っている 計」（「よく知っている」と「少し知っている」の合計値）は59.8%となっている。

年齢別では、「前期高齢者」は「知っている 計」が64.9%で「後期高齢者」と比べて7.7ポイント高くなっている。

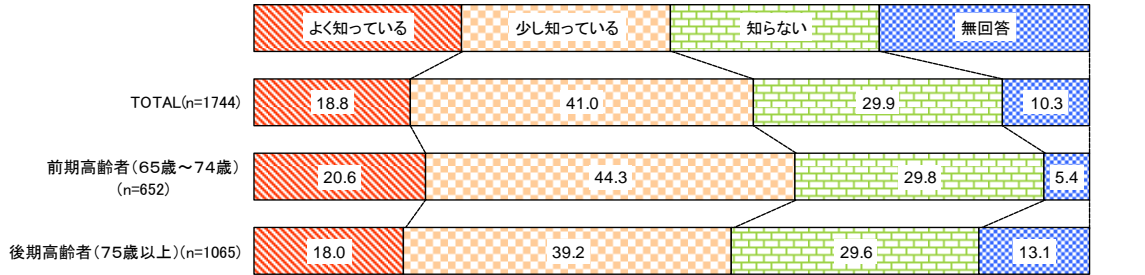
2号被保険者全体における成年後見制度認知状況は、「少し知っている」が48.0%で最も高く、「知っている 計」は62.4%となっている

年齢別では、特に目立った差はみられない。

(65歳以上)

問43-1 成年後見制度認知状況

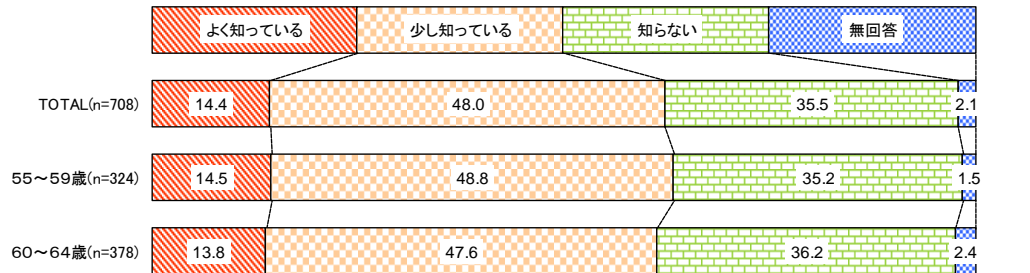
【表例】\*年齢



(2号被保険者:55~64歳)

問46-1 成年後見制度認知状況

【表例】問3 年齢



9.4.2 成年後見人選出時期

65歳以上全体における成年後見人選出時期は、「わからない」が44.0%で最も高く、次いで「自分の意思のあるうちに選ぶ」が40.6%となっている。

年齢別では、「前期高齢者」は「自分の意思のあるうちに選ぶ」が43.1%で「後期高齢者」と比べて3.9ポイントとやや高く、「わからない」が46.2%で3.5ポイントとやや高くなっている。

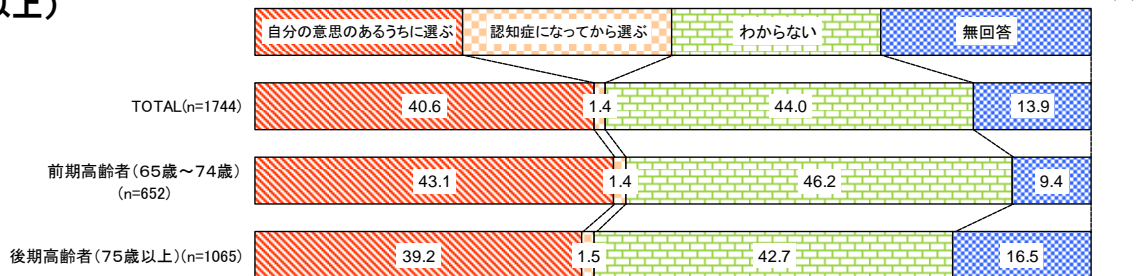
2号被保険者全体における成年後見人選出時期は、「わからない」が47.6%で最も高く、次いで「自分の意思のあるうちに選ぶ」が46.0%となっている。

年齢別では、特に目立った差はみられない。

(65歳以上)

問43-2 成年後見人選出時期

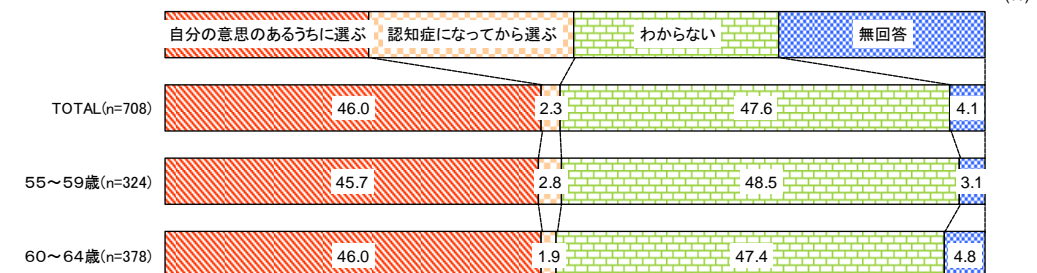
【表例】\*年齢



(2号被保険者:55~64歳)

問46-2 成年後見人選出時期

【表例】問3 年齢

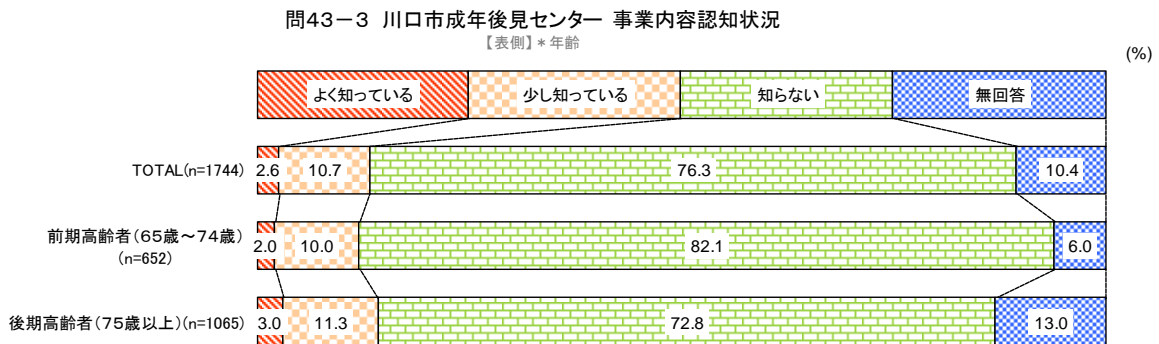


### 9.4.3 川口市成年後見センター事業内容認知状況

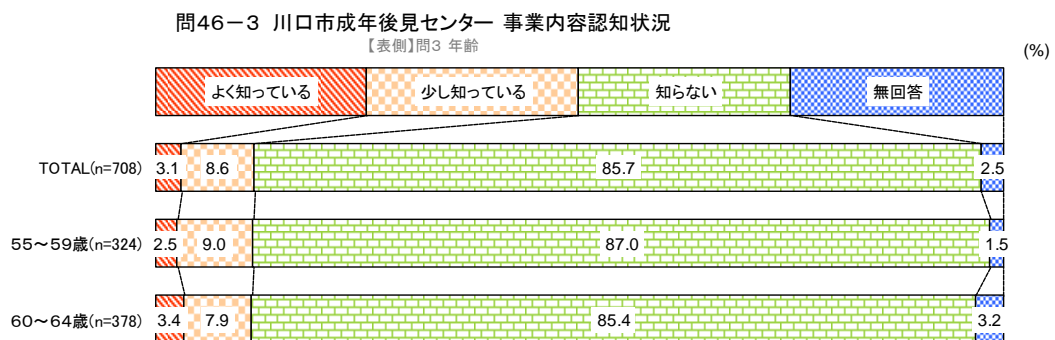
65歳以上全体における川口市成年後見センター事業内容認知状況は、「よく知っている」が2.6%で、「知っている 計（「よく知っている」と「少し知っている」の合計値）」は13.3%となっている。  
年齢別では、特に目立った差はみられない。

2号被保険者全体における川口市成年後見センター事業内容認知状況は、「よく知っている」が3.1%、「知っている 計」が11.7%となっている。  
年齢別では、特に目立った差はみられない。

#### (65歳以上)



#### (2号被保険者:55~64歳)



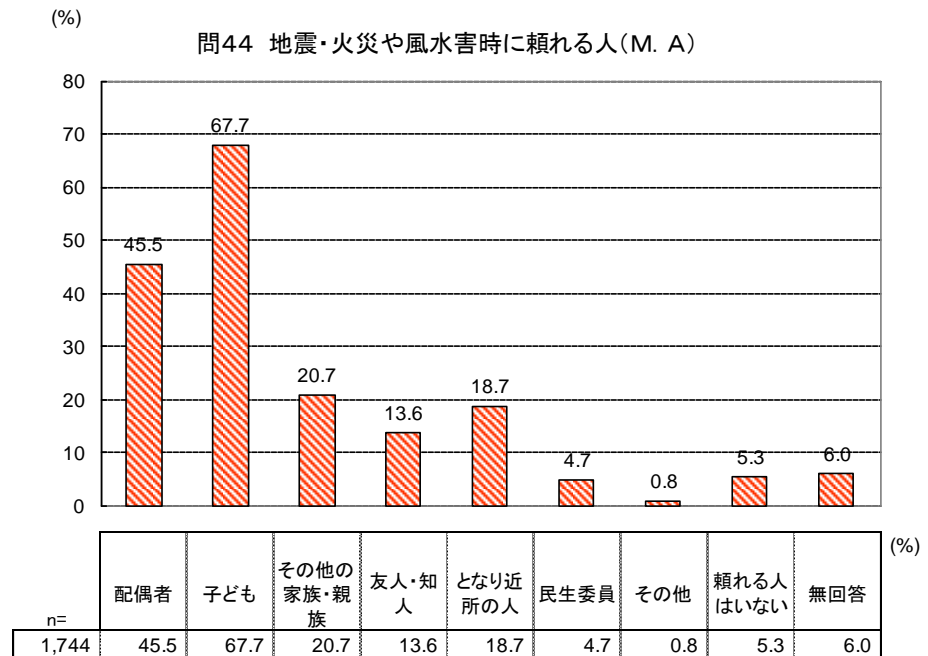
**9.5 地震・火災や風水害時に頼れる人**

65歳以上全体における地震・火災や風水害時に頼れる人は、「子ども」が67.7%で最も高く、次いで「配偶者」が45.5%、「その他の家族・親族」が20.7%となっている。

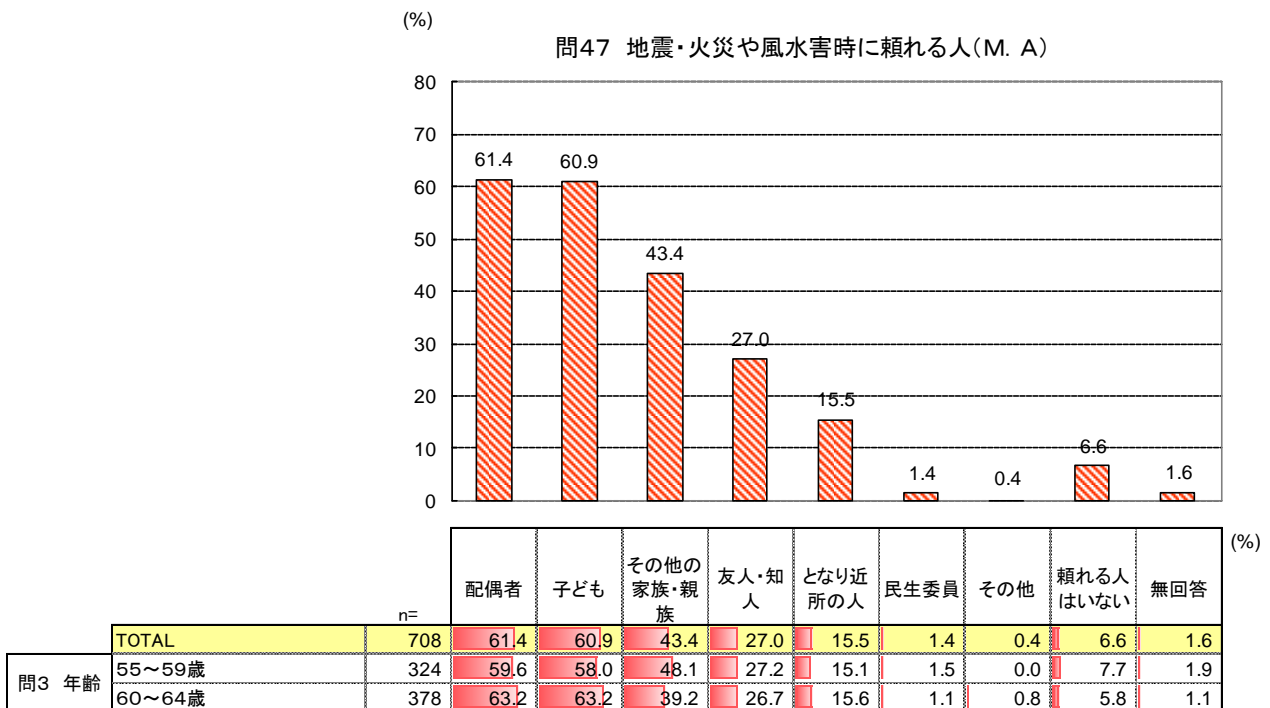
2号被保険者全体における地震・火災や風水害時に頼れる人は、「配偶者」が61.4%で最も高く、次いで「子ども」が60.9%、「その他の家族・親族」が43.4%となっている。

年齢別では、「55～59歳」は「その他の家族・親族」が48.1%で「60～64歳」と比べて8.9ポイント高く、「60～64歳」は「子ども」が63.2%で「55～59歳」と比べて5.2ポイント高くなっている。

**(65歳以上)**



**(2号被保険者:55～64歳)**



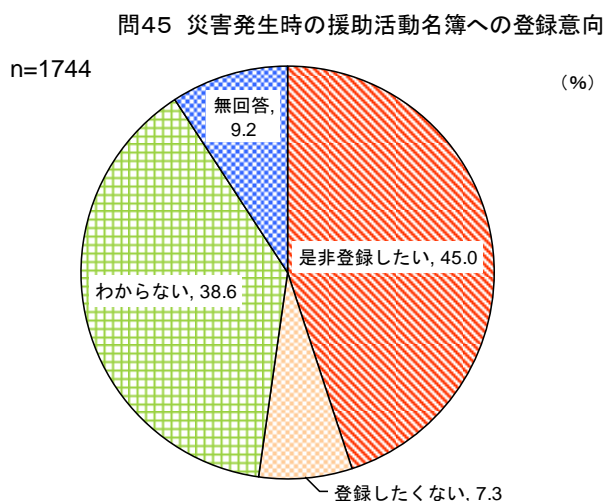
## 9.6 災害発生時の援助活動名簿への登録意向

65歳以上全体における災害発生時の援助活動名簿への登録意向は、「是非登録したい」が45.0%で、「登録したくない」が7.3%、「わからない」が38.6%となっている。

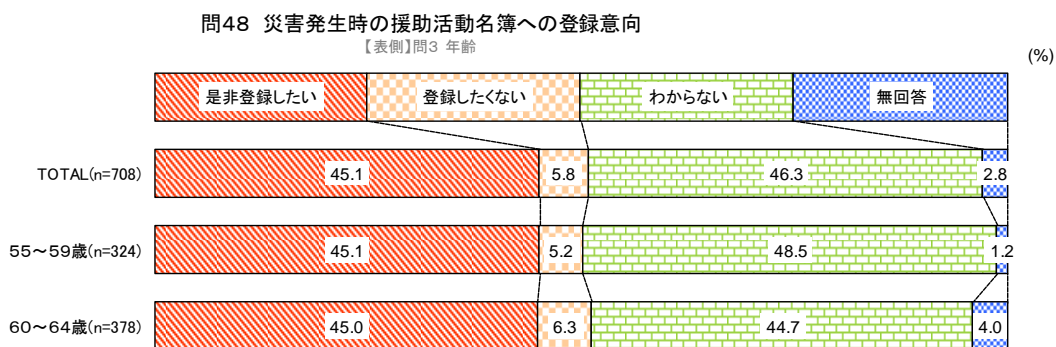
2号被保険者全体における災害発生時の援助活動名簿への登録意向は、「是非登録したい」が45.1%で、「登録したくない」が5.8%、「わからない」が46.3%となっている。

年齢別では、特に目立った差はみられない。

### (65歳以上)



### (2号被保険者:55~64歳)





9.7 今後市が優先して取り組むべき内容

65歳以上全体における今後市が優先して取り組むべき内容は、「自宅での介護を支援するサービスの充実」が44.4%で最も高く、次いで「介護する家族に対する支援」が37.8%となっている。

年齢別では、「前期高齢者」は「高齢者のための住宅整備、住宅改造の資金援助等、住宅に関する事業」が17.9%で「後期高齢者」と比べて6.8ポイント高く、「後期高齢者」は「自宅での介護を支援するサービスの充実」が46.9%で「前期高齢者」と比べて6.3ポイント高くなっている。

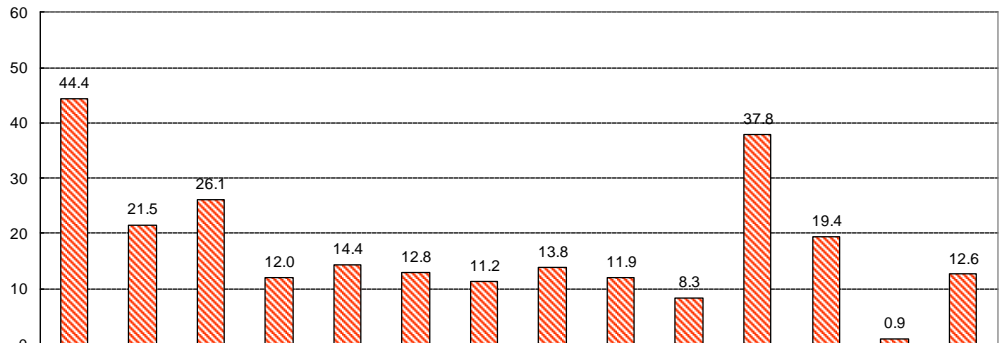
地域包括支援センターエリア別では、最も割合の高い「自宅での介護を支援するサービスの充実」は「西(53.3%)」「南平みなみ(49.4%)」「新郷(51.2%)」「新郷東(51.3%)」「芝伊刈(52.9%)」で特に高くなっている。2番目に割合の高い「介護する家族に対する支援」は、「前川(43.8%)」「神根(42.0%)」「芝(45.7%)」「芝伊刈(44.7%)」「安行(43.2%)」「戸塚西(48.0%)」「鳩ヶ谷西部(48.6%)」で特に高くなっている。

在宅サービス利用者全体における今後市が優先して取り組むべき内容は、「自宅での介護を支援するサービスの充実」が37.5%で最も高く、次いで「介護する家族に対する支援」が32.5%、「段差解消や歩道整備など安全なまちづくり」が23.5%となっている。

要介護度別では、「自宅での介護を支援するサービスの充実」「健康診査などの保健医療サービスの充実」「常時介護が必要な方のための施設の整備」「認知症の方に対する支援」「介護する家族に対する支援」が、介護度が高くなるにつれて高くなっている。

(65歳以上)

問46 今後市が優先して取り組むべき内容(3L A)

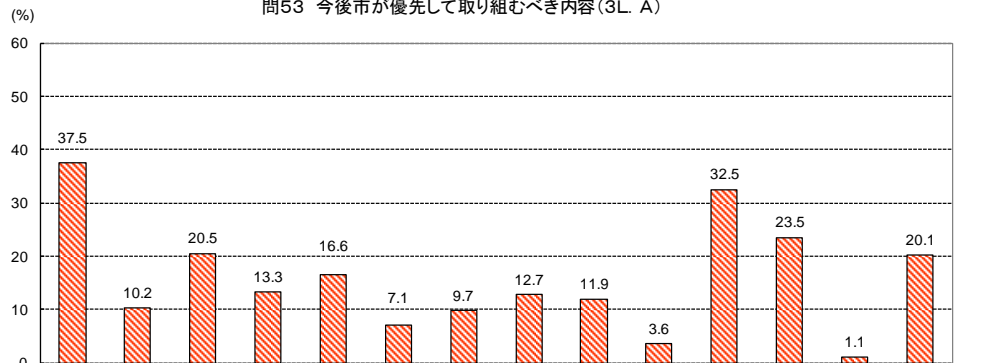


		n=	自宅での介護を支援するサービスの充実	健康診査などの保健医療サービスの充実	常時介護が必要な方のための施設の整備	病院から家庭へ復帰するためのリハビリを行う施設の整備	認知症の方に対する支援	元気な方のための健康増進や教養のための事業	介護予防や認知症予防などの介護を予防するための事業	高齢者のための住宅整備、住宅改造の資金援助等、住宅に関する事業	介護に関する相談等、相談体制の充実	高齢者の就労や社会活動参加の支援	介護する家族に対する支援	段差解消や歩道整備など安全なまちづくり	その他	無回答
TOTAL		1,744	44.4	21.5	26.1	12.0	14.4	12.8	11.2	13.8	11.9	8.3	37.8	19.4	0.9	12.6
* 年齢	前期高齢者(65歳~74歳)	652	40.6	24.1	28.7	12.0	15.8	14.1	11.7	17.9	12.6	13.2	41.0	16.9	1.2	7.8
	後期高齢者(75歳以上)	1,065	46.9	20.0	24.7	12.2	13.7	12.0	11.3	11.1	11.5	5.5	36.2	21.2	0.8	14.8

		n=	自宅での介護を支援するサービスの充実	健康診査などの保健医療サービスの充実	常時介護が必要な方のための施設の整備	病院から家庭へ復帰するためのリハビリを行う施設の整備	認知症の方に対する支援	元気な方のための健康増進や教養のための事業	介護予防や認知症予防などの介護を予防するための事業	高齢者のための住宅整備、住宅改造の資金援助等、住宅に関する事業	介護に関する相談等、相談体制の充実	高齢者の就労や社会活動参加の支援	介護する家族に対する支援	段差解消や歩道整備など安全なまちづくり	その他	無回答
TOTAL		1,744	44.4	21.5	26.1	12.0	14.4	12.8	11.2	13.8	11.9	8.3	37.8	19.4	0.9	12.6
* 問1 地域包括支援センターエリア区分	中央	78	43.6	23.1	26.9	14.1	12.8	21.8	14.1	9.0	12.8	14.1	28.2	17.9	2.6	9.0
	横曽根	82	41.5	13.4	30.5	11.0	11.0	9.8	13.4	12.2	7.3	9.8	31.7	17.1	2.4	18.3
	西	92	53.3	26.1	35.9	15.2	12.0	15.2	17.4	14.1	18.5	12.0	34.8	19.6	3.3	5.4
	青木	82	48.8	28.0	26.8	14.6	14.6	17.1	11.0	11.0	13.4	9.8	30.5	25.6	0.0	7.3
	上青木	85	36.5	24.7	24.7	12.9	12.9	4.7	11.8	18.8	16.5	2.4	41.2	18.8	0.0	15.3
	前川	80	43.8	21.3	33.8	10.0	20.0	12.5	16.3	18.8	10.0	5.0	43.8	17.5	0.0	6.3
	南平	81	43.2	18.5	19.8	12.3	19.8	12.3	9.9	14.8	7.4	9.9	39.5	19.8	2.5	9.9
	南平みなみ	87	49.4	16.1	24.1	9.2	17.2	11.5	11.5	16.1	18.4	9.2	38.3	17.2	2.3	11.5
	新郷	82	51.2	25.6	29.3	6.1	14.6	11.0	9.8	9.8	7.3	9.8	34.1	20.7	0.0	12.2
	新郷東	80	51.3	25.0	28.8	16.3	20.0	11.3	10.0	11.3	11.3	5.0	37.5	21.3	0.0	10.0
	神根	81	28.4	19.8	24.7	13.6	17.3	17.3	14.8	14.8	8.6	8.6	42.0	19.8	2.5	12.3
	神根東	88	44.3	18.2	12.5	13.6	9.1	11.4	8.0	15.9	8.0	11.4	38.6	21.6	0.0	19.3
	芝	81	46.9	16.0	38.3	11.1	19.8	11.1	12.3	16.0	13.6	9.9	45.7	18.5	0.0	7.4
	芝伊刈	85	52.9	21.2	25.9	10.6	12.9	10.6	16.5	14.1	14.1	5.9	44.7	21.2	0.0	5.9
	芝西	70	47.1	28.6	20.0	10.0	10.0	12.9	12.9	17.1	14.3	8.6	37.1	24.3	1.4	11.4
	安行	81	39.5	16.0	25.9	16.0	9.9	12.3	6.2	17.3	14.8	8.6	43.2	19.8	0.0	17.3
	戸塚	84	48.8	28.6	19.0	9.5	21.4	16.7	9.5	14.3	15.5	10.7	38.1	14.3	0.0	13.1
	戸塚西	75	49.3	13.3	26.7	17.3	14.7	10.7	8.0	13.3	10.7	8.0	48.0	24.0	1.3	10.7
	鳩ヶ谷東部	76	35.5	30.3	28.9	14.5	10.5	23.7	7.9	7.9	7.9	3.9	39.5	22.4	0.0	10.5
	鳩ヶ谷西部	74	45.9	21.6	43.2	6.8	14.9	10.8	9.5	10.8	8.1	10.8	48.6	13.5	1.4	6.8

(在宅サービス利用者)

問53 今後市が優先して取り組むべき内容(3L A)



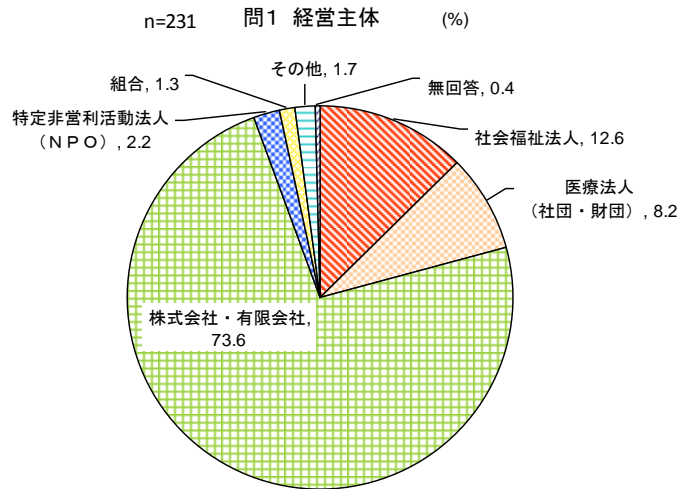
	n=	自宅での介護を支援するサービスの充実	健康診断などの保健医療サービスの充実	常時介護が必要な方ための施設の整備	病院から家庭へ復帰するためのリハビリを行う施設の整備	認知症の方に対する支援	元気な方のための健康増進や教養の向上のための事業	介護予防や認知症の予防などの介護を予防するための事業	高齢者のための住宅整備、住宅改造の資金援助等、住宅に関する事業	介護に関する相談等、相談体制の充実	高齢者の就業や社会活動参加の支援	介護する家族に対する支援	段差解消や歩道整備など安全なまちづくり	その他	無回答
TOTAL	1,263	37.5	10.2	20.5	13.3	16.6	7.1	9.7	12.7	11.9	3.6	32.5	23.5	1.1	20.1
*BD5 要支援(1・2)	414	30.2	8.5	15.7	14.7	12.6	9.2	9.9	11.8	11.1	4.1	22.5	25.1	1.7	26.6
要介護(1・2)	521	37.0	9.8	23.0	13.6	17.9	7.1	10.2	14.2	13.8	4.0	31.3	26.3	1.0	17.1
要介護(3~5)	306	48.0	13.7	24.2	11.8	20.9	4.2	9.5	11.8	10.5	2.6	48.7	17.6	0.7	14.1

### Ⅲ 事業所調査結果の概要

#### 【1. 事業所属性】

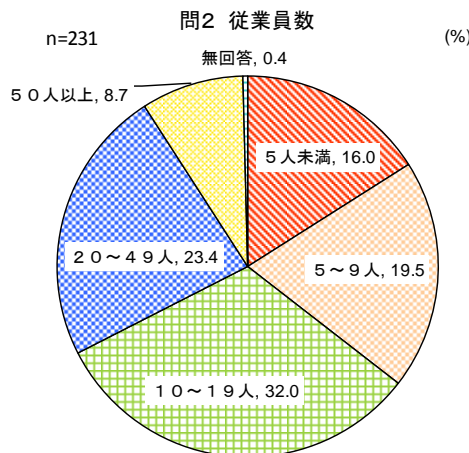
##### 1.1 経営主体

経営主体は、「株式会社・有限会社」が73.6%で最も高く、次いで「社会福祉法人」が12.6%、「医療法人（社団・財団）」が8.2%となっている。



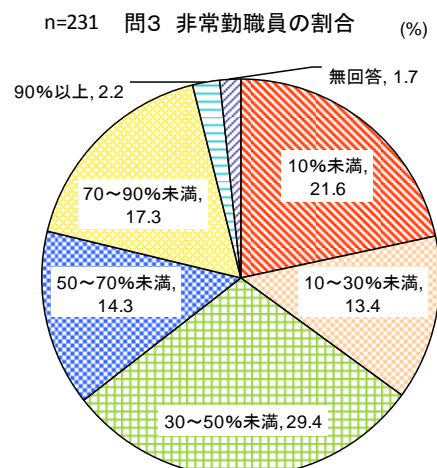
##### 1.2 従業員数

従業員数は、「10～19人」が32.0%で最も高く、次いで「20～49人」が23.4%、「5～9人」が19.5%となっている。



##### 1.3 非常勤職員の割合

非常勤職員の割合は、「30～50%未満」が29.4%で最も高くなっている。「30%未満（「10%未満」と「10～30%未満」の合計値）」は35.0%で、「50%以上（「50～70%未満」「70～90%未満」「90%以上」の合計値）」は33.8%となっている。

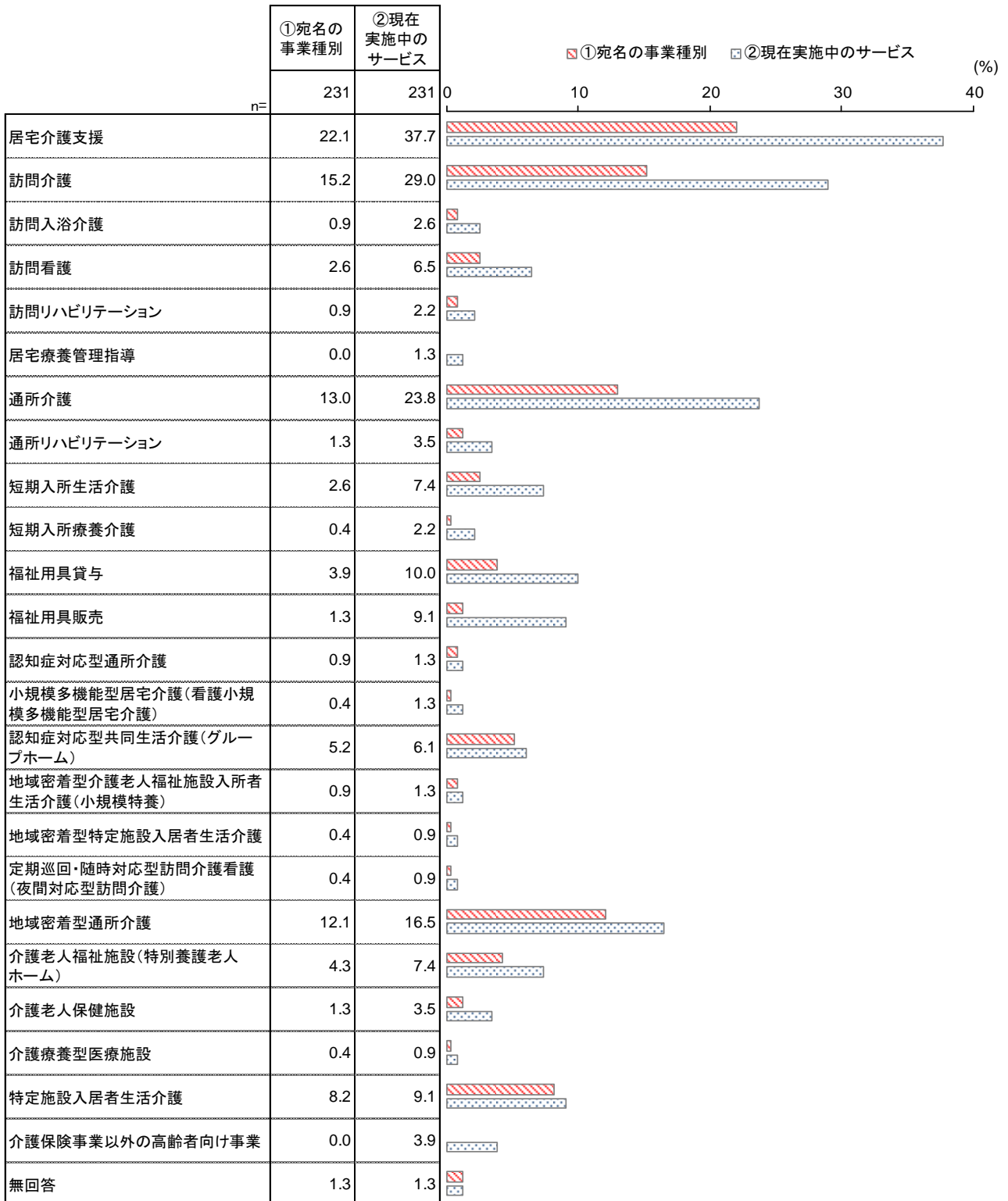


## 1.4 回答対象となる事業種別（宛名の事業種別）と実施中のサービス

今回調査の回答対象となる事業種別（宛名の事業種別）は、「居宅介護支援」が22.1%で最も高く、次いで「訪問介護」が15.2%、「通所介護」が13.0%、「地域密着型通所介護」が12.1%で、残りは10%未満となっている。

現在実施中のサービスは、今回調査の回答対象となる事業種別と上位4項目の順位は同じとなっており、「居宅介護支援」が37.7%、「訪問介護」が29.0%、「通所介護」が23.8%、「地域密着型通所介護」が16.5%となっている。

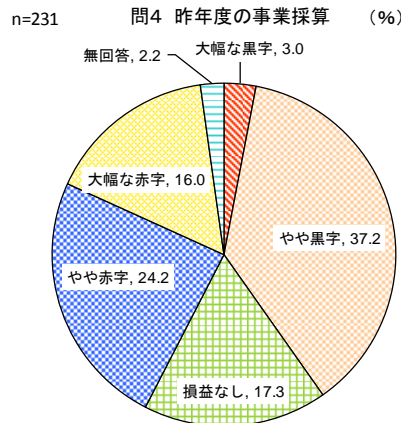
問14 ①宛名の事業種別  
問14 ②現在実施中の提供サービス(M. A)



## 【2. 経営状態・経営環境】

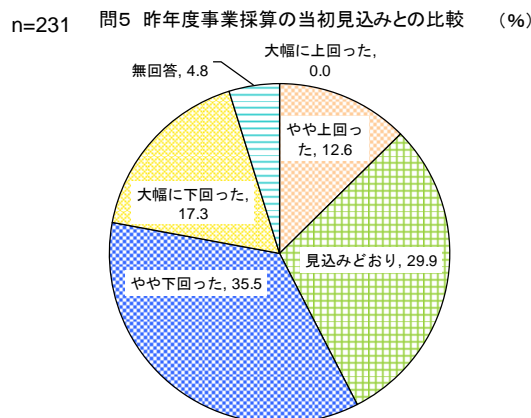
### 2.1 昨年度の事業採算

昨年度の事業採算は、「黒字 計（「大幅な黒字」と「やや黒字」の合計値）」が40.2%で、「損益なし」は17.3%、「赤字 計（「やや赤字」と「大幅な赤字」の合計値）」は40.2%となっている。



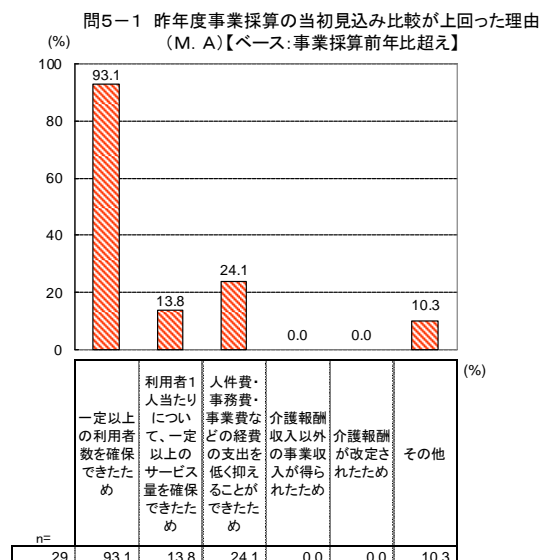
### 2.2.1 昨年度事業採算の当初見込みとの比較

昨年度事業採算の当初見込みとの比較は、「やや下回った」が35.5%で最も高くなっている。「上回った 計（「大幅に上回った」と「やや上回った」の合計値）」は12.6%、「下回った 計（「やや下回った」と「大幅に下回った」の合計値）」は52.8%で、「下回った 計」が「上回った 計」と比べて40.2ポイント高くなっている。



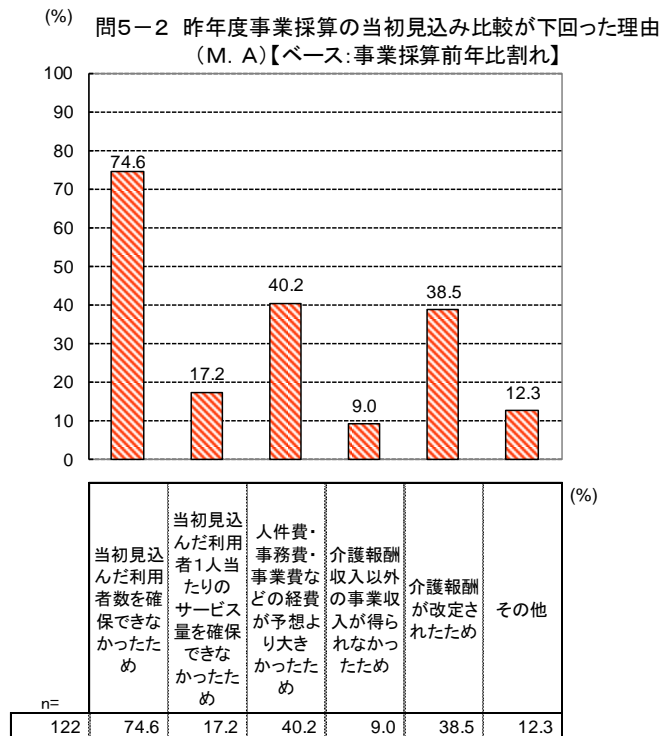
### 2.2.2 昨年度事業採算の当初見込み比較が上回った理由

事業採算が前年比超えの事業所における昨年度事業採算の当初見込み比較が上回った理由は、「一定以上の利用者数を確保できたため」が93.1%で最も高く、次いで「人件費・事務費・事業費などの経費の支出を低く抑えることができたため」が24.1%、「利用者1人当たりについて、一定以上のサービス量を確保できたため」が13.8%となっている。



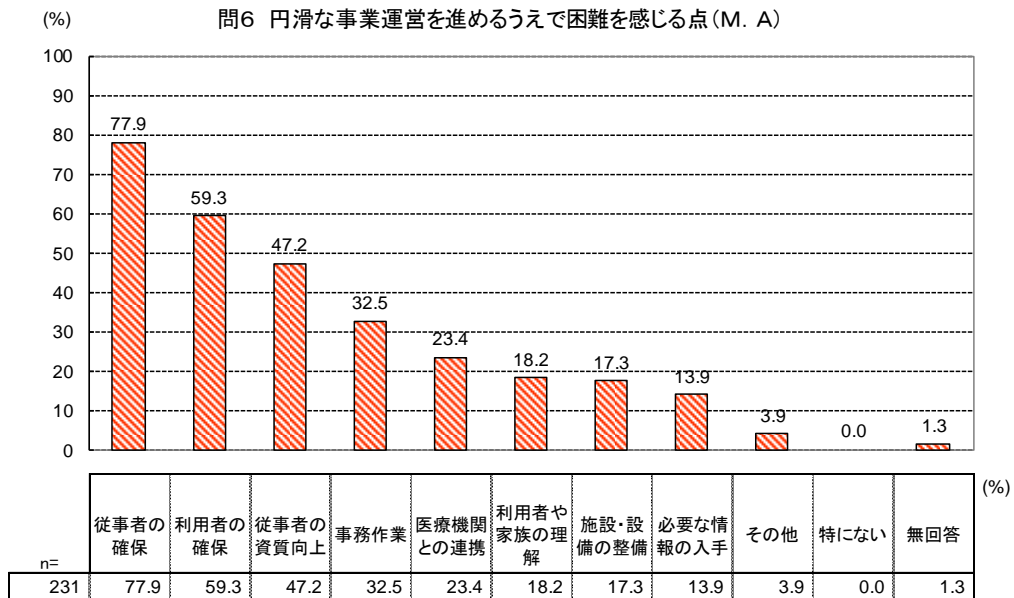
### 2.2.3 昨年度事業採算の当初見込み比較が下回った理由

事業採算が前年比割れの事業所における昨年度事業採算の当初見込み比較が下回った理由は、「当初見込んだ利用者数を確保できなかったため」が74.6%で最も高く、次いで「人件費・事務費・事業費などの経費が予想より大きかったため」が40.2%、「介護報酬が改定されたため」が38.5%となっている。



### 2.3 円滑な事業運営を進めるうえで困難を感じる点

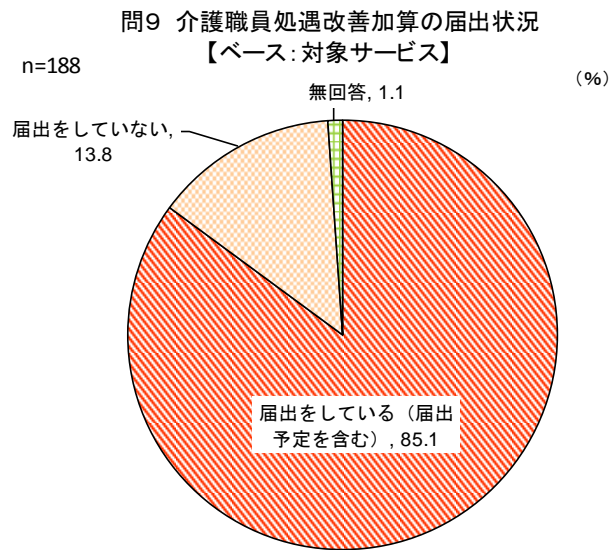
円滑な事業運営を進めるうえで困難を感じる点は、「従事者の確保」が77.9%で最も高く、次いで「利用者の確保」が59.3%、「従事者の資質向上」が47.2%となっている。



### 【3. 介護職員処遇加算について】

#### 3.1 介護職員処遇改善加算の届出状況

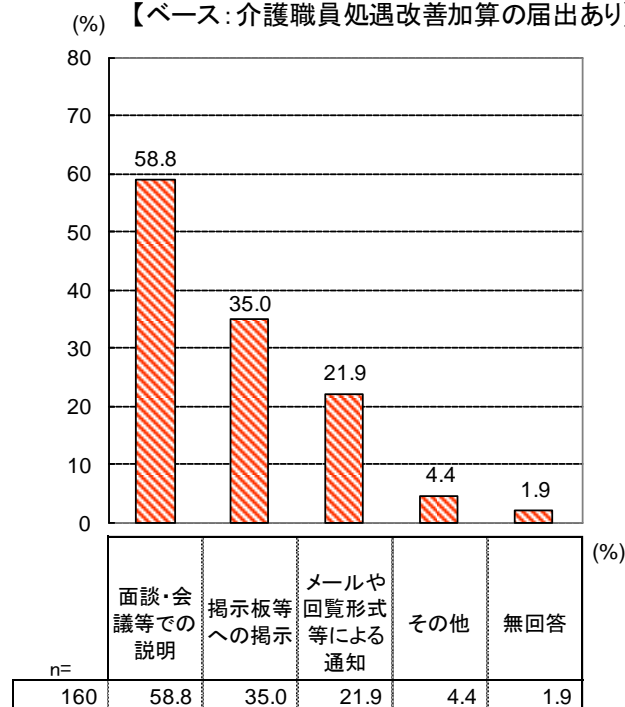
介護職員処遇改善加算の届出状況は、「届出をしている（届出予定を含む）」が85.1%となっている。



#### 3.2 介護職員処遇改善計画書周知の実施内容

介護職員処遇改善計画書周知の実施内容は、「面談・会議等での説明」が58.8%で最も高く、次いで「掲示板等への掲示」が35.0%、「メールや回覧形式等による通知」が21.9%となっている。

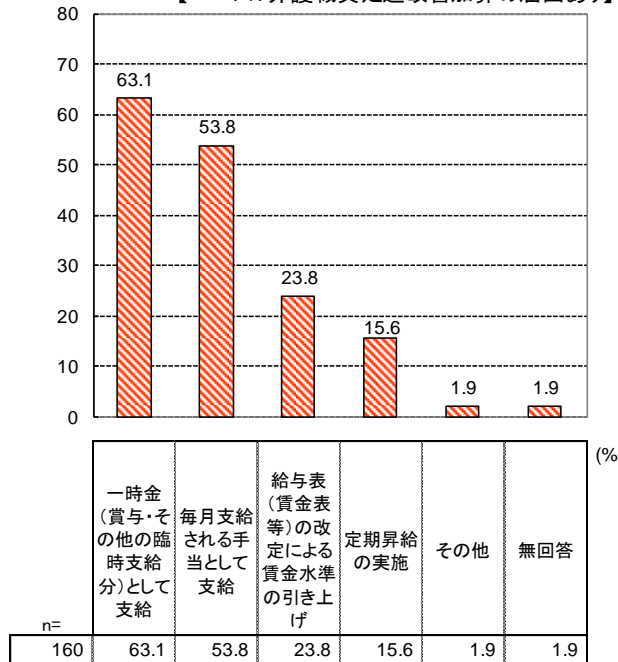
問9-1 介護職員処遇改善計画書周知の実施内容 (M. A)  
【ベース:介護職員処遇改善加算の届出あり】



### 3.3 介護職員処遇改善加算による賃金改善項目

介護職員処遇改善加算による賃金改善項目は、「一時金として支給」が63.1%で最も高く、次いで「毎月支給される手当として支給」が53.8%、「給与表の改定による賃金水準の引き上げ」が23.8%となっている。

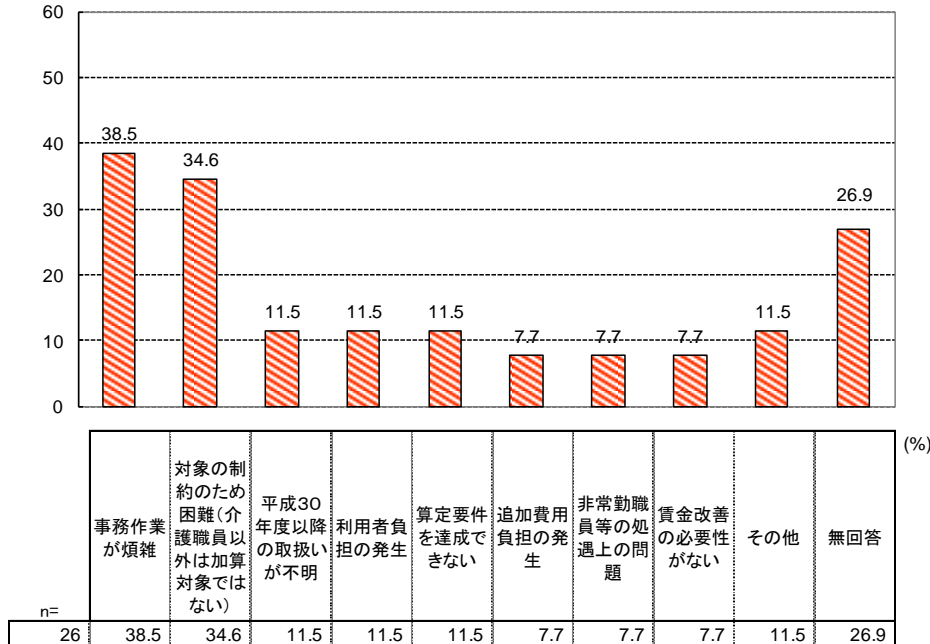
(%) 問9-2 介護職員処遇改善加算による賃金改善項目 (M. A)  
【ベース: 介護職員処遇改善加算の届出あり】



### 3.4 介護職員処遇改善加算の届出をしない理由

介護職員処遇改善加算の届出をしない理由 (n=26) は、「事務作業が煩雑」が38.5%で最も高く、次いで「対象の制約のため困難 (介護職員以外は加算対象ではない)」が34.6%となっている。

(%) 問9-3 介護職員処遇改善加算の届出をしない理由 (M. A)【ベース: 介護職員処遇改善加算の届出なし】

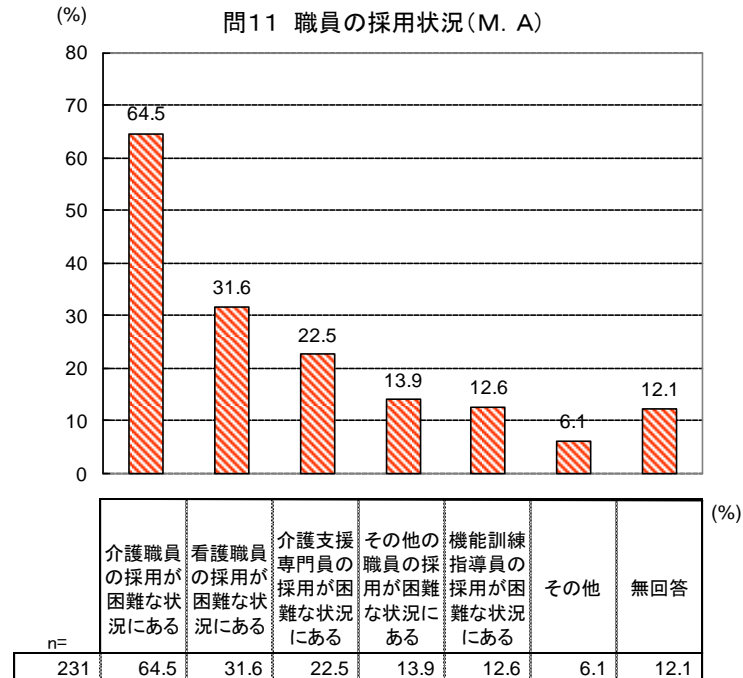




## 【4. 職員の採用について】

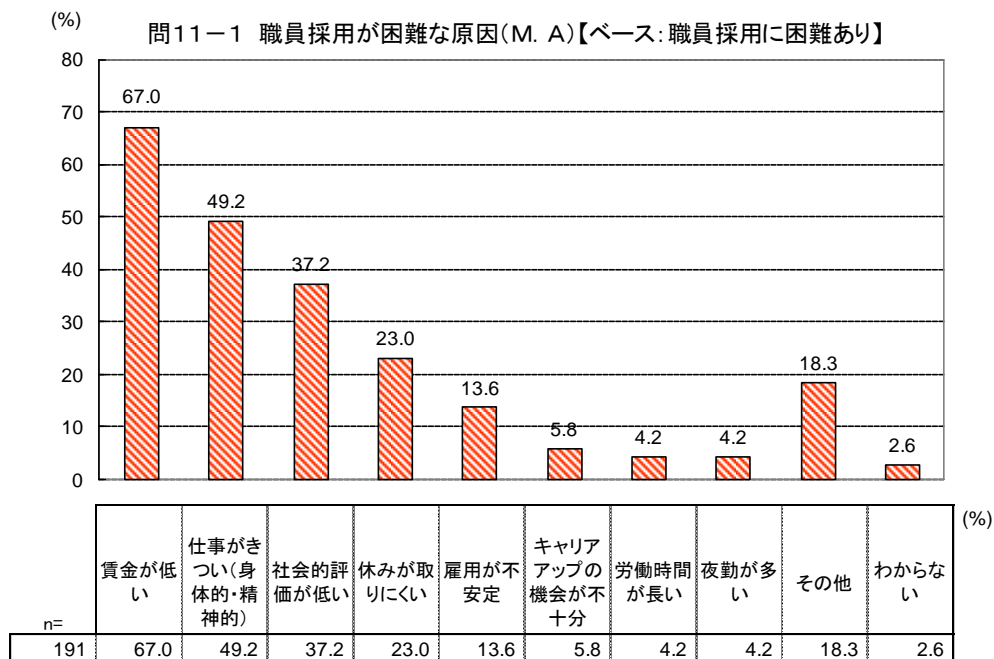
### 4.1 職員の採用状況

職員の採用状況は、「介護職員の採用が困難な状況にある」が64.5%で最も高く、次いで「看護職員の採用が困難な状況にある」が31.6%、「介護支援専門員の採用が困難な状況にある」が22.5%となっている。



### 4.2 職員採用が困難な原因

「職員採用が困難」と回答した事業所における職員採用が困難な原因は、「賃金が低い」が67.0%で最も高く、次いで「仕事がきつい(身体的・精神的)」が49.2%、「社会的評価が低い」が37.2%となっている。

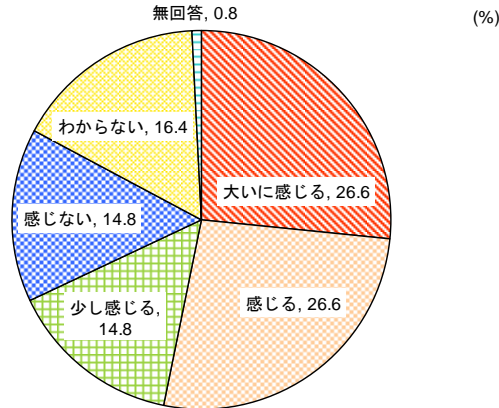


#### 4.3 職員採用における地域区分の差による影響

採用が困難な理由に「賃金が低いこと」と回答した事業所における職員採用における地域区分の差による影響は、「大いに感じる」が26.6%、「感じる」が26.6%、「少し感じる」が14.8%で、「感じる 計（「大いに感じる」「感じる」「少し感じる」の合計値）」は68.0%となっている。

問11-2 職員採用における地域区分の差による影響  
【ベース:採用困難に賃金が低い】

n=128

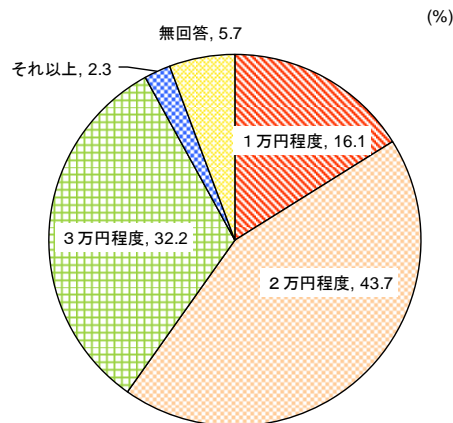


#### 4.4 職員採用時の賃金差

「地域区分の差の影響を感じる」と回答した事業所における職員採用時の賃金差は、「2万円程度」が43.7%で最も高く、次いで「3万円程度」が32.2%、「1万円程度」が16.1%となっている。

問11-3 職員採用時の賃金差  
【ベース:地域区分の差影響感あり】

n=87

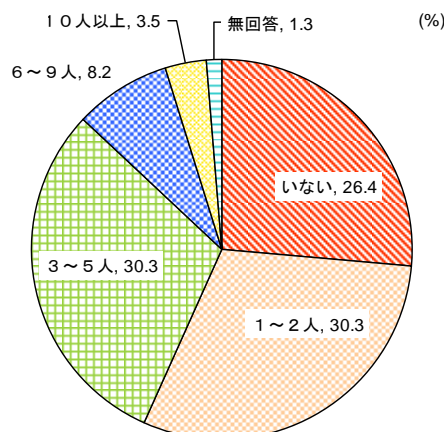


#### 4.5 年間の従業員退職者数

年間の従業員退職者数は、「1～2人」と「3～5人」がそれぞれ30.3%で、次いで「いない」が26.4%となっている。

問12 年間の従業員退職者数

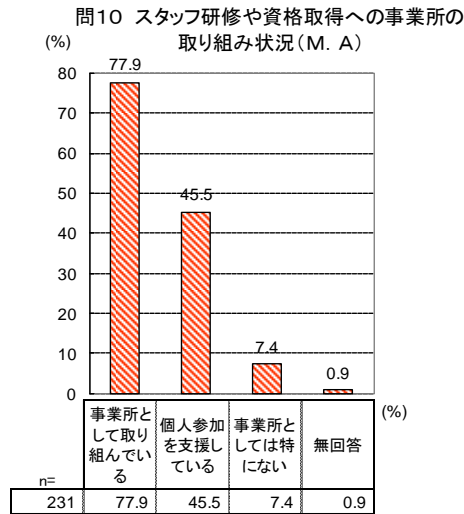
n=231



## 【5. 事業所の状況と取り組み内容】

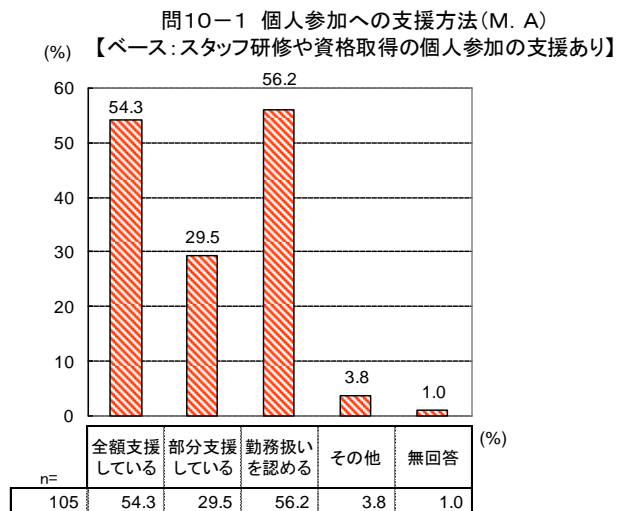
### 5.1.1 スタッフ研修や資格取得への事業所の取り組み状況

スタッフ研修や資格取得への事業所の取り組み状況は、「事業所として取り組んでいる」が77.9%で、次いで「個人参加を支援している」が45.5%、「事業所としては特にない」が7.4%となっている。



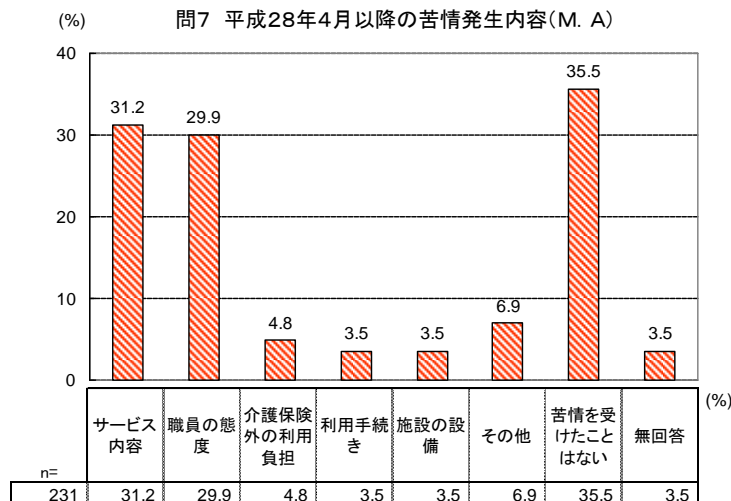
### 5.1.2 個人参加への支援方法

個人参加を支援している事業所における個人参加への支援方法は、「勤務扱いを認める」が56.2%で最も高く、次いで「全額支援している」が54.3%、「部分支援をしている」が29.5%となっている。



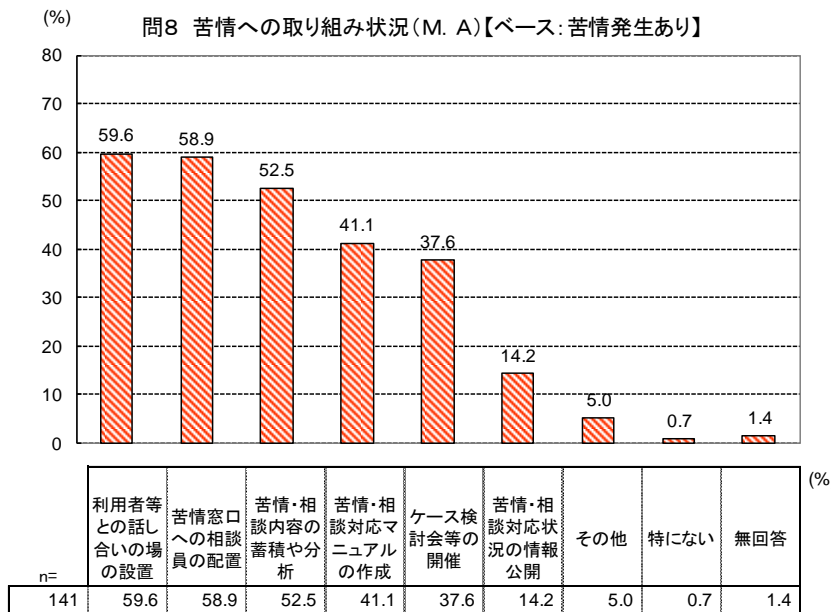
### 5.2.1 平成28年4月以降の苦情発生内容

平成28年4月以降の苦情発生内容は、「サービス内容」が31.2%で最も高く、次いで「職員の態度」が29.9%となっている。「苦情を受けたことはない」は35.5%である。



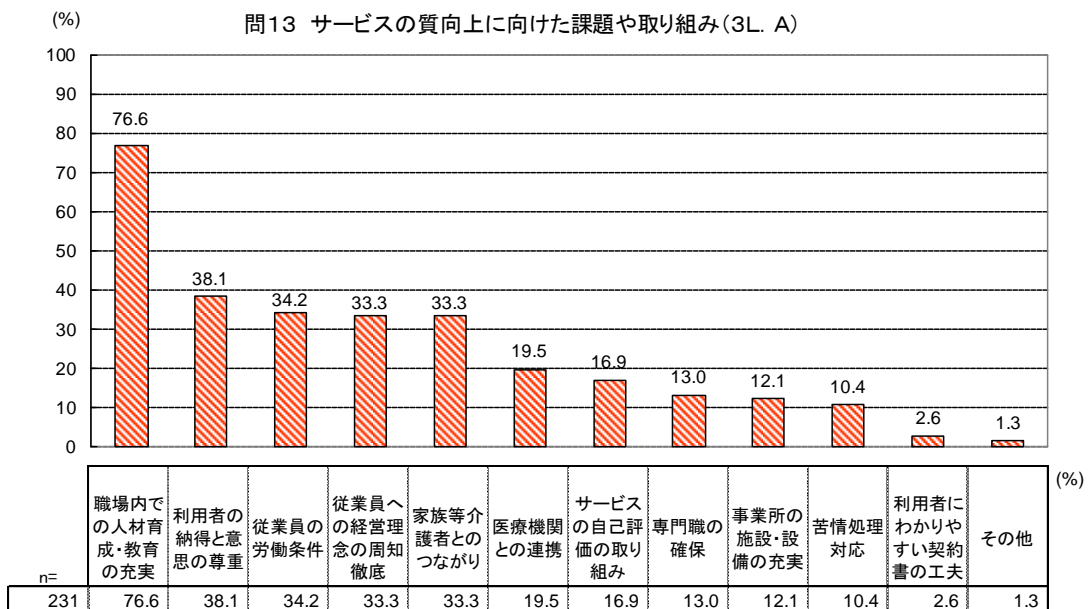
## 5.2.2 苦情への取り組み状況

苦情が発生した事業所における苦情への取り組み状況は、「利用者等との話し合いの場の設置」が59.6%で最も高く、次いで「苦情窓口への相談員の配置」が58.9%、「苦情・相談内容の蓄積や分析」が52.5%となっている、



## 5.3 サービスの質向上に向けた課題や取り組み

サービスの質向上に向けた課題や取り組みは、「職場内での人材育成・教育の充実」が76.6%で最も高く、次いで「利用者の納得と意思の尊重」が38.1%、「従業員の労働条件」が34.2%となっている。

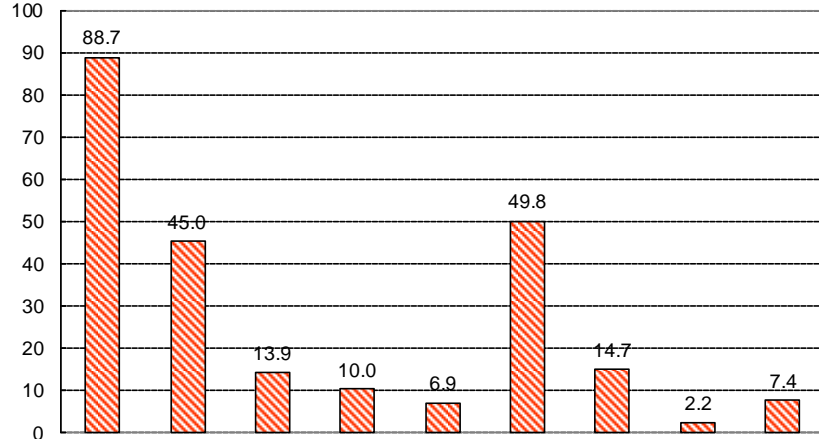


## 【6. 情報の収集・発信について】

### 6.1 利用者を含めた市民に対しての情報提供内容

利用者を含めた市民に対しての情報提供内容は、「実施している介護サービスの種類や特徴」が88.7%で最も高く、次いで「事業所の運営体制」が49.8%、「介護サービスの質の向上への取り組み内容」が45.0%となっている。

問22 利用者を含めた市民に対しての情報提供内容(M. A)

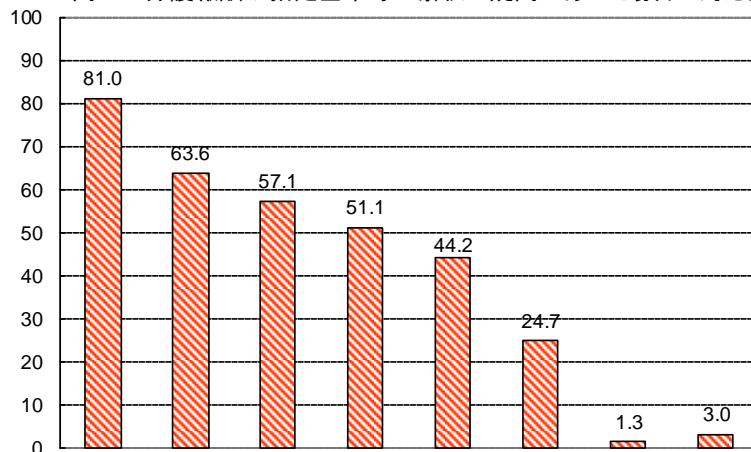


n=	実施している介護サービスの種類や特徴	介護サービスの質の向上への取り組み内容	介護サービス提供内容等に関する自己評価	介護サービス利用者による事業所の評価	専門知識を持つ第三者による事業所の評価	事業所の運営体制	事業所の経営状況	その他	無回答
231	88.7	45.0	13.9	10.0	6.9	49.8	14.7	2.2	7.4

### 6.2 介護報酬や指定基準等の解釈に疑問があった場合の対応方法

介護報酬や指定基準等の解釈に疑問があった場合の対応方法は、「県や市に問い合わせる」が81.0%で最も高く、次いで「インターネットで調べる」が63.6%、「厚生労働省の通知やQ&Aで調べる」が57.1%となっている。

問23 介護報酬や指定基準等の解釈に疑問があった場合の対応方法(M. A)

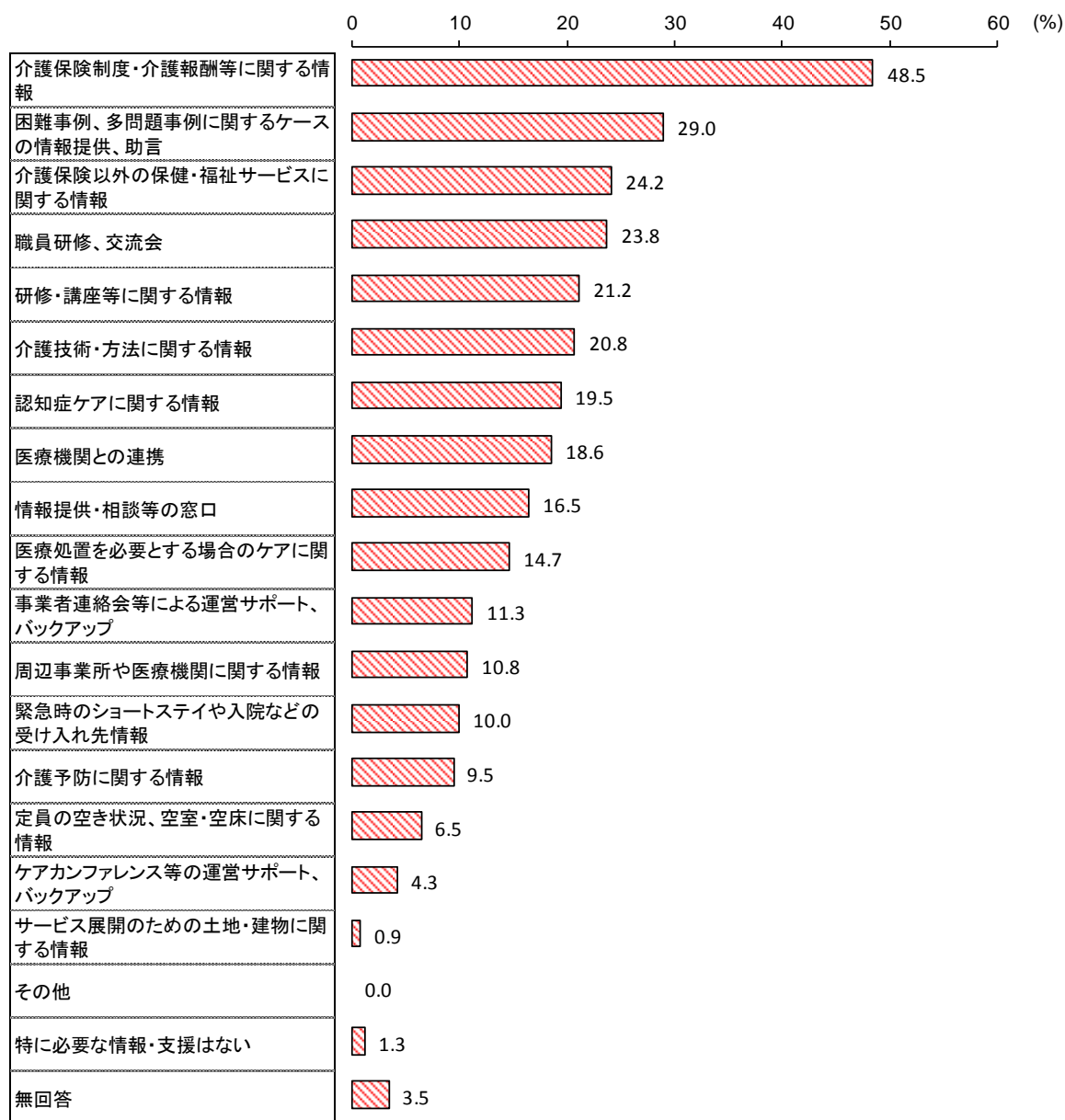


n=	県や市に問い合わせる	インターネットで調べる	厚生労働省の通知やQ&Aで調べる	関係書籍(『介護報酬の解釈』など)で調べる	事業所間で情報交換する	運営会社のスタッフなどに問い合わせる	その他	無回答
231	81.0	63.6	57.1	51.1	44.2	24.7	1.3	3.0

### 6.3 サービス向上のために最も必要な情報や支援

サービス向上のために最も必要な情報や支援は、「介護保険制度・介護報酬等に関する情報」が48.5%で最も高く、次いで「困難事例、多問題事例に関するケースの情報提供、助言」が29.0%、「介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報」が24.2%となっている。

問24 サービス向上のために最も必要な情報や支援(3L. A)

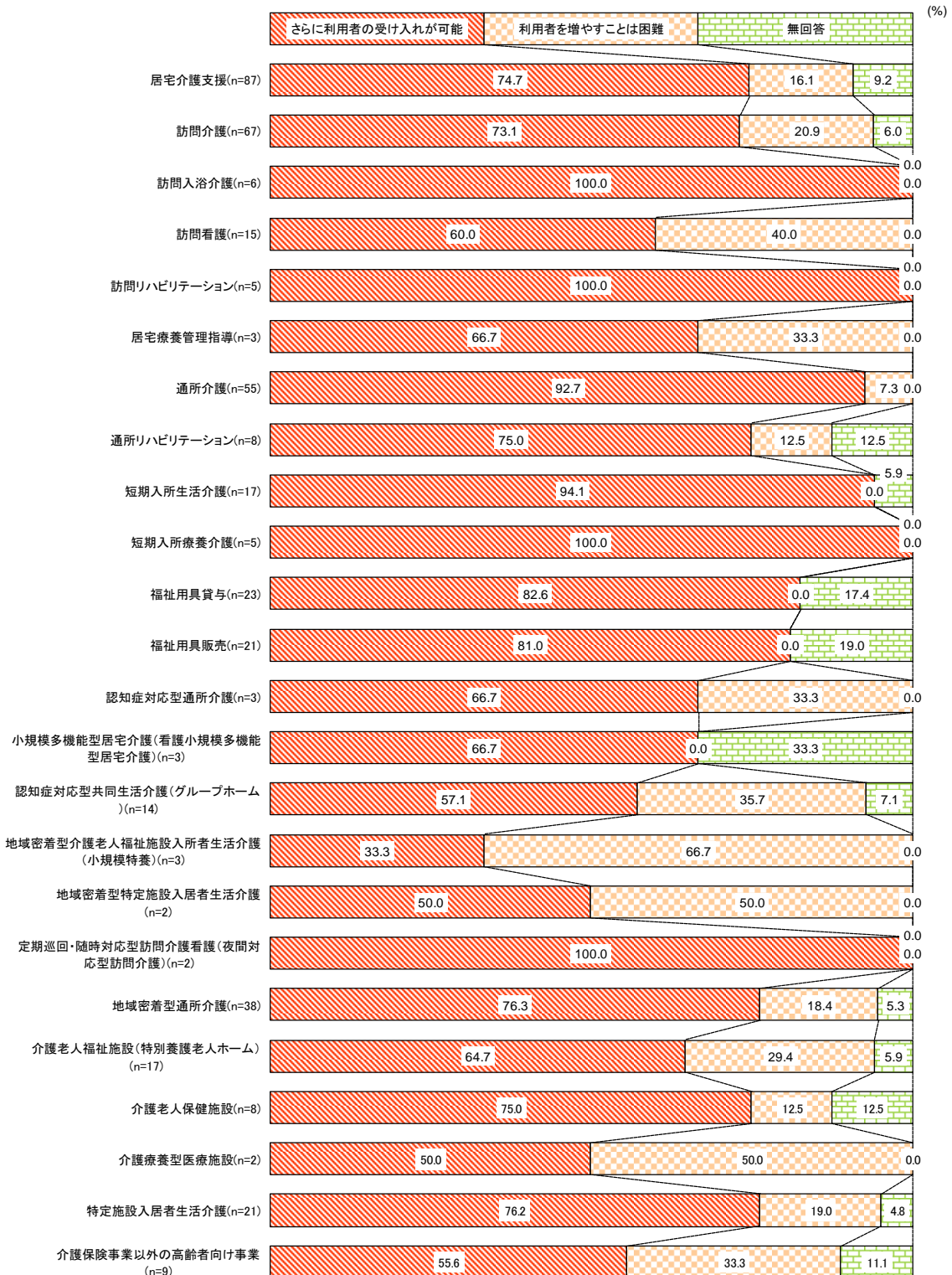


【7. 今後の方向性】

7.1 川口市内の利用者に対する今後のサービス提供体制

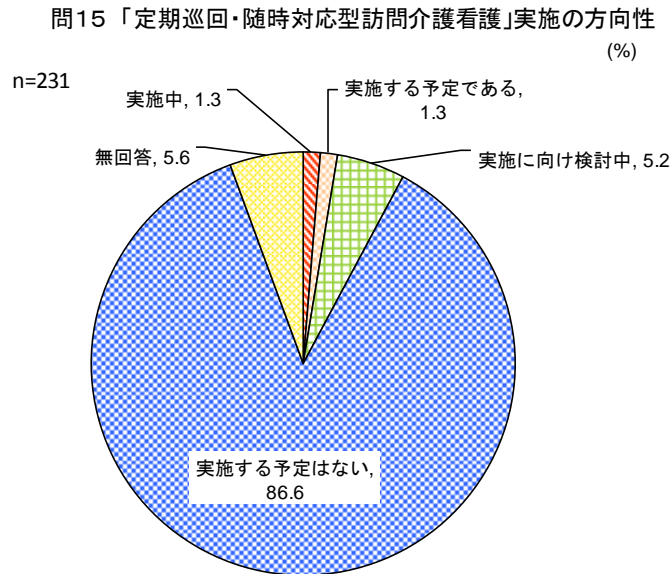
川口市内の利用者に対する今後のサービス提供体制は、「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 (n=3)」で「さらに利用者の受け入れが可能」が 33.3%と他の事業と比べて低くなっている。「認知症対応型共同生活介護 (n=14)」「地域密着型特定施設入居者生活介護 (n=2)」「介護療養型医療施設 (n=2)」「介護保険事業以外の高齢者向け事業 (n=9)」も「さらに利用者の受け入れが可能」が 50%台と低めになっている。「訪問入浴介護 (n=6)」「訪問リハビリテーション (n=5)」「通所介護 (n=55)」「短期入所生活介護 (n=17)」「短期入所療養介護 (n=5)」「定期巡回・臨時対応型訪問介護看護 (n=2)」は、「さらに利用者の受け入れが可能」が 90%以上と高くなっている。

問14 ③川口市内の利用者に対する今後のサービス提供体制【ベース:各サービス現在実施】



## 7.2.1 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」実施の方向性

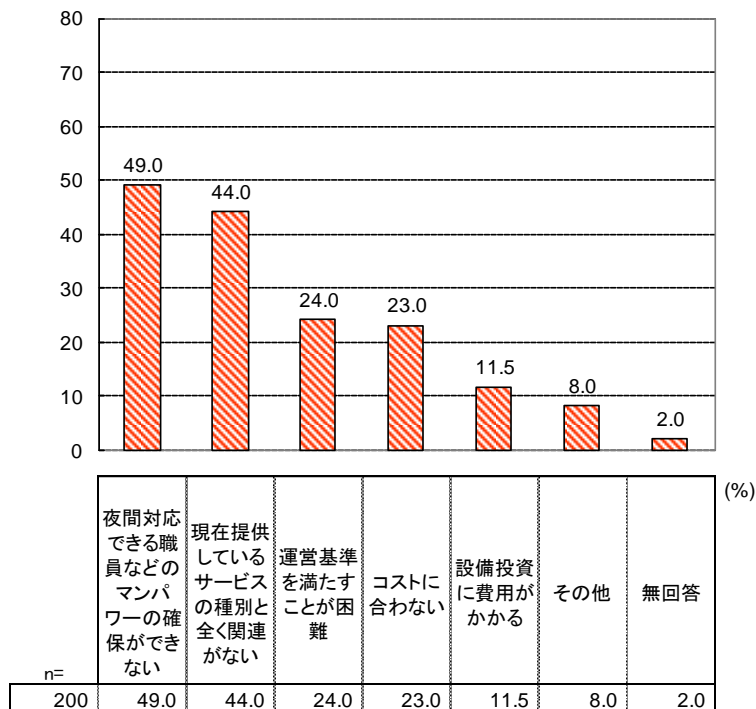
「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」実施の方向性は、「実施 計（「実施中」と「実施する予定である」の合計値）」が 2.6%、「実施する予定はない」が 86.6%と、「実施する予定はない」の方が 84.0ポイント高くなっている。



## 7.2.2 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の実施予定がない理由

「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の実施予定がない理由は、「夜間対応できる職員などのマンパワーの確保ができない」が 49.0%で最も高く、次いで「現在提供しているサービスの種別と全く関連がない」が 44.0%となっている。

(%) 問15-1 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の実施予定がない理由 (M. A)【ベース:実施予定なし】

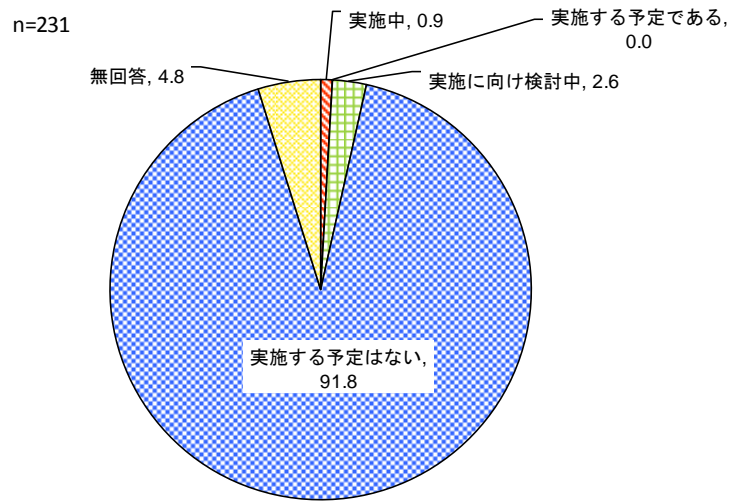




### 7.3.1 「看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）」実施の方向性

「看護小規模多機能型居宅介護」実施の方向性は、「実施 計（「実施中」と「実施する予定である」の合計値）」が0.9%、「実施する予定はない」が91.8%と、「実施する予定はない」の方が90.9ポイント高くなっている。

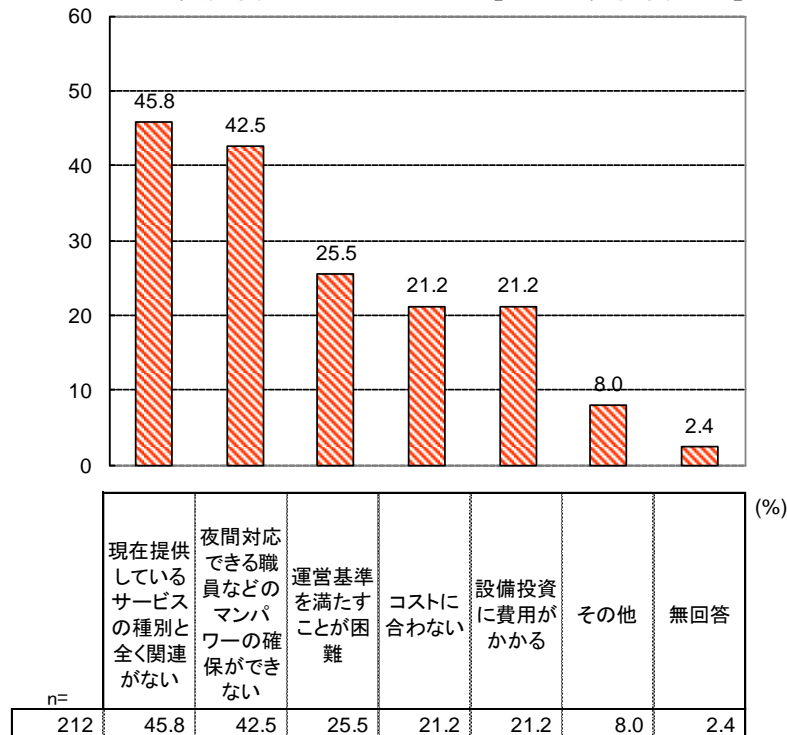
問16 「看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）」実施の方向性 (%)



### 7.3.2 「看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）」の実施予定がない理由

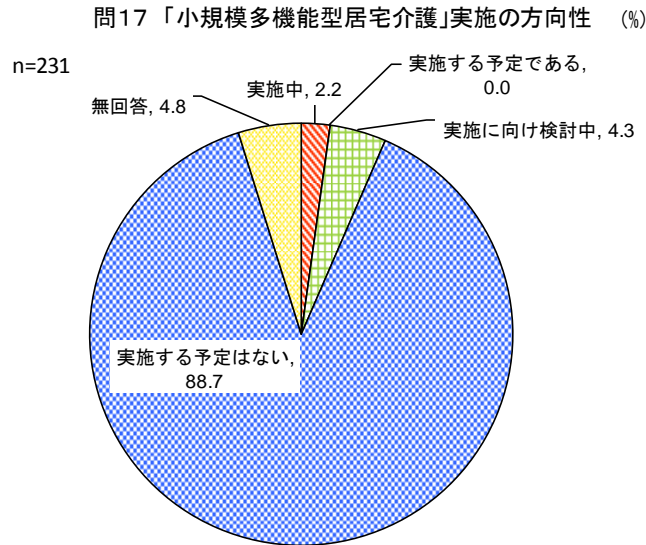
「看護小規模多機能型居宅介護」の実施予定がない理由は、「現在提供しているサービスの種別と全く関連がない」が45.8%で最も高く、次いで「夜間対応できる職員などのマンパワーの確保ができない」が42.5%となっている。

問16-1 「看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）」の実施予定がない理由(M. A)【ベース:実施予定なし】



### 7.4.1 「小規模多機能型居宅介護」実施の方向性

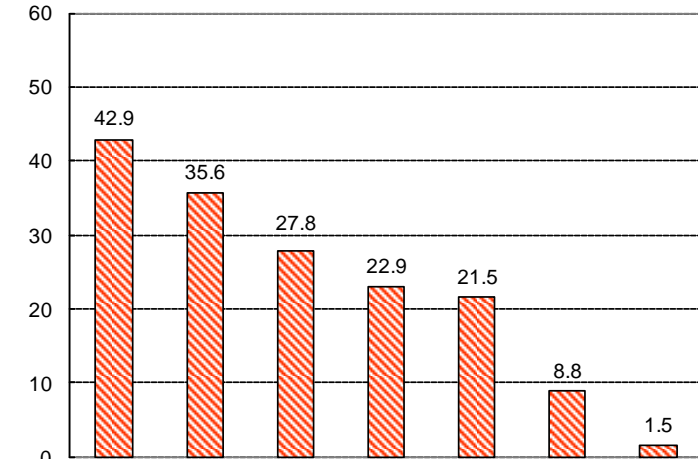
「小規模多機能型居宅介護」実施の方向性は、「実施 計」が2.2%、「実施する予定はない」が88.7%と、「実施する予定はない」の方が86.5ポイント高くなっている。



### 7.4.2 「小規模多機能型居宅介護」の実施予定がない理由

「小規模多機能型居宅介護」の実施予定がない理由は、「夜間対応できる職員などのマンパワーの確保ができない」が42.9%で最も高く、次いで「現在提供しているサービスの種別と全く関連がない」が35.6%、「コストに合わない」が27.8%となっている。

問17-1 「小規模多機能型居宅介護」の実施予定がない理由 (M. A)【ベース:実施予定なし】

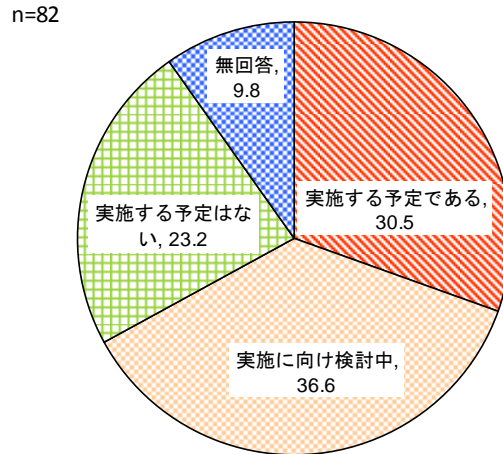


	夜間対応できる職員などのマンパワーの確保ができない	現在提供しているサービスの種別と全く関連がない	コストに合わない	運営基準を満たすことが困難	設備投資に費用がかかる	その他	無回答	
n=	205	42.9	35.6	27.8	22.9	21.5	8.8	1.5

### 7.5.1 「総合事業（訪問型）」実施の方向性

「総合事業（訪問型）」実施の方向性は、「実施する予定である」が 30.5%、「実施に向け検討中」が 36.6%、「実施する予定はない」が 23.2%となっている。

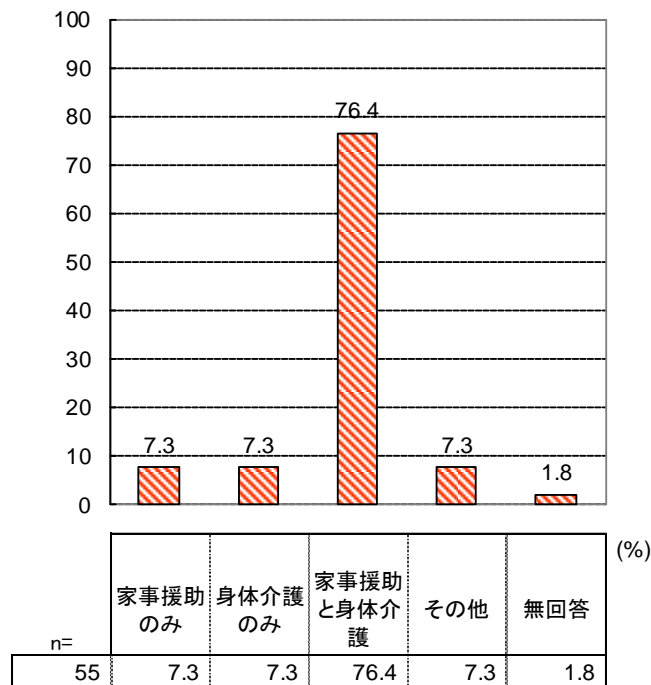
問18 「総合事業（訪問型）」実施の方向性 (%)  
【ベース:訪問型事業実施】



### 7.5.2 「総合事業（訪問型）」提供予定サービス

総合事業（訪問型）を実施予定・検討中の事業所における提供予定サービスは、「家事援助と身体介護」が 76.4%で最も高く、「家事援助のみ」「身体介護のみ」はそれぞれ 7.3%となっている。

(%) 問18-1 「総合事業（訪問型）」提供予定サービス  
(M. A)【ベース:実施予定・検討中】

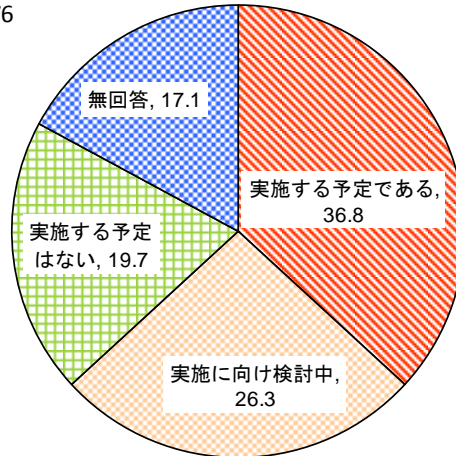


## 7.6.1 「総合事業（通所型）」実施の方向性

総合事業（通所型）実施の方向性は、「実施する予定である」が 36.8%、「実施に向け検討中」が 26.3%、「実施する予定はない」が 19.7%となっている。

問19 「総合事業（通所型）」実施の方向性 (%)  
【ベース：通所型事業実施】

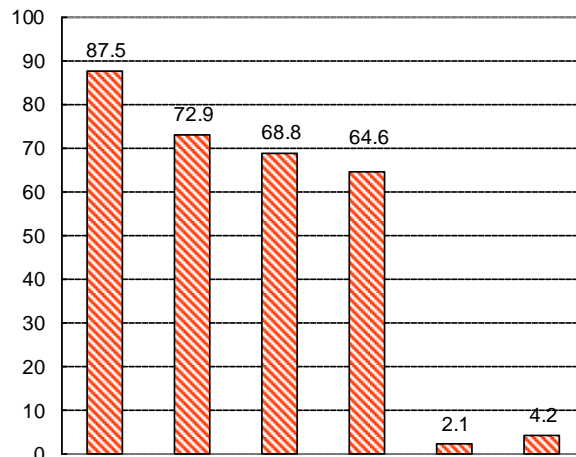
n=76



## 7.6.2 「総合事業（通所型）」提供予定サービス

総合事業（通所型）を実施予定・検討中の事業所における提供予定サービスは、「機能訓練」が 87.5%で最も高く、次いで「送迎」が 72.9%、「食事」が 68.8%、「入浴」が 64.6%となっている。

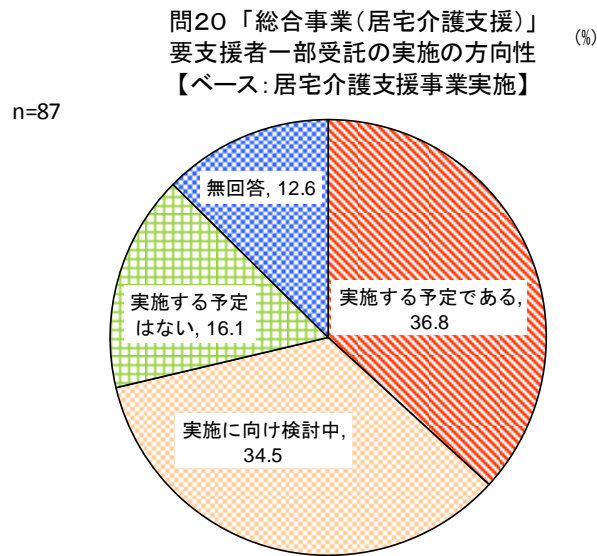
(%) 問19-1 「総合事業（通所型）」提供予定サービス  
(M. A)【ベース：実施予定・検討中】



n=	機能訓練	送迎	食事	入浴	その他	無回答	(%)
48	87.5	72.9	68.8	64.6	2.1	4.2	

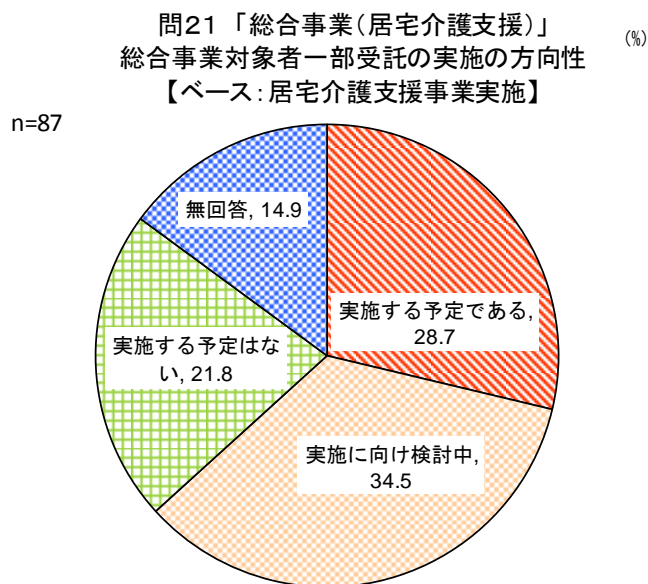
**7.7 「総合事業（居宅介護支援）」要支援者一部受託の実施の方向性**

「総合事業（居宅介護支援）」要支援者一部受託の実施の方向性は、「実施する予定である」が36.8%で最も高く、次いで「実施に向け検討中」が34.5%、「実施する予定はない」が16.1%となっている。



**7.8 「総合事業（居宅介護支援）」総合事業対象者一部受託の実施の方向性**

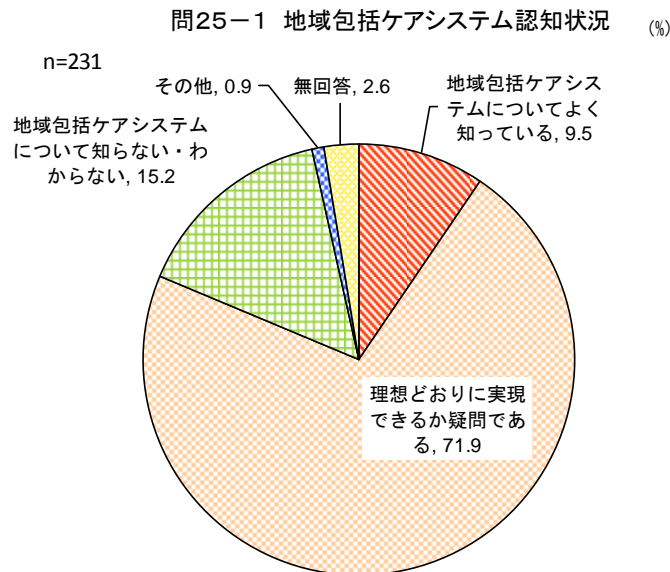
「総合事業（居宅介護支援）」総合事業対象者一部受託の実施の方向性は、「実施する予定である」が28.7%で、「実施に向け検討中」が34.5%、「実施する予定はない」が21.8%となっている。



## 【 8. 地域包括ケアシステムについて】

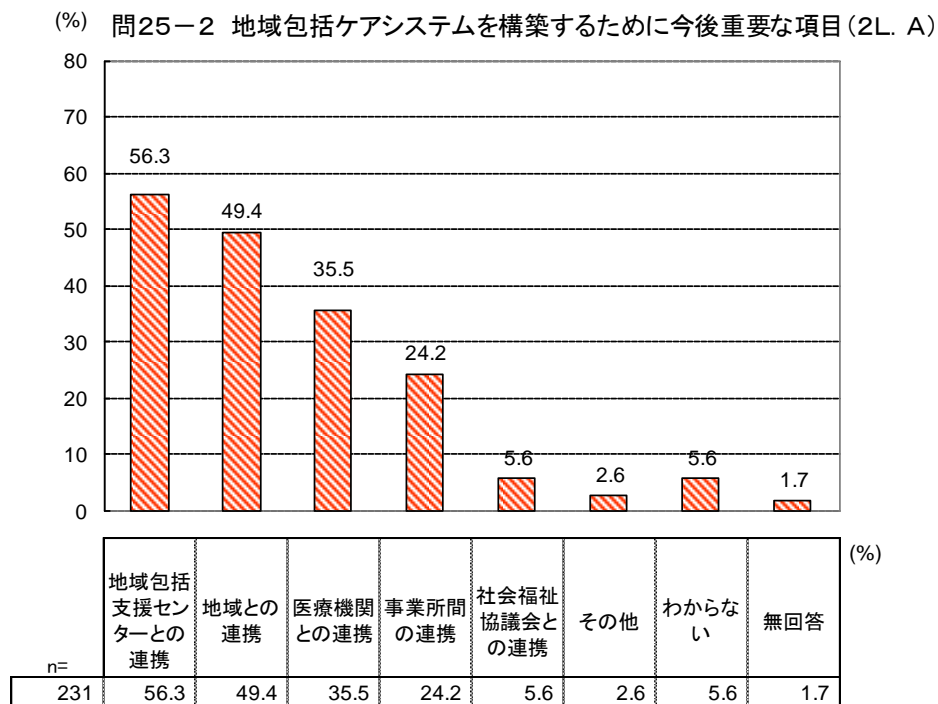
### 8.1 地域包括ケアシステム認知状況

地域包括ケアシステム認知状況は、「理想どおりに実現できるか疑問である」が 71.9%で最も高く、「地域包括ケアシステムについてよく知っている」は 9.5%で、「地域包括ケアシステムについて知らない・わからない」は 15.2%となっている。



### 8.2 地域包括ケアシステムを構築するために今後重要な項目

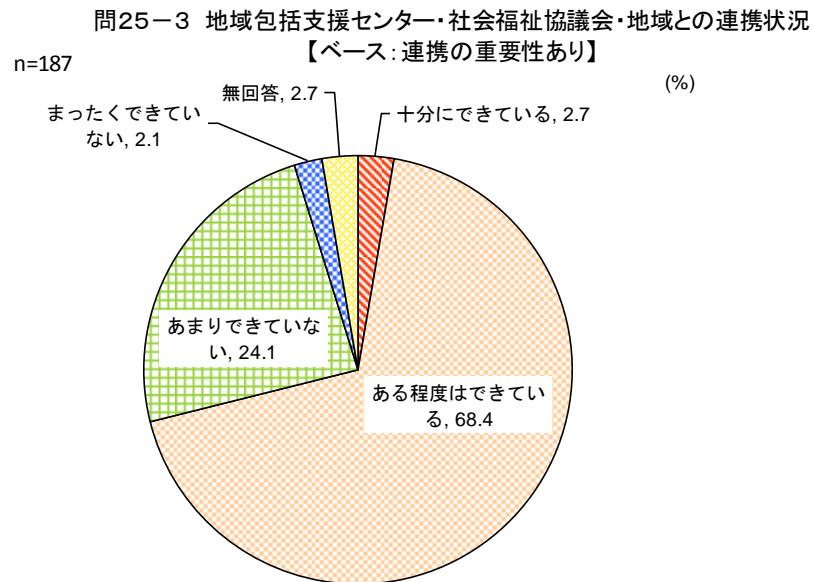
地域包括ケアシステムを構築するために今後重要な項目は、「地域包括支援センターとの連携」が 56.3%で最も高く、次いで「地域との連携」が 49.4%、「医療機関との連携」が 35.5%、「事業所間の連携」が 24.2%となっている。



## 【9. 外部との連携について】

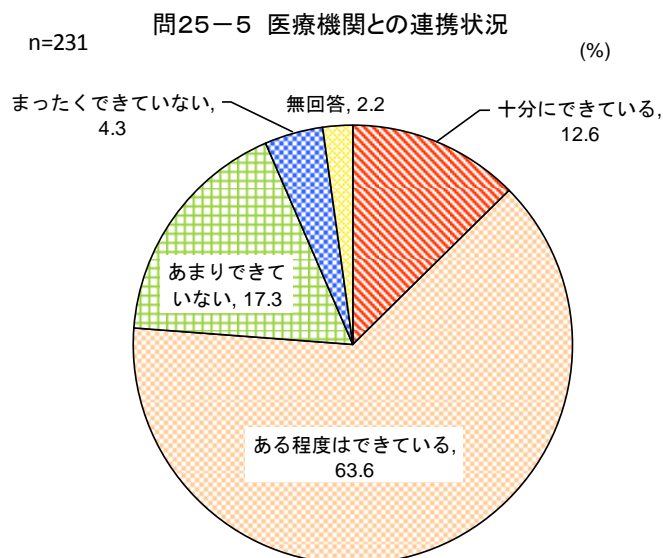
### 9.1 地域包括支援センター・社会福祉協議会・地域との連携状況

地域包括支援センター・社会福祉協議会・地域との連携状況は、「できている 計（「十分にできている」と「ある程度はできている」の合計値）」が71.1%で、「あまりできていない」は24.1%、「まったくできていない」は2.1%となっている。



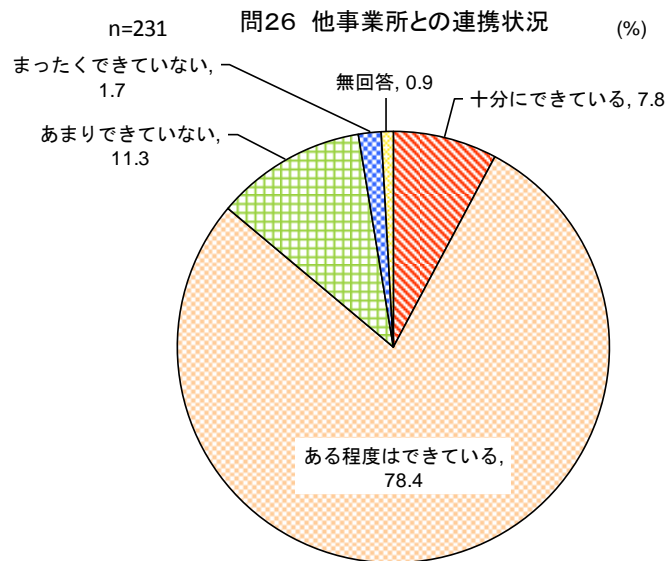
### 9.2 医療機関との連携状況

医療機関との連携状況は、「できている 計」が76.2%で、「あまりできていない」は17.3%、「まったくできていない」は4.3%となっている。



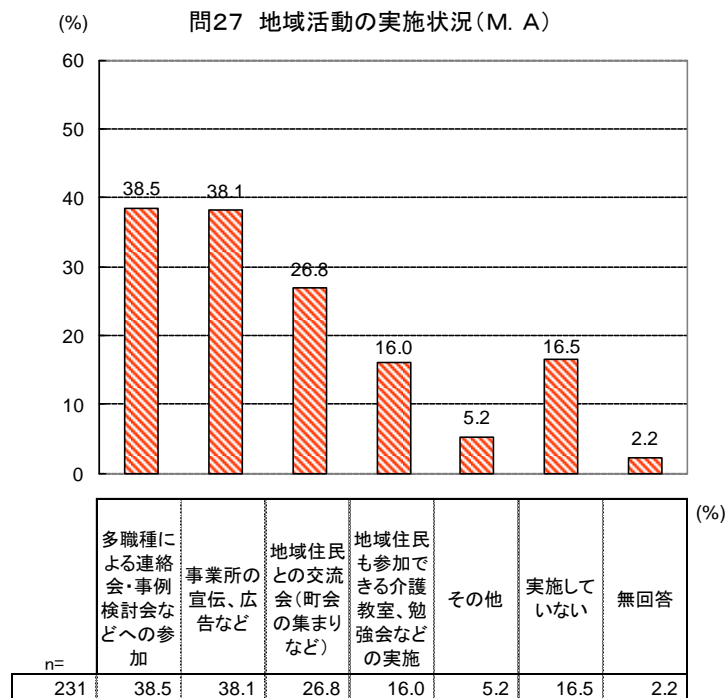
### 9.3 他事業所との連携状況

他事業所との連携状況は、「できている 計」が86.2%、「あまりできていない」が11.3%、「まったくできていない」が1.7%となっている。



### 9.4 地域活動の実施状況

地域活動の実施状況は、「多職種による連絡会・事例検討会などへの参加」が38.5%で最も高く、次いで「事業所の宣伝、広告など」が38.1%、「地域住民との交流会」が26.8%となっている。





## IV 自由記載

### 1 市民アンケート調査（65歳以上）

#### 介護保険制度について

- ・（リースの車椅子について）現在、母は、有料老人ホームに入居しています。車椅子が必要な状態です。自宅で車椅子をリースする場合は料金が安いのですが、施設などでリースする場合は高額になります。この差はどうしてなのですか。入居費用も高額のところから車椅子のリース代も高額になり、家庭の負担もさらに大きくなります。（女性、65～69歳）
- ・介護サービス資格を得るのにもう少し厳しい調査が必要ではないかと思えます。市の介護費用の負担がかかるのではと思っています。（女性、75～79歳）
- ・（介護認定制度他について）母（宛名本人）は97歳の高齢で、難聴障害、骨粗しょう症、足腰弱体にもかかわらず、認定ランクは「要支援1」で、たしかに日常生活はなんとか一人で行えるが、年齢がまったく考慮されていないのではないかと？保険料はしっかり取られているのに、補助、助成がほとんど受けられず、不満を感じています。（女性、90歳以上、介護者）

#### 介護サービスの内容について

- ・（今後の受け入れ先について）現在私は家事全て、買い物も一人で行っています。バス、電車にも不便なく外出できます。今年79歳になりますが、やはり一番心配なのは、いつどうなるかわからない年齢になり、そうなったときの受け入れ先が心配です。子どもに心配かけたくない気持ちも大きいです。自分の事ができるうちに、年金等で入居できる住宅がほしいと思う。（女性、75～79歳）
- ・（介護について）時間が来るとすぐ帰ってしまう。事務的すぎる。経営者の利益が多くて介護者の賃金が少ないように感じる。（男性、65～69歳）
- ・（在宅介護制度の強化について）足腰が立たなくなり、老老介護ではどうにもならなくなるまではヘルパーさんにお世話になりながら、在宅で頑張りたい。それが出来るだけ長く可能となるよう、いろいろな在宅支援制度の強化をお願いしたい。（男性、80～84歳）
- ・（介護について）自宅で終末期を迎えている者の介護をするにも、往診してくれるホームドクターがない。最終的には地域を選ぶことが、最良の選択なのかと実感している。（男性、65～69歳）

#### 介護保険料・サービス利用料金等について

- ・（保険料について）高すぎる。今後どうなるのか心配である。国民年金のみの人の生活が苦しい。生活保護の人が安定した収入で生活出来、矛盾している。そのギャップをどうにかしてほしい。
- ・（利用料の引き上げについて）母が90代で施設を利用していますが、利用料の引き上げが心配。年金では足りず、貯金を切り崩しているのが実態です。（女性、65～69歳）
- ・（介護する家族の費用負担について）要介護者を介護する家族の金銭的な負担がないような手立てを考えて頂きたい（いろいろ支援があるとは思いますが、その他に費用はかかる。）  
（男性、75～79歳）
- ・（老後の生活保障について）年金だけでは生活できない状況の場合、子どもを頼るしかないのが現状。高齢者の生活支援（具体的には生活費）をさらに進めてほしい。（男性、65～69歳）

#### 介護保険外サービスについて

- ・（老人ホームの入居について）公立の老人ホームはとにかく順番待ちでなかなか入居できずにいる現状。そこで有料老人ホームに入りたいが、毎月の入居料など費用が高額すぎる。お金のない老人や家族はどうしたらよいのか。（女性、75～79歳）

#### 介護予防・健康づくりについて

- ・（認知症の予防について）ウォーキングを日課とし、野菜中心の食事など、病気予防かつ生活習慣を心がけています。ただ、認知症は予防策が見つからず、悩みながら恐れています。決定的な予防はないでしょうが、効果ある予防法があれば教えていただきたいをお願いします。できれば、パンフレットにまとめ、高齢者に配布して頂ければ幸いです。（男性、80～84歳）

・(介護予防事業について) 現在子どもはいますが、出来るだけ世話にならずに一人で暮らしたいと願っています。集合住宅でご近所との交流がありません。引きこもりを避けるため、市の介護予防事業の健康アップ教室に参加させていただき、とても楽しく有意義でよかったと思いますが、毎日参加とはいかないことも残念でした。もっと回数を増やしていただければ大変ありがたいと思います。とても楽しく、また体力も少しついた気がしました。(女性、80～84歳)

### 情報提供について

・調査票に「川口市で実施している高齢者サービス」とありますが、ほとんど知る機会がありませんでした。周知する必要があるのでは。(女性、70～74歳)

・(介護保険以外の高齢者福祉サービスについて) 広報かわぐち等の福祉関連情報の活字を大きく、読みやすくしてほしい。(男性、80～84歳)

・(介護体制、ケアマネジャー、相談員について) 現状の介護制度、システムの全体がわかる本、HPがない。介護の相談のとき(私の母のケース)に、公費でのシステム、私費でのシステム、それらを両方利用できるのかどうか、介護度との兼ね合いなどをまず教えてほしい。(男性、65～69歳)

### バリアフリー等について

・(市民バス運行について) 現在2時間に一本となっている。利用者も多く、財務的に可能であれば、1時間ごと(ゆえにバス増車必要)運行が出来ないものか。高齢者運転者の返上促進にもなり、真の利用価値が上がるのでは。(男性、70～74歳)

・(道路について) 歩道・自転車道がひどいところが多く、遊歩道の舗装のでこぼこがいつも気になっております。高齢者がつまづくのではと心配しています。(女性、75～79歳)

### 生きがい・社会参加について

・(包括センター活動について) 現在実施している包括センターの行事を、家からあまり離れていない近場で実施して頂きたい。(私の場合、近くの会館など。)(性別不明、85～89歳)

・(介護保険以外の高齢者福祉サービスについて) 最近施設を何日か利用しましたが、体操や色々楽しいこともあって、とてもいいところだと思った。私の知らなかった成年後見制度の説明なども、時々、取り入れていただけたらいいなと思います。(女性、65～69歳)

・初任者研修で聞いた話、北海道の夕張だったと思いますが、高齢の男性がなかなかデイサービスに参加してくれなかったが、閉店したスナックを改装して、夕方から集まってもらうようにしたら、参加が多くなったという話でした。内容は同じように、食事と入浴でも、雰囲気が違うと男性は居心地が良いようです。お酒でなくお茶でも酔えるということでしょうか。(女性、65～69歳)

### その他

・(介護事業について) これから更に増えるであろう高齢者。特養、老健他、施設の少なさ、入所の規制等。そして、介護に携わる方々の人手不足による重労働。働く方々の待遇の改善も必要と思われまます。(女性、65～69歳)

・(介護以外について) 民生委員の活動について、何時どのような活動をしているかわからない。特別の行事があるとき以外に訪問をされたことがないが、いかがなものか。最近が高齢独居人が増加しているように思えるので、対策をたてて定期的に訪問する様にしてはいかがなものでしょうか。(男性、90歳以上)

・(高齢者保健・福祉、介護諸々について) 川口へ越してきていろいろな手続きをするために市役所へ行きました。川口駅に支所があるのに、高齢者の保健、介護保険の手続きは支所ではだめとのこと。市役所へ行くのが大変でした。足の悪い私はそこまで歩けません。すべてタクシーで困ります。また書類も多いので大変です。高齢者のことを考えてください。土日が休みでは、家族と一緒に連れてもらえませんか。(性別不明、80～84歳)

## 2. 市民アンケート（在宅サービス利用者）

### 介護保険制度について

- ・（介護度について）要介護度が低いと利用率（たとえばリハビリ）が低くなるため、日常生活動作が落ちてくる（加齢に伴うものもあるが）ことになった。介護度は動作的なことと、内臓的なもの（呼吸器、心疾患等）の考慮があればと思う。（女性、70～74歳）
- ・（アルツハイマー型認知症について）アルツハイマー型認知症の場合、自力歩行などができるために要介護度の認定が軽いような気がします。24時間目が離せない状況で、介護者は精神的、肉体的にかなりきつい状況に追い込まれることが多く見られます。介護する方、される方、ともにダウンしないように、なんらかの方法があればと思います。（女性、90歳以上、介護者）
- ・（住居整備、改造、改修について）改修援助の条件を広げてほしい。母は認知症であり、トイレは自分で排泄できるのですが、排泄後の処理が上手にできず、トイレに付けてしまう。清掃しやすいようになるべくシンプルに作り替えたい。援助条件としては難しいと考えてしまうが、検討してほしい。（女性、65～69歳、介護者）

### 介護サービスの内容について

- ・周りの介護を受けている人が高齢です。ある程度若い人が通えるデイサービスを作してほしい。（女性、65～69歳）
- ・1時間のリハビリですが、実際は30分くらいです。前後の話が長くて身体のリハビリが短い。（女性、70～74歳）
- ・（介護施設について）安心してお願いできる施設を探すときに注視するのは、清潔感と仕事中の職員の態度や表情です。市でどの程度見まわりしているのかわかりませんが、施設や職員のサポートをして、全体の底上げとなるようにしてほしいと思います。最終的には入所も考えるとなると、やはり安心できる所でない入所させられないので、行き場がなくなってしまいます。（女性、80～84歳、介護者）

### 介護保険料・サービス利用料金等について

- ・（生活用品について）生活保護、福祉、おむつ代は市の方が見てくれますが、おむつの下に敷くパッド代等は市で見られません。グローブ代、胃ろうのチューブ代、シリンジ、薬をとかすポット、吸引用のチューブ代、生活保護だと大変です。（女性、75～79歳、介護者）
- ・（老老介護について）私は82歳で身体障害者です。主人が認知症になり、私が面倒を見られないので、施設に入れてもらったのですが、お金がかかり、不安です。市とか県でそういった施設を作り、何とか支援して頂けないのでしょうか。（女性、80～84歳）

### 介護保険外サービスについて

- ・（仕事と介護の時間調整について）仕事が事務仕事でなければ、お客様次第で迎えの時間に戻ることができない。延長保育のような時間外に同じ施設にいさせてもらえて、迎えに行くことができれば、焦らず精神的余裕を持てるので良いと思います。（女性、70～74歳、介護者）
- ・（車のない家庭について）タクシーや介護タクシーより安くボランティアの方に助けてもらって、気軽に親子で車で外出したいです。買い物、墓参り、日帰りの外出などに利用したいです。（女性、90歳以上、介護者）

### 介護予防・健康づくりについて

- ・歩けなくなる方が多いので、もっと地域を小さく区切って（一人ではどうしてよいかわからず、施設に行くのはお金が高いので行けない）、たくさん、体操等、いろいろ体を動かす場所を、体の動くうちから毎週1回程度やる場所があれば、悪くなる程度もゆっくりになるのではないかな。今は一人で体育館にも行けない。これはそこそこ歩ける時の意見であり、希望でした。（女性、75～79歳）

### 情報提供について

- ・（サービスを受ける際について）福祉サービスを受ける時、どのようにすればよいのか、最初は全くわかりませんでした。ケアマネジャーさんにおもにケアプランを作成して頂き助かりましたが、そのケアマネさんを見つけて決めるまで、本当に大変でした。もう少し、わかりやすい方法の告知が必要なのでは？（女性、75～79歳、介護者）

・(介護について) 若年性のアルツハイマー型認知なので、進行も早く、何が理解できているか、理解できていないかが日々変わってきています。その対応についてのノウハウ等、勉強できる機会があったらいいと思います。月1回の通院では、ただ薬をもらっているだけで終わってしまい、介護者の納得いくものではありません。(男性、65～69歳、介護者)

### **バリアフリー等について**

・(福祉介護について) 今は歩行器で歩行しております。段差、道幅の狭さ、スロープがあると助かります。私は外出したいので、障害者が泊まれるような施設、障害者でも家族と入れる温泉がほしいです。歩行器でもバス、電車等に乗れるようお願いいたします。主人も高齢で無理は言えませんので、どうしたらいいのでしょうか。(女性、65～69歳)

・川口駅前バス乗り場の道順が非常によくない。広い道路を渡らなければ、年配者は利用できない乗り場もあるため考えてほしい。(女性、75～79歳)

・歩行困難のため、車椅子生活をしており、透析治療をして週に3回、通院している状態。介護タクシーを利用し、車椅子で通院しますが、月額料金がかさむので、年金生活にはとても負担になります。介護タクシーの料金が安くなったら助かります。介護タクシーは通院には利用できますが、入・退院の場合は実費となります。介護保険の利用はなぜできないのでしょうか？(男性、85～89歳、介護者)

### **生きがい・社会参加について**

・(高齢者の交流の場について) 近くの公民館のようなところでお話をして、お茶を飲んで楽しむことが出来ると、近くの友達ができてうれしいのですが。(女性、85～89歳)

・高齢で体の不具合があっても、地域社会に少しでも貢献したい。何かありませんか。(男性、70～74歳)

### **その他**

・(訪問ヘルパーについて) 夫のように重度の障害者は、家族だけではとても介護は無理なので、もっと多くのヘルパーさん達が必要なのですが、特に吸引等、医療行為が伴う場合、全くと言ってよいほど人手が足りず、現在来ていただいている方々に多くの負担をかける事になり、いつ辞めてしまわれるか不安です。もっと彼ら、彼女らに希望が持てる待遇が充てられると素晴らしいと思います。(男性、65～69歳、介護者)

## **3. 市民アンケート(2号被保険者)**

### **介護保険制度について**

・(介護サービスの利用について) 現在、介護サービスを利用している方たちは様々だと思います。入浴も困難で施設でしか入浴できない方はサービス利用でとても良いと思うのですが、軽度な方は介護保険以外のボランティア的な施設利用でできないのでしょうか。このままだと、介護保険が破綻するのではないかと心配です。本当に必要な方、本当に困っている方に重点を置き、軽度な方は町会や地元の集まりで、コミュニケーションや運動ができないかと思います。(女性、55～59歳)

### **介護サービスの内容について**

・(介護保険や高齢者福祉サービスの利用について) 近所に住む母がホームヘルパーの派遣を受けているが、本人が出来る事はどんどん自分でやらせるようにしてほしいと思う。甘えられると思うと、すぐに人に頼ろうとするので、できるだけ自立できるようなサポートをお願いしたい。(男性、55～59歳)

### **介護保険料・サービス利用料金等について**

・(介護施設について) 介護施設を利用したいと思っても、今の年金では入るのが難しいのかなとは思いますが。年金内で利用できる施設がもっと増えると良いとは思いますが。(女性、60～64歳)

・(医療費について) 高齢になれば、否応なく病気になったり、思いがけない怪我をしたりすることが多くなります。病院に通うことも致し方ないことなのに、医療費が高いと我慢して病院に行かなかったり、治るものも治らないこともあるかと思うので、70歳以上の2割負担は維持していただきたい。(近頃のお年寄りは元気と言われますが、それも千差万別。病気がちの人はいつも病気がち。元気がないです。)(女性、60～64歳)

### 介護予防・健康づくりについて

・(認知症対策について) 高齢者になって一番心配されるのは認知症だと思う。介護施設はどんどん充実されているが、予防になるような対策が少ないのではないかと思う。生涯スポーツの推進や、集いの場を設ける企画など、増やせないものか。壮年の時からボランティア活動に参加し、世間を広くするのも有効ではないか。どのような活動が現在行われているか、情報も少ない気がします。対策となるようなことの充実も検討してほしいです。(男性、60～64歳)

### 情報提供について

・(介護について) 私は独身です。弟も独身で障害者です。現在はデイケアに通いながら自活しています。いずれ独り者同士が支え合って生きていこうと思っています。私は61歳、弟は59歳、生活への不安や介護が訪れた時、負担に感じない様対処する方法や知識を得ておきたいので、高齢者保健・福祉・介護に関する小冊子があると助かるのですが。(女性、60～64歳)

・(認知症の家族について) 在宅で介護をしている人に向けて、高齢者(認知症)の困った行動についての対処法を、具体的な例文をあげて、広報誌等に掲載して頂きたい。認知症の高齢者の困った行動は(本人は困った行動を取っていると認識していない)家族の人たちには理解できないため、互いにストレスを強めあうばかりで日々疲れを感じながら生活している人たちがいる。広報誌という無料の紙面で対処法を知らせ、疲弊している家族を救済することも福祉の一環ではないのか。(相談窓口が書かれていても、そこまで行かれない人もいます。)(年齢、性別不明)

### バリアフリー等について

・(車の運転ができなくなったときについて) 私は現在60歳の女性です。父は要介護3、母は要支援2です。今は自分で運転し、母の病院や父の施設に行くことができますが、これから運転が不安になると思います。タクシー利用をするときの援助(埼玉自交などは割引制度があります)をして頂けるといいと思います。母を連れてバスに乗るのは無理です。(女性、60～64歳)

### 生きがい・社会参加について

・(高齢者の雇用拡大について) 働く意思のある者は多いと思う。働くことで心身の健康につながると思う。雇用拡大からの視点で、保健・福祉・介護に結び付く施策を考えてもらいたい。(男性、60～64歳)

### その他

・老老介護、認認介護が増えていく将来に不安を感じる。市や地域で、定期的にアンケートや訪問を利用し把握していく必要があると思う。周り(近隣)にも声をかけて、様子を報告していただくことも大事だと思う。介護者ひとりで悩まず、いろんな面でより細かくサポートしていただくシステムを作っていただきたい。(女性、55～59歳)

・(成年後見人制度の申請について) 成年後見人制度を実際に体験しました。妻の両親が同時に認知症となりこの申請をしましたが、主治医の診断書、財産の調査、相続人たちの同意等があり、手間のかかる内容となっています。両親が認知症になる前に手続きできればよいのですが、認知症になってからの申請は本当に大変でした。できれば、認知症になる前に事前登録できるようにしてほしい。本人が信頼できる家族や知人に財産管理を依頼しておきたい。(男性、60～64歳)

## 4. 事業者調査

- ・川口市と一口に言っても、川口、西川口駅周辺の地域と外環に近い地域では、地域に住む住民の生活スタイル地域コミュニティの連携、課題やニーズが大きく違う。全体を通しての計画ももちろんだが、その地域毎の対応をきめ細かくする必要があると思う。既に、総合事業を導入した市区町村の例を聞いても、良いことばかりではない。又、前回の改正で導入された地域密着デイサービスは、市の境界近く等、とても使い勝手が悪い。(居宅介護支援)
- ・地域住民参加型のセミナーを開催し、元気な高齢者が活動できる場を作っていただきたい。また、医師会の先生方との交流会も積極的に開催していただきたい。(居宅介護支援)
- ・近年、ケアマネジャーの質の低下が多くみられます。介護職員の質が随分上がってきている様にもみられます。今後は、ケアマネジャーの在り方、必要性、質の向上をお願いしたいと思います。市民(利用者)はケアマネジャーによっては、生活さえも変わってしまいます。(訪問介護)

- ・ 事業所でご利用者等のニーズに合わせて、利用できる事業内容を知りたい。選択しやすいパンフレットが欲しいです。(訪問介護)
- ・ 重責・業務過多だが処遇が低すぎる。人材が集まらず、質が低下している。準公務員としての処遇改善を求める。(訪問介護)
- ・ 関連のある事業所との連携はある程度できていますが、地域の色々な事業所(ボランティア団体も)が集い、意見交換と情報交換、及び横のネットワークを作りたいと思います。(訪問介護)
- ・ 地域との交流が少ない為、地域の皆様がどの様な事を望まれているのか、情報が入らないので、その代わりとなる行政からの情報などがあれば良いと思う。(訪問入浴介護)
- ・ 川口市の行政の取り組みについて知りたい。今後の事業所の方向性として学ぶ機会が欲しい。(訪問看護)
- ・ 地域密着デイサービスは、隣接している戸田市、蕨市の利用ができなくなるのは、おかしいと思います。(通所介護)
- ・ 今後、高齢化社会に向かい、需要者は更に増えると予測されますが、それ以上に同業他社が増え、この業界そのものが過密な業界になることへの不安を感じております。(通所介護)
- ・ 毎年2ヶ所程度の施設が立ち上がり、職員の確保が難しい中、人材流出も顕著に見られています。また、入居者も市内ではほとんど希望がなく、都内に営業している状況です。都内の入居希望者の受け皿として川口市の特養が位置づけられているということであれば理解できますが、明確な説明もなく、疑問が絶えません。(短期入所生活介護)
- ・ 地域住民の高齢者が本当に求めている事、住民の参加したくなるサービスや住民主体の支援システムと分けて行政のサポートがあれば、より活性化すると思います。(福祉用具貸与)
- ・ 平成28年度より、有志でグループホーム、小規模多機能の連絡会の活動を開始しました。会社、地域ではなく同業種の集まりから、連携、新しい発信をしていきたいと思っています。今後、市に協力を依頼することもあると思いますので、その際はよろしくお願いします。(認知症対応型通所介護)
- ・ 地域密着サービスが同地域内にあっても、自事業所以外の事業所とどのように関わっていいのか悩む時があります。お互いに協力して地域の高齢者を支えていければと思いますが、自身の事業所が中心になって動くには人員的にも業務的にも困難であり、是非市や地域包括支援センターが中心となり、活動を活発化し、地域事業者の交流や、地域住民の方々との交流を深めていけるようお願いしたいです。(認知症対応型通所介護)
- ・ 施設の車イス対応の浴槽やストレッチャー対応の浴槽など施設が使用していない時間に、地域住民で使いたい方がおりましたら、無料か500円くらいで利用する方の責任において施設の浴槽を使用して頂く事を1つの案として考えています。地域に貢献できる事はしたいと思うのですが、情報が入ってこないで発信してくれる地域包括支援センターの方は個人情報保護にかかわるのでできなかつたり、何か良い方法はないでしょうか。(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)
- ・ 介護職員等、人材確保に協力してほしい。(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)
- ・ 当施設は地域密着型通所介護であるがニーズの割に自治体、(国、県、市等)のサポートがほとんどないと考えている。介護報酬の削減、他市町村の御利用者の受け入れ不可、スプリンクラー設置等のコスト増などほとんど中小企業が参入のこの業態をつぶしてしまうと考えているとしか思えない。介護が国や県、市の財政を圧迫しているのは肌で感じているし、利益が薄いこの業界の低賃金まではなんとか理解できるが、我々宿泊付デイサービスをないがしろにしている現状はニーズの観点からも承服しがたいものがある。(地域密着型通所介護)
- ・ 認知症対応型通所介護の為、地域住民への理解、又、相談窓口になればと考えています。地域包括システムの理解を深め、多職種と他事業所との連携を図っていきたいです。(地域密着型通所介護)
- ・ 私共の情報収集努力不足から、川口市の進む方向が見えていない。様々なサービス事業者の数は多く、又、施設も非常に多い。介護人材不足はどこも同じように困難を感じ、サービスの質の低下も感じている。事業者を減らすことは難しいと思うので、川口市の補助などにより積極的に介護人材育成と広報などを行ってほしい。(介護老人福祉施設)

## V 資料編（単純回答）

# 市民アンケート調査（65歳以上の方）

日頃から、皆様には川口市行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
本市では、平成30年4月からの3年間を計画期間とする「川口市第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定作業の準備を進めております。

この計画は、高齢者の皆様が住み慣れた地域において、自分らしく安心して暮らし続けることのできるまちづくりの施策の指針ともなるものであります。

本調査は、市内在住の65歳以上の市民のうち2,500人を対象に、健康や生きがいなどに関するご意見・ご感想をお伺いし、計画見直しの重要な資料とするために実施するものです。

なお、調査結果は統計的に処理し、個人を特定することはいたしませんのでご迷惑をおかけすることはありません。

ご多用のところ、お手数をおかけしますが、調査の趣旨を充分ご理解いただき、ご協力くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

平成29年1月

川口市長 奥ノ木 信夫

### ご記入の前に

- この調査は、平成29年1月1日（基準日）現在の状況について、記入又はあてはまるものの番号に○をつけてください。
- この調査は、介護保険サービスを利用していない65歳以上の市民の方を対象とします。設問文の「あなた」とは、封筒のあて名の方をさします。できる限りご本人がお答えください。この調査票をご記入された方はどなたですか。（1つに○）

79.5 あて名のご本人	4.6 ご家族	0.1 その他〔	〕
--------------	---------	----------	---

NA（無回答、以下同じ）=15.8 N（回答母数、以下同じ）=1,744

- 対象の方が何らかの事情により、回答できない場合には、下記のいずれかの番号に○をつけて返送してください。（1つに○）

0.3 入院中	2.6 その他	
0.2 市外に転出	〔具体的に	〕

NA=96.8 N=1,744

- 同封の返信用封筒（切手不要）に、ご記入いただいた調査票を入れて、**平成29年1月26日（木）**までにご返送ください。

- お問い合わせ先

川口市 介護保険課 電話 048-258-1110（内線2151）  
長寿支援課 電話 048-258-1110（内線2167）

あて名のご本人（あなた）及びご家族等について

問1 あなた（あて名ご本人）のお住まいの地区をお選びください。（1つに〇）

あ	か	0.6 芝樋ノ爪1～2丁目	0.6 大字東内野
1.5 青木1～5丁目	0.2 金山町	0.5 芝富士1～2丁目	0.2 大字東貝塚
0.7 赤井1～4丁目	2.8 上青木1～6丁目	0.3 芝宮根町	1.4 東川口1～6丁目
0.7 大字赤井	2.1 上青木西1～5丁目	1.0 末広1～3丁目	0.6 東本郷1～2丁目
0.1 大字赤芝新田	0.8 川口1丁目	た	1.7 大字東本郷
1.1 大字赤山	2.3 川口2～6丁目	0.2 長蔵1～3丁目	1.0 東領家1～5丁目
2.5 朝日1～6丁目	0.0 河原町	0.0 大字長蔵新田	0.0 舟戸町
0.7 大字新井宿	0.7 大字木曾呂	0.7 大字辻	1.6 本町1～4丁目
0.4 新井町	0.9 北園町	0.2 大字藤兵衛新田	0.3 本蓮1～4丁目
0.0 荒川町	1.1 北原台1～3丁目	1.0 戸塚1～6丁目	0.9 本前川1～3丁目
0.3 大字安行	0.3 大字久左衛門新田	0.0 大字戸塚	ま
0.3 大字安行北谷	0.1 大字行衛	0.5 戸塚境町	0.3 前上町
0.2 大字安行吉蔵	0.5 大字源左衛門新田	0.4 戸塚峽町	2.6 前川1～4丁目
0.1 大字安行小山	0.7 大字神戸	1.8 戸塚東1～4丁目	0.3 前川町3～4丁目
1.3 大字安行慈林	0.9 大字小谷湯	0.8 戸塚南1～5丁目	0.0 大字前野宿
0.2 大字安行藤八	さ	な	0.7 大字道合
0.5 安行出羽1～5丁目	0.3 在家町	1.8 中青木1～5丁目	0.5 三ツ和
0.1 大字安行西立野	0.7 幸町1～3丁目	0.3 仲町	0.1 緑町
0.9 大字安行原	1.1 栄町1～3丁目	1.9 並木1～4丁目	2.2 南嶋ヶ谷1～8丁目
0.3 大字安行吉岡	1.5 坂下町1～4丁目	0.3 並木元町	0.5 南町1～2丁目
0.5 大字安行領家	1.3 桜町1～6丁目	0.9 大字新堀	0.5 南前川1～2丁目
0.0 大字安行領在家	0.7 差間1～3丁目	0.2 新堀町	1.7 大字峯
2.2 大字安行領根岸	0.5 大字差間	1.4 西青木1～5丁目	0.3 宮町
2.3 飯塚1～4丁目	0.9 大字里	0.5 大字西新井宿	2.8 元郷1～6丁目
0.3 飯原町	2.4 芝1～5丁目	1.3 西川口1～6丁目	や
0.9 大字伊刈	1.5 大字芝	0.1 大字西立野	1.9 柳崎1～5丁目
1.4 大字石神	1.0 芝下1～3丁目	は	0.3 柳根町
0.3 江戸1～3丁目	0.2 芝新町	0.7 榛松1～3丁目	0.7 弥平1～4丁目
0.2 江戸袋1～2丁目	0.8 芝園町	0.6 大字榛松	ら
0.3 大字大竹	0.3 芝高木1～2丁目	0.1 大字蓮沼	1.1 領家1～5丁目
	0.1 芝塚原1～2丁目	0.3 八幡木	
	0.5 芝中田1～2丁目	0.7 鳩ヶ谷本町1～4丁目	0.2 大字前田
	0.2 芝西1～2丁目	目	
	0.3 芝東町	0.2 鳩ヶ谷緑町	
		0.3 原町	

NA=6.9 N=1,744



問2 あなた(あて名ご本人)の性別は。(1つに○)

44.0 男性	50.8 女性
---------	---------

NA=5.2 N=1,744

問3 平成29年1月1日現在のあなた(あて名ご本人)の年齢は。(1つに○)

17.9 65~69歳	21.2 75~79歳	15.7 85~89歳
19.5 70~74歳	21.2 80~84歳	2.9 90歳以上

NA=1.5 N=1,744

問4 平成29年1月1日現在のあなた(あて名ご本人)の世帯状況は。(1つに○)

16.6 ひとり暮らし	23.6 未婚の子どもと同居
36.3 夫婦ふたり暮らし	1.0 高齢者のみ(高齢の親や兄弟と同居)
18.5 子どもの家族と同居	1.9 その他〔具体的に〕

NA=2.1 N=1,744

問5 あなた(あて名ご本人)のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

70.9 持ち家の戸建て住宅 (借地に持ち家の場合も含む)	9.5 民間賃貸住宅 (アパート、マンション等)	0.7 その他 〔 〕
13.9 持ち家の集合住宅 (分譲マンション等)	0.0 高齢者向け施設・住宅 (養護老人ホーム・ケアハウ ス・有料老人ホーム・サービ ス付高齢者向け住宅)	
3.6 公営住宅 (UR、県営、市営、公社等)		

NA=1.5 N=1,744

### 日常生活や社会活動について

問6 あなた(あて名ご本人)の仕事は次のどれですか。(主なもの1つに○)

6.8 常勤の勤め人	3.0 家業手伝い
7.1 非常勤の勤め人	2.2 その他〔 〕
8.1 自営業	68.8 無職・家事専業

NA=4.0 N=1,744

問6-1 あなた(あて名ご本人)は、何歳まで働きたいと思いますか。  
(1つに○、下線に数字)

34.3 _____歳位まで働きたい	⇒ 問6-2へ
48.1 働く予定はない・働こうとは思わない	⇒ 次ページの問7へ

NA=17.5 N=1,744

働きたい年齢 65歳未満: 0.5、65-70歳未満: 4.0、70歳以上: 80.6、NA=14.9 N=599

問6-2 あなた(あて名ご本人)は、働き続ける場合、どのような働き方が望ましいと思いますか。  
(1つに○)

13.2 定年前と同等の時間・内容で働く	17.0 趣味や好きなことを活かした仕事をする
27.5 定年前と同じ職場だが、仕事の内容や時 間を軽減して働く	5.3 その他 〔 〕
26.4 パートやアルバイトで働く	

NA=10.5 N=599

**【すべての方にお伺いします。】**

問7 散歩や買物、通院、仕事などで外出する割合はどのくらいですか。(1つに○)

61.4 ほとんど毎日	6.8 週に1回程度	0.8 2、3か月に1回程度
24.0 2、3日に1回程度	4.2 月に1~2回程度	1.2 ほとんど出かけない
NA=1.6 N=1,744		

問8 あなた(あて名ご本人)は、平日の日中はご自宅にいますか。(1つに○)

30.4 ひとりであることが多い	24.5 普段の平日は家にいないことが多い
40.5 家族または友人などといることが多い	
NA=4.5 N=1,744	

問9 ご家族以外の方との会話をする割合はどのくらいですか。(1つに○)

50.1 ほとんど毎日	11.3 週に1回程度	0.6 2、3か月に1回程度
25.6 2、3日に1回程度	6.3 月に1~2回程度	3.7 ほとんど話をしない
NA=2.5 N=1,744		

問10 あなた(あて名ご本人)は現在、次のような活動をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

29.5 運動、スポーツ、健康体操	18.7 旅行
2.2 大学公開講座や市民講座等での学習	10.6 町会や自治会、地域づくり活動
23.1 趣味や娯楽活動	33.1 友人・知人との交流
12.0 パソコン(メールやインターネット)	2.1 その他〔 〕
4.6 ボランティア活動	29.8 特に活動していない
NA=4.9 N=1,744	

問11 普段あなた(あて名ご本人)はどのような運動をしていますか。(3つまでに○)

3.3 水泳(水中歩行を含む)	5.5 ゴルフ	3.2 グラウンドゴルフ
1.0 ゲートボール	2.1 ハイキング	10.4 その他
1.0 ソフトボール・野球	3.4 ジョギング	〔 〕
16.6 体操	45.5 ウォーキング・散歩	31.3 特に運動はしていない
NA=3.8 N=1,744		

問12 あなた(あて名ご本人)は、現在、老人クラブに加入していますか。(1つに○)

15.4 加入している
14.9 加入していないが、近い将来加入予定
66.4 加入していないし、将来加入するつもりもない ⇒ 問12-1へ
NA=3.3 N=1,744

**問12で「3」と回答された方にお伺いします。**

問12-1 老人クラブに加入しない主な理由は何ですか。(3つまでに○)

20.2 高齢者とは思っていないから	15.6 人付き合いが嫌いだから
21.9 自分のやりたい活動がないから	10.6 老人クラブの名前や活動に良い印象を持っていないから
7.0 費用がかかるから	
9.4 加入方法がわからないから	6.7 自分と同年代の会員がほとんどいないから
23.7 忙しいから	16.1 その他〔 〕
NA=4.6 N=1,158	

【すべての方にお伺いします。】

問 13 あなた（あて名ご本人）は今後ずっと現在のお住まいで生活したいですか。

（1つに○）

82.7 可能な限り今の住まいで生活したい	2.4 もっと間取りの広い住まいに転居したい
4.1 今の住まいを改修して住み続けたい	2.4 その他〔具体的に〕
1.6 もっと間取りの少ない住まいに転居したい	4.8 わからない

NA=2.0 N=1,744

問 14 あなた（あて名ご本人）は、孤独死（誰にも看取られることなく、亡くなった後に発見される死）について、身近な問題だと感じますか。（1つに○）

13.6 非常に感じる	38.5 あまり感じない	13.8 わからない
17.0 まあまあ感じる	13.1 まったく感じない	

NA=4.0 N=1,744

「1」または「2」と回答された方にお伺いします。

問 14-1 主な理由は何ですか。（1つに○）

32.8 一人暮らしだから	7.1 あまり外出しないから
19.7 ご近所との付き合いが少ないから	6.4 経済的に苦しいから
5.4 家族・親戚との付き合いが少ないから	12.9 その他〔〕

NA=15.6 N=533

【すべての方にお伺いします。】

問 15 あなた（あて名ご本人）は、今後、以下のような地域での活動に参加したい、又は、続けたいですか。（あてはまるものすべてに○）

15.4 町会、自治会等活動	7.5 地域の祭りや文化・芸能の振興や継承等に関する活動
5.9 高齢者や障害者の支援、子どもの育成に関する活動	7.8 各種学習・研究活動
8.8 環境美化や自然呆護など環境に関する活動	1.6 その他〔〕
4.7 防犯・防災等活動	
2.7 地域の産業振興や活性化に関する活動	43.9 特に参加したい地域活動はない
21.8 健康スポーツ等の活動	

NA=11.6 N=1,744

問 16 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなた（あて名ご本人）はその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（1つに○）

11.0 是非参加したい	48.3 参加してもよい	33.2 参加したくない
--------------	--------------	--------------

NA=7.5 N=1,744

問 16-1 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなた（あて名ご本人）はその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つに○）

4.8 是非参加したい	35.0 参加してもよい	50.3 参加したくない
-------------	--------------	--------------

NA=9.9 N=1,744

問 17 あなた（あて名ご本人）は現在、何か悩み事がありますか。

（あてはまるものすべてに○）

40.0 自分の健康について	11.3 年金や相続について
13.0 家族について	1.3 その他〔 〕
2.2 人間関係について	35.3 特に悩み事はない → 問 18 へ

NA=11.3 N=1,744

「1」～「5」と回答された方にお伺いします。

問 17-1 悩み事について、誰かに相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

51.2 家族	2.6 弁護士・公認会計士などの専門家
15.9 友人	2.0 地域包括支援センター
1.3 民生委員・町会の人	1.1 その他
2.1 ケアマネジャー・ホームヘルパー	〔 〕
25.9 医師・看護師・保健師・薬剤師・カウンセラー	21.0 誰にも相談していない

NA=5.7 N=932

【すべての方にお伺いします。】

### あなたの身体や健康について

問 18 あなた（あて名ご本人）は、現在の自分の健康状態をどのように感じていますか。

（1つに○）

13.1 健康	50.2 まあ健康	26.5 あまり健康でない	5.7 健康ではない
---------	-----------	---------------	------------

NA=4.6 N=1,744

「3」または「4」と回答された方にお伺いします。

問 18-1 医療機関で治療中又は服薬中の病気やけがはありますか。（1つに○）

97.5 ある	2.3 ない
---------	--------

NA=0.2 N=561

「1」と回答された方にお伺いします。

問 18-2 どのような病気・けがですか。（あてはまるものすべてに○）

50.1 高血圧症	4.9 脳卒中	13.3 耳や鼻の病気（難聴など）
17.7 脂質異常症 （高コレステロール血症・ 中性脂肪など）	（脳出血・脳梗塞など）	15.4 歯の病気（歯周病）
11.3 狭心症・心筋梗塞	3.8 骨折・外傷	
29.3 目の病気（白内障など）	2.2 認知症	
22.3 糖尿病	13.5 胃腸の病気	12.1 その他
4.9 動脈硬化症	（胃炎・肝炎など）	〔具体的に 〕
27.8 腰痛症	21.8 泌尿器の病気	
10.4 関節症・リウマチ	（腎臓病・前立腺肥大など）	
7.5 肩こり症	9.9 呼吸器の病気	
12.1 骨粗しょう症	（ぜん息など）	

NA=0.2 N=547

## 【すべての方にお伺いします。】

問 19 あなた（あて名ご本人）の健康に関する行動についてお尋ねします。  
（それぞれ1つに○）

				NA
たばこは	84.6 吸わない	2.2 時々、吸っている	9.1 吸っている	4.1
お酒は	52.4 飲まない	21.6 時々、飲んでいる	21.2 飲んでいる	4.8
規則的な食事は	68.3 している	23.3 だいたい、している	3.0 していない	5.3
定期的な運動は	29.8 している	27.8 だいたい、している	34.9 していない	7.6
歯の健康維持は	37.7 している	37.7 だいたい、している	16.5 していない	8.1
普段から健康に	43.1 気をつけて いる	47.6 まあ、気をつけて いる	3.9 気をつけて いない	5.4
定期的な健康診断を	64.4 受けている	18.9 時々受けている	11.2 受けていない	5.5
かかりつけ医は	83.8 いる	12.0 いない		4.2

N=1,744

問 20 あなた（あて名ご本人）は、次のサービスの中で、健康を維持するために利用したいと思うものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

60.7 定期的な健康診断	4.7 心の健康に関する相談
25.7 がん検診	14.6 認知症の予防に関する相談
14.7 歯の健康に関する相談	14.7 全般的な健康づくりに関する相談
11.2 食事や栄養バランス等に関する相談	0.5 その他
9.2 運動できる場や方法等に関する相談	〔具体的に 〕
1.0 禁煙に関する相談	9.4 使ってみたいサービスはない

NA=11.4 N=1,744

問 21 あなた（あて名ご本人）は、半年前に比べて、食事量の変化がありましたか。（1つに○）

70.6 変化なし	2.1 食べる量が増えた
17.1 食べる量が減った	1.3 わからない
6.5 体重管理のため食べる量を減らしている	

NA=2.4 N=1,744

問 22 あなた（あて名ご本人）は、自分の歯は何本ありますか。入れ歯、インプラントは含みません。（差し歯は含みます。）（1つに○）

12.6 まったくない	14.4 16~20本
10.6 1~5本	15.4 21~25本
11.1 6~10本	14.4 26~28本
11.5 11~15本	5.3 29本以上

NA=4.7 N=1,744

問 23 あなた（あて名ご本人）の現在の歯ぐき・口の状態についてお答えください。  
（あてはまるものすべてに○）

4.9 歯ぐきが腫れている	7.1 歯周病といわれ治療している
8.0 歯を磨いたときに血が出る	15.0 抜けたままにしている歯がある
12.4 歯ぐきが下がって歯の根が出ている	7.8 むし歯がある
6.4 歯がぐらぐらする	38.8 あてはまるものはない
11.6 入れ歯が合わない	

NA=10.8 N=1,744

問 24 あなた（あて名ご本人）は、噛んで食べる時の状態はいかがですか。（1つに○）

45.0 何でも、噛んで食べることができる
45.0 噛みにくいものもあるが、たいいていのものは食べられる
5.7 あまり噛めないので、食べものが限られている
0.9 ほとんど噛めない

NA=3.4 N=1,744

問 25 あなた（あて名ご本人）は、ご自身の生活習慣（食事・運動など）についてどのようにお考えですか。（1つに○）

57.3 生活習慣に特に問題はない
9.3 生活習慣の改善が必要だとは思いますが、変えようとは思わない
18.3 生活習慣の改善が必要だとは思いますが、容易には変えられない
1.1 生活習慣の改善が必要だと思い、1か月以内に具体的に取り組みたいと考えている
5.3 生活習慣の改善が必要だと思い、すでに取り組み・行動を始めている
3.1 生活習慣については関心がない

NA=5.5 N=1,744

問 26 あなた（あて名ご本人）の平日の食事は主にどなたがつくりますか。  
（朝・昼・夕それぞれ1つに○）

	自分 つく	配偶者が つくる	子ども・子 どもの配偶 者がつくる	買って くる	外食 する	その他	食べない	NA
朝食は	60.2	26.8	5.4	1.9	0.2	0.3 [ ]	1.5	3.6
昼食は	54.1	22.6	4.1	6.3	5.6	1.1 [ ]	0.9	5.3
夕食は	51.9	31.4	8.7	2.7	0.7	0.5 [ ]	0.1	4.0

N=1,744

問27 あなた(あて名ご本人)は、外出することについてどのようにお考えですか。

(あてはまるものすべてに○)

- |   |   |
|---|---|
| 65.7 特に負担には感じない<br>10.2 外出は、なんとなくおっくうである・好きではない<br>9.2 行く場所や用事もないので外出したいとは思わない<br>11.1 外出するより、家にいて過ごす方が好き<br>4.2 交通が不便なので、外出するのが負担に感じる<br>2.3 自宅の周りに坂や段差が多いので、外出するのが負担に感じる<br>5.8 身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくてもできない<br>1.1 その他〔 | 〕 |
|---|---|

NA=5.4 N=1,744

問28 あなた(あて名ご本人)の普段の生活について、お伺いします。

次の各項目について、それぞれ「はい(している)」、「いいえ(していない)」のどちらかをお選びください。(それぞれ1つに○)

	いずれかに○		
	はい (している)	いいえ (していない)	NA
	↓	↓	
バスや電車を使って1人で外出していますか.....	72.8	21.0	6.2
日用品の買い物をしていますか.....	85.6	10.6	3.8
預貯金の出し入れをしていますか.....	77.8	18.2	4.0
友人の家を訪ねていますか.....	50.3	42.1	7.6
家族や友人の相談にのっていますか.....	67.5	24.0	8.5
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか.....	55.9	38.9	5.2
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか.....	75.8	19.3	4.9
15分くらい続けて歩いていますか.....	82.9	13.3	3.8
この1年間に転んだことがありますか.....	22.7	72.5	4.8
転倒に対する不安は大きいですか.....	44.7	48.5	6.8
6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか.....	14.7	80.2	5.0
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか.....	26.0	69.0	5.0
お茶や汁物等でむせることがありますか.....	26.5	68.6	4.8
口の渴きが気になりますか.....	28.4	67.4	4.2

N=1,744

(次ページへ続きます)

問 28 前ページのつづき

※身長・体重の欄には、小数点第1位までの数字をご記入ください。

	いずれかに○		NA
	はい (している)	いいえ (していない)	
	↓	↓	
週に1回以上は外出していますか . . . . .	89.5	7.6	2.9
昨年と比べて外出の回数が減っていますか . . . . .	24.2	70.5	5.3
周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると 言われますか . . . . .	17.0	77.9	5.1
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	85.9	12.0	2.1
今日が何月何日かわからない時がありますか . . . . .	22.6	73.2	4.2
(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない . . . . .	15.0	77.8	7.2
(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなく なった . . . . .	11.6	81.4	7.0
(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じ られる . . . . .	31.4	63.4	5.2
(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない . . . . .	19.4	73.7	6.9
(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする . . . . .	22.6	71.6	5.8

N=1,744

身長 ( 156.9 cm ) 体重 ( 56.6 kg ) ※小数点第1位まで記入

身長NA=13.0 N=1,744

体重NA=13.4 N=1,744

【問29～問31は、認知機能に関する簡単なアンケート項目です。普段のことについてご記入ください。】

問 29 あなた(あて名ご本人)は、その日の活動(食事をする、衣服を選ぶ等)を自分で判断できますか。(1つに○)

92.4 困難なくできる	0.6 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要
5.0 いくらか困難であるが、できる	0.2 ほとんど判断できない

NA=1.8 N=1,744

問 30 あなた(あて名ご本人)は、5分前のことが思い出せますか。(1つに○)

94.8 思い出せる	3.4 思い出せない
------------	------------

NA=1.8 N=1,744

問 31 あなた(あて名ご本人)は、人に自分の考えをうまく伝えられますか。(1つに○)

85.0 伝えられる	3.7あまり伝えられない
9.7 いくらか困難であるが、伝えられる	0.2 ほとんど伝えられない

NA=1.3 N=1,744



問 32 介護認定を受けていない人を対象に、生活機能の低下を予防するために次のようなサービスが考えられます。対象になった場合にあなた(あて名ご本人)が利用したいと思うサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

33.4 筋力トレーニング、転倒骨折予防	7.0 義歯調節や歯磨き指導、口腔ケア
38.9 健康体操教室(健康のための軽い運動などを実施)	6.8 買物の同行や家事をいっしょにする家事援助
20.3 ウォーキング教室	4.5 閉じこもり予防
13.9 プール教室(プールの中で歩行や軽いストレッチ運動を行う)	19.8 認知症予防のための教室
12.0 食事改善、低栄養予防指導	0.5 その他
	28.0 特に利用したいと思うものはない

NA=8.0 N=1,744

**地域包括支援センターについて**

問 33 あなた(あて名ご本人)は、ご自身の地域の地域包括支援センターをご存知ですか。(1つに○)

27.4 知っている	66.7 よくわからない
------------	--------------

NA=6.0 N=1,744

「1. 知っている」と回答された方にお伺いします。

問 33-1 あなた(あて名ご本人)は、地域包括支援センターを利用していますか。(1つに○)

15.9 利用している	83.9 利用していない
-------------	--------------

NA=0.2 N=477

【すべての方にお伺いします。】

**介護保険制度全般について**

問 34 あなた(あて名ご本人)に介護が必要な状態になった場合、どのような介護を望まれますか。(1つに○)

5.8 家族のみによる介護	19.2 老人ホームなどの介護施設に入所
47.2 介護保険を利用しながらの在宅介護	24.9 よくわからない

NA=2.9 N=1,744

問 35 「介護保険制度」についてどのようなことを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

65.1	介護サービスを受けるには、要介護認定を受ける必要がある
21.2	身体状況が変化した場合は、更新期間前でも要介護認定を受け直すことができる
44.0	介護状態により要支援1・2、要介護1～5の7段階あり、それぞれサービス利用限度額が決まっている
34.9	要支援と要介護では、利用できるサービスの種類に違いがある
8.6	要支援や要介護状態となる手前の段階で対応する介護予防の取り組みがある
21.3	ケアプランは、原則として要支援の人に対しては地域包括支援センター、要介護の人に対しては、居宅介護支援事業所のケアマネジャーが担当する
20.8	ケアプランは変更することができる
21.4	サービス提供事業者は自由に選ぶことができる
6.5	介護事業者の特徴を比較できるように、介護サービス情報の公表制度がある
23.6	サービスを利用する際には、事業者との契約が必要である
9.1	地域包括支援センターでは、権利擁護等に関する相談も行っている
30.2	利用者は、サービスを利用する際に費用の1割を負担する(一定以上所得者は2割)
33.4	40歳以上の人介護保険料を負担する
15.2	どれも知らない

NA=14.2 N=1,744

問 36 あなた(あて名ご本人)の介護保険料(年間)はおおよそいくらですか。(1つに○)

番号に○	年額保険料	
10.7 第1段階	25,540円	生活保護を受給しているかた 老齢福祉年金の受給者で、本人及び世帯全員が住民税非課税のかた 本人及び世帯全員が住民税非課税で、前年の合計所得金額と課税年金収入額が80万円以下のかた
6.8 第2段階	41,580円	本人及び世帯全員が住民税非課税で、前年の合計所得金額と課税年金収入額が80万円を超え、120万円以下のかた
4.9 第3段階	44,550円	本人及び世帯全員が住民税非課税で、前年の合計所得金額と課税年金収入額が120万円を超えるかた
8.5 第4段階	50,490円	本人は住民税非課税(世帯に課税者がいる)で、前年の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下のかた
8.6 第5段階 (基準額)	59,400円	本人は住民税非課税(世帯に課税者がいる)で、前年の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円を超えるかた
5.9 第6段階	65,340円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が125万円未満のかた
4.9 第7段階	74,250円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が125万円以上150万円未満のかた

(次ページに続きます)

番号に○	年額保険料	
5.4 第8段階	83,160 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 150 万円以上 200 万円未満のかた
4.0 第9段階	89,100 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 200 万円以上 250 万円未満のかた
3.8 第10段階	95,040 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 250 万円以上 300 万円未満のかた
1.3 第11段階	100,980 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 300 万円以上 350 万円未満のかた
1.3 第12段階	106,920 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 350 万円以上 400 万円未満のかた
0.8 第13段階	112,860 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 400 万円以上 450 万円未満のかた
0.7 第14段階	118,800 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 450 万円以上 500 万円未満のかた
0.8 第15段階	124,740 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 500 万円以上 600 万円未満のかた
0.9 第16段階	130,680 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 600 万円以上 800 万円未満のかた
1.1 第17段階	136,620 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 800 万円以上のかた
12.2 わからない		

NA=17.2 N=1,744

問 37 あなた(あて名ご本人)は、介護保険料については妥当だと思いますか。(1つに○)

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1.5 どちらかという安い金額だと思う | 39.0 どちらかという高い金額だと思う |
| 15.7 おおむね妥当だと思う     | 30.8 わからない           |

NA=13.0 N=1,744

問 38 介護保険料の額は、3年に1度見直すことになっています。川口市において、介護保険サービスを利用する人の割合が増えたり、1人当たりのサービス額が増えたりすると、65歳以上の人の保険料額が高くなる仕組みになっていますが、あなた(あて名ご本人)はこうした仕組みについて知っていますか。(1つに○)

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 3.4 よく理解している    | 29.5 あまり理解していない  |
| 17.8 だいたい理解している | 29.6 ほとんど理解していない |
| 8.6 どちらともいえない   |                  |

NA=11.1 N=1,744

問 39 今後の介護保険料と介護サービスの整備のあり方について、あなた(あて名ご本人)の考えに最も近いものは以下のどれですか。(1つに○)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 14.1 介護サービスの量が多少減っても保険料を引き下げるべき     |
| 21.3 現状の保険料水準を維持し、サービス量も現状のままでよい    |
| 10.1 保険料が多少高くなっても、サービスの量や内容を充実させるべき |
| 42.1 わからない                          |

NA=12.4 N=1,744

## 介護保険以外の高齢者福祉サービスについて

問 40 あなた（あて名ご本人）は、高齢者福祉に関する情報は、主にどこから得ていますか。  
（3つまでに○）

6.1 市の窓口・電話	3.2 介護事業者・施設等	36.5 テレビ・ラジオ・新聞
5.4 地域包括支援センター	11.8 家族	2.6 インターネット
38.0 広報かわぐち	3.7 民生委員	1.4 その他
3.1 社会福祉協議会	4.7 町会の人	〔                                    〕
4.0 介護支援専門員(ケアマネ)	16.7 友人・知人	17.5 どこからも得ていない

NA=8.7 N=1,744

問 41 あなた（あて名ご本人）は、川口市で実施している高齢者福祉サービスのうち、今後3年間くらいの間にご利用したいサービスはありますか。（あてはまるものすべてに○）

9.5 自立支援（ヘルパー派遣）	11.7 配食サービス
6.8 自立支援（福祉用具貸与）	4.6 ねたきり高齢者等紙おむつ支給
4.5 軽度生活支援（草取り等）	6.9 認知症高齢者相談
5.7 日常生活用具の給付（シルバーカー、杖等）	7.1 住宅改善整備費補助
2.7 福祉電話の貸与（固定電話）	3.3 世帯住替家賃助成（家賃助成）
11.3 緊急通報システム	1.9 入居保証支援（保証会社の紹介）
4.6 寝具乾燥消毒	39.7 利用したいものはない

NA=21.5 N=1,744

問 42 あなた（あて名ご本人）は川口市老人福祉センター「たたら荘」を利用していますか。  
（1つに○）

5.7 利用している
80.5 利用したことがない
5.5 以前に利用したことはあるが、今は利用していない

NA=8.3 N=1,744

**「2」または「3」と回答された方にお伺いします。**

問 42-1 利用していないのはなぜですか。（あてはまるものすべてに○）

11.5 場所がわからないから	5.1 体調や体力が続かないから
10.1 遠くて行くのが難しいから	42.5 「たたら荘」自体をよく知らないから
13.2 やりたい活動がないから	14.1 その他
10.7 雰囲気が好きでないから	〔                                    〕

NA=15.2 N=1,500

## 【すべての方にお伺いします。】

高齢化社会が進み、今後も認知症の方が増えると予想されています。認知症を発症しても本人に代わり財産管理をしたり、療養看護を任せる成年後見制度についてお伺いします。

問 43 あなた（あて名ご本人）の判断能力が不十分になったら金銭管理や様々なサービスの手続きをどうされますか。（1つに○）

83.1 配偶者や子どもに願います	1.9 成年後見制度などを利用する
4.7 その他の親族に願います	1.1 その他〔具体的に〕

NA=9.1 N=1,744

問 43-1 成年後見制度は、成年後見人等（弁護士・司法書士等）が、法律に基づいた支援を行うことをご存じですか。（1つに○）

18.8 よく知っている	41.0 少し知っている	29.9 知らない
--------------	--------------	-----------

NA=10.3 N=1,744

問 43-2 あなた（あて名ご本人）は、成年後見人を選ぶ場合、いつ選びますか。（1つに○）

40.6 自分の意思のあるうちに選ぶ	44.0 わからない
1.4 認知症になってから選ぶ	

NA=13.9 N=1,744

問 43-3 川口市成年後見センターが、成年後見制度利用の相談や市民後見人の養成を行っていることをご存知ですか。（1つに○）

2.6 よく知っている	10.7 少し知っている	76.3 知らない
-------------	--------------	-----------

NA=10.4 N=1,744

問 44 あなた（あて名ご本人）は、地震・火災や風水害などが起こった際に、頼れる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

45.5 配偶者	13.6 友人・知人	0.8 その他
67.7 子ども	18.7 となり近所の人	〔具体的に〕
20.7 その他の家族・親族	4.7 民生委員	5.3 頼れる人はいない

NA=6.0 N=1,744

問 45 自然災害等により、高齢者が被害に遭うケースが多くなる中、地域の高齢者等の把握が個人情報保護法との関係で課題となっています。災害発生時の援助活動の為に、名簿等に登録するとしたら、あなた（あて名ご本人）は登録したいと思いますか。（1つに○）

45.0 是非登録したい	7.3 登録したくない	38.6 わからない
--------------	-------------	------------

NA=9.2 N=1,744

問 46 今後、川口市が取り組むべきこととして、次のうちどれを優先すべきだと思いますか。  
(3つまでに○)

- 44.4 自宅での介護を支援するサービスの充実
- 21.5 健康診査などの保健医療サービスの充実
- 26.1 常時介護が必要な方のための施設の整備
- 12.0 病院から家庭へ復帰するためのリハビリを行う施設の整備
- 14.4 認知症の方に対する支援
- 12.8 元気な方のための健康増進や教養の向上のための事業
- 11.2 介護予防や認知症予防などの介護を予防するための事業
- 13.8 高齢者のための住宅整備、住宅改造の資金援助等、住宅に関する事業
- 11.9 介護に関する相談等、相談体制の充実
- 8.3 高齢者の就労や社会活動参加の支援
- 37.8 介護する家族に対する支援
- 19.4 段差解消や歩道整備など安全なまちづくり
- 0.9 その他〔具体的に

NA=12.6 N=1,744

問 47 最後に、高齢者保健・福祉・介護について、ご意見・要望がありましたら、ご自由にお書きください。なお、記入いただく際、内容の表題を合わせてご記入いただければ幸いです。

【 \_\_\_\_\_ 】について

ご協力ありがとうございました。返信用封筒に入れて  
1月26日(木)までにご返送ください。

# 在宅サービス利用者 アンケート調査

日頃から、皆様には川口市行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
本市では、平成30年4月からの3年間を計画期間とする「川口市第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定作業の準備を進めております。

この計画は、高齢者の皆様が住み慣れた地域において、自分らしく安心して暮らし続けることのできるまちづくりの施策の指針ともなるものであります。

このアンケート調査は、自宅で暮らしながら介護保険サービスを利用されている市民のうち2,000人を対象に、健康や介護に関する状況、介護保険サービスなどについてのご感想、ご意向などをお伺いし、計画見直しの重要な資料とするために実施するものです。

なお、調査結果は統計的に処理し、個人を特定することはいたしませんのでご迷惑をおかけすることはありません。

ご多用のところ、お手数をおかけしますが、調査の趣旨を充分ご理解いただき、ご協力くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

平成29年1月

川口市長 奥ノ木 信夫

## ご記入の前に .....

1. この調査は、平成29年1月1日(基準日)現在の状況について、記入又はあてはまるものの番号に○をつけてください。
2. この調査は、自宅で介護保険サービスを利用されている方を対象とします。設問文の「あなた」とは、封筒の宛名の方をさします。できる限りご本人がお答えください。なお、一部、介護者の方にお答えいただく設問があります。
3. あなた(ご本人：封筒のあて名の方)は現在、どちらに住んでいますか。(1つに○)

92.3 ご自宅(ショートステイ利用者含む) 2.9 市内の親族等の家 ----- 1.4 有料老人ホーム・ケアハウス 1.3 病院、診療所入院中 0.6 福祉施設等入所中 0.2 市外に転出した 0.3 市内在住で以前は利用していたが、平成29年1月は利用していない 0.5 グループホーム・高齢者アパート 0.3 その他〔具体的に	} 次ページ以降の質問へお進みください。  アンケートは終了です。次ページ以降の設問にお答えいただく必要はありません。ご協力ありがとうございました。 同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに投函してください。
--	---

NA(無回答、以下同じ)=0.3 N(回答母数、以下同じ)=1,327

4. 同封の返信用封筒(切手不要)に、ご記入いただいた調査票を入れて、

**平成29年1月26日(木)**までにご返送ください。

5. お問い合わせ先

川口市 介護保険課 電話 048-258-1110(内線2151)

長寿支援課 電話 048-258-1110(内線2167)

あて名のご本人（あなた）及びご家族等について

問1 あなた（あて名ご本人）のお住まいの地区をお選びください。（1つに〇）

あ	か	0.5 芝樋ノ爪1～2丁目	0.6 大字東内野
1.5 青木1～5丁目	0.7 金山町	0.8 芝富士1～2丁目	0.2 大字東貝塚
0.6 赤井1～4丁目	3.2 上青木1～6丁目	0.3 芝宮根町	1.9 東川口1～6丁目
0.5 大字赤井	2.1 上青木西1～5丁目	1.3 末広1～3丁目	0.5 東本郷1～2丁目
0.2 大字赤芝新田	0.8 川口1丁目	た	1.9 大字東本郷
0.7 大字赤山	1.9 川口2～6丁目	0.0 長蔵1～3丁目	0.6 東領家1～5丁目
2.7 朝日1～6丁目	0.0 河原町	0.0 大字長蔵新田	0.1 舟戸町
1.0 大字新井宿	0.8 大字木曾呂	0.6 大字辻	1.7 本町1～4丁目
0.2 新井町	1.0 北園町	0.4 大字藤兵衛新田	0.4 本蓮1～4丁目
0.0 荒川町	1.0 北原台1～3丁目	1.2 戸塚1～6丁目	0.7 本前川1～3丁目
0.1 大字安行	0.2 大字久左衛門新田	0.0 大字戸塚	ま
0.2 大字安行北谷	0.0 大字行衛	0.6 戸塚境町	0.5 前上町
0.2 大字安行吉蔵	0.6 大字源左衛門新田	0.4 戸塚峯町	2.1 前川1～4丁目
0.1 大字安行小山	0.5 大字神戸	1.3 戸塚東1～4丁目	0.2 前川町3～4丁目
1.3 大字安行慈林	0.6 大字小谷湯	0.6 戸塚南1～5丁目	0.2 大字前野宿
0.2 大字安行藤八	さ	な	1.1 大字道合
0.5 安行出羽1～5丁目	0.2 在家町	1.4 中青木1～5丁目	0.5 三ツ和
0.0 大字安行西立野	1.2 幸町1～3丁目	0.2 仲町	0.2 緑町
1.0 大字安行原	1.0 栄町1～3丁目	1.6 並木1～4丁目	2.9 南鳩ヶ谷1～8丁目
0.4 大字安行吉岡	1.1 坂下町1～4丁目	0.2 並木元町	0.6 南町1～2丁目
0.6 大字安行領家	1.2 桜町1～6丁目	0.9 大字新堀	1.0 南前川1～2丁目
0.1 大字安行領在家	1.3 差間1～3丁目	0.4 新堀町	1.4 大字峯
2.1 大字安行領根岸	0.4 大字差間	1.6 西青木1～5丁目	0.1 宮町
2.4 飯塚1～4丁目	1.2 大字里	0.6 大字西新井宿	2.8 元郷1～6丁目
0.5 飯原町	1.8 芝1～5丁目	1.2 西川口1～6丁目	や
0.8 大字伊刈	1.5 大字芝	0.7 大字西立野	1.9 柳崎1～5丁目
1.0 大字石神	0.7 芝下1～3丁目	は	0.6 柳根町
0.3 江戸1～3丁目	0.4 芝新町	0.2 榛松1～3丁目	0.3 弥平1～4丁目
0.5 江戸袋1～2丁目	0.6 芝園町	0.2 大字榛松	ら
0.3 大字大竹	0.1 芝高木1～2丁目	0.0 大字蓮沼	1.2 領家1～5丁目
	0.3 芝塚原1～2丁目	0.9 八幡木	
	1.1 芝中田1～2丁目	1.0 鳩ヶ谷本町1～4丁目	0.0 大字前田
	0.7 芝西1～2丁目	目	
	0.1 芝東町	0.2 鳩ヶ谷緑町	
		0.4 原町	

NA=6.7 N=1,263



問2 あなた(あて名ご本人)の性別は。(1つに○)

39.0 男性	59.5 女性
---------	---------

NA=1.5 N=1,263

問3 平成29年1月1日現在のあなた(あて名ご本人)の年齢は。(1つに○)

18.8 65~69歳	20.5 75~79歳	12.5 85~89歳
19.6 70~74歳	20.3 80~84歳	7.5 90歳以上

NA=0.8 N=1,263

問4 平成29年1月1日現在のあなた(あて名ご本人)の世帯状況は。(1つに○)

21.5 ひとり暮らし	22.0 未婚の子どもと同居
30.7 夫婦ふたり暮らし	1.6 高齢者のみ(高齢の親や兄弟と同居)
20.8 子どもの家族と同居	2.5 その他〔具体的に〕

NA=0.8 N=1,263

問5 あなた(あて名ご本人)のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

66.1 持ち家の戸建て住宅 (借地に持ち家の場合も含む)	3.2 公営住宅 (UR、県営、市営、公社等)	1.2 その他 〔 〕
13.5 持ち家の集合住宅 (分譲マンション等)	15.5 民間賃貸住宅 (アパート、マンション等)	

NA=0.5 N=1,263

## 日常生活や身の回りのことについて

問6 あなた(あて名ご本人)は、散歩や買い物、通院、仕事などで外出する割合はどのくらいですか。(1つに○)

20.0 ほとんど毎日	15.4 週に1回程度	3.8 2、3か月に1回程度
31.6 2、3日に1回程度	15.6 月に1~2回程度	11.9 ほとんど出かけない

NA=1.8 N=1,263

問7 あなた(あて名ご本人)は、平日の日中はご自宅にいますか。(1つに○)

45.8 ひとりであることが多い	11.2 普段の平日は家にいないことが多い
40.0 家族または友人などといることが多い	

NA=2.9 N=1,263

問8 あなた(あて名ご本人)は、ご家族以外の方と会話をする割合はどのくらいですか。(1つに○)

31.6 ほとんど毎日	13.7 週に1回程度	0.6 2、3か月に1回程度
41.8 2、3日に1回程度	4.5 月に1~2回程度	6.2 ほとんど話をしない

NA=1.6 N=1,263

問9 あなた（あて名ご本人）は現在、何か悩み事がありますか。（あてはまるものすべてに○）

64.1 自分の健康について	9.9 年金や相続について
14.0 家族について	3.5 その他〔 〕
4.0 人間関係について	19.9 特に悩み事はない

NA=8.0 N=1,263

「1」～「5」と回答された方にお伺いします。

問9-1 悩み事について、誰かに相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

56.0 家族	33.8 医師・看護師・保健師・薬剤師・カウンセラー
9.0 友人	0.8 弁護士・公認会計士などの専門家
2.0 民生委員・町会の人	7.4 地域包括支援センター
40.3 ケアマネジャー・ホームヘルパー	0.7 その他〔 〕
	11.4 誰にも相談していない

NA=4.1 N=911

【すべての方にお伺いします。】

**あなた（あて名ご本人）の身体と健康について**

問10 現在のあなた（あて名ご本人）の、健康状態をどのように感じていますか。（1つに○）

2.5 健康	23.8 まあ健康	45.8 あまり健康でない	23.4 健康ではない
--------	-----------	---------------	-------------

NA=4.6 N=1,263

「3」または「4」と回答された方にお伺いします。

問10-1 医療機関で治療中又は服薬中の病気・けがはありますか。（1つに○）

97.8 ある	1.9 ない
---------	--------

NA=0.2 N=874

「1」と回答された方にお伺いします。

問10-2 どのような病気・けがですか。（あてはまるものすべてに○）

46.4 高血圧症	23.4 脳卒中	11.1 耳や鼻の病気（難聴など）
14.3 脂質異常症 （高コレステロール血症・ 中性脂肪方など）	（脳出血、脳梗塞など） 12.4 狭心症・心筋梗塞	15.8 歯の病気（歯周病）
26.5 糖尿病	24.8 目の病気（白内障など）	11.0 骨折・外傷
3.6 動脈硬化症	9.0 胃腸の病気 （胃炎、肝炎など）	15.4 認知症
24.7 腰痛症	20.5 泌尿器の病気	23.0 その他 〔具体的に 〕
12.4 関節症・リウマチ	（腎臓病、前立腺肥大など）	
7.5 肩こり症	11.7 呼吸器の病気 （ぜん息など）	
18.7 骨粗しょう症		

NA=0.6 N=855

**【すべての方にお伺いします。】**

問 11 現在、通院又は往診等で診療を受けていますか。(2つまでに○)

93.7 通院している	22.3 往診を受けている	1.5 いずれも行っていない
NA=1.0 N=1,263		

→ **問 11 で「1. 通院している」または「2. 往診を受けている」と回答された方のみ**

問 11-1 医療機関(病院・医院・診療所等)にはどのくらいの頻度で、通院又は往診を受けていますか。(1つに○)

5.8 週1回	50.6 月1回	13.6 数か月に1回程度
8.4 週2回以上	17.9 月2回程度	1.8 定期的ではない
NA=2.0 N=1,231		

**問 11 で「1. 通院している」と回答された方のみ**

問 11-2 通院で受けている診療科目は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

70.4 内科	16.7 歯科	15.5 神経内科
10.1 外科	25.3 眼科	11.3 その他
15.3 循環器科	8.8 皮膚科	[ ]
30.8 整形外科	4.6 耳鼻いんこう科	
NA=1.4 N=1,183		

**11 で「2. 往診を受けている」と回答された方のみ**

問 11-3 往診で受けているものは、どのような内容ですか。あてはまる番号に○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

6.0 点滴	7.1 導尿の管理(カテーテル、自己)
6.0 経管栄養(胃ろう等)	1.8 気管切開の処置
3.2 酸素療法	9.6 インスリンの自己注射
3.9 じょくそう(床ずれ)の処置	32.6 痛みに対する管理(注射、湿布、薬等)
1.8 人工呼吸器	34.4 その他 [ ]
NA=11.3 N=282	

**【すべての方にお伺いします。】**

問 12 あなた(あて名ご本人)は、半年前に比べて、食事量の変化がありましたか。(1つに○)

57.8 変化なし	7.4 食べる量が増えた
24.1 食べる量が減った	3.1 わからない
6.3 体重管理のため食べる量を減らしている	
NA=1.4 N=1,263	

問 13 あなた(あて名ご本人)は、自分の歯は何本ありますか。入れ歯、インプラントは含みません。(差し歯は含みます。)(1つに○)

19.2 まったくない	12.0 16~20本
16.5 1~5本	12.8 21~25本
12.5 6~10本	8.8 26~28本
8.6 11~15本	5.7 29本以上
NA=4.0 N=1,263	

問 14 あなた（あて名ご本人）の現在の歯ぐき・口の状態についてお答えください。  
（あてはまるものすべてに○）

7.0 歯ぐきが腫れている	7.1 歯周病といわれ治療している
7.4 歯を磨いたときに血が出る	18.4 抜けたままにしている歯がある
9.9 歯ぐきが下がって歯の根が出ている	9.9 むし歯がある
6.7 歯がぐらぐらする	35.2 あてはまるものはない
18.5 入れ歯が合わない	

NA=8.9 N=1,263

問 15 あなた（あて名ご本人）は、噛んで食べる時の状態はいかがですか。（1つに○）

29.5 何でも、噛んで食べることができる	15.0 あまり噛めないの、食べものが限られて
50.8 噛みにくいものもあるが、たいていのも のは食べられる	いる 2.6 ほとんど噛めない

NA=2.1 N=1,263

【問 16～問 19 は、認知機能に関する簡単なアンケート項目です。普段のことについてご記入ください。】

問 16 あなた（あて名ご本人）は、その日の活動（食事をする、衣服を選ぶ等）を自分で判断できますか。（1つに○）

46.8 困難なくできる	12.0 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要
31.0 いくらか困難であるが、できる	7.3 ほとんど判断できない

NA=3.0 N=1,263

問 17 あなた（あて名ご本人）は、5分前のことが思い出せますか。（1つに○）

75.1 思い出せる	20.3 思い出せない
------------	-------------

NA=4.5 N=1,263

問 18 あなた（あて名ご本人）は、人に自分の考えをうまく伝えられますか。（1つに○）

51.1 伝えられる	11.8 あまり伝えられない
29.7 いくらか困難であるが、伝えられる	5.2 ほとんど伝えられない

NA=2.2 N=1,263

問 19 あなた（あて名ご本人）は、食事を自分で食べられますか。（○は1つ）

81.4 食べられる	13.5 おかずを切ってもらう等介助があれば食べられる	3.0 食べられない
------------	-----------------------------	------------

NA=2.1 N=1,263

問 20 あなた（あて名ご本人）は、外出することについてどのようにお考えですか。

（あてはまるものすべてに○）

17.7 特に負担には感じない
22.9 外出は、なんとなくおっくうである・好きではない
15.1 行く場所や用事もないので外出したいとは思わない
21.7 外出するより、家にいて過ごす方が好き
10.9 交通が不便なので、外出するのが負担に感じる
10.7 自宅の周りに坂や段差が多いので、外出するのが負担に感じる
41.6 身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくてもできない
3.3 その他〔 〕

NA=5.9 N=1,263

**あなた(あて名ご本人)の身体の要介護状態について**

問 21 平成 29 年 1 月 1 日現在のあなた(あて名ご本人)の要介護度はいくつですか。(1つに○)

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 16.1 要支援1 | 22.2 要介護2 | 5.1 要介護5  |
| 16.7 要支援2 | 11.3 要介護3 | 0.3 わからない |
| 19.1 要介護1 | 7.8 要介護4  |           |

NA=1.4 N=1,263

問 22 「身体障害者手帳」に記載された障害の程度をお答えください。(1つに○)

- |         |        |        |                                    |
|---------|--------|--------|------------------------------------|
| 11.5 1級 | 5.2 3級 | 1.3 5級 | 36.2 手帳は持っていない ⇒問 23 へ<br>お進みください。 |
| 9.3 2級  | 5.1 4級 | 0.7 6級 |                                    |

NA=30.6 N=1,263

**問 22 で「1」～「6」にお答えの方にお伺いします。**

問 22-1 身体障害者手帳に記載されている障害は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |
|---|
| 6.0 視覚障害  |
| 4.1 聴覚障害  |
| 3.8 平衡機能障害  |
| 4.8 音声機能・言語機能又は、そしゃく機能の障害                         |
| 63.0 肢体不自由<br>(上肢、下肢、体幹、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害) |
| 20.5 心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう又は、直腸、小腸、肝臓の機能の障害             |
| 3.6 その他 [ ]                                       |

NA=7.6 N=419

**【すべての方にお伺いします。】**

問 23 あなた(あて名ご本人)は、現在の自分の要介護度の判定結果についてどのようにお考えですか。(1つに○)

- |              |             |            |
|--------------|-------------|------------|
| 11.9 低いと思う   | 53.1 適正だと思う | 0.5 高いと思う  |
| 11.6 やや低いと思う | 1.6 やや高いと思う | 18.2 わからない |

NA=3.1 N=1,263

**あなた(あて名ご本人)の介護サービスの利用状況について**

- 問 24 ① 平成 29 年 1 月 1 日現在、利用している介護保険サービスは次のうちどれですか。  
 ② 今後 3 年間くらいの間、新たに利用したい又は継続したい介護保険サービスはありますか。  
 ※ 要支援の方を対象とするサービスは、「介護予防訪問介護」など、正式名称には「介護  
 予防」がつきますが省略して表記しています。

(それぞれあてはまる番号すべてに○)	① 現在利用して いる	② 今後新たに、 または継続し て利用したい
ア. 訪問介護（ホームヘルプ）	41.1	12.9
イ. 訪問入浴介護	6.8	5.8
ウ. 訪問看護	11.6	7.4
エ. 訪問リハビリテーション	9.1	7.4
オ. 居宅療養管理指導	2.9	2.4
カ. 通所介護（デイサービス）	64.4	24.9
キ. 通所リハビリテーション（デイケア）	20.7	14.3
ク. 短期入所生活介護（福祉施設のショートステイ）	9.5	9.9
ケ. 短期入所療養介護（医療施設等のショートステイ）	1.1	3.6
コ. 福祉用具貸与	42.3	23.3
サ. 福祉用具購入	17.7	9.4
シ. 住宅改修	13.9	6.5
ス. 特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム、ケアハウス）	0.1	3.3
セ. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1.4	1.9
ソ. 夜間対応型訪問介護	0.8	1.9
タ. 認知症対応型通所介護	0.7	2.6
チ. 小規模多機能型居宅介護（1 か所で通所、訪問、泊まりの各サービスを提供）	0.4	2.5
ツ. 看護小規模多機能型居宅介護	0.2	0.8
テ. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	0.0	1.6
ト. 地域密着型通所介護（18 人以下の小規模な通所介護）	1.5	1.5
ナ. 地域密着型特定施設入居者生活介護 （29 人以下の小規模な特定施設入居者生活介護）	0.2	1.0
ニ. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 （29 人以下の小規模な特別養護老人ホーム）	0.0	2.6
又. あてはまるものはない	0.2	1.0

（現在利用 NA=4.2 N=1,263）（今後利用・継続意向 NA=46.4 N=1,263）

問25 現在利用している介護サービス事業者をどのようにして選びましたか。(あてはまるものすべてに○)

6.5 パンフレットなどの情報で	5.1 サービスの利用を勧められた事業者
7.7 サービスを利用している友人の話を聞いて	9.7 その他〔 〕
71.6 ケアマネジャーと相談して	2.5 わからない

NA=6.0 N=1,263

問26 介護サービスを利用するにあたって、内容や費用等の説明を受けましたか。(1つに○)

55.7 十分に説明を受けた	0.8 説明を受けていない
31.4 ある程度の説明を受けた	2.8 わからない
2.9 あまり説明を受けていない	

NA=6.5 N=1,263

問27 介護支援専門員(ケアマネジャー)は、どのようにケアプランを作成していますか。(1つに○)

72.8 毎月1回以上、ケアマネジャーの訪問を受け、相談して作成している	9.2 サービスは毎月変わらないので、ほとんど相談することはない
9.3 数か月に1度訪問を受けるが、電話で話をして作成している	1.1 その他〔 〕
	2.1 よくわからない

NA=5.5 N=1,263

問28 サービス事業者やケアマネジャーに対して、自分の希望や改善してほしいことを、言いやすいですか。(1つに○)

62.4 誰にでも何でも言いやすい	1.0 その他
19.3 責任者やスタッフのいずれかの人には言える	〔 〕
3.4 いつも忙しそうなので、言いにくい	6.7 特に希望や改善してほしい点はない

NA=7.2 N=1,263

**【問24 ①で「ア. 訪問介護(ホームヘルプ)」「カ. 通所介護(デイサービス)」を回答された方にお伺いします。どちらも利用されていない方は、問33へお進みください。】**

**【訪問介護(ホームヘルプ)を利用されている方にお伺いします。】**

問29 利用種類をお答えください。(1つに○)

40.1 生活援助(清掃、調理、洗濯等)のみ
20.8 身体介護(入浴、食事、排泄介助等)のみ
16.8 生活援助と身体介護

NA=22.4 N=519

問29-1 利用回数をお答えください。(1つに○)

23.1 週1回程度	28.1 週2回程度	14.5 週3回程度	18.7 週4回以上
------------	------------	------------	------------

NA=15.6 N=519

問 30 訪問介護（ホームヘルプ）を利用した感想はいかがですか。（1つに○）

41.8 満足

38.5 普通

2.1 不満

NA=17.5 N=519

問 30-1 具体的に改善してほしいことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

7.7 希望の曜日・時間に利用できるようにしてほしい

2.5 トイレや入浴の介助など、安全面の配慮や介護の質を良くしてほしい

2.7 食事の味付けやメニューなどを充実してほしい

5.0 掃除や洗濯などを丁寧にしてほしい

10.0 生活援助等の利用の幅を拡げてほしい

4.4 時間に遅れたり、予定より早く切り上げるので、時間を守ってほしい

0.8 ヘルパーの言葉遣いを丁寧にしてほしい

3.7 話を聞いてくれたり、相談にのってほしい

1.9 その他〔

〕

44.9 特に改善してほしい点はない

NA=29.1 N=519

**【通所介護(デイサービス)を利用されている方にお伺いします。】**

問 31 利用回数をお答えください。（1つに○）

21.3 週1回程度

36.0 週2回程度

23.6 週3回程度

13.5 週4回以上

NA=5.7 N=814

問 32 通所介護（デイサービス）を利用した感想はいかがですか。（1つに○）

47.2 満足

44.5 普通

2.3 不満

NA=6.0 N=814

問 32-1 具体的に改善してほしいことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

6.3 希望の曜日・時間に利用できるようにしてほしい

3.7 トイレや入浴の介助など、安全面の配慮や介護の質を良くしてほしい

7.0 食事の味付けやメニューなどを充実してほしい

7.2 レクリエーションの内容を充実してほしい

17.2 機能訓練の内容や身体を動かすことを充実してほしい

1.2 スタッフの言葉遣いを丁寧にしてほしい

4.7 話を聞いてくれたり、相談にのってほしい

4.1 その他〔

〕

46.9 特に改善してほしい点はない

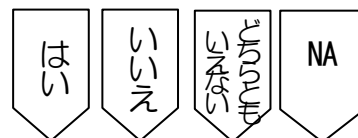
NA=20.5 N=814



【すべての方にお伺いします。】

問 33 介護保険サービスを利用したことにより、あなた（あて名ご本人）自身の体や気持ちの変化について感じることをお答えください。それぞれについて、お答えください。

(それぞれ1つに○)



身体の機能が向上した	32.9	12.7	34.3	20.2
調理・掃除など、自分でできることが増えた	11.2	27.9	32.1	28.8
出かけるなど、生活の楽しみが増えた	27.9	17.1	28.5	26.4
家族や他人と話をすることが多くなった	38.5	9.8	26.3	25.4
家族や身内の介護負担が減り、ゆとりができた	31.0	11.6	31.0	26.4

N=1,263

問 34 介護保険サービスの月額利用料金（食事代等実費負担分を除く1～2割負担分）は、おおよそいくらですか。直近の請求書等を参考に、具体的に数値で記入してください。

約 12,131.4 円  
NA=28.3 N=1,263

問 35 あなた（あて名ご本人）は、月額利用料金は妥当だと思いますか。（1つに○）

8.3 どちらかという安い金額だと思う	11.6 どちらかという高い金額だと思う
45.6 おおむね妥当だと思う	22.6 わからない

NA=12.0 N=1,263

問 36 あなた（あて名ご本人）は、今後1年間、現在と比べて、全体として介護サービスの利用回数や利用時間をどのようにしたいと考えていますか。（1つに○）

17.6 増やしたい	3.6 減らしたい	52.3 変えない	16.9 わからない
------------	-----------	-----------	------------

NA=9.6 N=1,263

問 37 あなた（あて名ご本人）が安心して在宅で生活をするためには、現在の介護サービス以外に、必要なサービスがありますか。（あてはまるものすべてに○）

6.8 夜間にも自宅でホームヘルプや看護が受けられること	13.9 自分の希望に応じて外出支援のサービスを受けられること
11.6 自宅に医師が訪問して診療してくれること	25.7 介護者の入院など緊急時に入所可能なショートステイが利用できること
12.1 通所介護などで、希望すれば白まれること	1.3 その他
12.8 入浴のみ、食事のみ、リハビリのみなど、短時間の通所サービスが受けられること	[ ]
	34.1 現在のサービスでよい

NA=18.1 N=1,263

問 38 現在、介護保険施設に入所（入院）の申し込みをしていますか。何か所の施設に申し込んでいますか。（あてはまるものすべてに○、施設数は数字を記入してください）

1.7 特別養護老人ホームに申し込みをしている ⇒ 問 39 へお進みください。	
1.0 老人保健施設に申し込みをしている	→ [ 1.0 か所 ]
0.3 療養型医療施設に申し込みをしている	→ [ 1.0 か所 ]
74.3 特に申し込みはしていない	

NA=22.6 N=1,263

老人保健施設 NA=7.7 N=13  
療養型医療施設 NA=25.0 N=4

**特別養護老人ホームへの入所申し込みについて**

【 現在、特別養護老人ホームへの入所を申し込んでいる方にお伺いします。  
その他の方は問 42 へお進みください。】

問 39 最初に特別養護老人ホームに申し込みをしたのはいつですか。（1つに○）

47.6 半年以内	14.3 半年～1年前	14.3 1年～2年前	14.3 2年以上前
-----------	-------------	-------------	------------

NA=9.5 N=21

問 39-1 申し込み時点のご本人の要介護度は、どのような状態でしたか。（1つに○）

42.9 要介護3	23.8 要介護4	19.0 要介護5	4.8 その他
-----------	-----------	-----------	---------

NA=9.5 N=21

問 39-2 どちらの場所にある特別養護老人ホームへの入所を希望しますか。（1つに○）

42.9 現在の住まいの近くにある施設だけを希望する	0.0 埼玉県内の施設であればかまわない
38.1 川口市内の施設であればかまわない	4.8 埼玉県外の施設も含めて希望する

NA=14.3 N=21

問 39-3 特別養護老人ホームに入所の申し込みをした理由は何ですか。（3つまでに○）

28.6 専門的な介護が受けられて、安心して生活ができるため
38.1 すぐには入所できないので、早めに申し込みをしておく必要があるため
23.8 今の在宅での生活を続けたいが、先々の心配があるため
9.5 在宅では施設より金銭的な負担が大きい
9.5 ご本人が入所を希望しているため
4.8 在宅では経済的に生活が続けられないと思うため
4.8 他の施設より安い
9.5 同居者の中に他にも要介護者または障害者・病気にかかっている人・乳幼児等があり、介護に負担がかかるため
0.0 他の施設に入院・入所中だが、退院・退所の期限があるため
14.3 要介護度が重い、認知症、食事・排泄ができないなど、介護の必要性が高くなったため
4.8 介護者がいない
28.6 介護者が高齢や病気がちで健康状態が良くない
33.3 介護者の精神的ストレスが大きい
19.0 在宅での生活を続けるには、住まいの環境が良くない
4.8 その他 [ ]

NA=0.0 N=21

問 40 あなた(あて名ご本人)の施設への入所に対する考えは、以下のどれに最も近いですか。  
(1つに○)

42.9 在宅介護サービスを受けながら、できるだけ長く在宅で暮らし続けたい
9.5 先々が心配なので、心身がある程度自由になるうちから施設に入所したい
38.1 現時点で在宅生活を続けることに不安があるため、できるだけ早く入所したい

NA=9.5 N=21

問 41 特別養護老人ホームに入所したい時期はいつ頃ですか。(1つに○)

28.6 今すぐに入所したい	19.0 当面は入所しなくてもよいが必要なときに入所したい
28.6 3か月～半年くらい先に入所したい	0.0 その他〔 〕
19.0 半年～1年先くらいに入所したい	

NA=4.8 N=21

問 41-1 なぜその時期の入所を希望しますか。理由を具体的にお聞かせください。  
(あてはまるものすべてに○)

9.5 現在入院・入所している施設等に退院・退所退院・入所を求められているから (退院・退所の時期に合わせて入所したいから)
0.0 介護者がいなくて、生活に不安があるから
23.8 介護者が病気になった(要介護になった、入院した)から(病気になったら)
57.1 介護者・家族への負担が重くなり、限界を超えているから(限界を超えたら)
4.8 現在利用している施設もしくは在宅サービスの費用が高くて経済的に続かないから
0.0 現在の病院・施設にもう少しいたいから(治療等が終わるまで、状態が安定するまで等)
19.0 先々が心配なため、身の回りのことができるうちに入所したいから
4.8 その他〔 〕

NA=9.5 N=21

【すべての方にお伺いします。】

### 介護保険制度全般について

問 42 あなたの(あて名ご本人)介護保険料(年間)はおおよそいくらですか。(1つに○)

番号に○	年額保険料	
18.8 第1段階	25,540円	生活保護を受給しているかた 老齢福祉年金の受給者で、本人及び世帯全員が住民税非課税のかた 本人及び世帯全員が住民税非課税で、前年の合計所得金額と課税年金収入額が80万円以下のかた
9.3 第2段階	41,580円	本人及び世帯全員が住民税非課税で、前年の合計所得金額と課税年金収入額が80万円を超え、120万円以下のかた
6.3 第3段階	44,550円	本人及び世帯全員が住民税非課税で、前年の合計所得金額と課税年金収入額が120万円を超えるかた
8.0 第4段階	50,490円	本人は住民税非課税(世帯に課税者がいる)で、前年の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下のかた
8.6 第5段階 (基準額)	59,400円	本人は住民税非課税(世帯に課税者がいる)で、前年の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円を超えるかた

(次ページに続きます)

番号に○	年額保険料	
3.5 第6段階	65,340 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 125 万円未満のかた
2.3 第7段階	74,250 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 125 万円以上 150 万円未満のかた
3.1 第8段階	83,160 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 150 万円以上 200 万円未満のかた
2.6 第9段階	89,100 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 200 万円以上 250 万円未満のかた
2.0 第10段階	95,040 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 250 万円以上 300 万円未満のかた
0.7 第11段階	100,980 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 300 万円以上 350 万円未満のかた
0.9 第12段階	106,920 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 350 万円以上 400 万円未満のかた
0.6 第13段階	112,860 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 400 万円以上 450 万円未満のかた
0.2 第14段階	118,800 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 450 万円以上 500 万円未満のかた
0.6 第15段階	124,740 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 500 万円以上 600 万円未満のかた
0.6 第16段階	130,680 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 600 万円以上 800 万円未満のかた
0.7 第17段階	136,620 円	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が 800 万円以上のかた
12.8 わからない		

NA=18.6 N=1,263

問 43 介護保険料については妥当だと思いますか。(1つに○)

2.2 どちらかという安い金額だと思う	28.3 どちらかという高い金額だと思う
23.3 おおむね妥当だと思う	29.5 わからない

NA=16.6 N=1,263

問 44 介護保険料の額は、3年に1度見直すことになっています。川口市において、介護保険サービスを利用する人の割合が増えたり、1人当たりのサービス額が増えたりすると、65歳以上の人の保険料額が高くなる仕組みになっていますが、あなたはこうした仕組みについて知っていますか。(1つに○)

2.9 よく理解している	30.2 あまり理解していない
18.2 だいたい理解している	27.9 ほとんど理解していない
8.5 どちらともいえない	

NA=12.3 N=1,263

問 45 今後の介護保険料と介護サービスの整備のあり方について、あなた(あて名ご本人)の考えに最も近いものは以下のどれですか。(1つに○)

- 8.3 介護サービスの量が多少減っても保険料を引き下げるべき  
 39.8 現状の保険料水準を維持し、サービス量も現状のままでよい  
 8.2 保険料が多少高くなっても、サービスの量や内容を充実させるべき  
 27.8 わからない

NA=15.8 N=1,263

問 46 あなた(あて名ご本人)の介護や日常生活をお世話する人(家族や近親者)がいますか。ただし介護サービス事業者やケアマネジャーは含みません。(1つに○)

- 41.5 同居しており、日中も家にいることが多い  
 22.4 同居しているが、日中は外出していることが多い  
 1.1 通いで来て、日中、家にいる  
 5.2 通いで来て、日中、数時間、家にいる  
 1.1 夜間だけ、来てくれる  
 16.1 特に誰もいない ⇒ 19 ページの問 51 へお進みください。  
 4.9 介護者有り(問 46 無回答だが、Q46-1 以降に回答有)

NA=7.7 N=1,263

### 介護を担当している方へのご質問

問 46 の「1」～「5」と回答された方にお伺いします。

問 46-1 その方(介護や日常生活をお世話する人: 主な介護者)の性別・年齢・続柄をお答えください。複数いる場合は、一番多く関わりがある方についてお答えください。

【(主な介護者の)性別】(1つに○)

33.3 男性 61.2 女性

NA=5.5 N=963

【(主な介護者の)年齢】(平成 29 年 1 月 1 日現在)(1つに○)

0.4 30 歳未満 4.8 46~49 歳 8.7 60~64 歳 12.4 75~79 歳 0.1 90 歳以上  
 2.4 30~39 歳 9.3 50~54 歳 16.7 65~69 歳 7.7 80~84 歳  
 5.0 40~45 歳 9.3 55~59 歳 14.6 70~74 歳 3.0 85~89 歳

NA=5.5 N=963

【(主な介護者の)続柄】(1つに○)

50.9 配偶者 6.5 子の配偶者 2.6 兄弟・姉妹  
 32.7 子 0.6 孫 1.7 その他〔 〕

NA=5.0 N=963

問 46-2 主な介護者(おひとり)の方はあなた(あて名ご本人)と同居していますか。(1つに○)

82.7 同居している 5.5 別居しているが、15 分以内で行き来できる範囲である  
 3.5 別居しており、行き来に 15 分以上かかる

NA=8.3 N=963

問 46-3 主な介護者(おひとり)の方は、あなた(あて名ご本人)の介護を始めて、どのくらいたちますか。(1つに○)

3.9 半年未満	25.0 1～3年未満	15.6 5～7年未満	14.5 10年以上
4.2 半年～1年未満	17.5 3～5年未満	8.4 7～10年未満	

NA=10.8 N=963

問 46-4 一日あたりの介護時間は、どのくらいですか。※在宅で訪問介護などの介護サービスを受けている時間を除いてお答えください。(1つに○)

51.0 必要なときに手を貸す程度	9.6 半日程度
9.6 2～3時間程度	15.3 ほとんど終日

NA=14.6 N=963

問 47-1 ご本人(あて名ご本人)は、主な介護者の方(同居、別居を含む)からどのような介護を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)⇒①欄に

問 47-2 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、お答えください(現状で行っているか否かを問わず)。(3つまでに○)⇒②欄に

	①現在主な介護者から受けている介護行為	②主な介護者が不安に感じる介護行為
ア. 日中の排泄	17.2	11.7
イ. 夜間の排泄	16.3	18.6
ウ. 食事の介助(食べる時)	15.8	6.6
エ. 入浴・洗身	25.1	13.8
オ. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	19.3	3.4
カ. 衣服の着脱	28.9	6.2
キ. 屋内の移乗・移動	19.7	11.8
ク. 外出の付き添い、送迎等	55.7	16.8
ケ. 服薬	36.6	8.9
コ. 認知症状への対応	16.1	18.8
サ. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	9.8	5.2
シ. 食事の準備(調理等)	57.4	10.6
ス. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	62.5	8.8
セ. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	53.9	11.5
ソ. その他	1.5 ( )	1.6 ( )
タ. 特にない	2.8	7.6

(主な介護者から受けている介護行為 NA=16.4 N=963)

(主な介護者が不安に感じる介護行為 NA=43.4 N=963)

問 48 在宅での介護について、困ったり、負担に感じていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

(意思疎通について)	(サービス利用について)
13.1 本人に正確な症状を伝えるのが難しい	4.7 サービスを思うように利用できない、サービスが足りない
16.8 現在の状況を理解してもらうのが難しい	2.9 サービスを利用したら本人の状態が悪化した(ことがある)
10.3 来客にも気を遣う	1.2 サービス事業者との関係がうまくいかない
19.7 本人の言動が理解できないことがある	1.3 ケアマネジャーとの関係がうまくいかない
4.3 本人に受診を勧めても同意してもらえない	(介護者ご自身のことについて)
(介護の仕方について)	19.1 自分の用事・都合をすませることができない
6.2 適切な介護方法がわからない	22.0 身体的につらい(腰痛や肩こりなど)
8.6 症状への対応がわからない	35.1 精神的なストレスがたまっている
5.3 介護を協力してもらえない	13.5 睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない
4.4 誰に、何を、どのように相談すればよいか、わからない	21.0 自分の自由になる時間が持てない
33.5 日中、家を空けるのを不安に感じる	20.4 先々のことを考える余裕がない
6.6 介護を家族等他の人に任せてよいか、悩むことがある	18.3 経済的につらいと感じたときがある
3.2 介護の方針などについて、家族・親戚との意見が合わない	1.2 その他
2.7 介護することに対して、周囲の理解が得られない	[ ]
	14.0 特に困っていることはない

NA=21.8 N=963

問 49 介護をしているときイライラして、ご本人(あて名のご本人)に当たってしまうことがありますか。(1つに○)

11.8 よくある	22.2 あまりない	4.6 わからない
32.9 ときどきある	13.6 まったくない	

NA=14.8 N=963

問 49 で「1. よくある」または「2. ときどきある」と回答された方にお伺いします

問 49-1 ご本人にどのように当たってしまいますか。(あてはまるものすべてに○)

53.1 どなってしまうことがある	25.1 無視してしまうことがある
6.0 たたいてしまうことがある	0.5 食事を出さないことがある
60.1 小言をいってしまうことがある	0.5 おむつを交換しないことがある
0.7 つねってしまうことがある	0.9 部屋に閉じ込めてしまうことがある
18.6 プライドを傷つけてしまうことがある	2.1 その他 [ ]

NA=2.8 N=431

問 49-2 ご本人に当たってしまった後、後悔したり悩んだりしますか。(1つに○)

35.3 よくある	7.2 あまりない	4.9 わからない
46.2 ときどきある	2.8 まったくない	

NA=3.7 N=431

**【すべての介護者の方へ】**

問 50 あなた（介護者ご本人）の現在の勤務形態について、お答えください。（1つに○）

- |                                     |                          |
|-------------------------------------|--------------------------|
| 17.8 フルタイムで働いている                    | 問 50-1～問 50-4 までお答えください。 |
| 14.4 パートタイムで働いている                   |                          |
| 44.4 働いていない ⇒ 19 ページの問 51 へお進みください。 |                          |

NA=23.4 N=963

※ 「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。

自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

**問 50 で「1」または「2」と回答した方にお伺いします。**

問 50-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をして  
いますか。（あてはまるものすべてに○）

- |   |
|---|
| 41.3 特に行っていない   |
| 31.3 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）<br>しながら、働いている |
| 12.9 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている                    |
| 2.3 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている                            |
| 17.7 介護のために、前掲（2～4）以外の調整をしながら、働いている                       |
| 1.6 わからない   |

NA=2.9 N=310

問 50-2 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護のために、過去に仕事を辞めた方はいますか。

※現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。

（あてはまるものすべてに○）

- |                                |
|--------------------------------|
| 5.5 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）         |
| 1.9 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く） |
| 4.8 主な介護者が転職した                 |
| 0.3 主な介護者以外の家族・親族が転職した         |
| 59.4 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない     |
| 10.0 わからない                     |

NA=19.4 N=310

問 50-3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立  
に効果があると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- |                                |                             |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 13.9 自営業・フリーランス等のため、勤め先は<br>ない | 25.5 介護をしている従業員への経済的<br>な支援 |
| 29.4 介護休業・介護休暇等の制度の充実          | 1.3 その他                     |
| 25.8 制度を利用しやすい職場づくり            | [ ]                         |
| 13.2 仕事と介護の両立に関する情報の提供         | 20.3 特にない                   |
| 10.0 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置       |                             |

NA=9.0 N=310

問 50-4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

（1つに○）

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 20.6 問題なく、続けていける      | 5.8 続けていくのは、かなり難しい |
| 52.3 問題はあるが、何とか続けていける | 9.7 わからない          |
| 9.0 続けていくのは、やや難しい     |                    |

NA=2.6 N=310





問 54 最後に、高齢者保健・福祉・介護について、ご意見・要望がありましたら、ご自由にお書きください。なお、記入いただく際、内容の表題を合わせてご記入いただければ幸いです。

【 \_\_\_\_\_ 】について

●上記の内容はどなたの意見ですか。

16.2 ご本人（封筒のあて名のご本人）    16.8 介護者    0.8 その他〔 \_\_\_\_\_ 〕

NA=67.1    N=1,263

ご協力ありがとうございました。返信用封筒に入れて  
1月26日（木）までにご返送ください。

# 市民アンケート調査(2号被保険者)

日頃から、皆様には川口市行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
本市では、平成30年4月からの3年間を計画期間とする「川口市第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定作業の準備を進めております。

この計画は、高齢者の皆様が住み慣れた地域において、自分らしく安心して暮らし続けることのできるまちづくりの施策の指針ともなるものであります。

いわゆる団塊の世代が2025年には75歳以上となることから、健康づくりや生きがいがづくりなど、介護を必要とする人だけでなく、だれもが安心して住み続けられるまちづくりをさらに推進していく必要があります。

このアンケート調査は、2号被保険者のうち55～64歳の市民の方約1,200人を無作為に選ばせていただき、健康や介護保険制度に関するご意見・ご感想をお伺いし、計画見直しの重要な資料とするために実施するものです。

なお、調査結果は統計的に処理し、個人を特定することはいたしませんのでご迷惑をおかけすることはありません。

ご多用のところ、お手数をおかけしますが、調査の趣旨を充分ご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成29年1月

川口市長 奥ノ木 信夫

## ご記入の前に

1. この調査は、平成29年1月1日(基準日)現在の状況について、記入又はあてはまるものの番号に○をつけてください。

2. この調査は、55～64歳の市民の方を対象とします。設問文の「あなた」とは、封筒の宛名の方をさします。できる限りご本人がお答えください。

この調査票をご記入された方はどなたですか。(1つに○)

89.8 あて名のご本人	2.3 ご家族	0.0 その他〔 〕
--------------	---------	------------

NA(無回答、以下同じ)=7.9 N(回答母数、以下同じ)=708

3. 対象の方が何らかの事情により、回答できない場合には、下記のいずれかの番号に○をつけて返送してください。(1つに○)

0.1 入院中	0.7 その他
0.0 市外に転出	〔具体的に 〕

NA=99.2 N=708

4. 同封の返信用封筒(切手不要)に、ご記入いただいた調査票を入れて、

**平成29年1月26日(木)**までにご返送ください。

5. お問い合わせ先

川口市 介護保険課 電話 048-258-1110(内線2151)

長寿支援課 電話 048-258-1110(内線2167)

あて名のご本人（あなた）及びご家族等について

問1 あなた（あて名ご本人）のお住まいの地区をお選びください。（1つに〇）

あ	か	0.0 芝樋ノ爪1～2丁目	0.7 大字東内野
2.5 青木1～5丁目	0.6 金山町	1.7 芝富士1～2丁目	0.1 大字東貝塚
0.7 赤井1～4丁目	2.8 上青木1～6丁目	0.0 芝宮根町	1.8 東川口1～6丁目
0.6 大字赤井	2.4 上青木西1～5丁目	0.8 末広1～3丁目	0.1 東本郷1～2丁目
0.0 大字赤芝新田	0.8 川口1丁目	た	1.1 大字東本郷
1.4 大字赤山	1.6 川口2～6丁目	0.1 長蔵1～3丁目	0.6 東領家1～5丁目
3.4 朝日1～6丁目	0.0 河原町	0.0 大字長蔵新田	0.0 舟戸町
0.4 大字新井宿	0.8 大字木曾呂	0.7 大字辻	1.4 本町1～4丁目
0.6 新井町	1.0 北園町	0.1 大字藤兵衛新田	0.6 本蓮1～4丁目
0.0 荒川町	1.3 北原台1～3丁目	1.4 戸塚1～6丁目	0.8 本前川1～3丁目
0.6 大字安行	0.4 大字久左衛門新田	0.0 大字戸塚	ま
0.1 大字安行北谷	0.1 大字行衛	0.6 戸塚境町	0.7 前上町
0.0 大字安行吉蔵	0.4 大字源左衛門新田	0.6 戸塚峽町	2.1 前川1～4丁目
0.0 大字安行小山	0.8 大字神戸	1.3 戸塚東1～4丁目	0.0 前川町3～4丁目
1.0 大字安行慈林	0.1 大字小谷湯	0.6 戸塚南1～5丁目	0.3 大字前野宿
0.6 大字安行藤八	さ	な	0.6 大字道合
0.6 安行出羽1～5丁目	0.4 在家町	1.6 中青木1～5丁目	0.4 三ツ和
0.1 大字安行西立野	1.1 幸町1～3丁目	0.6 仲町	0.3 緑町
0.6 大字安行原	1.1 栄町1～3丁目	1.0 並木1～4丁目	1.7 南嶋ヶ谷1～8丁目
0.7 大字安行吉岡	1.0 坂下町1～4丁目	0.3 並木元町	0.6 南町1～2丁目
0.7 大字安行領家	0.8 桜町1～6丁目	0.3 大字新堀	1.1 南前川1～2丁目
0.0 大字安行領在家	1.0 差間1～3丁目	0.4 新堀町	1.7 大字峯
1.8 大字安行領根岸	0.6 大字差間	1.7 西青木1～5丁目	0.1 宮町
2.3 飯塚1～4丁目	1.3 大字里	0.3 大字西新井宿	3.0 元郷1～6丁目
0.6 飯原町	2.4 芝1～5丁目	1.8 西川口1～6丁目	や
0.4 大字伊刈	2.5 大字芝	0.0 大字西立野	2.3 柳崎1～5丁目
1.6 大字石神	1.0 芝下1～3丁目	は	0.0 柳根町
0.0 江戸1～3丁目	0.4 芝新町	0.3 榛松1～3丁目	0.3 弥平1～4丁目
0.1 江戸袋1～2丁目	0.1 芝園町	0.7 大字榛松	ら
0.3 大字大竹	0.6 芝高木1～2丁目	0.0 大字蓮沼	0.7 領家1～5丁目
	0.4 芝塚原1～2丁目	1.3 八幡木	
	0.1 芝中田1～2丁目	1.4 鳩ヶ谷本町1～4丁	0.0 大字前田
	0.4 芝西1～2丁目	目	
	0.1 芝東町	0.1 鳩ヶ谷緑町	
		0.7 原町	

NA（無回答、以下同じ）=6.1 N（回答母数、以下同じ）=708

問2 あなた(あて名ご本人)の性別は。(1つに○)

47.6 男性	51.8 女性
---------	---------

NA=0.6 N=708

問3 平成29年1月1日現在のあなた(あて名ご本人)の年齢は。(1つに○)

45.8 55~59歳	53.4 60~64歳
-------------	-------------

NA=0.8 N=708

問4 平成29年1月1日現在のあなた(あて名ご本人)の世帯状況は。(1つに○)

13.6 ひとり暮らし	36.0 未婚の子どもと同居
27.0 夫婦ふたり暮らし	6.6 高齢者のみ(高齢の親や兄弟と同居)
8.1 子どもの家族と同居	8.1 その他〔具体的に〕

NA=0.7 N=708

問5 あなた(あて名ご本人)のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

56.8 持ち家の戸建て住宅 (借地に持ち家の場合も含む)	15.3 民間賃貸住宅 (アパート、マンション等)	1.8 その他 〔 〕
23.2 持ち家の集合住宅 (分譲マンション等)	0.0 高齢者向け施設・住宅 (ケアハウス・有料老人ホーム・サービス付高齢者向け住宅)	
2.5 公営住宅 (UR、県営、市営、公社等)		

NA=0.4 N=708

## 日常生活や社会活動について

問6 あなた(あて名ご本人)の仕事は次のどれですか。(主なもの1つに○)

43.4 常勤の勤め人	0.8 家業手伝い
13.4 非常勤の勤め人	4.0 その他〔 〕
13.0 自営業	24.0 無職・家事専業

NA=1.4 N=708

問6-1 あなた(あて名ご本人)は、何歳まで働き続けたいと思いますか。  
(1つに○、下線に数字)

79.1 _____歳位まで働きたい	⇒ 次ページの問6-2へ
18.5 働く予定はない・働こうとは思わない	⇒ 次ページの問7へ

NA=2.4 N=708

働きたい年齢 65歳未満: 10.2 65~70歳未満: 37.0 70歳以上: 50.0 NA=2.9 N=560

**問6-1 で「1」に回答された方にお伺いします。**

問6-2 あなた（あて名ご本人）は、働き続ける場合、どのような働き方が望ましいと思いますか。  
（1つに○）

22.5 定年前と同等の時間・内容で働く	13.8 趣味や好きなことを活かした仕事をする
33.2 定年前と同じ職場だが、仕事の内容や時間を軽減して働く	2.5 その他 〔 〕
24.8 パートやアルバイトで働く	

NA=3.2 N=560

**【すべての方にお伺いします。】**

問7 あなた（あて名ご本人）は、散歩や買物、通院、仕事などで外出する割合はどのくらいですか。（1つに○）

84.5 ほとんど毎日	3.2 週に1回程度	0.1 2、3か月に1回程度
9.6 2、3日に1回程度	1.0 月に1~2回程度	0.8 ほとんど出かけない

NA=0.7 N=708

問8 あなた（あて名ご本人）は、平日の日中はご自宅にいますか。（1つに○）

19.1 ひとりであることが多い	66.0 らだんの平日は家にいないことが多い
14.0 家族または友人などといることが多い	

NA=1.0 N=708

問9 ご家族以外の方との会話をする割合はどのくらいですか。（1つに○）

72.7 ほとんど毎日	6.9 週に1回程度	0.1 2、3か月に1回程度
13.8 2、3日に1回程度	3.0 月に1~2回程度	2.8 ほとんど話をしない

NA=0.6 N=708

問10 あなた（あて名ご本人）は現在、次のような活動をしていますか。  
（あてはまるものすべてに○）

34.0 運動、スポーツ、健康体操	24.3 旅行
1.8 大学公開講座や市民講座等での学習	10.3 町会や自治会、地域づくり活動
30.2 趣味や娯楽活動	40.8 友人・知人との交流
33.3 パソコン（メールやインターネット）	2.3 その他〔 〕
5.1 ボランティア活動	20.9 特に活動していない

NA=1.1 N=708

問11 普段あなた（あて名ご本人）はどのような運動をしていますか。（3つまでに○）

10.2 ゴルフ	10.7 体操	0.1 グラウンドゴルフ
1.6 ソフトボール・野球	3.4 ハイキング	0.0 ゲートボール
0.4 サッカー	4.1 ジョギング	14.1 その他
1.4 卓球	35.3 ウォーキング・散歩	〔 〕
2.3 水泳(水中歩行を含む)	5.5 サイクリング	38.7 特に運動はしていない

NA=0.7 N=708

問 12 あなた(あて名ご本人)は今後もずっと現在のお住まいで生活したいですか。(1つに○)

65.3 可能な限り今の住まいで生活したい	5.9 もっと間取りの広い住まいに転居したい
9.9 今の住まいを改修して住み続けたい	3.7 その他〔具体的に〕
2.7 もっと間取りの少ない住まいに転居したい	10.9 わからない

NA=1.7 N=708

問 13 孤独死(誰にも看取られることなく、亡くなった後に発見される死)について、身近な問題だと感じますか。(1つに○)

15.1 非常に感じる	45.1 あまり感じない	7.6 わからない
22.6 まあまあ感じる	8.5 まったく感じない	

NA=1.1 N=708

↓  
「1」または「2」と回答された方にお伺いします。

問 13-1 主な理由は何ですか。(1つに○)

24.7 一人暮らしだから	3.4 あまり外出しないから
25.5 ご近所との付き合いが少ないから	7.5 経済的に苦しいから
7.5 家族・親戚との付き合いが少ないから	28.1 その他〔〕

NA=3.4 N=267

【すべての方にお伺いします。】

問 14 今後、以下のような地域での活動に参加したい、又は、続けたいですか。

(あてはまるものすべてに○)

13.4 町会、自治会等活動	9.2 地域の祭りや文化・芸能の振興や継承等に関する活動
10.0 高齢者や障害者の支援、子どもの育成に関する活動	19.5 各種学習・研究活動
12.7 環境美化や自然保護など環境に関する活動	0.6 その他
7.6 防犯・防災等活動	〔〕
5.6 地域の産業振興や活性化に関する活動	40.4 特に参加したい地域活動はない
29.8 健康スポーツ等の活動	

NA=1.7 N=708

## あなたの身体や健康について

問 15 現在の自分の健康状態をどのように感じていますか。(1つに○)

25.4 健康	47.3 まあ健康	21.6 あまり健康でない	2.8 健康ではない
---------	-----------	---------------	------------

NA=2.8 N=708

↓  
次ページの間 16 へお進みください。

↓  
次ページの間 15-1 へお進みください。

**問 15 で「3」または「4」と回答された方にお伺いします。**

問 15-1 医療機関で治療中又は服薬中の病気やけがはありますか。(1つに○)

94.2 ある	3.5 ない
---------	--------

NA=2.3 N=173

**「1」と回答された方にお伺いします。**

問 15-2 どのような病気・けがですか。(あてはまるものすべてに○)

40.5 高血圧症	4.3 脳卒中	9.8 耳や鼻の病気
33.1 脂質異常症 (高コレステロール血症・中性 脂肪など)	(脳出血・脳梗塞など)	(難聴など)
29.4 糖尿病	6.7 狭心症・心筋梗塞	16.0 歯の病気(歯周病)
2.5 動脈硬化症	12.9 目の病気(白内障など)	1.8 骨折・外傷
16.0 腰痛症	10.4 胃腸の病気	0.6 認知症
5.5 関節症・リウマチ	(胃炎・肝炎など)	19.6 その他
11.0 肩こり症	5.5 泌尿器の病気	[具体的に ]
2.5 骨粗しょう症	(腎臓病・前立腺肥大など)	
	8.0 呼吸器の病気	
	(ぜん息など)	

NA=0.0 N=163

**【すべての方にお伺いします。】**

問 16 あなた(あて名ご本人)の健康に関する行動についてお尋ねします。  
(それぞれ1つに○)

				NA
たばこは	72.0 吸わない	2.8 時々、吸っている	24.4 吸っている	0.7
お酒は	33.5 飲まない	28.0 時々、飲んでいる	38.0 飲んでいる	0.6
規則的な食事は	56.5 している	37.3 だいたい、している	5.4 していない	0.8
定期的な運動は	22.7 している	27.0 だいたい、している	49.0 していない	1.3
歯の健康維持は	31.5 している	49.4 だいたい、している	17.7 していない	1.4
普段から健康に	25.1 気をつけている	66.1 まあ、気をつけている	7.5 気をつけていない	1.3
定期的な健康診断を	68.5 受けている	17.9 時々受けている	12.4 受けていない	1.1
かかりつけ医は	64.0 いる	35.0 いない		1.0

N=708

問 17 あなた(あて名ご本人)は、ここ1年間、健康診断や人間ドックなどを受診したことがありますか。(1つに○)

49.2 職場が実施している一般健診・日帰り人間ドックを受けた 1.0 職場が実施している人間ドック(宿泊)を受けた 18.1 市が実施している健康診査を受けた 7.2 個人で人間ドックを受けた	⇒	次ページの 問 17-1 へお進み ください。
23.6 受けていない	⇒	次ページの間 17-4 へお進みください。

NA=1.0 N=708



**問 17 で「1」～「4」と回答された方にお伺いします。**

問 17-1 受診の結果、異常を指摘された点がありますか。(1つに○)

23.0 異常なし
29.0 軽度の異常 (僅かに基準範囲を外れるが、日常生活に異常はない)
27.2 要経過観察 (治療の必要はないが、日常生活に注意し、経過観察を必要とする)
6.2 要精密検査 (医療機関にて精密検査を受け治療が必要かどうか検査を必要とする)
11.0 要治療 (医療機関を受診し治療を必要とする)
0.6 その他 [ ]

NA=3.0 N=534



**問 17-1 で「2」～「6」と回答された方にお伺いします。**

問 17-2 異常を指摘されたことについて、治療や日常生活に注意をしていますか。  
(1つに○)

51.9 治療や服薬をしている	20.3 特に何もしていない
25.3 食事や運動など、日常生活に注意している	1.3 その他 [ ]

NA=1.8 N=395



**問 17-2 で「3」と回答された方にお伺いします。**

問 17-3 「特に何もしていない」のはなぜですか。(あてはまるものにすべてに○)

73.8 症状が軽いから	7.5 自分にとって適切な対処方法がないから
20.0 時間がとれないから	11.3 その他
7.5 費用がかかるから	[具体的に ]

NA=0.0 N=80

**問 17 で「5」と回答された方にお伺いします。**

問 17-4 受診していない主な理由はどんなことですか。(1つに○)

16.2 機会がない	26.9 時間がとれない
4.2 受け方がわからない	2.4 場所が不便で行くのに疲れる
18.0 必要がない	15.0 その他
7.8 費用がかかるため	[具体的に ]

NA=9.6 N=167

**【すべての方にお伺いします。】**

問 18 あなた (あて名ご本人) は、半年前に比べて、食事量の変化がありましたか。(1つに○)

74.2 変化なし	3.8 食べる量が増えた
10.5 食べる量が減った	1.7 わからない
9.3 体重管理のため食べる量を減らしている	

NA=0.6 N=708

問 19 あなた（あて名ご本人）は、自分の歯は何本ありますか。入れ歯、インプラントは含みません。（差し歯は含みます。）（1つに○）

1.4	まったくない	14.3	16～20本
3.4	1～5本	22.0	21～25本
5.1	6～10本	26.8	26～28本
6.9	11～15本	18.4	29本以上

NA=1.7 N=708

問 20 あなた（あて名ご本人）の現在の歯ぐき・口の状態についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

5.1	歯ぐきが腫れている	9.5	歯周病といわれ治療している
14.0	歯を磨いたときに血が出る	18.2	抜けたままにしている歯がある
15.8	歯ぐきが下がって歯の根が出ている	14.3	むし歯がある
5.1	歯がぐらぐらする	39.4	あてはまるものはない
2.4	入れ歯が合わない		

NA=3.0 N=708

問 21 あなた（あて名ご本人）は、噛んで食べる時の状態はいかがですか。（1つに○）

62.9	何でも、噛んで食べることができる
34.2	噛みにくいものもあるが、たいていのものは食べられる
2.3	あまり噛めないので、食べものが限られている
0.0	ほとんど噛めない

NA=0.7 N=708

問 22 あなた（あて名ご本人）は、ご自身の生活習慣（食事・運動など）についてどのようにお考えですか。（1つに○）

42.4	生活習慣に特に問題はない
7.6	生活習慣の改善が必要だとは思いますが、変えようとは思わない
33.5	生活習慣の改善が必要だとは思いますが、容易には変えられない
4.0	生活習慣の改善が必要だと思い、1か月以内に具体的に組みたいと考えている
9.7	生活習慣の改善が必要だと思い、すでに取り組み・行動を始めている
2.0	生活習慣については関心がない

NA=0.8 N=708

問 23 あなた（あて名ご本人）の平日の食事は主にどなたがつくりますか。（朝・昼・夕それぞれ1つに○）

	自分で つくる	配偶者が つくる	子ども・子 どもの配偶 者がつくる	買って くる	外食 する	その他	食べない	NA
朝食は	60.6	22.0	1.0	6.1	1.8	1.0	5.9	1.6
昼食は	45.2	9.7	1.0	13.3	23.2	3.7	1.7	2.3
夕食は	55.2	30.8	1.6	4.8	3.0	3.0	0.7	1.0

N=708

問 24 あなた(あて名ご本人)の普段の生活について、お伺いします。

次の各項目について、それぞれ「はい(している)」、「いいえ(していない)」のどちらかをお選びください。(1つに○)

	いずれかに○		
	はい (している)	いいえ (していない)	NA
バスや電車を使って1人で外出していますか.....	76.1	22.0	1.8
日用品の買い物をしていますか.....	90.3	8.9	0.8
預貯金の出し入れをしていますか.....	84.5	14.8	0.7
友人の家を訪ねていますか.....	44.6	54.5	0.8
家族や友人の相談にのっていますか.....	81.6	16.7	1.7
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか.....	83.6	15.5	0.8
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか.....	92.9	6.1	1.0
15分くらい続けて歩いていますか.....	84.7	14.4	0.8
この1年間に転んだことがありますか.....	20.1	79.0	1.0
転倒に対する不安は大きいですか.....	23.4	75.8	0.7
6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか.....	16.7	82.6	0.7
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか.....	14.3	85.0	0.7
お茶や汁物等でむせることがありますか.....	17.4	81.9	0.7
口の渇きが気になりますか.....	21.5	77.8	0.7
週に1回以上は外出していますか.....	92.2	6.8	1.0
昨年と比べて外出の回数が減っていますか.....	13.3	85.7	1.0
周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると 言われますか.....	13.3	85.9	0.8
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	84.9	13.3	1.8
今日が何月何日かわからない時がありますか.....	17.2	81.4	1.4
(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない.....	12.4	85.5	2.1
(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	8.5	89.7	1.8
(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	25.7	72.7	1.6
(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない.....	10.6	87.3	2.1
(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする.....	20.2	78.1	1.7

N=708

身長 ( 162.6 cm ) 体重 ( 61.0 kg ) ※小数点第1位まで記入  
 身長 NA=4.9 N=708 体重 NA=6.4 N=708

問 25 あなた（あて名ご本人）は、外出することについてどのようにお考えですか。  
（あてはまるものすべてに○）

- 67.8 特に負担には感じない  
 12.0 外出は、なんとなくおっくうである・好きではない  
 14.8 行く場所や用事もないので外出したいとは思わない  
 17.9 外出するより、家にいて過ごす方が好き  
 4.1 交通が不便なので、外出するのが負担に感じる  
 0.8 自宅の周りに坂や段差が多いので、外出するのが負担に感じる  
 1.8 身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくても  
 できない  
 0.1 その他〔 〕

NA=1.8 N=708

問 26 あなた（あて名ご本人）は、健康に関して、普段から情報を入手し生活に取り入れることに関心があるほうですか。（1つに○）

- 20.1 大変関心があり、入手に努めている  
 10.3 関心はない  
 68.4 目にするものの範囲で入手し、参考にしている

NA=1.3 N=708

問 27 あなた（あて名ご本人）の健康について、特に知りたいことは何ですか。  
（あてはまるものすべてに○）

- 40.3 がんや高血圧などの病気の予防について  
 20.5 歯の健康について  
 30.6 望ましい食生活について  
 39.3 認知症の予防について  
 22.0 運動の方法について  
 15.1 骨粗しょう症の予防について  
 8.2 健康診査の内容や受け方などについて  
 19.4 心の健康について  
 10.9 寝たきりの予防について  
 2.4 その他〔具体的に 〕

NA=13.1 N=708

## 介護保険制度全般について

問 28 あなた（あて名ご本人）に介護が必要な状態になった場合、どのような介護を望まれますか。（1つに○）

- 3.2 家族のみによる介護  
 28.7 老人ホームなどの介護施設に入所  
 34.5 介護保険を利用しながらの在宅介護  
 30.9 よくわからない

NA=2.7 N=708

問 29 「介護保険制度」についてどのようなことを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 80.6 介護サービスを受けるには、要介護認定を受ける必要がある
- 37.0 身体の状況が変化した場合は、更新期間前でも要介護認定を受け直すことができる
- 67.2 介護状態により要支援1・2、要介護1～5の7段階あり、それぞれサービス利用限度額が決まっている
- 62.0 要支援と要介護では、利用できるサービスの種類に違いがある
- 15.5 要支援や要介護状態となる手前の段階で対応する介護予防の取り組みがある
- 38.8 ケアプランは、原則として要支援の人に対しては地域包括支援センター、要介護の人に対しては、居宅介護支援事業所のケアマネジャーが担当する
- 40.8 ケアプランは変更することができる
- 43.5 サービス提供事業者は自由に選ぶことができる
- 12.4 介護事業者の特徴を比較できるように、介護サービス情報の公表制度がある
- 42.5 サービスを利用する際には、事業者との契約が必要である
- 14.7 地域包括支援センターでは、権利擁護等に関する相談も行っている
- 38.3 利用者は、サービスを利用する際に費用の1割を負担する(一定以上所得者は2割)
- 51.3 40歳以上の方が介護保険料を負担する
- 8.3 どれも知らない

NA=3.5 N=708

問 30 みなさんには、ご加入の健康保険の保険料(税)とあわせて、介護保険料を納めていただいています。あなた(あて名ご本人)が納められている介護保険料がいくらであるかご存じですか。(1つに○)

- 40.7 知っている
- 57.1 知らない

NA=2.3 N=708

問 31 1号被保険者(65歳以上)の介護保険料の額は、3年に1度見直すことになっています。川口市において、介護保険サービスを利用する人の割合が増えたり、1人当たりのサービス額が増えたりすると、65歳以上の人の保険料額が高くなる仕組みになっていますが、あなた(あて名ご本人)はこうした仕組みについて知っていますか。(1つに○)

- 2.0 よく理解している
- 35.2 あまり理解していない
- 13.6 だいたい理解している
- 43.1 ほとんど理解していない
- 4.1 どちらともいえない

NA=2.1 N=708

問 32 現在、川口市における1号被保険者(65歳以上)の標準保険料は、年額約59,400円です。(収入等の状況により約25,540円～約136,620円となっています。)この介護保険料については妥当だと思いませんか。(1つに○)

- 2.4 どちらかという安い金額だと思う
- 34.9 どちらかという高い金額だと思う
- 20.8 おおむね妥当だと思う
- 40.1 わからない

NA=1.8 N=708

問 33 今後の介護保険料と介護サービスの整備のあり方について、あなた（あて名ご本人）の考えに最も近いものは以下のどれですか。（1つに○）

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 13.1 介護サービスの量が多少減っても保険料を引き下げるべき     |
| 23.0 現状の保険料水準を維持し、サービス量も現状のままでよい    |
| 16.9 保険料が多少高くなっても、サービスの量や内容を充実させるべき |
| 42.5 わからない                          |

NA=4.4 N=708

問 34 あなた（あて名ご本人）は、家族等の介護をした経験がありますか。（1つに○）

- |                 |               |                 |
|-----------------|---------------|-----------------|
| 32.2 介護をした経験がある | 9.3 現在介護をしている | 56.5 介護をした経験はない |
|-----------------|---------------|-----------------|

NA=2.0 N=708

問 35 あなた（あて名ご本人）は、近いうち（5年くらいの間）に家族等の介護をする事になるとお考えですか。（1つに○）

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 22.5 介護する可能性がかなり高い | 43.4 介護をするのではないと思う |
| 30.9 介護する可能性が少しある  |                    |

NA=3.2 N=708

問 36 あなた（あて名ご本人）は家族等と介護について話し合うことはありますか。（1つに○）

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 7.9 普段からよく話し合っている | 45.9 話し合ったことはない |
| 42.4 話し合ったことはある   | 1.6 その他〔 〕      |

NA=2.3 N=708

問 37 あなた（あて名ご本人）が現在、または将来、介護をする事になるとお考えられる相手はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

- |              |              |            |
|--------------|--------------|------------|
| 40.0 あなたの配偶者 | 11.7 あなたのご親族 | 16.2 わからない |
| 35.7 あなたの親   | 2.0 その他〔 〕   |            |

NA=4.8 N=708

問 38 あなた（あて名ご本人）の家族等に介護が必要な状態になった場合、どのような介護をしたいとお考えですか。（現在、家族等の介護をしている場合は、どのような介護をしていますか。）（あてはまるものすべてに○）

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 6.5 家族のみによる在宅介護       | 31.5 老人ホームなどの介護施設に入所 |
| 47.5 介護保険を利用しながらの在宅介護 | 22.3 わからない           |

NA=3.0 N=708

問 39 あなた（あて名ご本人）は介護をする事について、不安を感じますか。（1つに○）

- |                |               |            |
|----------------|---------------|------------|
| 19.8 非常に不安を感じる | 33.3 少し不安を感じる | 13.7 わからない |
| 24.9 不安を感じる    | 5.2 不安を感じない   |            |

NA=3.1 N=708

問40～問43は、現在お勤めの方がお答えください。

その他の方は14ページ問44へお進みください。

問40 あなた(あて名ご本人)は、介護について次にお示しするうち、どのようなことに不安を感じますか。(あてはまるものすべてに○)

- |      |  |
|------|--|
| 37.5 | 公的介護保険制度の仕組みがわからない                                   |
| 25.0 | 勤務先に、介護にかかわる支援制度がない、もしくはわからない                        |
| 8.9  | 介護と仕事を両立する際に勤務先や上司の理解が得られない                          |
| 11.2 | 勤務先に介護にかかわる支援制度はあっても、利用事例などがわからないので利用しづらい雰囲気がある      |
| 22.0 | 介護休業などを職場で取得している人がいない                                |
| 23.1 | 代替要員がおらず、介護のために仕事を休めない                               |
| 21.8 | 仕事を辞めずに介護と両立させるための取り組みがわからない                         |
| 4.4  | 介護と仕事を両立すると、昇進・昇格に影響が出る可能性がある                        |
| 15.7 | 労働時間自体が長い  |
| 23.5 | 自分が介護休業を取得すると収入が減る                                   |
| 15.0 | 勤務先や職場に介護に関して相談する部署や担当者がない、もしくはわからない                 |
| 14.8 | 地域での介護に関する相談先がわからない                                  |
| 24.1 | 適切な介護サービスが受けられるかどうかわからない                             |
| 15.5 | ほかに介護を分担してくれる家族がいない                                  |
| 20.3 | 介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しを立てにくい                          |
| 30.1 | 医療や介護に係る費用の見通しがわからず、経済的な不安が解消されない                    |
| 33.1 | 公的介護保険制度の要介護者となった場合、どのような状態になるのか予想がつかないので、漠然とした不安がある |
| 15.2 | 家族間での介護の役割分担や在り方について、話し合う機会がない、ほとんどない                |
| 1.5  | その他〔 〕   |

NA=21.4 N=528

問41 あなた(あて名ご本人)は、勤務先で介護について相談するとき、どなたに相談しますか。(相談を受けることは除いてお答えください。現在、介護をしていない方は、介護が必要となった場合を想定してお答えください。)(あてはまるものすべてに○)

- |      |                |      |                 |
|------|----------------|------|-----------------|
| 33.1 | 同じ職場の上司        | 3.4  | 勤務先の労働組合        |
| 21.0 | 同じ職場の同僚        | 4.2  | 勤務先が提供する外部の相談窓口 |
| 1.1  | 同じ職場の部下        | 1.7  | その他             |
| 1.9  | 同じ勤務先だが別の職場の友人 |      | 〔 〕             |
| 20.3 | 勤務先の人事担当者      | 22.0 | 勤務先で相談する人はいない   |

NA=18.9 N=528

問 42 あなた（あて名ご本人）は、介護をしながら、現在の勤務先で仕事を続けることができますか。（1つに○）

18.9 続けられると思う	39.0 続けられないと思う	28.0 わからない
NA=14.0 N=528		

問 43 あなた（あて名ご本人）は介護することになった場合、どのような働き方が望ましいと思いますか。将来介護することがないと思う方もお答えください。（あてはまるものすべてに○）

19.3 今の仕事を辞めて介護に専念する
13.6 介護が必要な時期は勤務先の休業制度を利用して自分が介護をし、その後、勤務先に復帰する
41.5 介護が必要な時期は勤務先の短時間勤務などの支援制度を利用しながら働き続け、仕事と介護を両立する
5.5 介護のための支援制度を利用せずに、年次有給休暇などで対処する
10.6 働き方は特に変えない
1.3 その他〔 〕
NA=20.3 N=528

【すべての方にお伺いします。】

## 介護保険や高齢者福祉サービスの利用について

問 44 高齢者福祉に関する情報は、主にどこから得ていますか。（主なもの3つまでに○）

16.0 市の窓口・電話	13.3 介護事業者・施設等	38.1 テレビ・ラジオ・新聞
7.3 地域包括支援センター	11.3 家族	18.8 インターネット
31.4 広報かわぐち	1.1 民生委員	1.4 その他
3.2 社会福祉協議会	2.1 町会の人	〔 〕
13.7 介護支援専門員(ケア)	20.3 友人・知人	14.4 どこからも得ていない
NA=3.0 N=708		

問 45 川口市で実施している高齢者福祉サービスのうち、将来、利用してみたいと思うサービスはありますか。（あてはまるものすべてに○）

50.0 自立支援（ヘルパー派遣）	45.1 配食サービス
38.3 自立支援（福祉用具貸与）	27.1 ねたきり高齢者等紙おむつ支給
16.8 軽度生活支援（草取り等）	23.3 認知症高齢者相談
24.4 日常生活用具の給付（シルバーカー、杖等）	26.4 住宅改善整備費補助
7.3 福祉電話の貸与（固定電話）	10.9 世帯住替家賃助成（家賃助成）
32.8 緊急通報システム	8.9 入居保証支援（保証会社の紹介）
17.7 寝具乾燥消毒	11.7 特に利用したいと思うものはない
NA=7.8 N=708	



高齢化社会が進み、今後も認知症の方が増えると予想されています。認知症を発症しても本人に代わり財産管理をしたり、療養看護を任せる成年後見制度についてお伺いします。

問 46 あなた(あて名ご本人)の判断能力が不十分になったら金銭管理や様々なサービスの手続きをどうされますか。(1つに○)

80.1 配偶者や子どもに願います	4.4 成年後見制度などを利用する
10.7 その他の親族に願います	0.8 その他〔具体的に〕

NA=4.0 N=708

問 46-1 成年後見制度は、成年後見人等(弁護士・司法書士等)が、法律に基づいた支援を行うことをご存じですか。(1つに○)

14.4 よく知っている	48.0 少し知っている	35.5 知らない
--------------	--------------	-----------

NA=2.1 N=708

問 46-2 あなた(あて名ご本人)は、成年後見人を選ぶ場合、いつ選びますか。(1つに○)

46.0 自分の意思のあるうちに選ぶ	47.6 わからない
2.3 認知症になってから選ぶ	

NA=4.1 N=708

問 46-3 川口市成年後見センターが、成年後見制度利用の相談や市民後見人の養成を行っていることをご存知ですか。(1つに○)

3.1 よく知っている	8.6 少し知っている	85.7 知らない
-------------	-------------	-----------

NA=2.5 N=708

問 47 あなた(あて名ご本人)は、地震・火災や風水害などが起こった際に、頼れる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

61.4 配偶者	27.0 友人・知人	0.4 その他
60.9 子ども	15.5 とおり近所の人	〔具体的に〕
43.4 その他の家族・親族	1.4 民生委員	6.6 頼れる人はいない

NA=1.6 N=708

問 48 自然災害等により、高齢者が被害に遭うケースが多くなる中、地域の高齢者等の把握が個人情報保護法との関係で課題となっています。災害発生時の援助活動の為に、名簿等に登録するとしたら、あなたやご家族を登録したいと思いますか。(1つに○)

45.1 是非登録したい	5.8 登録したくない	46.3 わからない
--------------	-------------	------------

NA=2.8 N=708

問 49 最後に、高齢者保健・福祉・介護について、ご意見・要望がありましたら、ご自由にお書きください。なお、記入いただく際、内容の表題を合わせてご記入いただければ幸いです。

【 \_\_\_\_\_ 】について

ご協力ありがとうございました。返信用封筒に入れて  
1月26日（木）までにご返送ください。

## 第7期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のための アンケート調査にご協力をお願いします

日頃から、皆様には川口市行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本市では、平成30年4月からの3年間を計画期間とする「川口市第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定作業の準備を進めております。

この計画は、高齢者の皆様がそれぞれの住み慣れた地域において、自分らしく安心して暮らしていけるためのまちづくりの施策の指針となるものであります。

そこで、この計画の重要な基礎資料とするため、介護サービス事業者の皆様に対するアンケート調査を実施することといたしました。

集計にあたりましては、事業所や個人が特定・類推されないよう配慮し、ご迷惑をかけることはありませんので、率直なご意見を賜りますようお願いいたします。

ご多用のところ、お手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

平成29年1月

川口市長 奥ノ木 信夫

### 記入に際してのお願い

1. この調査の対象としては、川口市内の介護サービス事業者を抽出させていただいております。
2. このアンケートは、事業所の管理者又はそれに準ずる方がご回答ください。
3. ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。  
「その他」にあてはまる場合は、( ) 内に内容を具体的にご記入ください。
4. 事業の運営状況など、事業所単独では回答が難しい質問がありましたら、恐れ入りますが運営主体の法人と調整のうえご回答ください。
5. 調査票記入後は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、**1月26日（木）**までにご返送ください。

#### お問い合わせ先

川口市 介護保険課 電話 048-258-1110（内線2151）

長寿支援課 電話 048-258-1110（内線2167）

他事業所と併設している場合でも、封筒の宛名に記載されている事業所ごとにお答えください

問1 経営主体についてお答えください。(1つに○)

12.6 社会福祉法人	73.6 株式会社・有限会社	1.3 組合
8.2 医療法人(社団・財団)	2.2 特定非営利活動法人(NPO)	1.7 その他( )

NA(無回答、以下同じ)=0.4 N(回答母数、以下同じ)=231

問2 貴事業所における介護サービスに関わる従業員数はどのくらいですか。(1つに○)

16.0 5人未満	32.0 10~19人	8.7 50人以上
19.5 5~9人	23.4 20~49人	

NA=0.4 N=231

問3 問2の従業員数のうち、非常勤職員の割合はどのくらいですか。(1つに○)

21.6 10%未満	29.4 30%~50%未満	17.3 70~90%未満
13.4 10~30%未満	14.3 50%~70%未満	2.2 90%以上

NA=1.7 N=231

問4 昨年度の事業の採算について、お答えください。(1つに○)

3.0 大幅な黒字	17.3 損益なし	16.0 大幅な赤字
37.2 やや黒字	24.2 やや赤字	

NA=2.2 N=231

問5 昨年度の事業の採算について、当初の見込みと比較すると、どのような状況ですか。(1つに○)

0.0 大幅に上回った ⇒ 問5-1へ	35.5 やや下回った ⇒ 問5-2へ
12.6 やや上回った ⇒ 問5-1へ	17.3 大幅に下回った ⇒ 問5-2へ
29.9 見込みどおり ⇒ 問6へ	

NA=4.8 N=231

**問5で「1. 大幅に上回った」または「2. やや上回った」を選んだ方にお伺いします。**

問5-1 上回った理由について、どうお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

93.1 一定以上の利用者数を確保できたため
13.8 利用者1人当たりについて、一定以上のサービス量を確保できたため
24.1 人件費・事務費・事業費などの経費の支出を低く抑えることができたため
0.0 介護報酬収入以外の事業収入が得られたため
0.0 介護報酬が改定されたため
10.3 その他(具体的に: )

NA=0.0 N=29

**問5で「4. やや下回った」または「5. 大幅に下回った」を選んだ方にお伺いします。**

問5-2 下回った理由について、どうお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

74.6 当初見込んだ利用者数を確保できなかったため
17.2 当初見込んだ利用者1人当たりのサービス量を確保できなかったため
40.2 人件費・事務費・事業費などの経費が予想より大きかったため
9.0 介護報酬収入以外の事業収入が得られなかったため
38.5 介護報酬が改定されたため
12.3 その他(具体的に: )

NA=0.0 N=122

**【全員の方へ】**

問6 円滑な事業運営を進めていく上で、困難を感じることはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

77.9 従事者の確保	47.2 従事者の資質向上
59.3 利用者の確保	18.2 利用者や家族の理解
32.5 事務作業	23.4 医療機関との連携
17.3 施設・設備の整備	3.9 その他 ( )
13.9 必要な情報の入手	0.0 特にない

NA=1.3 N=231

問7 平成28年4月以降に、利用者本人やその家族から以下のような苦情を受けたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

31.2 サービス内容	4.8 介護保険外の利用負担
3.5 利用手続き	6.9 その他 ( )
29.9 職員の態度	35.5 苦情を受けたことはない
3.5 施設の設備	

NA=3.5 N=231

**問7で「1」～「6」を選んだ方にお伺いします。**

問8 苦情について、どのような取り組みをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

58.9 苦情窓口への相談員の配置	41.1 苦情・相談対応マニュアルの作成
59.6 利用者等との話し合いの場の設置	14.2 苦情・相談対応状況の情報公開
37.6 ケース検討会等の開催	5.0 その他 ( )
52.5 苦情・相談内容の蓄積や分析	0.7 特にない

NA=1.4 N=141

**【全員の方へ】**

問9 貴事業所における介護職員処遇改善加算の届出状況について、該当する番号に○をつけてください。

(1つに○)

85.1 届出をしている(届出予定を含む)	13.8 届出をしていない⇒ 問9-3へ
-----------------------	----------------------

NA=1.1 N=188

**問9で「1. 届出をしている(届出予定を含む)」を選んだ方にお伺いします。**

問9-1 貴事業所では、どのように介護職員処遇改善計画書の周知を行っていますか。該当する番号に○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

35.0 掲示板等への掲示	58.8 面談・会議等での説明
21.9 メールや回覧形式等による通知	4.4 その他 ( )

NA=1.9 N=160

問9-2 貴事業所では、介護職員処遇改善加算による賃金改善をどの項目で行っていますか。

該当する番号に○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

23.8 給与表(賃金表等)の改定による賃金水準の引き上げ	63.1 一時金(賞与・その他の臨時支給分)として支給
15.6 定期昇給の実施	1.9 その他
53.8 毎月支給される手当として支給	( )

NA=1.9 N=160

**問 9 で「2. 届出をしていない」を選んだ方にお伺いします。**

問 9-3 介護職員処遇改善加算の届出を行わない理由について、該当する番号に○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

34.6 対象の制約のため困難 (介護職員以外は加算対象ではない)	7.7 非常勤職員等の処遇上の問題 7.7 賃金改善の必要性がない
38.5 事務作業が煩雑	11.5 算定要件を達成できない
11.5 平成 30 年度以降の取扱いが不明	11.5 その他
7.7 追加費用負担の発生	( )
11.5 利用者負担の発生	

NA=26.9 N=26

**【全員の方へ】**

問 10 スタッフの研修や資格取得について、事業所としての取り組みはありますか。  
ある場合、年間の回数もご記入ください。(あてはまるものに○と数字)

77.9 事業所として取り組んでいる⇒(年 7.7 回程度)	7.4 事業所としては特にな
45.5 個人参加を支援している ⇒(年 4.7 回程度)	

NA=0.9 N=231

事業所としての参加回数 NA=4.4 N=180 個人での参加回数 NA=19.0 N=105

**問 10 で「2. 個人参加を支援している」を選んだ方にお伺いします。**

問 10-1 個人参加への支援の方法はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

54.3 全額支援している	56.2 勤務扱いを認める
29.5 部分支援している	3.8 その他 ( )

NA=1.0 N=105

**【全員の方へ】**

問 11 職員の採用状況について、事業所として認識しているものについてお選びください。  
(あてはまるものすべてに○)

22.5 介護支援専門員の採用が困難な状況にある	12.6 機能訓練指導員の採用が困難な状況にある
64.5 介護職員の採用が困難な状況にある	13.9 その他の職員の採用が困難な状況にある
31.6 看護職員の採用が困難な状況にある	6.1 その他 ( )

NA=12.1 N=231

**問 11 で「1」～「5」の「採用が困難」を選んだ方にお伺いします。**

問 11-1 職員の採用が困難な原因は何にあるとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

4.2 労働時間が長い	49.2 仕事がきつい(身体的・精神的)
4.2 夜勤が多い	37.2 社会的評価が低い
23.0 休みが取りにくい	18.3 その他
13.6 雇用が不安定	( )
5.8 キャリアアップの機会が不十分	2.6 わからない
67.0 賃金が低い	

NA=0.0 N=191

**問 11-1 で「6. 賃金が低い」を選んだ方にお伺いします。**

問 11-2 職員の採用にあたり、近隣市区町村との地域区分(級地)の差による影響を受けていると感じますか。(1つに○)

26.6 大いに感じる	14.8 感じない
26.6 感じる	16.4 わからない
14.8 少し感じる	

NA=0.8 N=128

**問 11-2 で「1」～「3」を選んだ方にお伺いします。**

問 11-3 賃金の差は、どの程度あると感じますか。(1つに○)

16.1 1万円程度	32.2 3万円程度
43.7 2万円程度	2.3 それ以上(50,000円/月)

NA=5.7 N=87

金額差それ以上 NA=0.0 N=2

**【全員の方へ】**

問 12 貴事業所における介護サービスに関わる従業員の退職者は、年間でのどのくらいですか。(1つに○)

26.4 いない	30.3 3～5人	3.5 10人以上
30.3 1～2人	8.2 6～9人	

NA=1.3 N=231

問 13 サービスの質の向上に向けた、貴事業所での課題や取り組みとしてあげられることをお答えください。(重要度の高いもの3つまでに○)

33.3 従業員への経営理念の周知徹底	34.2 従業員の労働条件
76.6 職場内での人材育成・教育の充実	19.5 医療機関との連携
13.0 専門職の確保	33.3 家族等介護者とのつながり
2.6 利用者にわかりやすい契約書の工夫	12.1 事業所の施設・設備の充実
38.1 利用者の納得と意思の尊重	1.3 その他(具体的に)
10.4 苦情処理対応	[ ]
16.9 サービスの自己評価の取り組み	

NA=0.0 N=231

問 14 貴事業所の実施しているサービスの提供体制についてお答えください。

(①宛名の事業種別、②現在実施中の事業、③該当サービスの提供体制について、それぞれに○)

サービスの種類	①宛名の事業種別に○ (○は1つ)	②現在実施中のものに○ (あてはまるものすべてに○)	③川口市内の利用者に対する、今後のサービス提供体制について (どちらかに○)			
			さらに利用者の受け入れが可能	利用者を増やすことは困難	NA	N
a 居宅介護支援	22.1	37.7	74.7	16.1	9.2	87
b 訪問介護	15.2	29.0	73.1	20.9	6.0	67
c 訪問入浴介護	0.9	2.6	100.0	0.0	0.0	6
d 訪問看護	2.6	6.5	60.0	40.0	0.0	15
e 訪問リハビリテーション	0.9	2.2	100.0	0.0	0.0	5
f 居宅療養管理指導	0.0	1.3	66.7	33.3	0.0	3
g 通所介護	13.0	23.8	92.7	7.3	0.0	55
h 通所リハビリテーション	1.3	3.5	75.0	12.5	12.5	8
i 短期入所生活介護	2.6	7.4	94.1	0.0	5.9	17
j 短期入所療養介護	0.4	2.2	100.0	0.0	0.0	5
k 福祉用具貸与	3.9	10.0	82.6	0.0	17.4	23
l 福祉用具販売	1.3	9.1	81.0	0.0	19.0	21
m 認知症対応型通所介護	0.9	1.3	66.7	33.3	0.0	3
n 小規模多機能型居宅介護 (看護小規模多機能型居宅介護)	0.4	1.3	66.7	0.0	33.3	3
o 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	5.2	6.1	57.1	35.7	7.1	14
p 地域密着型介護老人福祉施設入 所者生活介護 (小規模特養)	0.9	1.3	33.3	66.7	0.0	3
q 地域密着型特定施設入居者生活 介護	0.4	0.9	50.0	50.0	0.0	2
r 定期巡回・随時対応型訪問介 護看護 (夜間対応型訪問介護)	0.4	0.9	100.0	0.0	0.0	2
s 地域密着型通所介護	12.1	16.5	76.3	18.4	5.3	38
t 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	4.3	7.4	64.7	29.4	5.9	17
u 介護老人保健施設	1.3	3.5	75.0	12.5	12.5	8
v 介護療養型医療施設	0.4	0.9	50.0	50.0	0.0	2
w 特定施設入居者生活介護	8.2	9.1	76.2	19.0	4.8	21
x 介護保険事業以外の高齢者向け 事業	0.0	3.9	55.6	33.3	11.1	9
NA	1.3	1.3				

(宛名の事業種別) N = 231

(現在実施中) N = 231



**【全員の方へ】**

問 15 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」について、貴事業所での実施の方向性についてお答えください。(1つに○)

1.3 実施中 1.3 実施する予定である 5.2 実施に向け検討中 86.6 実施する予定はない

NA=5.6 N=231

**問 15 で「4. 実施する予定はない」を選んだ方にお伺いします。**

問 15-1 実施する予定はないと答えた理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

44.0 現在提供しているサービスの種別と全く 関連がない	23.0 コストに合わない
49.0 夜間対応できる職員などのマンパワーの 確保ができない	11.5 設備投資に費用がかかる
	24.0 運営基準を満たすことが困難
	8.0 その他 ( )

NA=2.0 N=200

**【全員の方へ】**

問 16 「看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)」について、貴事業所での実施の方向性についてお答えください。(1つに○)

0.9 実施中 0.0 実施する予定である 2.6 実施に向け検討中 91.8 実施する予定はない

NA=4.8 N=231

**問 16 で「4. 実施する予定はない」を選んだ方にお伺いします。**

問 16-1 実施する予定はないと答えた理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

45.8 現在提供しているサービスの種別と全く 関連がない	21.2 コストに合わない
42.5 夜間対応できる職員などのマンパワーの 確保ができない	21.2 設備投資に費用がかかる
	25.5 運営基準を満たすことが困難
	8.0 その他 ( )

NA=2.4 N=212

**【全員の方へ】**

問 17 「小規模多機能型居宅介護」について、貴事業所での実施の方向性についてお答えください。(1つに○)

2.2 実施中 0.0 実施する予定である 4.3 実施に向け検討中 88.7 実施する予定はない

NA=4.8 N=231

**問 17 で「4. 実施する予定はない」を選んだ方にお伺いします。**

問 17-1 実施する予定はないと答えた理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

35.6 現在提供しているサービスの種別と全く 関連がない	27.8 コストに合わない
42.9 夜間対応できる職員などのマンパワーの 確保ができない	21.5 設備投資に費用がかかる
	22.9 運営基準を満たすことが困難
	8.8 その他 ( )

NA=1.5 N=205

**【 訪問型事業(問14のサービス種類 b、c、d、e、r)を行っている事業所の方にお伺いします 】**

b: 訪問介護	e: 訪問リハビリテーション
c: 訪問入浴介護	r: 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
d: 訪問看護	(夜間対応型訪問介護)

問 18 川口市の介護予防・日常生活支援総合事業については、平成 29 年 4 月から現行相当のみなしサービスのみ実施します。多様なサービスについては、現在検討中です。  
「介護予防・日常生活支援総合事業」のサービスの貴事業所での実施の方向性についてお答えください。(1つに○)

30.5 実施する予定である	36.6 実施に向け検討中	23.2 実施する予定はない
----------------	---------------	----------------

NA = 9.8 N = 82

**問 18 で「1. 実施する予定である」または「2. 実施に向け検討中」を選んだ方にお伺いします。**

問 18-1 具体的に、どのようなサービス提供を考えているかお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

7.3 家事援助のみ	76.4 家事援助と身体介護
7.3 身体介護のみ	7.3 その他 ( )

NA = 1.8 N = 55

**問 18 で「3. 実施する予定はない」を選んだ方にお伺いします。**

問 18-2 実施する予定はないと答えた理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

15.8 現在提供しているサービスの種別と全く関連がない	0.0 設備投資に費用がかかる
52.6 マンパワーの確保が困難	10.5 運営基準を満たすことが困難
26.3 コストに合わない	15.8 総合事業がよくわからない
	15.8 その他 ( )

NA = 0.0 N = 19

**【 通所型事業(問14のサービス種類 g、h、i、j、m、n)を行っている事業所の方にお伺いします 】**

g: 通所介護	m: 認知症対応型通所介護
h: 通所リハビリテーション	n: 小規模多機能型居宅介護
i: 短期入所生活介護	(看護小規模多機能型居宅介護)
j: 短期入所療養介護	

問 19 「介護予防・日常生活支援総合事業」のサービスの貴事業所での実施の方向性についてお答えください。(1つに○)

36.8 実施する予定である	26.3 実施に向け検討中	19.7 実施する予定はない
----------------	---------------	----------------

NA = 17.1 N = 76

**問 19 で「1. 実施する予定である」または「2. 実施に向け検討中」を選んだ方にお伺いします。**

問 19-1 具体的に、どのようなサービス提供を考えているかお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

68.8 食事	72.9 送迎	2.1 その他 ( )
64.6 入浴	87.5 機能訓練	

NA=4.2 N=48

**問 19 で「3. 実施する予定はない」を選んだ方にお伺いします。**

問 19-2 実施する予定はないと答えた理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

6.7 現在提供しているサービスの種別と全く関連がない	0.0 設備投資に費用がかかる
26.7 マンパワーの確保が困難	6.7 運営基準を満たすことが困難
6.7 コストに合わない	53.3 総合事業がよくわからない
	6.7 その他 ( )

NA=6.7 N=15

**【居宅介護支援事業を行っている事業所の方にお伺いします】**

問 20 「介護予防・日常生活支援総合事業」の要支援者の一部受託の貴事業所での実施の方向性についてお答えください。(1つに○)

36.8 実施する予定である	34.5 実施に向け検討中	16.1 実施する予定はない
----------------	---------------	----------------

NA=12.6 N=87

**問 20 で「3. 実施する予定はない」を選んだ方にお伺いします。**

問 20-1 実施する予定はないと答えた理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

35.7 マンパワーの確保が困難	28.6 総合事業がよくわからない
64.3 コストに合わない	0.0 その他 ( )

NA=0.0 N=14

**【引き続き、居宅介護支援事業を行っている事業所の方にお伺いします】**

問 21 「介護予防・日常生活支援総合事業」の総合事業対象者の一部受託の貴事業所での実施の方向性についてお答えください。(1つに○)

28.7 実施する予定である	34.5 実施に向け検討中	21.8 実施する予定はない
----------------	---------------	----------------

NA=14.9 N=87

**問 21 で「3. 実施する予定はない」を選んだ方にお伺いします。**

問 21-1 実施する予定はないと答えた理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

47.4 マンパワーの確保が困難	36.8 総合事業がよくわからない
63.2 コストに合わない	5.3 その他 ( )

NA=0.0 N=19

**【全員の方へ】**

問 22 貴事業所では、利用者を含め市民に対して、どのような情報を提供していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

88.7 実施している介護サービスの種類や特徴	49.8 事業所の運営体制
45.0 介護サービスの質の向上への取り組み内容	14.7 事業所の経営状況
13.9 介護サービス提供内容等に関する自己評価	2.2 その他
10.0 介護サービス利用者による事業所の評価	( )
6.9 専門知識を持つ第三者による事業所の評価	

NA = 7.4 N = 231

問23 貴事業所では、介護報酬や指定基準などの解釈に疑問があった場合、どのように対応していますか。(あてはまるものすべてに○)

51.1 関係書籍（『介護報酬の解釈』など）で調べる	81.0 県や市に問い合わせる
24.7 運営会社のスタッフなどに問い合わせる	44.2 事業所間で情報交換する
63.6 インターネットで調べる	1.3 その他
57.1 厚生労働省の通知やQ&Aで調べる	( )

NA = 3.0 N = 231

問 24 貴事業所におけるサービス向上のために、どのような情報や支援が必要ですか。  
以下から最も必要と考えられる情報・支援を3つまでお選びください。(3つまでに○)

48.5 介護保険制度・介護報酬等に関する情報	6.5 定員の空き状況、空室・空床に関する情報
24.2 介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	10.0 緊急時のショートステイや入院などの受け入れ先情報
16.5 情報提供・相談等の窓口	11.3 事業者連絡会等による運営サポート、バックアップ
20.8 介護技術・方法に関する情報	4.3 ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ
19.5 認知症ケアに関する情報	0.9 サービス展開のための土地・建物に関する情報
14.7 医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	23.8 職員研修、交流会
29.0 困難事例、多問題事例に関するケースの情報提供、助言	18.6 医療機関との連携
9.5 介護予防に関する情報	0.0 その他
21.2 研修・講座等に関する情報	( )
10.8 周辺事業所や医療機関に関する情報	1.3 特に必要な情報・支援はない

NA = 3.5 N = 231

川口市では、団塊の世代が75歳以上になる2025年(平成37年)に向けて、高齢者が住みなれた地域で暮らしていけるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援などのサービスが一体的に提供されるようにするため、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます。以下その地域包括ケアシステムの構築について質問します。

問 25-1 国が進める地域包括ケアシステムについて、どのようなイメージを持っていますか。  
(1つに○)

9.5 地域包括ケアシステムについてよく知っている
71.9 理想どおりに実現できるか疑問である
15.2 地域包括ケアシステムについて知らない・わからない
0.9 その他 ( )

NA=2.6 N=231

問 25-2 地域包括ケアシステムを構築するために、今後より重要となるものは何だと思えますか。  
(2つまでに○)

56.3 地域包括支援センターとの連携	24.2 事業所間の連携
5.6 社会福祉協議会との連携	2.6 その他 ( )
49.4 地域との連携	5.6 わからない
35.5 医療機関との連携	

NA=1.7 N=231

**問 25-2 で「1」～「3」を選んだ方にお伺いします。**

問 25-3 貴事業所では、選択したところと連携はできていますか。(1つに○)

2.7 十分にできている	24.1 あまりできていない
68.4 ある程度はできている	2.1 まったくできていない

NA=2.7 N=187

**問 25-3 で「3」または「4」を選んだ方にお伺いします。**

問 25-4 連携をとるためには、具体的に何が必要だと思えますか。

**【全員の方へ】**

問 25-5 貴事業所では、医療機関との連携はできていますか。(1つに○)

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 12.6 十分にできている   | 17.3 あまりできていない |
| 63.6 ある程度はできている | 4.3 まったくできていない |

NA=2.2 N=231

**問 25-5 で「3」または「4」を選んだ方にお伺いします。**

問 25-6 連携をとるためには、具体的に何が必要だと思いますか。

**【全員の方へ】**

問 26 貴事業所では、他の事業所との連携はできていますか。(1つに○)

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 7.8 十分にできている    | 11.3 あまりできていない |
| 78.4 ある程度はできている | 1.7 まったくできていない |

NA=0.9 N=231

**問 26 で「3」または「4」を選んだ方にお伺いします。**

問 26-1 連携をとるためには、具体的に何が必要だと思いますか。

**【全員の方へ】**

問 27 貴事業所で実施している地域活動についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- |                              |              |
|------------------------------|--------------|
| 26.8 地域住民との交流会(町会の集まりなど)     | 5.2 その他      |
| 16.0 地域住民も参加できる介護教室、勉強会などの実施 | ( )          |
| 38.5 多職種による連絡会・事例検討会などへの参加   | 16.5 実施していない |
| 38.1 事業所の宣伝、広告など             |              |

NA=2.2 N=231

問 28 ご意見・ご要望などがありましたら、ご記入ください。


ご協力ありがとうございました。返信用封筒に入れて  
1月26日(木)までにご返送ください。

